

# —— 町営住宅第3国頭団地 3号棟 改修工事 ——

図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺
D-01	表紙・図面リスト	—	D-26	改修前 展開図【1-2】	1/50	E-01	電気設備特記仕様書	—	M-01	機械設備特記仕様書	—
D-02	建築改修工事特記仕様書-1	—	D-27	改修後 展開図【1-2】	1/50	E-02	引込開閉器盤 結線図	—	M-02	機器仕様一覧表・衛生器具一覧表・立面図(撤去)	1/100
D-03	建築改修工事特記仕様書-2	—	D-28	改修前・後 平面詳細図【2-1】	1/30	E-03	改修後 1階 2階電気設備平面図	1/100	M-03	改修後 機械設備平面図	1/100
D-04	建築改修工事特記仕様書-3	—	D-29	改修前 展開図【2-1】	1/50	E-04	改修前 1階 2階電気設備平面図	1/100	M-04	改修前 機械設備平面図	1/100
D-05	建築改修工事特記仕様書-4	—	D-30	改修後 展開図【2-1】	1/50				M-05	改修前・後 1階平面詳細図(1-1) (給排水設備)	1/50
D-06	建築改修工事特記仕様書-5	—	D-31	改修前・後 平面詳細図【2-2】	1/30				M-06	改修前・後 1階平面詳細図(1-2) (給排水設備)	1/50
D-07	建築改修工事特記仕様書-6	—	D-32	改修前 展開図【2-2】	1/50				M-07	改修前・後 2階平面詳細図(2-1) (給排水設備)	1/50
D-08	建築改修工事特記仕様書-7	—	D-33	改修後 展開図【2-2】	1/50				M-08	改修前・後 2階平面詳細図(2-2) (給排水設備)	1/50
D-09	建築改修工事特記仕様書-8	—	D-34	改修後 天井伏図	1/100				M-09	換気設備機器仕様一覧表・詳細図	1/50
D-10	建築改修工事特記仕様書-9	—	D-35	改修後 建具符号図	1/100				M-10	改修前・後 1階平面詳細図(1-1) (換気設備)	1/50
D-11	設計概要、附近見取図、配置図	1/100	D-36	改修後 建具表-1	1/50				M-11	改修前・後 1階平面詳細図(1-2) (換気設備)	1/50
D-12	仕上表、内部改修一覧表	—	D-37	改修後 建具表-2	1/50				M-12	改修前・後 2階平面詳細図(2-1) (換気設備)	1/50
D-13	敷地・建物 求積図・求積表	1/100, 1/200	D-38	外壁改修仕様書	—				M-13	改修前・後 2階平面詳細図(2-2) (換気設備)	1/50
D-14	改修前 平面図・屋根伏図	1/100	D-39	外壁等調査図-1 (立面図・数量表)	1/100						
D-15	改修後 平面図・屋根伏図	1/100	D-40	外壁等調査図-2 (天井伏図・数量表)	1/100						
D-16	改修後 立面図・断面図	1/100	D-41	外壁等調査図-3 (屋根伏図・数量表)	1/100						
D-17	改修前 矩計図【1-1】【2-1】	1/30									
D-18	改修後 矩計図【1-1】【2-1】	1/30									
D-19	改修前 矩計図【1-2】【2-2】	1/30									
D-20	改修後 矩計図【1-2】【2-2】	1/30									
D-21	改修後 階段詳細図	1/30									
D-22	改修前・後 平面詳細図【1-1】	1/30									
D-23	改修前 展開図【1-1】	1/50									
D-24	改修後 展開図【1-1】	1/50									
D-25	改修前・後 平面詳細図【1-2】	1/30									

				一級建築士事務所 鹿児島県知事登録 第1-5-18号 <b>永園設計株式会社</b> 管理建築士 一級建築士 第123948号 小原正信				管理技術者	主任技術者	製図	補助	設計年月日 R7.09	工事名 町営住宅第3国頭団地 3号棟 改修工事	図面番号 D-01
												縮尺	図面種類 表紙・図面リスト	



4 防水改修工事	1 共通事項	施工標準 ※監督職員と表示内容を協議し、指示の位置に標準を取り付ける 改修用ドレン (POAS、POAS1、POD、POD1、POS、POS1、POXの場合) 取付方法等は、ルーフィング類製造所の仕様による					
	2 降雨等に対する養生方法(とい共)	※改修標準仕様書3.1.3(5)(7)~(9)による ( )					
	3 既存防水の処理	既存保護層の除去 ・行う (範囲・図示) ・行わない ( ) 既存防水層の除去 ・行う (範囲・図示) ・行わない ( ) 既存露出防水層表面の仕上げ塗装除去 ・行う (・M4S・M4S1・M4C・M4D1・L4X) ・行わない ( )					
	4 既存下地の処理	既存下地の補修箇所の形状、長さ、数量等 ※図示 POS工法及びPOAS1工法 (機械式固定工法) の既存保護層を除去し防水層を非除去とした立上り部等の処理 ※改修標準仕様書3.2.6(4)(9)(a)①~③による 設備機器架台、配管束部、バラベツト、貫通パイプ廻り、手すり・丸環の取付け部、増量出入口等の欠損部及び防水層末端部の納まり部の処理 ・図示 ※監督職員と協議する					
	5 アスファルト防水	屋根保護防水 [3.3.2~5] 防水層の種類 工法 種別 施工箇所 断熱材 [G] 絶縁用シート 立上り部の保護 ・P2A ・A-1 ※A-2 ・A-3 ・P1B ・B-1 ※B-2 ・B-3 ・P2A1 ・A1-1 ※A1-2 ・A1-3 ・P1B1 ・B1-1 ※B1-2 ・B1-3 ・T1B1 ※B1-2 ・B1-3 改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ 用途による区分 ※R種 厚さ mm以上 材料構成による区分 ※R種 厚さ mm以上 ※改修標準仕様書3.3.3から表3.3.9による 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ 用途による区分 ※R種 厚さ mm以上 材料構成による区分 ※R種 厚さ mm以上 ※改修標準仕様書3.3.3から表3.3.9による 平場の保護コンクリートの厚さ こて仕上げ ※水下 80mm以上 床タイル張り ※水下 60mm以上 ・乾式保護材 高業系パネル：無石綿の繊維質原料等を主原料として、板状に押出成形シートクレープ養生したものの金属板合板 ※金属板と樹脂を積層一体化したものの (品質・性能・試験方法) 建築材料等品質性能表による					
	屋根露出防水 高日射反射率防水の適用 [G] ・有 ※無 防水層の種類 工法 種別 施工箇所 断熱材 [G] 仕上塗料 高日射反射率防水の適用 [G] 備考 ・M4C ・C-1 ※C-2 ・C-3 ・C-4 ・M3D ・D-1 ※D-2 ・D-3 ・D-4 ・POD1 ・D1-1 (種類) ・M3D1 ※D1-2 (厚さ) ・M4D1 ・25mm 屋根露出防水絶縁工法及び屋根露出防水絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量 設置数量 ※アスファルトルーフィング類製造所の指定による 脱気装置 個 屋根露出防水絶縁断熱工法の場合の、ルーフトレンドリ及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置 ※図示 屋内防水 工法 種別 施工箇所 保護層 ・P1E ・E-1 ・設ける ・P2E ※E-2 ・設けない ・E-1の工程3を行う部位 (※貯水槽、浴槽等常時水に接する部位) 押え金物の材質、形状及び寸法 ※アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度 屋根排水溝 ※図示						

4 防水改修工事(続き)	6 改質アスファルトシート防水 [3.4.2、3]	高日射反射率防水の適用 [G] ・有 ※無 防水層の種類 工法 種別 施工箇所 断熱材 [G] 仕上材料 高日射反射率防水の適用 [G] 備考 ・M4S ・AS-T1 ※アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による ・AS-T2 ※アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による ・AS-J2 ※アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による ・M3AS ・AS-T3 ※アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による ・AS-T4 ※アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による ・AS-J1 ※アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による ・AS-J3 ※アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による ・POAS ・AS-T3 ※アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による ・AS-T4 ※アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による ・AS-J1 ※アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による ・AS-J3 ※アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による 改質アスファルトシートの種類及び厚さ 用途による区分 ※R種 厚さ mm以上 材料構成による区分 ※R種 厚さ mm以上 ※改修標準仕様書3.4.1から表3.4.3による 粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ 用途による区分 ※R種 厚さ mm以上 材料構成による区分 ※R種 厚さ mm以上 ※改修標準仕様書3.4.1から表3.4.3による 部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ 用途による区分 ※R種 厚さ mm以上 材料構成による区分 ※R種 厚さ mm以上 ※改修標準仕様書3.4.1から表3.4.3による 屋根露出防水絶縁工法及び屋根露出防水絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量 種類 ※改質アスファルトシート類の製造所の指定 脱気装置 個 ※改質アスファルトシート類の製造所の指定 屋根露出防水絶縁断熱工法の防湿シート (設置する ・設置しない) 押え金物の材質、形状及び寸法 ※アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度					
	7 合成高分子系ルーフィングシート防水 [3.5.2~4、表3.5.1~3]	高日射反射率防水の適用 [G] ・有 ※無 防水層の種類 工法 種別 施工箇所 断熱材 [G] 仕上材料 高日射反射率防水の適用 [G] 備考 ・POS ・S-F1 ※ルーフィングシート類の製造所の仕様による ・S4S ・S-F2 ※ルーフィングシート類の製造所の仕様による ・S-M1 ※ルーフィングシート類の製造所の仕様による ・S-M2 ※ルーフィングシート類の製造所の仕様による ・S-M3 ※ルーフィングシート類の製造所の仕様による ・S3S ・S-F1 ※ルーフィングシート類の製造所の仕様による ・S-F2 ※ルーフィングシート類の製造所の仕様による ・M4S ・S-M1 ※ルーフィングシート類の製造所の仕様による ・S-M2 ※ルーフィングシート類の製造所の仕様による ・S-M3 ※ルーフィングシート類の製造所の仕様による ・POS1 ・S1-F1 改修標準仕様書3.5.2(3)(x)(b)による (種類) (厚さ) ※25mm・50mm ・S1-M1 改修標準仕様書3.5.2(3)(t)(a)による (種類) (厚さ) ※25mm・50mm ・S1-M2 改修標準仕様書3.5.2(3)(t)(a)による (種類) (厚さ) ※25mm・50mm ・S-M2またはS1-M2の立上り部の工法 ・接着工法 (立上り面のシート厚さ 1.5mm) ・機械式固定工法 ・S1-M1及びS1-M2の場合の防湿用フィルム (設置する ・設置しない) ・S-F1、S-M1、S-F2、S-M2の仕様 非歩行用 ・軽歩行用					
		改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ 用途による区分 ※R種 厚さ mm以上 材料構成による区分 ※R種 厚さ mm以上 ※改修標準仕様書3.4.1から表3.4.3による 粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ 用途による区分 ※R種 厚さ mm以上 材料構成による区分 ※R種 厚さ mm以上 ※改修標準仕様書3.4.1から表3.4.3による 部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ 用途による区分 ※R種 厚さ mm以上 材料構成による区分 ※R種 厚さ mm以上 ※改修標準仕様書3.4.1から表3.4.3による 屋根露出防水絶縁工法及び屋根露出防水絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量 種類 ※改質アスファルトシート類の製造所の指定 脱気装置 個 ※改質アスファルトシート類の製造所の指定 屋根露出防水絶縁断熱工法の防湿シート (設置する ・設置しない) 押え金物の材質、形状及び寸法 ※アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度					
		高日射反射率防水の適用 [G] ・有 ※無 防水層の種類 工法 種別 施工箇所 断熱材 [G] 仕上材料 高日射反射率防水の適用 [G] 備考 ・POS ・S-F1 ※ルーフィングシート類の製造所の仕様による ・S4S ・S-F2 ※ルーフィングシート類の製造所の仕様による ・S-M1 ※ルーフィングシート類の製造所の仕様による ・S-M2 ※ルーフィングシート類の製造所の仕様による ・S-M3 ※ルーフィングシート類の製造所の仕様による ・S3S ・S-F1 ※ルーフィングシート類の製造所の仕様による ・S-F2 ※ルーフィングシート類の製造所の仕様による ・M4S ・S-M1 ※ルーフィングシート類の製造所の仕様による ・S-M2 ※ルーフィングシート類の製造所の仕様による ・S-M3 ※ルーフィングシート類の製造所の仕様による ・POS1 ・S1-F1 改修標準仕様書3.5.2(3)(x)(b)による (種類) (厚さ) ※25mm・50mm ・S1-M1 改修標準仕様書3.5.2(3)(t)(a)による (種類) (厚さ) ※25mm・50mm ・S1-M2 改修標準仕様書3.5.2(3)(t)(a)による (種類) (厚さ) ※25mm・50mm ・S-M2またはS1-M2の立上り部の工法 ・接着工法 (立上り面のシート厚さ 1.5mm) ・機械式固定工法 ・S1-M1及びS1-M2の場合の防湿用フィルム (設置する ・設置しない) ・S-F1、S-M1、S-F2、S-M2の仕様 非歩行用 ・軽歩行用					
		高日射反射率防水の適用 [G] ・有 ※無 防水層の種類 工法 種別 施工箇所 断熱材 [G] 仕上材料 高日射反射率防水の適用 [G] 備考 ・POS ・S-F1 ※ルーフィングシート類の製造所の仕様による ・S4S ・S-F2 ※ルーフィングシート類の製造所の仕様による ・S-M1 ※ルーフィングシート類の製造所の仕様による ・S-M2 ※ルーフィングシート類の製造所の仕様による ・S-M3 ※ルーフィングシート類の製造所の仕様による ・S3S ・S-F1 ※ルーフィングシート類の製造所の仕様による ・S-F2 ※ルーフィングシート類の製造所の仕様による ・M4S ・S-M1 ※ルーフィングシート類の製造所の仕様による ・S-M2 ※ルーフィングシート類の製造所の仕様による ・S-M3 ※ルーフィングシート類の製造所の仕様による ・POS1 ・S1-F1 改修標準仕様書3.5.2(3)(x)(b)による (種類) (厚さ) ※25mm・50mm ・S1-M1 改修標準仕様書3.5.2(3)(t)(a)による (種類) (厚さ) ※25mm・50mm ・S1-M2 改修標準仕様書3.5.2(3)(t)(a)による (種類) (厚さ) ※25mm・50mm ・S-M2またはS1-M2の立上り部の工法 ・接着工法 (立上り面のシート厚さ 1.5mm) ・機械式固定工法 ・S1-M1及びS1-M2の場合の防湿用フィルム (設置する ・設置しない) ・S-F1、S-M1、S-F2、S-M2の仕様 非歩行用 ・軽歩行用					

4 防水改修工事(続き)	9 塗膜防水 [3.6.2、3]	屋内防水 種別 施工箇所 保護層 立上り部の保護 S-C1 平場のモルタル塗り 塗り厚さ 床塗り工法 下地モルタル塗り ※改修標準仕様書 6.15.6(b)(2)及び(3)に準ずる 6.15.6(a)(1)に準ずる モルタル塗り厚さ ※7mm以下 床塗り場合の床の目地及び種類 目地割り (・2m程度 最大目地間隔3m程度) 目地の種類 (※押し目地) 合成高分子系ルーフィングシートの種類及び厚さ ・種類 厚さ mm以上 ※改修標準仕様書3.5.1から表3.5.3による 絶縁シートの材質 ※発泡ポリエチレンシート 固定金具の材質、形状及び寸法 ※厚さ0.4mm以上の防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板又はそれらの片面若しくは両面に樹脂を積層加工した鋼板 接着工法の場合の脱気装置の種類及び設置数量 種類 ※ルーフィングシート製造所の仕様 設置数量 個 ※ルーフィングシート製造所の仕様 接着工法の場合のプレキャストコンクリート部材下地の目地処理 ・行う (図示) ・行わない ( ) プレキャストコンクリート部材の隅部の増張り (種別 S-F1、SI-F1の場合) ・行う (図示) ・行わない ( ) 機械式固定工法の場合の一部部のルーフィングシートの張付け 1章 適用区分による風圧力 (・1.0 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力に対応した工法 [3.6.2、3]					
	5 外壁改修工事	工法 種別 施工箇所 仕上塗料 備考 ・POX ※X-1 ※主材料の製造所の仕様による ・X-2 ※主材料の製造所の仕様による ・L4X ・X-1 ※主材料の製造所の仕様による ・X-2 ※主材料の製造所の仕様による KT-210098-A又は同等品 (国交省) ウレタンゴム系塗膜防水X-1(絶縁工法)の脱気装置の種類及び設置数量 種類 ※主材料製造所の仕様による 設置数量 個 ※主材料製造所の仕様による 工法 種別 施工箇所 仕上塗料 備考 ・PIY ※Y-2 ※主材料の製造所の仕様による ・設ける ・設けない ・PZY ※Y-2 ※主材料の製造所の仕様による ・設ける ・設けない					
		シーリング改修工法の種類 ・シーリング充填工法 ・シーリング再充填工法 ・拡張シーリング再充填工法 ・ブリッジ工法 ボンドブレード張り C適用する ・適用しない エッジング材張り ・適用する ・適用しない シーリング材の種類、施工箇所 下表以外は、改修標準仕様書3.7.1による 施工箇所 シーリング材の種類 (記号) 防水部処理 PS-2 サッシ廻り MS-2 シーリング材の目地寸法 [3.1.4] [3.7.2~3.7.8] C図示 シーリング材の接着性試験 [3.7.8] ※簡易接着性試験 ・引張接着性試験 [3.8.2、3] たてどい [3.8.2、3] 軒どい ルーフトレンドリ 種別 呼び 施工箇所 材種 ○らく屋根用 (○縦型・横型) ・ねじ込み式 -80 ○100 -125 図示による ○改修用 -150 ○バルコニー用 ・ねじ込み式 -50・80・100 ○改修用 -50・75 ○100 図示による ・バルコニー中継用 ・ねじ込み式 -50・80・100 ・差し込み式 -50・75・100 とい受金物 材種 鋼製 (亜鉛めっき) ※ステンレス製 形状 ※市販品 (とい径100以下) ※25×4.5以上 (とい径100を超えるもの) 足金物 材種 鋼製 (亜鉛めっき) ※ステンレス製 形状 ※市販品 ロックウール保温筒及びビーズ法ポリエチレンフォーム保温筒のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 既存のといその他の除去及び降雨等に対する養生方法 ※図示 たてどい金物の取付け ※図示 ルーフトレンドリの取付け ※水はけがよく、床面より下げ、周囲の隙間にモルタルを充填する					
	10 とい	工法 種別 施工箇所 仕上塗料 備考 ・PIY ※Y-2 ※主材料の製造所の仕様による ・設ける ・設けない ・PZY ※Y-2 ※主材料の製造所の仕様による ・設ける ・設けない					
		シーリング改修工法の種類 ・シーリング充填工法 ・シーリング再充填工法 ・拡張シーリング再充填工法 ・ブリッジ工法 ボンドブレード張り C適用する ・適用しない エッジング材張り ・適用する ・適用しない シーリング材の種類、施工箇所 下表以外は、改修標準仕様書3.7.1による 施工箇所 シーリング材の種類 (記号) 防水部処理 PS-2 サッシ廻り MS-2 シーリング材の目地寸法 [3.1.4] [3.7.2~3.7.8] C図示 シーリング材の接着性試験 [3.7.8] ※簡易接着性試験 ・引張接着性試験 [3.8.2、3] たてどい [3.8.2、3] 軒どい ルーフトレンドリ 種別 呼び 施工箇所 材種 ○らく屋根用 (○縦型・横型) ・ねじ込み式 -80 ○100 -125 図示による ○改修用 -150 ○バルコニー用 ・ねじ込み式 -50・80・100 ○改修用 -50・75 ○100 図示による ・バルコニー中継用 ・ねじ込み式 -50・80・100 ・差し込み式 -50・75・100 とい受金物 材種 鋼製 (亜鉛めっき) ※ステンレス製 形状 ※市販品 (とい径100以下) ※25×4.5以上 (とい径100を超えるもの) 足金物 材種 鋼製 (亜鉛めっき) ※ステンレス製 形状 ※市販品 ロックウール保温筒及びビーズ法ポリエチレンフォーム保温筒のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 既存のといその他の除去及び降雨等に対する養生方法 ※図示 たてどい金物の取付け ※図示 ルーフトレンドリの取付け ※水はけがよく、床面より下げ、周囲の隙間にモルタルを充填する					

4 防水改修工事(続き)	11 アルミニウム製窓木 [3.9.2、3]	種類 本体幅 (mm) 板厚 (mm) 表面処理 着色 ・オープン形式 ・押出250形 ・押出300形 ・押出350形 ・板材折曲げ形 ・BA-1 ・BA-2 ・BB-1 ・BB-2 ・標準色 ・特注色 ・シール形式 ・板材折曲げ形 既存在木の除去 ・行う (範囲・図示) ・行わない ( ) 下地補修の工法 ※図示 板材折曲げ形の窓木の取付方法 ※図示 板材折曲げ形の窓木の取付方法 ※図示 積上り型窓木システム ・無 ・有 窓木の固定金具の構造等 1章 適用区分による風圧力 (・1.0 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力に対応した工法 防水工事の施工について、10年保証を提出すること。なお、保証書は元請業者と施工業者の連帯とする。(シーリングを除く)					
	12 保証書及び期間	(性能) 建築材料等品質性能表による [4.2.2] 広がり速度 (cm/s) 長さ変化率 (収縮) (%) 引張強さ (N/mm <sup>2</sup> ) 曲げ性能 (材齢28日) (N/mm) 吸水率 (72時間) (%) 耐久性 (劣化曲げ強さ) (N/mm <sup>2</sup> ) 3以上 3以下 0.50以上 5.0以上 15以上 5.0以上 保水係数 0.35~0.55 粘弾係数 0.50~1.00 [4.2.2] モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、細骨材、混和剤等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。 (品質・性能・試験方法) 建築材料等品質性能表による 調査項目 ※外壁改修 ・防水改修 ・内壁改修 ( ) [1.6.2] 調査範囲 ※図示 ( ) [1.6.2] 調査方法 ※打診及び目視による ( ) [1.6.2] 既存部分の破壊を行った場合の補修方法 ※図示 ( ) [1.6.3] 調査内容 外壁調査は工事に先立ち全外壁面のひび割れ、浮き、欠損部の位置及び数量 (幅、長さ、面積) の調査を行う。報告書は、結果を立面図等に記載し監督職員に提出する。(必要に応じ写真等を添付する。) 調査報告書の部数 ※2部 ( ) 部					
	5 外壁改修工事	1 11 アルミニウム製窓木 [3.9.2、3] 種類 本体幅 (mm) 板厚 (mm) 表面処理 着色 ・オープン形式 ・押出250形 ・押出300形 ・押出350形 ・板材折曲げ形 ・BA-1 ・BA-2 ・BB-1 ・BB-2 ・標準色 ・特注色 ・シール形式 ・板材折曲げ形 既存在木の除去 ・行う (範囲・図示) ・行わない ( ) 下地補修の工法 ※図示 板材折曲げ形の窓木の取付方法 ※図示 板材折曲げ形の窓木の取付方法 ※図示 積上り型窓木システム ・無 ・有 窓木の固定金具の構造等 1章 適用区分による風圧力 (・1.0 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力に対応した工法 防水工事の施工について、10年保証を提出すること。なお、保証書は元請業者と施工業者の連帯とする。(シーリングを除く)					
		1 11 アルミニウム製窓木 [3.9.2、3] 種類 本体幅 (mm) 板厚 (mm) 表面処理 着色 ・オープン形式 ・押出250形 ・押出300形 ・押出350形 ・板材折曲げ形 ・BA-1 ・BA-2 ・BB-1 ・BB-2 ・標準色 ・特注色 ・シール形式 ・板材折曲げ形 既存在木の除去 ・行う (範囲・図示) ・行わない ( ) 下地補修の工法 ※図示 板材折曲げ形の窓木の取付方法 ※図示 板材折曲げ形の窓木の取付方法 ※図示 積上り型窓木システム ・無 ・有 窓木の固定金具の構造等 1章 適用区分による風圧力 (・1.0 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力に対応した工法 防水工事の施工について、10年保証を提出すること。なお、保証書は元請業者と施工業者の連帯とする。(シーリングを除く)					
		1 11 アルミニウム製窓木 [3.9.2、3] 種類 本体幅 (mm) 板厚 (mm) 表面処理 着色 ・オープン形式 ・押出250形 ・押出300形 ・押出350形 ・板材折曲げ形 ・BA-1 ・BA-2 ・BB-1 ・BB-2 ・標準色 ・特注色 ・シール形式 ・板材折曲げ形 既存在木の除去 ・行う (範囲・図示) ・行わない ( ) 下地補修の工法 ※図示 板材折曲げ形の窓木の取付方法 ※図示 板材折曲げ形の窓木の取付方法 ※図示 積上り型窓木システム ・無 ・有 窓木の固定金具の構造等 1章 適用区分による風圧力 (・1.0 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力に対応した工法 防水工事の施工について、10年保証を提出すること。なお、保証書は元請業者と施工業者の連帯とする。(シーリングを除く)					







7	28 移動開仕切	[20.2.4]	<table border="1"> <tr> <th>構造形式</th> <th>操作方法</th> <th>パネル圧縮装置の操作方法</th> <th>総厚さ (mm)</th> <th>パネル表面材</th> <th>パネル表面仕上げ</th> <th>遮音性 (dB/500Hz)</th> </tr> <tr> <td>・平行方向 移動式 ・電動式 ・二方向 移動式</td> <td>・手動式 ・電動式 ・部分電動式</td> <td>・フッシュ式 ・ハンドル式</td> <td>※60程度 ・100程度</td> <td>材質 ・鋼板 ・壁紙張り</td> <td>※焼付塗装 ・壁紙張り</td> <td>・36未満 ・36以上</td> </tr> </table> <p>パネル表面仕上げの壁紙張りの品質、性能は標準仕様書19章による。 遮音性能は、JIS A 6512に準拠し、中心周波数500Hzの音についての透過損失とする。</p> <p>ハンガーレールの取付け下地の補強 ※取付け全重量の5倍以上の荷重に対して、使用上支障のない耐力及び変形量となるように補強する。 ・図示 移動開仕切の壁面当たり枠 ※適用する（製造所の仕様による） ランナー パネル重量の5倍の荷重をパネル1枚に使用するランナー数で除した値に対して、耐力及び変形量が使用上支障のないものとする</p>	構造形式	操作方法	パネル圧縮装置の操作方法	総厚さ (mm)	パネル表面材	パネル表面仕上げ	遮音性 (dB/500Hz)	・平行方向 移動式 ・電動式 ・二方向 移動式	・手動式 ・電動式 ・部分電動式	・フッシュ式 ・ハンドル式	※60程度 ・100程度	材質 ・鋼板 ・壁紙張り	※焼付塗装 ・壁紙張り	・36未満 ・36以上															
	構造形式	操作方法	パネル圧縮装置の操作方法	総厚さ (mm)	パネル表面材	パネル表面仕上げ	遮音性 (dB/500Hz)																									
	・平行方向 移動式 ・電動式 ・二方向 移動式	・手動式 ・電動式 ・部分電動式	・フッシュ式 ・ハンドル式	※60程度 ・100程度	材質 ・鋼板 ・壁紙張り	※焼付塗装 ・壁紙張り	・36未満 ・36以上																									
	29 トイレブース	[20.2.5]	<table border="1"> <tr> <th>表面材の種類</th> <th>色柄</th> <th>脚部</th> <th>形状</th> <th>ドアエッジ</th> <th>材質</th> </tr> <tr> <td>※メラミン樹脂系化粧板 ・ポリエステル樹脂系化粧板</td> <td>※無地 ・柄物</td> <td>※幅木タイプ ・</td> <td>※標準 ・R</td> <td>※アルミニウム製 ・ステンレス製 ・表面材と同材</td> <td></td> </tr> </table> <p>吊り方式 ※中心吊、戸当たり付 ( ) パネル材料のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外</p>	表面材の種類	色柄	脚部	形状	ドアエッジ	材質	※メラミン樹脂系化粧板 ・ポリエステル樹脂系化粧板	※無地 ・柄物	※幅木タイプ ・	※標準 ・R	※アルミニウム製 ・ステンレス製 ・表面材と同材																		
表面材の種類	色柄	脚部	形状	ドアエッジ	材質																											
※メラミン樹脂系化粧板 ・ポリエステル樹脂系化粧板	※無地 ・柄物	※幅木タイプ ・	※標準 ・R	※アルミニウム製 ・ステンレス製 ・表面材と同材																												
30 視覚障害者用床タイル	[11.2.2] [19.2.2]	<table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>種類</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>厚さ (mm)</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">屋内</td> <td>・塩化ビニール製</td> <td>※300×300</td> <td>・7.0</td> </tr> <tr> <td>・セラミックタイル</td> <td>※300×300</td> <td>※17程度</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">屋外</td> <td>・レジンコンクリート製</td> <td>※300×300</td> <td>・30</td> </tr> <tr> <td>・セラミックタイル</td> <td>※300×300</td> <td>※17程度</td> </tr> </table> <p>視覚障害者用ブロック等の突起の形状及びその配列はJIS T 9251による ・樹脂系点字版 (タイルカーベット用) 寸法 300角 ※500角 色 ※黄色 樹脂系点字版の留付は、両面からの挟込みホック式または接着式</p>	施工箇所	種類	寸法 (mm)	厚さ (mm)	屋内	・塩化ビニール製	※300×300	・7.0	・セラミックタイル	※300×300	※17程度	屋外	・レジンコンクリート製	※300×300	・30	・セラミックタイル	※300×300	※17程度												
施工箇所	種類	寸法 (mm)	厚さ (mm)																													
屋内	・塩化ビニール製	※300×300	・7.0																													
	・セラミックタイル	※300×300	※17程度																													
屋外	・レジンコンクリート製	※300×300	・30																													
	・セラミックタイル	※300×300	※17程度																													
31 階段滑り止め	[20.2.7]	<p>材質 ・ステンレス製 ・アルミニウム製押出形材</p> <p>滑り止め材 形状 ・ひも型 ・タイヤ型 材質 ゴム又は合成樹脂 取付工法 ・接着工法 ・埋め込み工法 幅(mm) ・図示 端部フラットエンド ・あり ・なし</p>																														
32 床目地枠	[20.2.8]	<p>床仕上げの異なる箇所には目地枠を入れる ※ステンレス製 1型(幅40程度) 1.5 標準詳細図 A-31-1 ・ステンレス製6×12 標準詳細図 A-31-2 ・黄銅製6×12 標準詳細図 A-31-3</p>																														
33 手すり	[20.2.6]	<table border="1"> <tr> <th>形式</th> <th>径</th> <th>材質</th> <th>仕上</th> </tr> <tr> <td>・1段</td> <td>・35φ ※45φ</td> <td>・※タモ</td> <td>・※C L</td> </tr> <tr> <td>・※2段</td> <td>※35φ</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </table> <p>・既製手すり (樹脂製)</p> <table border="1"> <tr> <th>形式</th> <th>径</th> <th>ブラケット</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・O型 (1段)</td> <td>※40φ</td> <td>アルミ合金製</td> <td>指づめ防止材共</td> </tr> <tr> <td>・※O型 (2段)</td> <td>※34φ</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </table> <p>点字表示板 ( ) 箇所 JIS T 0921 に基づく点字の表示原則及び点字表示方法による ※ポリカーボネード製 大きさ 120×150程度 厚み 0.1程度 ※塩ビ製 大きさ 100×125程度 厚み 0.1程度</p>	形式	径	材質	仕上	・1段	・35φ ※45φ	・※タモ	・※C L	・※2段	※35φ	・	・	形式	径	ブラケット	備考	・O型 (1段)	※40φ	アルミ合金製	指づめ防止材共	・※O型 (2段)	※34φ	・	・						
形式	径	材質	仕上																													
・1段	・35φ ※45φ	・※タモ	・※C L																													
・※2段	※35φ	・	・																													
形式	径	ブラケット	備考																													
・O型 (1段)	※40φ	アルミ合金製	指づめ防止材共																													
・※O型 (2段)	※34φ	・	・																													
34 ブラインド	[20.2.14]	<p>・再使用する ・新設する</p> <table border="1"> <tr> <th>形式</th> <th>操作方法</th> <th>種類</th> <th>スラットの材質</th> <th>55×幅 (mm)</th> <th>ボックス・レールの材質</th> <th>幅・高さ</th> <th>取付箇所</th> </tr> <tr> <td>・横型</td> <td>・手動 ・電動</td> <td>※ギヤ式 ・コード式 ・操作棒式</td> <td>※アルミニウム合金製</td> <td>※25</td> <td>※鋼製</td> <td>・</td> <td>・図示</td> </tr> <tr> <td>・縦型</td> <td>・手動 ・電動</td> <td>※2本操作コード式 ・1本操作コード式</td> <td>・アルミスラット ・クロススラット</td> <td>・80 ・100</td> <td>アルミニウム合金製</td> <td>・</td> <td>・図示</td> </tr> </table> <p>スラットの材質 アルミスラット 焼付け塗装仕上げ クロススラット 消防法で定める防炎性能の表示がある特殊樹脂加工 ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合は [G] とする</p>	形式	操作方法	種類	スラットの材質	55×幅 (mm)	ボックス・レールの材質	幅・高さ	取付箇所	・横型	・手動 ・電動	※ギヤ式 ・コード式 ・操作棒式	※アルミニウム合金製	※25	※鋼製	・	・図示	・縦型	・手動 ・電動	※2本操作コード式 ・1本操作コード式	・アルミスラット ・クロススラット	・80 ・100	アルミニウム合金製	・	・図示						
形式	操作方法	種類	スラットの材質	55×幅 (mm)	ボックス・レールの材質	幅・高さ	取付箇所																									
・横型	・手動 ・電動	※ギヤ式 ・コード式 ・操作棒式	※アルミニウム合金製	※25	※鋼製	・	・図示																									
・縦型	・手動 ・電動	※2本操作コード式 ・1本操作コード式	・アルミスラット ・クロススラット	・80 ・100	アルミニウム合金製	・	・図示																									
35 カーテン	[20.2.16]	<p>・再使用する ・新設する</p> <table border="1"> <tr> <th>形式</th> <th>開閉操作</th> <th>ひだの種類</th> <th>商品名 (程度)</th> <th>取付箇所</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・シングル</td> <td>・片引き</td> <td>・手引き</td> <td>・フランスひだ</td> <td>・</td> <td>・図示</td> </tr> <tr> <td>・ダブル</td> <td>・引分け</td> <td>・ひも引き ・電動</td> <td>・箱ひだ、つまひだ ・ブレンヒだ、片ひだ</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・シングル</td> <td>・片引き</td> <td>・手引き</td> <td>・フランスひだ</td> <td>・</td> <td>・図示</td> </tr> <tr> <td>・ダブル</td> <td>・引分け</td> <td>・ひも引き ・電動</td> <td>・箱ひだ、つまひだ ・ブレンヒだ、片ひだ</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </table> <p>ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合は [G] とする 暗幕カーテンの両端、上部及び召合せの重なり ※300mm以上</p>	形式	開閉操作	ひだの種類	商品名 (程度)	取付箇所	備考	・シングル	・片引き	・手引き	・フランスひだ	・	・図示	・ダブル	・引分け	・ひも引き ・電動	・箱ひだ、つまひだ ・ブレンヒだ、片ひだ	・	・	・シングル	・片引き	・手引き	・フランスひだ	・	・図示	・ダブル	・引分け	・ひも引き ・電動	・箱ひだ、つまひだ ・ブレンヒだ、片ひだ	・	・
形式	開閉操作	ひだの種類	商品名 (程度)	取付箇所	備考																											
・シングル	・片引き	・手引き	・フランスひだ	・	・図示																											
・ダブル	・引分け	・ひも引き ・電動	・箱ひだ、つまひだ ・ブレンヒだ、片ひだ	・	・																											
・シングル	・片引き	・手引き	・フランスひだ	・	・図示																											
・ダブル	・引分け	・ひも引き ・電動	・箱ひだ、つまひだ ・ブレンヒだ、片ひだ	・	・																											

7	36 カーテンレール	[20.2.16]	<p>・再使用する ・新設する</p> <p>材質 ※アルミニウム製及びアルミニウム合金の押出し成型材 ・ステンレス製 形式 ・シングル ・ダブル 強さによる区分 ※10-90 仕上げ ※アルマイト 形状 ※角形</p>																																									
	37 ブラインドボックス及びカーテンボックス		<p>・再使用する ・新設する</p> <p>溝型×深さ (mm) ・90×150 ・120×80 ・120×150 ・150×80 ・図示</p> <p>材質 ・集成材 (仕上げ: ) ※アルミニウム製 押出形材 (市販品) 表面処理 ・C-1 ・C-2 皮膜等の種類 ※標準仕様書 表14.2.1による ・鋼製 (仕上げ: )</p>																																									
	38 天井点検口		<table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>寸法</th> <th>形式</th> <th>外枠</th> <th>内枠</th> </tr> <tr> <td>※アルミニウム製</td> <td>※450×450 ・600×600</td> <td>・一般型</td> <td>・屋内外用 ・屋内用</td> <td>※縦線タイプ ・目地タイプ</td> </tr> </table> <p>(品質・性能・試験方法) 建築材料等品質性能表による</p>	材質	寸法	形式	外枠	内枠	※アルミニウム製	※450×450 ・600×600	・一般型	・屋内外用 ・屋内用	※縦線タイプ ・目地タイプ																															
	材質	寸法	形式	外枠	内枠																																							
※アルミニウム製	※450×450 ・600×600	・一般型	・屋内外用 ・屋内用	※縦線タイプ ・目地タイプ																																								
39 床点検口		<table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>寸法</th> <th>形式</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>(底板) ※鋼製</td> <td>・450×450</td> <td>・一般型</td> <td>・屋内外用 ・壁付き</td> </tr> <tr> <td>(枠) ※アルミニウム製</td> <td>※600×600</td> <td>・密閉型</td> <td>※屋内用 ※壁なし</td> </tr> <tr> <td>(目地) ※ステンレス製</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>(品質・性能・試験方法) 建築材料等品質性能表による</p>	材質	寸法	形式	備考	(底板) ※鋼製	・450×450	・一般型	・屋内外用 ・壁付き	(枠) ※アルミニウム製	※600×600	・密閉型	※屋内用 ※壁なし	(目地) ※ステンレス製																													
材質	寸法	形式	備考																																									
(底板) ※鋼製	・450×450	・一般型	・屋内外用 ・壁付き																																									
(枠) ※アルミニウム製	※600×600	・密閉型	※屋内用 ※壁なし																																									
(目地) ※ステンレス製																																												
8	① 材料	[7.1.3]	<p>屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 防火材料 ※室内の壁、天井仕上げは防火材料とする。 ・次の箇所を除き防火材料とする。(箇所: )</p>																																									
	② 下地調整	[7.2.1~7]	<p>塗替えR B種の場合の既存塗膜の除去範囲 ※変化部分は除去し、活版部分は残す 既存禁止塗料の鉛含有調査 ・行う ( ) 箇所 ・行わない</p> <p>下地調整</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">下地面の種類</th> <th colspan="2">下地調整の種類</th> <th rowspan="2">ひび割れ部の補修</th> </tr> <tr> <th>塗替え</th> <th>新規</th> </tr> <tr> <td>木部</td> <td>※R B種</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面</td> <td>※R B種</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>塗膜のつき剥離</td> <td>※R B種</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>塗膜のつき剥離 (鋼製建具)</td> <td>※R B種</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>モルタル、プaster面</td> <td>※R B種</td> <td>標準仕様書(18.2.1) 素地ごしらえによる</td> <td>・行う ・行わない</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面 (DP以外)、ALCパネル面</td> <td>※R B種</td> <td>・</td> <td>・行う ・行わない</td> </tr> <tr> <td>押出成形セメント板面</td> <td>・R A種 ※R B種 ・R C種</td> <td>・</td> <td>・行う ・行わない</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面 (DP)</td> <td>※R B種 ・R C種</td> <td>・</td> <td>・行う ・行わない</td> </tr> <tr> <td>せつこうボード面及びその他ボード面</td> <td>※R B種</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </table>	下地面の種類	下地調整の種類		ひび割れ部の補修	塗替え	新規	木部	※R B種	・	・	鉄鋼面	※R B種	・	・	塗膜のつき剥離	※R B種	・	・	塗膜のつき剥離 (鋼製建具)	※R B種	・	・	モルタル、プaster面	※R B種	標準仕様書(18.2.1) 素地ごしらえによる	・行う ・行わない	コンクリート面 (DP以外)、ALCパネル面	※R B種	・	・行う ・行わない	押出成形セメント板面	・R A種 ※R B種 ・R C種	・	・行う ・行わない	コンクリート面 (DP)	※R B種 ・R C種	・	・行う ・行わない	せつこうボード面及びその他ボード面	※R B種	・
下地面の種類	下地調整の種類		ひび割れ部の補修																																									
	塗替え	新規																																										
木部	※R B種	・	・																																									
鉄鋼面	※R B種	・	・																																									
塗膜のつき剥離	※R B種	・	・																																									
塗膜のつき剥離 (鋼製建具)	※R B種	・	・																																									
モルタル、プaster面	※R B種	標準仕様書(18.2.1) 素地ごしらえによる	・行う ・行わない																																									
コンクリート面 (DP以外)、ALCパネル面	※R B種	・	・行う ・行わない																																									
押出成形セメント板面	・R A種 ※R B種 ・R C種	・	・行う ・行わない																																									
コンクリート面 (DP)	※R B種 ・R C種	・	・行う ・行わない																																									
せつこうボード面及びその他ボード面	※R B種	・	・																																									

8	③ 禁止塗料塗里	[7.4.2, 3]	<p>禁止塗料塗里の種類</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">鉄鋼面</th> <th rowspan="2">塗装面</th> <th colspan="2">塗料</th> <th rowspan="2">工程</th> </tr> <tr> <th>塗料</th> <th>工程</th> </tr> <tr> <td rowspan="4">E P-G以外</td> <td rowspan="4">塗替え 新規鉄鋼面見え隠り 新規見え隠れ</td> <td>A種</td> <td>※C種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>A種</td> <td>※A種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>A種</td> <td>※B種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>B種</td> <td>※C種</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">E P-G</td> <td rowspan="4">塗替え 新規鉄鋼面見え隠り 新規見え隠れ</td> <td>B種</td> <td>※A種</td> <td>※A種</td> </tr> <tr> <td>B種</td> <td>※A種</td> <td>※A種</td> </tr> <tr> <td>B種</td> <td>※B種</td> <td>※C種</td> </tr> <tr> <td>B種</td> <td>※C種</td> <td>※C種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">E P-G以外</td> <td rowspan="2">塗替え 新規鋼製建具等</td> <td>※A種</td> <td>※B種</td> <td>※A種</td> </tr> <tr> <td>※A種</td> <td>※C種</td> <td>※C種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">E P-G</td> <td rowspan="2">塗替え 新規鋼製建具等</td> <td>C種</td> <td>※A種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>C種</td> <td>※A種</td> <td></td> </tr> </table>	鉄鋼面	塗装面	塗料		工程	塗料	工程	E P-G以外	塗替え 新規鉄鋼面見え隠り 新規見え隠れ	A種	※C種		A種	※A種		A種	※B種		B種	※C種		E P-G	塗替え 新規鉄鋼面見え隠り 新規見え隠れ	B種	※A種	※A種	B種	※A種	※A種	B種	※B種	※C種	B種	※C種	※C種	E P-G以外	塗替え 新規鋼製建具等	※A種	※B種	※A種	※A種	※C種	※C種	E P-G	塗替え 新規鋼製建具等	C種	※A種		C種	※A種																																																																					
	鉄鋼面	塗装面	塗料			工程																																																																																																																				
			塗料	工程																																																																																																																						
	E P-G以外	塗替え 新規鉄鋼面見え隠り 新規見え隠れ	A種	※C種																																																																																																																						
A種			※A種																																																																																																																							
A種			※B種																																																																																																																							
B種			※C種																																																																																																																							
E P-G	塗替え 新規鉄鋼面見え隠り 新規見え隠れ	B種	※A種	※A種																																																																																																																						
		B種	※A種	※A種																																																																																																																						
		B種	※B種	※C種																																																																																																																						
		B種	※C種	※C種																																																																																																																						
E P-G以外	塗替え 新規鋼製建具等	※A種	※B種	※A種																																																																																																																						
		※A種	※C種	※C種																																																																																																																						
E P-G	塗替え 新規鋼製建具等	C種	※A種																																																																																																																							
		C種	※A種																																																																																																																							
④ 塗装		<p>塗装の種類</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">塗装の種類</th> <th rowspan="2">塗装</th> <th colspan="2">工程</th> </tr> <tr> <th>塗替え</th> <th>新規</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">○合成樹脂塗料 ペイント塗り (SOP)</td> <td>木部屋外</td> <td>※B種</td> <td>※A種</td> </tr> <tr> <td>木部屋内</td> <td>※B種</td> <td>※B種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">塗料の種類 ※1種・2種</td> <td>鉄鋼面</td> <td>※B種</td> <td>※B種・A種</td> </tr> <tr> <td>塗膜のつき剥離 (鋼製建具)</td> <td>※A種</td> <td>※B種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">塗膜のつき剥離 (鋼製建具以外)</td> <td>鉄鋼面</td> <td>※B種</td> <td>※B種</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面等</td> <td>※B種</td> <td>※B種・A種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・クリヤラッカー塗り (QL)</td> <td>鉄鋼面</td> <td>※B種</td> <td>※B種</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面等</td> <td>※B種</td> <td>※B種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・アクリル樹脂系非水分散型塗料塗り (NAD)</td> <td>鉄鋼面</td> <td>※B種</td> <td>※B種</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面及び押出成形セメント板面</td> <td>※B種</td> <td>※B種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・耐蝕性塗料塗り (DP)</td> <td>上塗り等級 ( ) 級</td> <td>・</td> <td>A種</td> </tr> <tr> <td>塗膜のつき剥離</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP)</td> <td>上塗り等級 ( ) 級</td> <td>・</td> <td>A種</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面及びセメント板面</td> <td>・</td> <td>・A-1種 ・B-1種 ・C-1種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP)</td> <td>コンクリート面等</td> <td>※B種</td> <td>・A種 ・B種</td> </tr> <tr> <td>屋内の木部</td> <td>※B種</td> <td>※A種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">ペイント塗り (EP-G)</td> <td>屋内の鉄鋼面</td> <td>※B種</td> <td>・A種 ・B種</td> </tr> <tr> <td>屋内の塗膜のつき剥離</td> <td>※A種</td> <td>・A種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">○合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP)</td> <td>鉄鋼面</td> <td>※B種</td> <td>・A種 ・B種</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面及び押出成形セメント板面</td> <td>※B種</td> <td>・A種 ・B種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・合成樹脂エマルジョン模様塗料塗り (EP-T)</td> <td>鉄鋼面</td> <td>※B種</td> <td>・A種 ・B種</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面及び押出成形セメント板面</td> <td>※B種</td> <td>・A種 ・B種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ウレタン樹脂ワニス塗り (UC)</td> <td>鉄鋼面</td> <td>※B種</td> <td>・A種</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面及び押出成形セメント板面</td> <td>※B種</td> <td>・A種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・オイルステイン塗り (OS)</td> <td>鉄鋼面</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面及び押出成形セメント板面</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・木材保護塗料塗り (WP)</td> <td>鉄鋼面</td> <td>※B種</td> <td>※B種</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面及び押出成形セメント板面</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </table> <p>つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り (コンクリート面、モルタル面、プaster面、せつこうボード面、その他ボード面) の塗替えの場合のしめ止め ※改修標準仕様書 表7.9.1の工程1の下塗りをしめ止めシーラーとする</p> <p>合成樹脂エマルジョンペイント塗りの塗替えの場合のしめ止め ※改修標準仕様書 表7.10.1の工程1の下塗りをしめ止めシーラーとする</p> <p>・高反射反射率塗料塗り [G]</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">工程</th> <th colspan="4">塗料その他</th> <th rowspan="2">塗付け量 (kg/m2)</th> </tr> <tr> <th>規格番号</th> <th>規格名称</th> <th>種類</th> <th>等級</th> </tr> <tr> <td>塗料塗り</td> <td>JIS K 5675</td> <td>屋根用高反射率塗料</td> <td>2種</td> <td>・1級 ・2級 ・3級</td> <td>塗料製造所の仕様による</td> </tr> </table> <p>下地調整 (改修標準仕様書7.2.2) ・R種 ・RB種 ・RC種</p>	塗装の種類	塗装	工程		塗替え	新規	○合成樹脂塗料 ペイント塗り (SOP)	木部屋外	※B種	※A種	木部屋内	※B種	※B種	塗料の種類 ※1種・2種	鉄鋼面	※B種	※B種・A種	塗膜のつき剥離 (鋼製建具)	※A種	※B種	塗膜のつき剥離 (鋼製建具以外)	鉄鋼面	※B種	※B種	コンクリート面等	※B種	※B種・A種	・クリヤラッカー塗り (QL)	鉄鋼面	※B種	※B種	コンクリート面等	※B種	※B種	・アクリル樹脂系非水分散型塗料塗り (NAD)	鉄鋼面	※B種	※B種	コンクリート面及び押出成形セメント板面	※B種	※B種	・耐蝕性塗料塗り (DP)	上塗り等級 ( ) 級	・	A種	塗膜のつき剥離	・	・	・つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP)	上塗り等級 ( ) 級	・	A種	コンクリート面及びセメント板面	・	・A-1種 ・B-1種 ・C-1種	・つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP)	コンクリート面等	※B種	・A種 ・B種	屋内の木部	※B種	※A種	ペイント塗り (EP-G)	屋内の鉄鋼面	※B種	・A種 ・B種	屋内の塗膜のつき剥離	※A種	・A種	○合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP)	鉄鋼面	※B種	・A種 ・B種	コンクリート面及び押出成形セメント板面	※B種	・A種 ・B種	・合成樹脂エマルジョン模様塗料塗り (EP-T)	鉄鋼面	※B種	・A種 ・B種	コンクリート面及び押出成形セメント板面	※B種	・A種 ・B種	・ウレタン樹脂ワニス塗り (UC)	鉄鋼面	※B種	・A種	コンクリート面及び押出成形セメント板面	※B種	・A種	・オイルステイン塗り (OS)	鉄鋼面	・	・	コンクリート面及び押出成形セメント板面	・	・	・木材保護塗料塗り (WP)	鉄鋼面	※B種	※B種	コンクリート面及び押出成形セメント板面	・	・	工程	塗料その他				塗付け量 (kg/m2)	規格番号	規格名称	種類	等級	塗料塗り	JIS K 5675	屋根用高反射率塗料	2種	・1級 ・2級 ・3級	塗料製造所の仕様による
塗装の種類	塗装	工程																																																																																																																								
		塗替え	新規																																																																																																																							
○合成樹脂塗料 ペイント塗り (SOP)	木部屋外	※B種	※A種																																																																																																																							
	木部屋内	※B種	※B種																																																																																																																							
塗料の種類 ※1種・2種	鉄鋼面	※B種	※B種・A種																																																																																																																							
	塗膜のつき剥離 (鋼製建具)	※A種	※B種																																																																																																																							
塗膜のつき剥離 (鋼製建具以外)	鉄鋼面	※B種	※B種																																																																																																																							
	コンクリート面等	※B種	※B種・A種																																																																																																																							
・クリヤラッカー塗り (QL)	鉄鋼面	※B種	※B種																																																																																																																							
	コンクリート面等	※B種	※B種																																																																																																																							
・アクリル樹脂系非水分散型塗料塗り (NAD)	鉄鋼面	※B種	※B種																																																																																																																							
	コンクリート面及び押出成形セメント板面	※B種	※B種																																																																																																																							
・耐蝕性塗料塗り (DP)	上塗り等級 ( ) 級	・	A種																																																																																																																							
	塗膜のつき剥離	・	・																																																																																																																							
・つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP)	上塗り等級 ( ) 級	・	A種																																																																																																																							
	コンクリート面及びセメント板面	・	・A-1種 ・B-1種 ・C-1種																																																																																																																							
・つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP)	コンクリート面等	※B種	・A種 ・B種																																																																																																																							
	屋内の木部	※B種	※A種																																																																																																																							
ペイント塗り (EP-G)	屋内の鉄鋼面	※B種	・A種 ・B種																																																																																																																							
	屋内の塗膜のつき剥離	※A種	・A種																																																																																																																							
○合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP)	鉄鋼面	※B種	・A種 ・B種																																																																																																																							
	コンクリート面及び押出成形セメント板面	※B種	・A種 ・B種																																																																																																																							
・合成樹脂エマルジョン模様塗料塗り (EP-T)	鉄鋼面	※B種	・A種 ・B種																																																																																																																							
	コンクリート面及び押出成形セメント板面	※B種	・A種 ・B種																																																																																																																							
・ウレタン樹脂ワニス塗り (UC)	鉄鋼面	※B種	・A種																																																																																																																							
	コンクリート面及び押出成形セメント板面	※B種	・A種																																																																																																																							
・オイルステイン塗り (OS)	鉄鋼面	・	・																																																																																																																							
	コンクリート面及び押出成形セメント板面	・	・																																																																																																																							
・木材保護塗料塗り (WP)	鉄鋼面	※B種	※B種																																																																																																																							
	コンクリート面及び押出成形セメント板面	・	・																																																																																																																							
工程	塗料その他				塗付け量 (kg/m2)																																																																																																																					
	規格番号	規格名称	種類	等級																																																																																																																						
塗料塗り	JIS K 5675	屋根用高反射率塗料	2種	・1級 ・2級 ・3級	塗料製造所の仕様による																																																																																																																					
5 フッ素樹脂塗装		<p>打散しコンクリート面保護工法 (下塗材) 水性 浸透性吸水防止材 (上塗材) ・水性フッ素樹脂クレーヤー ・水性フッ素樹脂グラウクレーヤー</p>																																																																																																																								
6 焼付塗装		<table border="1"> <tr> <th>素材</th> <th>焼付種類</th> <th>仕上げ</th> <th>コート</th> <th>ベーク</th> <th>部位</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">・アルミニウム</td> <td>・フッ素樹脂</td> <td>・ソリッド</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ウレタン樹脂</td> <td>・メタリック</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・アクリル樹脂</td> <td>・メタリック</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">・ステンレス</td> <td>・フッ素樹脂</td> <td>・ソリッド</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ウレタン樹脂</td> <td>・メタリック</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・アクリル樹脂</td> <td>・メタリック</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">・塗膜のつき剥離</td> <td>・フッ素樹脂</td> <td>・ソリッド</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ウレタン樹脂</td> <td>・メタリック</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・アクリル樹脂</td> <td>・メタリック</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	素材	焼付種類	仕上げ	コート	ベーク	部位	・アルミニウム	・フッ素樹脂	・ソリッド				・ウレタン樹脂	・メタリック				・アクリル樹脂	・メタリック				・ステンレス	・フッ素樹脂	・ソリッド				・ウレタン樹脂	・メタリック				・アクリル樹脂	・メタリック				・塗膜のつき剥離	・フッ素樹脂	・ソリッド				・ウレタン樹脂	・メタリック				・アクリル樹脂	・メタリック																																																																					
素材	焼付種類	仕上げ	コート	ベーク	部位																																																																																																																					
・アルミニウム	・フッ素樹脂	・ソリッド																																																																																																																								
	・ウレタン樹脂	・メタリック																																																																																																																								
	・アクリル樹脂	・メタリック																																																																																																																								
・ステンレス	・フッ素樹脂	・ソリッド																																																																																																																								
	・ウレタン樹脂	・メタリック																																																																																																																								
	・アクリル樹脂	・メタリック																																																																																																																								
・塗膜のつき剥離	・フッ素樹脂	・ソリッド																																																																																																																								
	・ウレタン樹脂	・メタリック																																																																																																																								
	・アクリル樹脂	・メタリック																																																																																																																								

9	① 石綿含有建材の除去工事	[9.1.1.3~5]	<p>施工調査 ※石綿含有建材の事前調査 設計にて調査済み (内装部はクリソライト含有)</p> <p>工事着手に先立ち、目視及び臭気による設計図書等により石綿を含有している吹き付け材、成形板、建築材料等の使用の有無について調査する。</p> <p>調査範囲 (※改修対象部位 ・図示)</p> <p>貸与資料 ( )</p> <p>○分析による石綿含有建材の調査 ○設計に無いと思われる部位がある場合 (追加)</p> <p>分析対象 アクチノライト、アモサイト、アンソフィライト、クリソライト、クロソライト、トレモライト</p> <p>分析方法</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">材料名</th> <th colspan="2">定性分析 (JIS A 1481-1または JIS A 1481-2)</th> <th colspan="2">定量分析 (JIS A 1481-3または JIS A 1481-4)</th> </tr> <tr> <td>・箇所</td> <td>・箇所</td> <td>・箇所</td> <td>・箇所</td> </tr> </table> <p>サンプル数 1箇所あたり3サンプル 採取場所 ・図示</p> <p>石綿粉塵濃度測定 [9.1.1] 測定時期、場所及び測定点</p> <table border="1"> <tr> <th>適用</th> <th>測定名称</th> <th>測定時期</th> <th>測定場所</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・</td> <td>測定1</td> <td>処理作業前</td> <td>処理作業室内</td> <td>計点</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>測定2</td> <td>調査対象室外部の付近</td> <td>計点</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>測定3</td> <td>処理作業中</td> <td>処理作業室内</td> <td>計点</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>測定4</td> <td>セキュリティゾーン入口</td> <td>計点</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>測定5</td> <td>負圧、除じん装置の排出口 (処理作業室外の場合)</td> <td>出口吹き出し風速 1m/s以下の位置</td> <td>計点</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>測定6</td> <td>処理作業室内</td> <td>・施工区画周辺 ・敷地境界</td> <td>計点</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>測定7</td> <td>処理作業後 (シート養生中)</td> <td>処理作業室内</td> <td>計点</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>測定8</td> <td>処理作業後シート</td> <td>処理作業室内</td> <td>計点</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>測定9</td> <td>撤去後1週間以降</td> <td>調査対象室外部の付近</td> <td>計点</td> </tr> </table> <p>・JIS K 3850-1に基づいた測定 [9.1.1]</p> <table border="1"> <tr> <th>測定名称</th> <th>メンブレンフィルター 直径 (mm)</th> <th>試料の吸引 流量 (L/min)</th> <th>試料の吸引 時間 (min)</th> </tr> <tr> <td>・測定4</td> <td>2.5</td> <td>5</td> <td>3.0</td> </tr> <tr> <td>・測定5</td> <td>4.7</td> <td>1.0</td> <td>1.2.0</td> </tr> <tr> <td>・測定</td> <td>4.7</td> <td>1.0</td> <td>2.4.0</td> </tr> </table> <p>・自動測定機による測定</p> <table border="1"> <tr> <th>測定名称</th> <th>測定方法</th> </tr> <tr> <td>・測定4</td> <td>粉じん相対濃度計 (デジタル粉じん計)、パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器 (リアルタイムファイバーモニター) 等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定</td> </tr> <tr> <td>・測定5</td> <td></td> </tr> </table>	材料名	定性分析 (JIS A 1481-1または JIS A 1481-2)		定量分析 (JIS A 1481-3または JIS A 1481-4)		・箇所	・箇所	・箇所	・箇所	適用	測定名称	測定時期	測定場所	備考	・	測定1	処理作業前	処理作業室内	計点	・	測定2	調査対象室外部の付近	計点		・	測定3	処理作業中	処理作業室内	計点	・	測定4	セキュリティゾーン入口	計点		・	測定5	負圧、除じん装置の排出口 (処理作業室外の場合)	出口吹き出し風速 1m/s以下の位置	計点	・	測定6	処理作業室内	・施工区画周辺 ・敷地境界	計点	・	測定7	処理作業後 (シート養生中)	処理作業室内	計点	・	測定8	処理作業後シート	処理作業室内	計点	・	測定9	撤去後1週間以降	調査対象室外部の付近	計点	測定名称	メンブレンフィルター 直径 (mm)	試料の吸引 流量 (L/min)	試料の吸引 時間 (min)	・測定4	2.5	5	3.0	・測定5	4.7	1.0	1.2.0	・測定	4.7	1.0	2.4.0	測定名称	測定方法	・測定4	粉じん相対濃度計 (デジタル粉じん計)、パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器 (リアルタイムファイバーモニター) 等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定	・測定5	
	材料名	定性分析 (JIS A 1481-1または JIS A 1481-2)			定量分析 (JIS A 1481-3または JIS A 1481-4)																																																																															
		・箇所	・箇所	・箇所	・箇所																																																																															
	適用	測定名称	測定時期	測定場所	備考																																																																															
・	測定1	処理作業前	処理作業室内	計点																																																																																
・	測定2	調査対象室外部の付近	計点																																																																																	
・	測定3	処理作業中	処理作業室内	計点																																																																																
・	測定4	セキュリティゾーン入口	計点																																																																																	
・	測定5	負圧、除じん装置の排出口 (処理作業室外の場合)	出口吹き出し風速 1m/s以下の位置	計点																																																																																
・	測定6	処理作業室内	・施工区画周辺 ・敷地境界	計点																																																																																
・	測定7	処理作業後 (シート養生中)	処理作業室内	計点																																																																																
・	測定8	処理作業後シート	処理作業室内	計点																																																																																
・	測定9	撤去後1週間以降	調査対象室外部の付近	計点																																																																																
測定名称	メンブレンフィルター 直径 (mm)	試料の吸引 流量 (L/min)	試料の吸引 時間 (min)																																																																																	
・測定4	2.5	5	3.0																																																																																	
・測定5	4.7	1.0	1.2.0																																																																																	
・測定	4.7	1.0	2.4.0																																																																																	
測定名称	測定方法																																																																																			
・測定4	粉じん相対濃度計 (デジタル粉じん計)、パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器 (リアルタイムファイバーモニター) 等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定																																																																																			
・測定5																																																																																				
② 石綿含有吹付材の処理	[9.1.3]	<p>石綿含有吹付材の除去 除去対象範囲 ※図示 除去工法 ※ [9.1.3] (2) (7)による 除去した石綿含有吹付材等の飛散防止措置 ※湿潤化 ・固形化 除去した石綿含有吹付材の処分 ・埋立処分 (管理型最終処分場) ・中間処理 (溶融施設又は無害化処理施設)</p> <p>石綿含有保温材の除去 除去対象範囲 ※図示 除去工法 ・切断又は破砕して除去 ・手ばらし 除去した石綿含有保温材等の飛散防止措置 ※湿潤化 ・固形化 除去した石綿含有吹付材の処分 ・埋立処分 (管理型最終処分場) ・中間処理 (溶融施設又は無害化処理施設)</p>																																																																																		
③ 処理を行う石綿含有保温材等の仕様等		<table border="1"> <tr> <th>材料名</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>処理を行う範囲</th> </tr> <tr> <td>・石綿含有保温材</td> <td></td> <td>※図示</td> </tr> <tr> <td>・石綿含有耐火被覆板</td> <td></td> <td>※図示</td> </tr> <tr> <td>・石綿含有断熱材</td> <td></td> <td>※図示</td> </tr> </table> <p>石綿含有成形板、石綿含有仕上塗材又は石綿含有成形板 (下地調整材) の除去 除去対象範囲 ※図示 除去した石綿形成板等の処分 石綿含有せつこうボード ・埋立処分 (管理型最終処分場) 石綿含有せつこうボードを除く石綿含有成形板、石綿含有仕上塗材又は石綿含有成形板 (下地調整材) の除去 ・埋立処分 (管理型最終処分場) ・埋立処分 (安定型最終処分場) ・中間処理 (溶融施設又は無害化処理施設)</p> <p>石綿含有建材除去後の仕上げ工事 ・図示</p>	材料名	厚さ (mm)	処理を行う範囲	・石綿含有保温材		※図示	・石綿含有耐火被覆板		※図示	・石綿含有断熱材		※図示																																																																						
材料名	厚さ (mm)	処理を行う範囲																																																																																		
・石綿含有保温材		※図示																																																																																		
・石綿含有耐火被覆板		※図示																																																																																		
・石綿含有断熱材		※図示																																																																																		

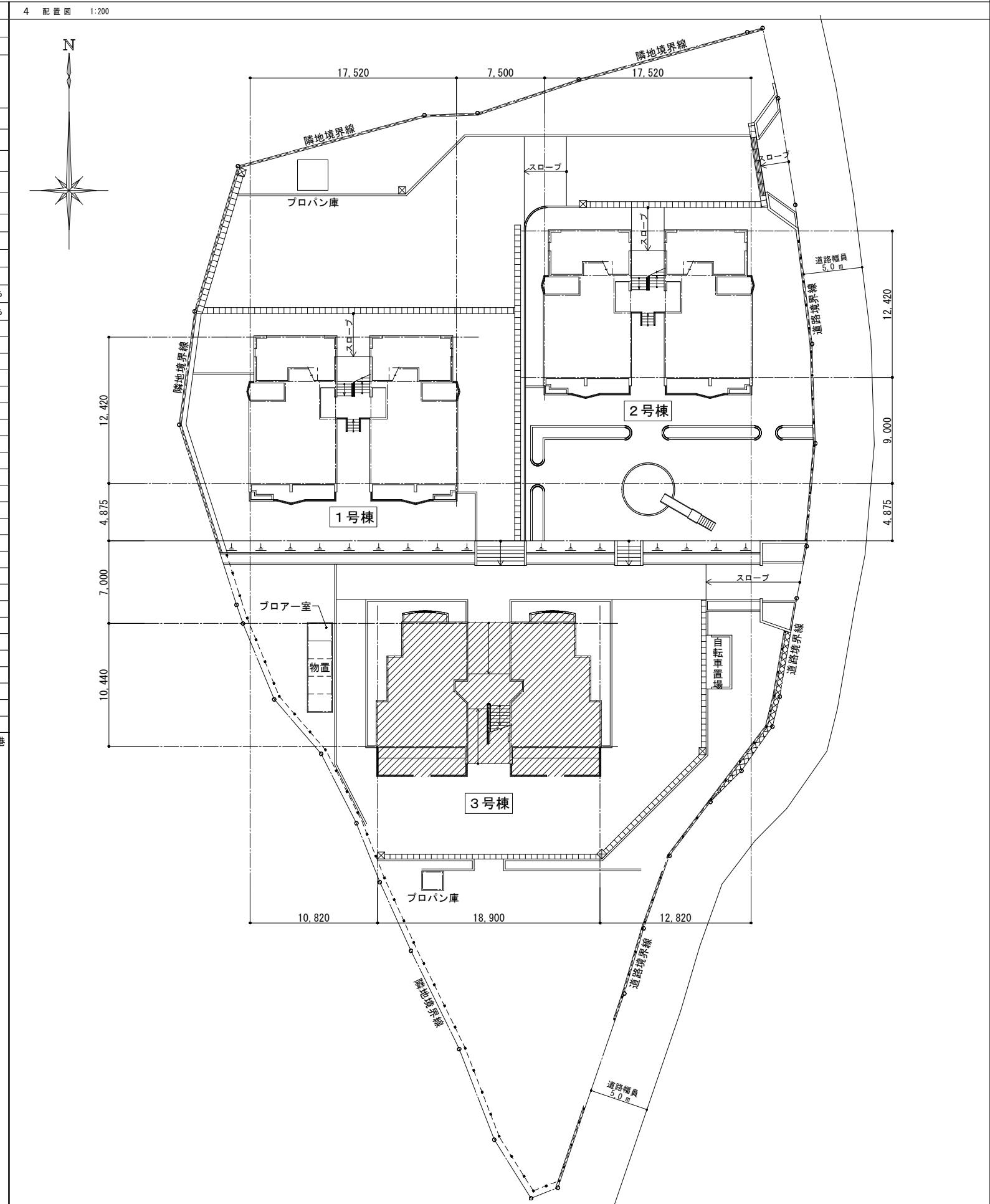
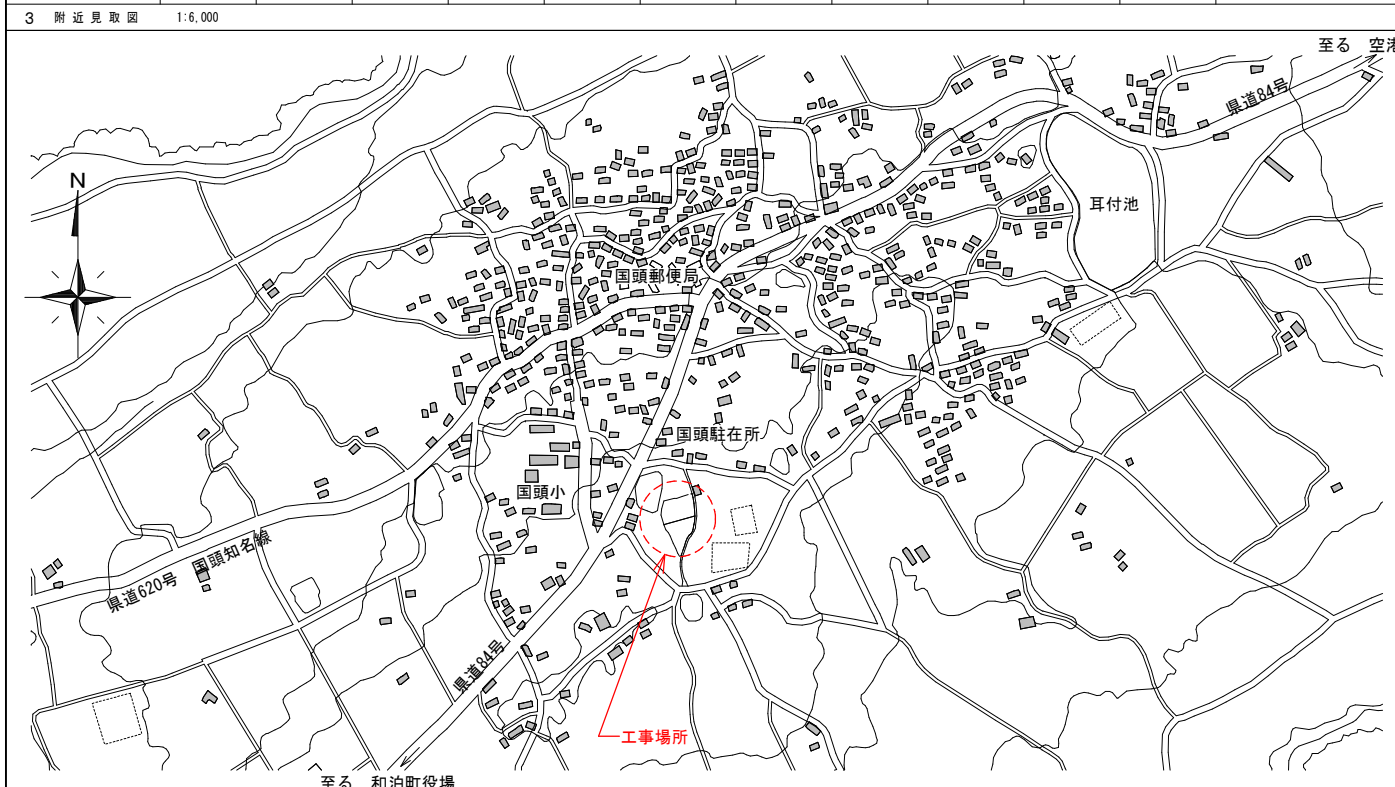
9 環境配慮型改修工事(中)	2 煙突用ライニング材 撤去 (高圧洗浄除去工法)	<p>範囲 ※図示 仕様は以下による</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 最下部戻出し口部分及び煙突頂部の離隔養生を行う。 最下部は洗浄水を受けるために防水シートを設置する。</li> <li>2) 頂部より高圧洗浄機を挿入し、煙突用ライニング材を温湿化させながら撤去作業を行う。</li> <li>3) 撤去後は撤去面に飛散防止材を吹付けける。</li> <li>4) 最下部で高圧洗浄機により撤去が困難な場合は手はつりにて撤去する。</li> <li>5) 石綿を含んだ洗浄水は固形化した上で密封処理及び梱包処理を行う。</li> <li>6) セキュリティーゾーン等の養生材を適切に除去する。</li> </ol> <p>撤去後の撤去面の調査は適切に行う。 石綿の処理は関係法令に基づき適切に処理する。 セキュリティーゾーンは関係法令に基づき適切に設置する。 煙突の頂部、最下部の撤去コンクリートは石綿が付着したものと適切に区分する。</p>	9 環境配慮型改修工事(続き)	6 透水性アスファルト 舗装改修工事(続き)	<p>試験</p> <p>砂の粒度試験 ・行う ・行わない 路床土の支持力比(CBR)試験 ・行う ・行わない 現場CBR試験 ・行う ・行わない 路床締固め度の試験 ・行う ・行わない</p> <p>路盤</p> <p>路盤の構成及び厚さ ・図示 ・</p> <p>路盤材料の種類</p> <table border="1"> <tr><th colspan="2">路盤材料の種類</th></tr> <tr><td>・再生材</td><td>・クラッシュラン ・粒度調整砕石</td></tr> <tr><td>※再生材 [G]</td><td>※クラッシュラン [G] ・粒度調整砕石 [G]</td></tr> <tr><td>・クラッシュラン鉄鋼スラグ [G]</td><td></td></tr> <tr><td>・粒度調整鉄鋼スラグ [G]</td><td></td></tr> <tr><td>・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ [G]</td><td></td></tr> </table> <p>舗装の構成 ※図示 ・ 細粒度アスファルト混合物等の抽出試験 ※行う ・行わない 舗装の平坦性 ※着しい不陸がないもの</p> <p>・サンプリングの採取(1次分析用) ※現場においてサンプリングを採取する 採取箇所 ※外壁目地 ・図示 ・ 採取箇所数 ※部材が異なるごとに1箇所 ・( )箇所</p> <p>・サンプリングの採取(2次分析用) ※現場においてサンプリングを採取する 採取箇所 ※外壁目地 ・図示 ・ 採取箇所数 ・( )箇所</p> <p>・発注者より貸与する 分析回数 ・( )箇所</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 採取作業はシーリング等が散逸することのないよう注意して行う。</li> <li>2) シーリング材は目地に打設されている形状のまま5cm程度をカッターナイフで切断し、ただちにポリエチレン製の密閉袋に保管し、No及び採取場所を記入する。 サンプルは1袋に1つつ入れること。</li> <li>3) カッターナイフの刃は、1つのサンプルを採取する毎に新しい部分に変えること。</li> <li>4) シーリング材を切除した部分は必要に応じて補修すること。補修材料は特記仕様書による</li> <li>5) 皮膚との接触を避けるため保護手袋及び保護マスクを着用する。</li> <li>6) 休憩時及び作業終了後は必ず手洗いを行う。</li> <li>7) 作業後は周囲を清掃し、散逸物を回収する。回収物はサンプリング残渣とその他のごみに分別し、サンプリング残渣と同様にポリエチレン製の密閉袋に入れる。</li> </ol> <p>・サンプルの分析 ・1次分析(シーリング種類の調査) 「シーリング材種判定及びPCB含有分析の要否判定書」を作成し、採取したサンプルと合わせて日本シーリング材工業会に送付し、分析を行うこと。 ・2次分析(PCB含有率調査) 専門分析機関にサンプルを送付しPCB含有分析を行うこと。</p> <p>・施工調査等 調査範囲 ※図示 ・( ) 箇所にあたり、あらかじめ次の事項について調査を行うこと。 シーリング使用部位の確認 シーリング長さの確認 施工範囲と工事管理区分の確認 廃棄物等の搬出方法</p> <p>・除去処分工事 PCBを含有したシーリング材の処理は次によるほか、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律(昭和45年法律137号)」並びに「ポリ塩化ビフェニル産業物の適正な処理の推進に関する特別措置法(平成13年法律65号)」により適切に行うこと。 1) 工事に先立ち施工計画書を作成し、監督職員の承認を得ること。 2) シーリング材の散逸防止として、床面、開口部、換気口等に養生を行い、作業区域から飛散防止措置を取ること。 3) 作業員は保護マスク及び保護手袋を着用すること。 4) シーリング材はカッターナイフ等を用い、下地が露出するまで極力切除する。 5) 除去工事終了後、シーリング材及び散逸物を回収しポリエチレン製の密閉袋に入れ保管容器に入れること。保管容器の形状、材質等は保管室、保管場所を考慮し、監督職員の承認を得たものとする。 6) 除去及び回収状況について監督職員の検査を受けること。 7) 工事着工後、設計図書によりがたい場合、又は不測の事象が発生した場合は監督職員と協議する。</p>	路盤材料の種類		・再生材	・クラッシュラン ・粒度調整砕石	※再生材 [G]	※クラッシュラン [G] ・粒度調整砕石 [G]	・クラッシュラン鉄鋼スラグ [G]		・粒度調整鉄鋼スラグ [G]		・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ [G]		10 アスファルト舗装 [22.4.2~6] [表22.4.2]	<p>アスファルト舗装の構成及び厚さ ※図示 ・</p> <p>材料</p> <p>アスファルト ※再生アスファルト [G] ・(60~80 80~100 ) ・ストレートアスファルト</p> <p>骨材 ・道路用砕石 ※アスファルトコンクリート再生骨材 [G]</p> <p>加齢アスファルト混合物等の種類 ※密粒度アスファルト混合物 (13) ・細粒度アスファルト混合物 (13)</p> <p>シールコートの乳剤の種類 ・PK-1 ・PK-2</p> <p>試験 アスファルト混合物等の抽出試験 ・行う ・行わない 舗装の平坦性 ※通行の支障となる水たまりを生じない程度</p>	10-1 耐震改修工事(続き)	4 鉄筋の定着長さ [8.3.4]	<p>鉄筋の定着長さ ・図示による(改修標準仕様書 表8.3.4) ( 地計図による )</p> <p>機械式定着工法 適用箇所 ○図示による( ) 種類 ・摩擦圧接結合 ・鋼合グラウト固定 ・嵌合グラウト固定 工法 ・第3者機関の評定等を取得している工法 必用定着長さ、補強筋形状、かぶり厚さ 品質確認、検査 ・評定等の評価内容による</p>
	路盤材料の種類																					
	・再生材	・クラッシュラン ・粒度調整砕石																				
	※再生材 [G]	※クラッシュラン [G] ・粒度調整砕石 [G]																				
	・クラッシュラン鉄鋼スラグ [G]																					
	・粒度調整鉄鋼スラグ [G]																					
・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ [G]																						
3 外断熱改修工事 [G] 表示形態の変更 [9.2.2~4]	<p>断熱材の種類 ・ [9.2.2~4] 断熱材の厚さ(mm) ・ ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・ 外装材</p> <table border="1"> <tr><th>種 類</th><th>防火性能</th><th>備 考</th></tr> <tr><td>・</td><td>・</td><td>・</td></tr> </table> <p>既存外壁の措置 既存外壁仕上げ材の撤去 ・あり ・なし 下地面の清掃 ・行う ・行わない 欠損部の改修工法 ・改修標準仕様書 第4章 外壁改修工事による 工法 1章適用区分による風圧力の( * 1.0 * 1.15 * 1.3 )倍の風圧力に対応した工法 不陸等の下地調整 通気層の有無 ・あり ( mm) ・なし 断熱材の施工 ※断熱材製造所の仕様による 外装材の施工 ・外装材製造所の仕様による 外装材の外壁への取り付け ・図示 ・ 笠木の施工 ・改修標準仕様書第3章 アルミニウム笠木による</p>	種 類	防火性能	備 考	・	・	・	7 PCB含有 シーリング材	10 耐震改修工事 共通事項	5 断熱・防露改修工事 [9.3.2~4]	<p>フェノールフォーム断熱材又は保温材、接着剤のホルムアルデヒド放散量 [9.3.2~4] ※規制対象外 ・断熱材打ち込み工法 断熱材 JIS A 9521に基づく発泡プラスチック断熱材 種類 ・ 厚さ(mm) ・ 施工場所 ・ 断熱材現場発泡工法 断熱材種類 ・A種I ・A種II ・種 吹付厚さ(mm) ※25 ・30 施工箇所 ・図示 ※窓廻り等の断熱材補修部分、ルーフトレン廻りの額下等、部分的に誇張りとしなければならない箇所 ・断熱材後張り工法 断熱材 JIS A 9521に基づく発泡プラスチック断熱材 種類 ・ 厚さ(mm) ・ 施工場所 ・ 断熱材にせっこうボード等を取り付けたパネル ・使用する</p>	10 耐震改修工事 鉄筋工事	5 鉄筋かぶり厚さ及び間隔(溶接金網を含む) [8.3.5]	<p>最小かぶり厚さ(目地底から算出を行う) ○図示による(改修標準仕様書 表8.3.6) ・図示による( ) 柱及び梁の主筋にD29以上の使用の有無 ・無し ・有り 適用箇所( ) 主筋のかぶり厚さ ※鉄筋径の1.5倍以上 耐久性上不利な部分(塩害等を受けるおそれのある部分等) ・無し ・有り 適用箇所( ) ・図示(改修標準仕様書 表8.3.6)に加える厚さ( )mm 鉄筋相互のあき(特殊な鉄筋を除く) [8.3.5] [図8.3.5] ・図示による(構造関係共通事項(配筋標準図)4.1) ・図示による( )</p>								
種 類	防火性能	備 考																				
・	・	・																				
4 断熱・防露改修工事 [G]	<p>フェノールフォーム断熱材又は保温材、接着剤のホルムアルデヒド放散量 [9.3.2~4] ※規制対象外 ・断熱材打ち込み工法 断熱材 JIS A 9521に基づく発泡プラスチック断熱材 種類 ・ 厚さ(mm) ・ 施工場所 ・ 断熱材現場発泡工法 断熱材種類 ・A種I ・A種II ・種 吹付厚さ(mm) ※25 ・30 施工箇所 ・図示 ※窓廻り等の断熱材補修部分、ルーフトレン廻りの額下等、部分的に誇張りとしなければならない箇所 ・断熱材後張り工法 断熱材 JIS A 9521に基づく発泡プラスチック断熱材 種類 ・ 厚さ(mm) ・ 施工場所 ・ 断熱材にせっこうボード等を取り付けたパネル ・使用する</p>	10 耐震改修工事 鉄筋工事	6 圧接完了後の試験 [8.3.8] (5.4.9) (5.4.10)	<p>超音波探傷試験 ※行う 箇所数 ・全圧接部 ・標準仕様書 5.4.10による採取試験</p>																		
5 屋上緑化改修工事 [G]	<p>植栽基盤及び材料 ・屋上緑化軽量システム ※適用する ・適用しない 芝及び地被類の根種並びに種類等 ※図示 ・ 見切り材、舗装材、排水孔、マルチング材等 ※図示 ・ (品質・性能・試験方法) 建築材料等品質性能表による かん水装置 ※設置する(種類 ・ ) 既存保護層の撤去 ・行う ・行わない ・改修標準仕様書 [3.2.3]による 新植した芝及び地被類の格補償の期間 引き渡しの日から1年</p>	10 耐震改修工事 鉄筋工事	7 機械式継手	<p>使用箇所 ・図示による( ) 性能(H12建告第1463号に適合するもの) [8.4.2] ・A級 機械式継手の種類及び工法( ) [8.4.2] 鉄筋相互のあき [8.3.5] 品質の確認方法 [8.4.2] ・図示による( ) ・評定等の評価内容による 施工完了後の継手部の試験 [8.4.2] ・外観試験 試験対象 ・全数 試験項目 ・評定等の評価内容による 試験方法 ・評定等の評価内容による ・超音波測定試験 試験対象 ・抜取り ロット ・1組の作業班が1日に行った継手箇所数、最大200箇所程度とする 試験の箇所数 1ロットに対して( )箇所 ・全数 試験項目 ・挿入長さ 試験方法 ・JIS Z 3064(鉄筋コンクリート用機械式継手の鉄筋挿入挿入長さの超音波測定試験方法及び判定基準)による</p>																		
6 透水性アスファルト 舗装改修工事 [9.5.2~5、9]	<p>適用範囲:歩道 既存舗装の撤去及び再利用 ※図示 ・ 路床</p> <table border="1"> <tr><th colspan="2">路床の材料</th><th>厚さ(mm)</th></tr> <tr><td>・盛土</td><td>・A種 ※B種 ・C種 ・D種 ・建設汚泥から再生した処理土 [G]</td><td>・図示 ・</td></tr> <tr><td>・凍上抑制層</td><td>※再生クラッシュラン [G] ・クラッシュラン ・切込み砂利</td><td>・図示 ・</td></tr> <tr><td>・フィルター層</td><td>※砂</td><td>・図示</td></tr> </table> <p>路床安定処理 ・適用する ・適用しない 路床安定処理の方法 ・添加材料による安定処理 種類 ・普通ポルトランドセメント ・高坪セメントB種 [G] ・フライッシュセメントB種 ・生石灰(・特号 ・1号) ・消石灰(・特号 ・1号) 添加量 kg/m<sup>2</sup>(目標CBR) ・3以上 ( ) 目標CBRを満足する添量量の確認方法 ・安定処理土のCBR試験 ・</p>	路床の材料		厚さ(mm)	・盛土	・A種 ※B種 ・C種 ・D種 ・建設汚泥から再生した処理土 [G]	・図示 ・	・凍上抑制層	※再生クラッシュラン [G] ・クラッシュラン ・切込み砂利	・図示 ・	・フィルター層	※砂	・図示	8 路床 [22.2.3、5] [表22.2.1]	8 溶接継手 [8.4.3]	<p>使用箇所 ・図示による( ) ・A級 溶接継手の工法( ) [8.4.3] 鉄筋相互のあき(改修標準仕様書 図8.3.5) ・( ) [8.3.5] 品質の確認方法 [8.4.3] ・図示による( ) 施工完了後の継手部の試験 [8.4.2] ・外観試験 試験対象 ・全数 試験項目 ・評定等の評価内容による 試験方法 ・評定等の評価内容による ・超音波深備試験 試験対象 ・抜取り ロット ・1組の作業班が1日に行った溶接箇所数、最大200箇所程度とする 試験の箇所数 1ロットに対して( )箇所 ・全数 試験項目 ・内部欠陥の検出 試験方法 ・JIS Z 3064(鉄筋コンクリート用異形棒鋼溶接部の超音波深備試験方法及び判定基準)による</p>						
路床の材料		厚さ(mm)																				
・盛土	・A種 ※B種 ・C種 ・D種 ・建設汚泥から再生した処理土 [G]	・図示 ・																				
・凍上抑制層	※再生クラッシュラン [G] ・クラッシュラン ・切込み砂利	・図示 ・																				
・フィルター層	※砂	・図示																				
9 路盤 [22.2.2、3、5] [表22.3.1]	<p>路盤の構成及び厚さ ・図示 ・</p> <p>路盤材料の種類</p> <table border="1"> <tr><th colspan="2">路盤材料の種類</th></tr> <tr><td>・砕石</td><td>・クラッシュラン ・粒度調整砕石</td></tr> <tr><td>・再生材 [G]</td><td>※クラッシュラン [G] ・粒度調整砕石</td></tr> <tr><td>・クラッシュラン鉄鋼スラグ [G]</td><td></td></tr> <tr><td>・粒度調整鉄鋼スラグ [G]</td><td></td></tr> <tr><td>・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ [G]</td><td></td></tr> </table> <p>路盤締固め度の試験 ※行う ・行わない</p>	路盤材料の種類		・砕石	・クラッシュラン ・粒度調整砕石	・再生材 [G]	※クラッシュラン [G] ・粒度調整砕石	・クラッシュラン鉄鋼スラグ [G]		・粒度調整鉄鋼スラグ [G]		・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ [G]		9 路盤 [22.2.2、3、5] [表22.3.1]	9 帯筋 [8.4.3]	<p>縦立の形の種別及び接手・定着 ・図示による(構造関係共通事項(配筋標準図)6.2) ・H形 ・( )形 ・図示による( )</p>						
路盤材料の種類																						
・砕石	・クラッシュラン ・粒度調整砕石																					
・再生材 [G]	※クラッシュラン [G] ・粒度調整砕石																					
・クラッシュラン鉄鋼スラグ [G]																						
・粒度調整鉄鋼スラグ [G]																						
・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ [G]																						

10-1 鉄骨工事 改修工事 (連続)	10 壁開口部の補強	一般壁 ・図示による(構造関係共通事項(配筋標準図)6.2(・A型・B型)) 耐震壁 ・図示による( )	10-2 耐震改修工事 コンクリート工事	6 ひび割れ誘発目地 打継目地 (6.6.4)(6.8.2)(9.7.3) 標準仕様書9.7.3による ・図示による( ) 間隔、位置、形状 ・図示による( )	0-3 耐震改修工事 鉄骨工事(続き)	6 溶融重合めっき 高力ボルト (8.2.9) [8.2.9] [8.13.2] [8.20.5]	17 溶接接合 (8.15.4) [8.15.7] [8.15.7]	開先の形状 ・図示による(構造関係共通事項(鉄骨標準図)1-2) ・図示による( ) スカラップの形状 ・図示による(構造関係共通事項(鉄骨標準図)1-4) ・図示による( ) エンドタブの切除する部分 ・全て ・見え掛り部となる部分 ・切除する部分なし 切断する範囲 ・鋼製エンドタブ、裏あて金等は、梁フランジの端から直線状に切断する。その際の残し寸法は5mm以下とする。 なお、切断面が交差する場合は交差部をアール状に加工する。
	11 最上階柱頭補強	補強方法 ・図示による( )	7 コンクリートの 仕上り [8.1.4][8.2.7]	合板せき板を用いるコンクリートの打直し仕上げ ※コンクリートの打直し仕上げ種類と適用箇所は図示による	7 アンカーボルト (7.2.4)(表7.2.3)	18 現場溶接の有無 ・有り 適用箇所 ・図示による( )	切断面の仕上り ・改修標準仕様書8.15.7(1)(b)(2)による 溶接部の余盛り高さ ・JISS6付則6「鉄骨精度検査基準」付表3「溶接」による	
	12 片持ちスラブの 出隅部の補強配筋 (出隅受け部分の 補強筋を含む)	配筋方法 ・図示による( ) 出隅部分及び出隅受け部の補強筋 ・図示による( )	8 打増し厚さ (打直し仕上げ部) [8.7.8]	8 打増し厚さ (打直し仕上げ部) ○打直し厚さ(仕上げ塗材、塗装等の仕上げを行う部分を含む)の打増し厚さ(外部に面する部分に限る) ○20mm ・打直し厚さ(仕上げ塗材、塗装等の仕上げを行う部分を含む)の打増し厚さ(内部に面する部分に限る)	7 アンカーボルト (7.2.4)(表7.2.3)	19 入熱、バス開温度 の溶接条件 [8.15.7][8.15.10]	19 入熱、バス開温度 の溶接条件 ・図示による(構造関係共通事項(鉄骨標準図)1-4) ・図示による( )	鋼材と溶接材料の組合せと溶接条件 ・図示による(構造関係共通事項(鉄骨標準図)1-4) ・図示による( )
	13 梁貫通孔の補強	補強形式 ・図示による(構造関係共通事項(配筋標準図)11.1) 配筋種別 ・図示による(構造関係共通事項(配筋標準図)11.1) 梁貫通孔径(部材記号含む)及び配筋種別リスト ・図示による( )	9 型枠 [8.2.7]	せき板の材料及び厚さ ○合板(※12mm) [G] (但し、グリーン購入法基本方針における「合板型枠」の備考3の表示がある合板型枠を用いる場合に限る。 断熱材を用いた型枠材の使用 ・行う 適用箇所( ) ・行わない スリーブの材種・規格等 ・改修標準仕様書8.2.7(7)及び表8.2.6による	8 溶接材料 (8.2.10)	20 溶接部の試験 [8.15.12]	20 溶接部の試験 ・行わない ※行う ・工場溶接の場合 ・全数検査 ・計数調整型抜取検査 AQL(%) (4.0, 2.5) 部 全て 検査水準 第3水準	完全溶込み部の超音波探傷試験 ・行わない ※行う ・工場溶接の場合 ・全数検査 ・計数調整型抜取検査 AQL(%) (4.0, 2.5) 部 全て 検査水準 第3水準
	14 基礎梁主筋の継手	・図示による( )	10 コンクリートの 打込み工法等 [8.21.8][8.23.5]	部位毎のコンクリート打設工法の指定 [8.21.8][8.23.5]	9 ターンバックル (7.2.6)	21 錆止め塗装 [8.17.4]	21 錆止め塗装 ・鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼筋スリーブの内面の錆止め塗料(鉄骨に溶接されたものに限り) [8.17.4] ※改修標準仕様書 表7.3.1「種別」 ・塗装を行う耐火被覆材の接着面 適用箇所 ・図示による( ) 塗料の種類 ・改修標準仕様書 表7.3.1( )種 ・改修標準仕様書 表7.3.2( )種	現場溶接の有無 ・有り 適用箇所 ・図示による( )
	15 既存構造物との 取合い	割製補強筋 [8.22.7]	10-3 耐震改修工事 鉄骨工事	鉄骨製作工場の加工能力 [8.1.5]	10 床構造用 デッキプレート (6.8.2)(7.2.7)	22 耐火被覆 [8.18.2~8]	22 耐火被覆 種別及び性能 [8.18.2~8]	現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事における既存構造物と増設壁との取合いの処理方法 [8.21.9]
	10-2 鉄骨工事 改修工事 (連続)	16 既存部分の処理	既存コンクリートの目荒らしの程度 [8.21.3]	1 鉄骨製作工場 [8.1.5]	11 スタッド [8.2.11]	23 アンカーボルトの 設置等 (7.10.3)(表7.10.1)	23 アンカーボルトの 設置等 (7.10.3)(表7.10.2)	既存コンクリートの目荒らしの程度 [8.21.3]
		17 既存部分の処理	既存コンクリートの目荒らしの範囲 [8.21.3]	2 鉄骨製作工場における 施工管理技術書 (7.1.4)[8.1.6]	12 柱底均しモルタル [8.2.12]	13 鉄骨の工作 [8.13.2]	13 鉄骨の工作 [8.13.2]	現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事における既存構造物と増設壁との取合いの処理方法 [8.21.9]
		18 既存部分の処理	現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事における既存構造物と増設壁との取合いの処理方法 [8.21.9]	3 鋼材 [8.2.8][表8.2.7]	13 鉄骨の工作 [8.13.2]	14 鉄骨の製作精度 [8.13.3]	14 鉄骨の製作精度 [8.13.3]	現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事における既存構造物と増設壁との取合いの処理方法 [8.21.9]
		19 既存部分の処理	増設壁工事後の仕上げ [8.19.10]	4 高力ボルト [8.2.9]	14 鉄骨の製作精度 [8.13.3]	15 鉄骨の仮組 [8.13.10]	15 鉄骨の仮組 [8.13.10]	増設壁工事後の仕上げ [8.19.10]
		20 既存部分の処理	既存コンクリートの新規設機スリーブ設置 [8.21.3]	5 普通ボルト [8.2.3]	16 溶接技能者の 技量付加試験 [8.15.3]	16 溶接技能者の 技量付加試験 [8.15.3]	16 溶接技能者の 技量付加試験 [8.15.3]	既存コンクリートの新規設機スリーブ設置 [8.21.3]
		21 既存部分の処理	現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事における既存構造物と増設壁との取合いの処理方法 [8.21.9]	6 ひび割れ誘発目地 打継目地 (6.6.4)(6.8.2)(9.7.3) 標準仕様書9.7.3による ・図示による( ) 間隔、位置、形状 ・図示による( )	17 溶接技能者の 技量付加試験 [8.15.3]	17 溶接技能者の 技量付加試験 [8.15.3]	17 溶接技能者の 技量付加試験 [8.15.3]	現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事における既存構造物と増設壁との取合いの処理方法 [8.21.9]
		22 既存部分の処理	現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事における既存構造物と増設壁との取合いの処理方法 [8.21.9]	7 コンクリートの 仕上り [8.1.4][8.2.7]	18 現場溶接の有無 [8.15.7]	18 現場溶接の有無 [8.15.7]	18 現場溶接の有無 [8.15.7]	現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事における既存構造物と増設壁との取合いの処理方法 [8.21.9]
		23 既存部分の処理	現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事における既存構造物と増設壁との取合いの処理方法 [8.21.9]	8 打増し厚さ (打直し仕上げ部) [8.7.8]	19 入熱、バス開温度 の溶接条件 [8.15.7][8.15.10]	19 入熱、バス開温度 の溶接条件 [8.15.7][8.15.10]	19 入熱、バス開温度 の溶接条件 [8.15.7][8.15.10]	現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事における既存構造物と増設壁との取合いの処理方法 [8.21.9]
		24 既存部分の処理	現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事における既存構造物と増設壁との取合いの処理方法 [8.21.9]	9 型枠 [8.2.7]	20 溶接部の試験 [8.15.12]	20 溶接部の試験 [8.15.12]	20 溶接部の試験 [8.15.12]	現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事における既存構造物と増設壁との取合いの処理方法 [8.21.9]
25 既存部分の処理		現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事における既存構造物と増設壁との取合いの処理方法 [8.21.9]	10 コンクリートの 打込み工法等 [8.21.8][8.23.5]	21 錆止め塗装 [8.17.4]	21 錆止め塗装 [8.17.4]	21 錆止め塗装 [8.17.4]	現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事における既存構造物と増設壁との取合いの処理方法 [8.21.9]	

10-4	①	あと施工アンカー	<p>種類</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>金属系 セット方式 <ul style="list-style-type: none"> <li>本体打込み式 (改良型・従来型)</li> </ul> </li> <li>アンカー本体の径及び埋込み深さ <ul style="list-style-type: none"> <li>図示による ( )</li> </ul> </li> <li>引張耐力 <ul style="list-style-type: none"> <li>図示による ( )</li> </ul> </li> <li>せん断耐力 <ul style="list-style-type: none"> <li>図示による ( )</li> </ul> </li> <li>接合部の種類、径、長さ <ul style="list-style-type: none"> <li>図示による ( )</li> </ul> </li> </ul> <p>○接着系</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○カプセル式</li> <li>○有機系</li> <li>○無機系</li> </ul> <p>接着剤の品質</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>アンカー本体の径及び埋込み深さ <ul style="list-style-type: none"> <li>図示による (φ12×100(個))</li> <li>φ10, 8×90(個)</li> </ul> </li> <li>引張耐力 <ul style="list-style-type: none"> <li>図示による (メーカー仕様による)</li> </ul> </li> <li>せん断耐力 <ul style="list-style-type: none"> <li>図示による (メーカー仕様による)</li> </ul> </li> <li>施工方式 <ul style="list-style-type: none"> <li>図示による (メーカー仕様による)</li> </ul> </li> <li>アンカー筋の種類、径、長さ <ul style="list-style-type: none"> <li>図示による (S235(体重 D13-L=250(個))</li> <li>D10-L=200(個フック付))</li> </ul> </li> </ul> <p>あと施工アンカーの性能確認試験</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>実施する ※実施しない</li> <li>試験方法 <ul style="list-style-type: none"> <li>(一社) 日本建築あと施工アンカー協会とあと施工アンカー標準試験法による</li> </ul> </li> <li>試験対象のあと施工アンカー試験数 <ul style="list-style-type: none"> <li>図示による ( )</li> </ul> </li> </ul>	<p>1 スリットの方式及び充填材 [8.25.2]</p> <table border="1"> <tr> <th>方向</th> <th>タイプ</th> <th>耐火性能</th> <th>防水性能</th> <th>遮音性能</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・垂直方向</td> <td>※完全</td> <td>・耐火型</td> <td>・有り</td> <td>・有り</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・水平方向</td> <td>(全貫通型)</td> <td>・非耐火型</td> <td>・無し</td> <td>・無し</td> <td></td> </tr> </table> <p>耐火材の使用箇所及び仕様 図示による ( )</p> <p>遮音材の使用箇所及び仕様 図示による ( )</p> <p>目地</p> <table border="1"> <tr> <th>目地</th> <th>内 壁</th> <th>外 壁</th> </tr> <tr> <td>目地材</td> <td>・シーリング材 (見え掛りのみ)</td> <td>・シーリング材 (見え掛りのみ)</td> </tr> <tr> <td>目地寸法 (幅mm×深さmm)</td> <td>・20×10</td> <td>・20×10</td> </tr> </table> <p>目地材の材質は標準仕様書 表9.7.1による</p>	方向	タイプ	耐火性能	防水性能	遮音性能	備考	・垂直方向	※完全	・耐火型	・有り	・有り		・水平方向	(全貫通型)	・非耐火型	・無し	・無し		目地	内 壁	外 壁	目地材	・シーリング材 (見え掛りのみ)	・シーリング材 (見え掛りのみ)	目地寸法 (幅mm×深さmm)	・20×10	・20×10	<p>2 スリットの施工 [8.25.2]</p> <p>既存撤去部の配管等の探査 [8.25.2]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>鉄筋探査機 (金属探知機) により探査し、鉄筋、配管類の位置に墨出しを行う。</li> <li>はつり出しによる</li> </ul> <p>スリットの幅及び深さ [8.25.2]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>図示による ( )</li> </ul>	<p>0-8 2 既製コンクリート杭地業 (続き)</p> <p>杭継手工法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アーク溶接継手</li> <li>・標準仕様書 4.3.6による</li> </ul> <p>溶接材料</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・標準仕様書 7.2.5(1)(2)による</li> <li>・図示による ( )</li> <li>・無溶接継手 (継手部に接続金具を用いた方式のもの)</li> </ul> <p>工法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※評定等を受けた工法 (・図 による)</li> </ul> <p>検査</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※評定等により定められた項目 (・図 による)</li> </ul> <p>施工</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※評価等をされた施工管理基準による (・図 による)</li> </ul> <p>杭頭の処理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行う</li> <li>処理方法 (切断ともなう補強方法を含む)</li> <li>・図示による ( )</li> <li>・行わない</li> </ul> <p>杭頭の中詰め材料</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※基礎のコンクリートと同割合のもの (4.3.8)</li> </ul> <p>種類の記号 (4.4.3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・SKK400</li> <li>・SKK490</li> </ul> <p>寸法、継手等 (4.2.2) (4.4.5)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">試験杭</th> <th rowspan="2">種類</th> <th rowspan="2">杭径 (mm)</th> <th rowspan="2">板厚 (mm)</th> <th rowspan="2">杭長 (m)</th> <th rowspan="2">継手数</th> <th rowspan="2">長期設計支持力 (kN/本)</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>上杭</th> <th>中杭</th> <th>下杭</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">本杭</td> <td>上杭</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>中杭</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">下杭</td> <td>上杭</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>中杭</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>試験杭の施工 ※本杭の施工に先立ち行う (4.4.3)</p> <p>試験杭の位置、本数 ※最初の本 図示による ( )</p> <p>杭先端部形状</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開放形</li> <li>・半開放形</li> <li>・閉そく形</li> </ul> <p>施工方法 (4.4.1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特定埋込杭工法 (4.3.5)</li> <li>・H13国土交通省告示第1113号第6による地盤の許容支持力方式でα=250を採用できる工法</li> <li>・図示による ( )</li> <li>・上記以外の特定埋込杭工法 図示による ( )</li> </ul> <p>工法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中掘り拡大掘削工法</li> </ul> <p>杭の精度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水平方向の位置ずれ</li> <li>・杭径の1/4かつ100mm以下</li> <li>・杭の傾斜</li> <li>・1/100以内</li> </ul> <p>杭の現場継手</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・溶接継手</li> <li>・JIS A 5525による</li> </ul> <p>溶接材料</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・標準仕様書 7.2.5(1)(2)による</li> <li>・図示による ( )</li> <li>・無溶接継手 (継手部に接続金具を用いた方式のもの)</li> </ul> <p>工法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※評定等を受けた工法 (・図 による)</li> </ul> <p>検査</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※評定等により定められた項目 (・図 による)</li> </ul> <p>施工</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※評価等をされた施工管理基準による (・図 による)</li> </ul> <p>杭頭の処理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行う</li> <li>処理方法 (切断ともなう補強方法を含む)</li> <li>・図示による ( )</li> <li>・行わない</li> </ul> <p>杭頭の中詰め材料</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎のコンクリートと同割合のもの (4.3.8) (4.4.6)</li> </ul>	試験杭	種類	杭径 (mm)	板厚 (mm)	杭長 (m)	継手数	長期設計支持力 (kN/本)	備考	上杭	中杭	下杭	本杭	上杭							中杭							下杭	上杭							中杭							<p>0-8 4 場所打ちコンクリート杭地業</p> <p>杭径、長さ、仕様等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図示による ( )</li> </ul> <p>材料その他 (4.5.4) (6.3.1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>帯筋 図示による ( )</li> <li>鉄筋の最小かぶり厚さ 図示による ( )</li> <li>セメントの種類</li> <li>※高炉セメントB種 G</li> <li>コンクリートの種類 (4.5.4) (表4.5.1)</li> <li>・A種</li> <li>・B種</li> <li>・認定等の内容による</li> <li>コンクリートの設計基準強度 ( ) N/mm<sup>2</sup> (4.5.3~6)</li> <li>構造体強度補正値 (S) (4.5.4)</li> <li>・3N/mm<sup>2</sup></li> <li>・認定等の内容による</li> </ul> <p>掘削工法 (4.5.1) (4.5.4.5)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アースドリル工法</li> <li>安定液 使用する 使用しない</li> <li>・リバース工法</li> <li>・オールケーシング工法</li> <li>孔内の水張り 行う 行わない</li> </ul> <p>供用する工法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・場所打ち鋼管コンクリート杭工法 図示による ( )</li> <li>鋼管巻き材料 SKK400 SKK490</li> <li>・拡張杭工法 図示による ( )</li> <li>安定液 使用する 使用しない</li> </ul> <p>試験杭 (4.2.2) (4.5.4.6)</p> <p>試験杭の施工 ※本杭の施工に先立ち行う</p> <p>試験杭の位置、本数 ※最初の本 図示による ( )</p> <p>孔壁測定 (4.5.4.6)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行う</li> <li>測定方法、測定箇所は図示による ( )</li> <li>・行わない</li> </ul> <p>杭の精度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水平方向の位置ずれ</li> <li>・100mm以下</li> <li>・杭の傾斜</li> <li>・1/100以内</li> </ul> <p>工法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・法層混合処理工法 (セメント系固化工法を用いた工法による改良)</li> <li>・適用範囲、仕様及び計測、試験は図示による ( )</li> <li>・長期設計支持力 ( ) kN/m<sup>2</sup></li> <li>・深層混合処理工法</li> <li>・適用範囲、仕様及び計測、試験は図示による ( )</li> <li>・長期設計支持力 ( ) kN/m<sup>2</sup></li> </ul> <p>6 置換コンクリート地業 (ラッブルコンクリート地業)</p> <p>形状、支持地盤、仕様 図示による ( )</p> <p>長期設計支持力 ( ) kN/m<sup>2</sup></p> <p>セメントの種類 (6.3.1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※高炉セメントB種 G</li> <li>コンクリートの設計基準強度 ( ) N/mm<sup>2</sup></li> <li>構造体強度補正値 (S) = ( ) N/mm<sup>2</sup></li> </ul> <p>7 液状化対策</p> <p>工法 ( )</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>仕様、範囲、計測、試験等</li> <li>・図示による ( )</li> </ul> <p>8 砂利地業 (4.6.2)</p> <p>材料</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※再生クラッシュラン G</li> <li>・切込砂利及び切込砕石</li> </ul> <p>厚さ及び使用範囲 (4.6.3)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>厚 さ</th> <th>使 用 範 囲</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※60</td> <td>基礎スラブ下、基礎梁下、土間コンクリート下、土に接するスラブ下</td> </tr> </tbody> </table> <p>9 捨コンクリート地業 (4.6.4) (6.14.1~3)</p> <p>コンクリートの仕様</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※無筋コンクリートによる</li> <li>セメントの種類 (6.3.1)</li> <li>※高炉セメントB種 G</li> </ul> <p>厚さ及び使用範囲 (4.6.4)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>厚 さ</th> <th>使 用 範 囲</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※50</td> <td>基礎スラブ下、基礎梁下、土に接するスラブ下</td> </tr> </tbody> </table> <p>10 床下防湿層 (4.6.2.5)</p> <p>施工範囲</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・建物内の土間スラブ及び土間コンクリート下 (ピット下を除く)</li> </ul> <p>材料</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ポリエチレンフィルム厚さ0.15mm以上</li> </ul> <p>防湿層の位置 図示による ( )</p>	厚 さ	使 用 範 囲	※60	基礎スラブ下、基礎梁下、土間コンクリート下、土に接するスラブ下	厚 さ	使 用 範 囲	※50	基礎スラブ下、基礎梁下、土に接するスラブ下
		方向	タイプ	耐火性能	防水性能	遮音性能	備考																																																																												
・垂直方向	※完全	・耐火型	・有り	・有り																																																																															
・水平方向	(全貫通型)	・非耐火型	・無し	・無し																																																																															
目地	内 壁	外 壁																																																																																	
目地材	・シーリング材 (見え掛りのみ)	・シーリング材 (見え掛りのみ)																																																																																	
目地寸法 (幅mm×深さmm)	・20×10	・20×10																																																																																	
試験杭	種類	杭径 (mm)	板厚 (mm)	杭長 (m)	継手数	長期設計支持力 (kN/本)	備考																																																																												
								上杭	中杭	下杭																																																																									
本杭	上杭																																																																																		
	中杭																																																																																		
下杭	上杭																																																																																		
	中杭																																																																																		
厚 さ	使 用 範 囲																																																																																		
※60	基礎スラブ下、基礎梁下、土間コンクリート下、土に接するスラブ下																																																																																		
厚 さ	使 用 範 囲																																																																																		
※50	基礎スラブ下、基礎梁下、土に接するスラブ下																																																																																		
10-7	耐震改修工事	耐震スリット新設工事	<p>1 スリットの方式及び充填材 [8.25.2]</p> <table border="1"> <tr> <th>方向</th> <th>タイプ</th> <th>耐火性能</th> <th>防水性能</th> <th>遮音性能</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・垂直方向</td> <td>※完全</td> <td>・耐火型</td> <td>・有り</td> <td>・有り</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・水平方向</td> <td>(全貫通型)</td> <td>・非耐火型</td> <td>・無し</td> <td>・無し</td> <td></td> </tr> </table> <p>耐火材の使用箇所及び仕様 図示による ( )</p> <p>遮音材の使用箇所及び仕様 図示による ( )</p> <p>目地</p> <table border="1"> <tr> <th>目地</th> <th>内 壁</th> <th>外 壁</th> </tr> <tr> <td>目地材</td> <td>・シーリング材 (見え掛りのみ)</td> <td>・シーリング材 (見え掛りのみ)</td> </tr> <tr> <td>目地寸法 (幅mm×深さmm)</td> <td>・20×10</td> <td>・20×10</td> </tr> </table> <p>目地材の材質は標準仕様書 表9.7.1による</p>	方向	タイプ	耐火性能	防水性能	遮音性能	備考	・垂直方向	※完全	・耐火型	・有り	・有り		・水平方向	(全貫通型)	・非耐火型	・無し	・無し		目地	内 壁	外 壁	目地材	・シーリング材 (見え掛りのみ)	・シーリング材 (見え掛りのみ)	目地寸法 (幅mm×深さmm)	・20×10	・20×10	<p>2 スリットの施工 [8.25.2]</p> <p>既存撤去部の配管等の探査 [8.25.2]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>鉄筋探査機 (金属探知機) により探査し、鉄筋、配管類の位置に墨出しを行う。</li> <li>はつり出しによる</li> </ul> <p>スリットの幅及び深さ [8.25.2]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>図示による ( )</li> </ul>	<p>0-8 1 支持地盤 (4.3.4.5) (4.4.4) (4.5.5.6)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・杭基礎</li> <li>支持地盤の種類及び位置 (基礎ぐい先の先端の位置含む)</li> <li>・図示による ( )</li> <li>・直接基礎 (4.5.4.5)</li> <li>支持地盤の種類及び位置 (基礎底部の位置含む)</li> <li>・図示による ( )</li> <li>長期設計支持力 ( ) kN/m<sup>2</sup></li> <li>試験値 (根切り底) による支持地盤の確認</li> <li>・行う 位置等は図示による ( )</li> <li>・行わない</li> </ul> <p>地盤の載荷試験 (4.2.4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行う 試験の位置、方法等は図示による ( )</li> <li>・行わない</li> </ul>	<p>0-8 2 既製コンクリート杭地業 (4.3.3)</p> <p>種類</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・遠心高強度プレストレストコンクリート杭 (PHC杭)</li> <li>・外装鋼管付きコンクリート杭 (SCH杭)</li> <li>SCH杭の鋼管材料 SKK400 SKK490</li> <li>・プレストレスト鉄筋コンクリート杭 (PRC杭)</li> </ul> <p>試験値</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行う 孔径はオーガーとする 位置及び長さは図示による ( )</li> <li>試験値の施工は試験杭の施工に先立ち行う</li> <li>・行わない</li> </ul> <p>寸法、継手、性能等 (種別：種類、性能及び曲げ強度区分) (4.2.2) (4.3.3)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">試験杭</th> <th rowspan="2">種類</th> <th rowspan="2">コンクリート強度 (N/mm<sup>2</sup>)</th> <th rowspan="2">杭径 (mm)</th> <th rowspan="2">杭長 (m)</th> <th rowspan="2">継手数</th> <th rowspan="2">長期設計支持力 (kN/本)</th> </tr> <tr> <th>上杭</th> <th>中杭</th> <th>下杭</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">本杭</td> <td>上杭</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>中杭</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">下杭</td> <td>上杭</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>中杭</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>試験杭の施工 ※本杭の施工に先立ち行う (4.3.3)</p> <p>試験杭の位置、本数 ※最初の本 図示による ( )</p> <p>杭先端部形状 (4.3.3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開放形</li> <li>・半開放形</li> <li>・閉そく形</li> </ul> <p>施工方法 (4.3.4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・セメントミルク工法</li> <li>・アースオーガーの支持地盤への掘削深さ</li> <li>・1.5m程度</li> <li>杭の支持地盤への掘入れ深さ</li> <li>・1.0m以上</li> <li>杭の精度</li> <li>・水平方向の位置ずれ</li> <li>・杭径の1/4かつ100mm以下</li> <li>・杭の傾斜</li> <li>・1/100以内</li> </ul> <p>・特定埋込杭工法 (4.3.5)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・H13国土交通省告示第1113号第6による地盤の許容支持力方式でα=250を採用できる工法</li> <li>・図示による ( )</li> <li>・上記以外の特定埋込杭工法 図示による ( )</li> </ul> <p>工法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プレローリング拡大掘削工法</li> <li>・中掘り拡大掘削工法</li> </ul> <p>杭周固定液</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・使用する 使用しない</li> </ul> <p>杭の精度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水平方向の位置ずれ</li> <li>・杭径の1/4かつ100mm以下</li> <li>・杭の傾斜</li> <li>・1/100以内</li> </ul>	試験杭	種類	コンクリート強度 (N/mm <sup>2</sup> )	杭径 (mm)	杭長 (m)	継手数	長期設計支持力 (kN/本)	上杭	中杭	下杭	本杭	上杭						中杭						下杭	上杭						中杭																			
		方向	タイプ	耐火性能	防水性能	遮音性能	備考																																																																												
・垂直方向	※完全	・耐火型	・有り	・有り																																																																															
・水平方向	(全貫通型)	・非耐火型	・無し	・無し																																																																															
目地	内 壁	外 壁																																																																																	
目地材	・シーリング材 (見え掛りのみ)	・シーリング材 (見え掛りのみ)																																																																																	
目地寸法 (幅mm×深さmm)	・20×10	・20×10																																																																																	
試験杭	種類	コンクリート強度 (N/mm <sup>2</sup> )	杭径 (mm)	杭長 (m)	継手数	長期設計支持力 (kN/本)																																																																													
							上杭	中杭	下杭																																																																										
本杭	上杭																																																																																		
	中杭																																																																																		
下杭	上杭																																																																																		
	中杭																																																																																		
10-5	①	モルタル及びグラウト材	<p>構造体用モルタル [8.2.6]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>圧縮強度 ( ) N/mm<sup>2</sup></li> <li>フロー値 ( ) mm</li> <li>材料及び割合</li> <li>○改修標準仕様書 8.2.6 (2) による</li> </ul> <p>柱底均しモルタル [8.2.12]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※無収縮モルタル</li> </ul> <p>グラウト材 [8.2.12]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※無収縮モルタル</li> <li>無収縮グラウト材の材質等品質及び試験方法は工事建築材料等品質性能表による</li> </ul>	<p>10-6 1 適用範囲 [8.24.1]</p> <p>連続繊維補強工法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・連続シートを柱に巻き付けて補強する方法</li> <li>・連続シートを梁に巻き付けて補強する方法</li> </ul> <p>2 連続繊維シート [8.2.13]</p> <p>連続繊維の材料 [8.2.13]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・炭素繊維</li> <li>・アラミド繊維</li> </ul> <p>連続繊維の材質 [8.2.13]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>引張強度 (含浸硬化後)</li> <li>・ ( ) N/mm<sup>2</sup></li> <li>ヤング係数 (含浸硬化後)</li> <li>・ ( ) N/mm<sup>2</sup></li> </ul> <p>下地処理 [8.24.6]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ひび割れ観改修</li> <li>・行う</li> <li>範囲</li> <li>・図示による ( )</li> <li>種類</li> <li>・改修標準仕様書 8.24.6(1)(f)による</li> <li>・柱の隅角部の面取り</li> <li>大きさ</li> <li>・図示による ( )</li> </ul> <p>連続繊維補強材の引張強度試験 [8.24.6]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行う</li> <li>引張強度試験</li> <li>※JIS A 1191 (コンクリート用連続繊維シートの引張り試験方法) による</li> <li>試験数量</li> <li>・図示による ( )</li> </ul> <p>連続繊維補強材の付着強度試験 [8.24.6]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行う</li> <li>試験数量</li> <li>・図示による ( )</li> </ul> <p>3 連続繊維補強後の仕上げ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図示による ( )</li> </ul>	<p>10-8 1 鋼管コンクリート杭地業 (続き)</p> <p>試験杭の施工 ※本杭の施工に先立ち行う (4.4.3)</p> <p>試験杭の位置、本数 ※最初の本 図示による ( )</p> <p>杭先端部形状 (4.4.1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開放形</li> <li>・半開放形</li> <li>・閉そく形</li> </ul> <p>施工方法 (4.3.5)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特定埋込杭工法</li> <li>・H13国土交通省告示第1113号第6による地盤の許容支持力方式でα=250を採用できる工法</li> <li>・図示による ( )</li> <li>・上記以外の特定埋込杭工法 図示による ( )</li> </ul> <p>工法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中掘り拡大掘削工法</li> </ul> <p>杭の精度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水平方向の位置ずれ</li> <li>・杭径の1/4かつ100mm以下</li> <li>・杭の傾斜</li> <li>・1/100以内</li> </ul>	<p>0-8 4 場所打ちコンクリート杭地業 (続き)</p> <p>試験杭 (4.2.2) (4.5.4.6)</p> <p>試験杭の施工 ※本杭の施工に先立ち行う</p> <p>試験杭の位置、本数 ※最初の本 図示による ( )</p> <p>孔壁測定 (4.5.4.6)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行う</li> <li>測定方法、測定箇所は図示による ( )</li> <li>・行わない</li> </ul> <p>杭の精度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水平方向の位置ずれ</li> <li>・100mm以下</li> <li>・杭の傾斜</li> <li>・1/100以内</li> </ul> <p>工法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・法層混合処理工法 (セメント系固化工法を用いた工法による改良)</li> <li>・適用範囲、仕様及び計測、試験は図示による ( )</li> <li>・長期設計支持力 ( ) kN/m<sup>2</sup></li> <li>・深層混合処理工法</li> <li>・適用範囲、仕様及び計測、試験は図示による ( )</li> <li>・長期設計支持力 ( ) kN/m<sup>2</sup></li> </ul> <p>6 置換コンクリート地業 (ラッブルコンクリート地業)</p> <p>形状、支持地盤、仕様 図示による ( )</p> <p>長期設計支持力 ( ) kN/m<sup>2</sup></p> <p>セメントの種類 (6.3.1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※高炉セメントB種 G</li> <li>コンクリートの設計基準強度 ( ) N/mm<sup>2</sup></li> <li>構造体強度補正値 (S) = ( ) N/mm<sup>2</sup></li> </ul> <p>7 液状化対策</p> <p>工法 ( )</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>仕様、範囲、計測、試験等</li> <li>・図示による ( )</li> </ul> <p>8 砂利地業 (4.6.2)</p> <p>材料</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※再生クラッシュラン G</li> <li>・切込砂利及び切込砕石</li> </ul> <p>厚さ及び使用範囲 (4.6.3)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>厚 さ</th> <th>使 用 範 囲</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※60</td> <td>基礎スラブ下、基礎梁下、土間コンクリート下、土に接するスラブ下</td> </tr> </tbody> </table> <p>9 捨コンクリート地業 (4.6.4) (6.14.1~3)</p> <p>コンクリートの仕様</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※無筋コンクリートによる</li> <li>セメントの種類 (6.3.1)</li> <li>※高炉セメントB種 G</li> </ul> <p>厚さ及び使用範囲 (4.6.4)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>厚 さ</th> <th>使 用 範 囲</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※50</td> <td>基礎スラブ下、基礎梁下、土に接するスラブ下</td> </tr> </tbody> </table> <p>10 床下防湿層 (4.6.2.5)</p> <p>施工範囲</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・建物内の土間スラブ及び土間コンクリート下 (ピット下を除く)</li> </ul> <p>材料</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ポリエチレンフィルム厚さ0.15mm以上</li> </ul> <p>防湿層の位置 図示による ( )</p>	厚 さ	使 用 範 囲	※60	基礎スラブ下、基礎梁下、土間コンクリート下、土に接するスラブ下	厚 さ	使 用 範 囲	※50	基礎スラブ下、基礎梁下、土に接するスラブ下																																																																					
		厚 さ	使 用 範 囲																																																																																
※60	基礎スラブ下、基礎梁下、土間コンクリート下、土に接するスラブ下																																																																																		
厚 さ	使 用 範 囲																																																																																		
※50	基礎スラブ下、基礎梁下、土に接するスラブ下																																																																																		

設計概要

1 一般事項		4 配置図 1:200	
工事名称	町営住宅第3国頭団地 3号棟 改修工事	建築主	(社名) 和泊町長 前 登志朗 (TEL) 0997-92-1111 (住所) 鹿児島県大島郡和泊町和泊10
敷地位置	鹿児島県大島郡和泊町国頭3089-1	工事種別	<input type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 増築 <input type="checkbox"/> 別棟増築 <input type="checkbox"/> 増改築 <input type="checkbox"/> 改築
	用途地域		<input type="checkbox"/> 第1種低層住専 <input type="checkbox"/> 第2種低層住専 <input type="checkbox"/> 第1種中高層住専 <input type="checkbox"/> 第2種中高層住専
防火地域	<input type="checkbox"/> 第1種住居 <input type="checkbox"/> 第2種住居 <input type="checkbox"/> 準住居 <input type="checkbox"/> 近隣商業 <input type="checkbox"/> 商業	主要用途	共同住宅
	<input type="checkbox"/> 準工業 <input type="checkbox"/> 工業 <input type="checkbox"/> 工業専用 <input checked="" type="checkbox"/> 指定なし		申請部分
その他の指定(都市計画)	<input type="checkbox"/> 防火 <input type="checkbox"/> 準防火 <input type="checkbox"/> 法22条の地域 <input checked="" type="checkbox"/> 指定なし	駐車場等	申請以外の部分
	<input type="checkbox"/> 2つの地域にわたる場合(防火) <input type="checkbox"/> 準防火		工作物等
道路	道路巾員 前面 5.0m (接道 62.3m) 法42条(1)項(1)号道路	形態規制	高度地区 内容: 高さ規制
	敷地面積 1,551.31㎡		高度利用地区 内容: 容積率規制 %以上
面積	3号棟	総合設計	<input type="checkbox"/> 法52条第3項第3号 <input type="checkbox"/> 法55条第1項第3号 <input type="checkbox"/> 法56条第3項
	合計		建ぺい率 188.65 / 1,551.31 X 100 = 12.16 % ≤ 許容 %
積	建築面積 188.65㎡	容積率 270.93 / 1,551.31 X 100 = 17.46 % ≤ 許容 %	
	延べ面積 270.93㎡		



外部仕上表		改修前仕上		改修後仕上		改修前仕上		改修後仕上	
屋根	防水コンクリートタンピング金コテ押エアクリル樹脂塗装 ワイヤメッシュ入φ6 150×150 (1目重ネ)	高圧水洗浄 (15MPa) カチオン系下地処理の上 塗膜防水 (X-2H)	ドレン	φ100錆鉄製縦型ルーフトレン (屋根) φ100錆鉄製中間ドレン (バルコニー)	φ100改修用縦型ルーフトレン (屋根) φ100改修用中間ドレン (バルコニー)				
外壁	コンクリート打放し補修の上アクリル系吹付タイル	高圧水洗浄 (15MPa) の上 防水形複層塗材E	縦樋	φ100 硬質塩ビパイプ (V P 塗) つかみ金物: ステンレス滑り止め付 (@1,200以内)	既存塗装 ケレン 再塗装 つかみ金物: 既存のまま				
巾木	合板型枠コンクリート打放し	高圧水洗浄 (15MPa) のみ	物干	物干: アルミ自在物干金物 (市販品)	物干金物: 既存のまま				
軒裏	コンクリート打放し補修の上V P、LGS下地厚6.0ケイ酸カルシウム板V P (一部 有孔板)	高圧水洗浄 (15MPa) の上 外装薄塗材E	手摺	アルミ製タテ格子タイプ (B L製品)	アルミ製タテ格子タイプ (B L製品) 取替え				
建具	アルミサッシ 見込70 MB扉: スチール製 OP	アルミサッシ: 既存のまま、一部 破損ヶ所部品取替え MB扉: 既存撤去の上 新設 (アルミ製)							

内部仕上表															
改修前仕上					改修後仕上										
室名	床	下地	巾木	壁	天井	天井高	備考	室名	床	巾木	壁	天井	天井高	備考	
玄関	モルタルコテ押エ		モルタルコテ押エ 木製巾木	コンクリート打放し下地処理の上 ビニールクロス貼 内装パネル厚25・40の上ビニールクロス貼	1階 木下地 内装パネル厚15の上 2階 LGS下地 厚9石膏ボードの上 ビニールクロス貼	CH=2,300+65	幕板 (真鍮フック5本打) 下足入	玄関	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	
ホール	厚6.2突合合板	FF	木製巾木	コンクリート打放し下地処理の上 ビニールクロス貼 内装パネル厚25・40の上ビニールクロス貼	1階 木下地 内装パネル厚15の上 2階 LGS下地 厚9石膏ボードの上 ビニールクロス貼	CH=2,300	手すり: φ40集成材	ホール	【1-1】 【1-2】 【2-2】 既存のまま 既存厚6.2突合合板 (フリーフロア下地共) 撤去 木床組 (根太: 45×43@303 大引: 90×90@900) の上 厚12複合フローリング貼	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	
和室6帖A	厚55タミ敷込	FF	タタミ寄せ	内装パネル厚25・40の上ビニールクロス貼	1階 木下地 厚15プリント合板 2階 LGS下地 厚9和風化粧石膏ボード	CH=2,400	窓用手すり: φ40集成材	和室6帖A	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	
和室6帖B	厚55タミ敷込 厚6.2 突合合板	FF	タタミ寄せ	内装パネル厚25・40の上ビニールクロス貼	1階 木下地 厚15プリント合板 2階 LGS下地 厚9和風化粧石膏ボード	CH=2,400		和室6帖B	【1-1】 【1-2】 【2-1】 既存のまま 既存厚55タミのみ撤去 木床組 (根太: 45×43@303) の上厚12複合フローリング貼	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	
押入	厚35 II類 特殊ラワン合板		雑巾摺	厚25 II類 特殊ラワン合板	1階 木下地 厚15 II類 特殊ラワン合板 2階 LGS下地 厚2.7ベニヤ	CH=2,400	中段、枕欄	押入	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	
台所	厚6.2突合合板	FF	木製巾木	コンクリート打放し下地処理の上 ビニールクロス貼 内装パネル厚25・40の上ビニールクロス貼 内装パネル厚25の上半磁器タイル100角	1階 木下地 2階 LGS下地 厚9.0化粧石膏ボード貼	CH=2,400	ステンレス流し台コンロ台付 (L=1,800) 吊戸棚 (BL-KA-1型)、ステンレス水切棚 (2段) ステンレス水切 厚0.6 換気扇プレキャスト枠	台所	【2-1】 既存のまま 既存厚6.2突合合板 (フリーフロア下地共) 撤去 木床組 (根太: 45×43@303 大引: 90×90@900) の上 厚12複合フローリング貼	既存のまま 一部 既存撤去 (流し前) 木製巾木 (H=60) 新設	既存のまま 一部 (流し前) ケイ酸カルシウム板t=6の上EPG	既存のまま	既存のまま	ステンレス流し台 L=1,200 (BL認定品) 取替 ステンレスコンロ台 L=600 (BL認定品) 取替 吊戸棚・水切棚 L=1,200取替 換気扇フード新設 t=0.8ステンレス板新設 ステンレス水切【既存のまま】	
洋室	厚6.2突合合板	FF	木製巾木	内装パネル厚25・40の上ビニールクロス貼	1階 木下地 内装パネル厚15の上 2階 LGS下地 厚9石膏ボードの上 ビニールクロス貼	CH=2,400	窓用手すり: φ40集成材	洋室	【1-2】 【2-1】 【2-2】 既存のまま 既存厚6.2突合合板 (フリーフロア下地共) 撤去 木床組 (根太: 45×43@303 大引: 90×90@900) の上 厚12複合フローリング貼	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	
洗面所	厚6.2突合合板	FF	木製巾木	コンクリート打放し下地処理の上 ビニールクロス貼 内装パネル厚25・40の上ビニールクロス貼	1階 コンクリート打放し補修の ビニールクロス貼 2階 LGS下地 厚9石膏ボードの上 ビニールクロス貼	CH=2,300	タオル掛 (ステンレス) L=450 φ12.7 ステンレス手摺L=400、上部欄	洗面所	【1-2】 既存のまま 既存厚6.2突合合板の上 厚2.0長尺シート貼	既存のまま	【1-1】 【1-2】 【2-1】 既存のまま 【2-2】 ビニールクロス張替	既存のまま	既存のまま	既存のまま	
便所	厚6.2突合合板	FF	ソフト巾木	コンクリート打放し下地処理の上 ビニールクロス貼 内装パネル厚25・40の上ビニールクロス貼	1階 コンクリート打放し補修の ビニールクロス貼 2階 LGS下地 厚9石膏ボードの上 ビニールクロス貼	CH=2,300	タオル掛 (ステンレス) L=450 φ12.7 L型ステンレス手摺、上部欄	便所	【1-1】 【2-2】 既存のまま 既存厚6.2突合合板の上 厚2.0長尺シート貼	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	
浴室	B L認定ユニットバス 1216							浴室	壁パネルサビ部除去ケレンさび止めの上厚1.0FRP板貼+浴室用コーティング+コーキング						
バルコニー	防水モルタルコテ押エ 目地切 (排水溝幅100)	防水モルタルコテ押エ	コンクリート打放し補修の上G P	コンクリート打放し補修の上V P			アルミ自在物干金物 クーラーインサート (室外用) アルミ手摺、バルコニー (ドレン) 集合部便受 (ステンレス製 BL-K型) ステンレスタラップ、掲示板	バルコニー	高圧水洗浄 (15MPa) のみ	高圧水洗浄 (15MPa) のみ	高圧水洗浄 (15MPa) の上 防水形複層塗材E	高圧水洗浄 (15MPa) の上 外装薄塗材E		既存のまま 【改修部】 φ100改修用中間ドレン アルミ手摺	
階段	防水モルタルコテ押エ 目地切 (排水溝幅60)	防水モルタルコテ押エ H=100	コンクリート打放し補修の上 アクリル系吹付タイル	LGS下地厚6.0ケイ酸カルシウム板V P (一部 有孔板)				階 段	高圧水洗浄 (15MPa) のみ	高圧水洗浄 (15MPa) のみ	高圧水洗浄 (15MPa) の上 防水形複層塗材E	高圧水洗浄 (15MPa) の上 外装薄塗材E		集合部便受取替 既存のまま	
M B	モルタルコテ押エ		コンクリート打放し	コンクリート打放し				M B	既存のまま		既存のまま	既存のまま			

内部改修一覧表														
部屋番号	共用部		玄関・ホール		和室6帖A	和室6帖B	台所				洋室			
	P	S	軒天	床			建具	建具	床	壁	建具	電気設備	備考	床
1-1	MB扉取替え (既存撤去の上新設)		外装薄塗材E改修	玄関ドア取替え (既存撤去の上新設)	AW-1: 雨戸新設	AD-1: 雨戸新設 WD-1・WD-3・F-1・F-2・F-3 襖紙から化粧板へ張替	既存突合合板 (下地共) 撤去 木床組の上 フローリングに改修	流し前: ケイカル板貼 コンロ台廻り: ステンレス板貼	AD-1: 雨戸新設	照明器具取替 流し元灯取替	流し台・コンロ台取替 吊戸棚・水切棚取替 換気扇フード取替	既存突合合板 (下地共) 撤去 木床組の上 フローリングに改修	AD-1: 雨戸新設 AW-2: 雨戸新設	
1-2	MB扉取替え (既存撤去の上新設)		外装薄塗材E改修	玄関ドア取替え (既存撤去の上新設)	AW-1: 雨戸新設	AD-1: 雨戸新設 WD-1・F-1 襖紙から化粧板へ張替	既存突合合板 (下地共) 撤去 木床組の上 フローリングに改修	流し前: ケイカル板貼 コンロ台廻り: ステンレス板貼	AD-1: 雨戸新設	照明器具取替 流し元灯取替	流し台・コンロ台取替 吊戸棚・水切棚取替 換気扇フード取替		AD-1: 雨戸新設 AW-2: 雨戸新設	
2-1	MB扉取替え (既存撤去の上新設)		外装薄塗材E改修	既存突合合板 (下地共) 撤去 木床組の上 フローリングに改修	AW-1: 雨戸新設	AD-1: 雨戸新設 WD-1・F-1 襖紙から化粧板へ張替	既存突合合板 (下地共) 撤去 木床組の上 フローリングに改修	流し前: ケイカル板貼 コンロ台廻り: ステンレス板貼	AD-1: 雨戸新設	照明器具取替 流し元灯取替	流し台・コンロ台取替 吊戸棚・水切棚取替 換気扇フード取替		AD-1: 雨戸新設 AW-2: 雨戸新設	
2-2	MB扉取替え (既存撤去の上新設)		外装薄塗材E改修	玄関ドア取替え (既存撤去の上新設)	AW-1: 雨戸新設	AD-1: 雨戸新設 WD-1・F-1 襖紙から化粧板へ張替	既存突合合板 (下地共) 撤去 木床組の上 フローリングに改修	流し前: ケイカル板貼 コンロ台廻り: ステンレス板貼	AD-1: 雨戸新設	照明器具取替 流し元灯取替	流し台・コンロ台取替 吊戸棚・水切棚取替 換気扇フード取替		AD-1: 雨戸新設 AW-2: 雨戸新設	
部屋番号	浴室 (ユニットバス)		洗面所			便所				電気設備 (共通)		機械設備 (共通)		
	壁	床	壁	電気設備	機械設備	備考	床	壁	電気設備	機械設備	玄関ホール	3点給湯 台所・洗面・浴室		
1-1	サビ部補修	既存厚6.2突合合板の上 厚2.0長尺シート貼	UB側厚40壁パネル撤去 LGS50下地GB-R t=12.5の上 ビニールクロス貼	照明器具取替		洗面化粧台 取替 洗濯パン取替				換気扇 (パイプファン) 新設 φ100用壁スリーブ	照明器具取替	給湯配管φ20用壁スリーブ		
1-2	サビ部補修			照明器具取替		洗面化粧台 取替 洗濯パン取替	既存厚6.2突合合板の上 厚2.0長尺シート貼			換気扇 (パイプファン) 新設 φ100用壁スリーブ 洋便器取替	照明器具取替	給湯配管φ20用壁スリーブ		
2-1	サビ部補修	既存厚6.2突合合板の上 厚2.0長尺シート貼		照明器具取替		洗面化粧台 取替 洗濯パン取替				換気扇 (パイプファン) 新設 φ100用壁スリーブ 洋便器取替	照明器具取替	給湯配管φ20用壁スリーブ		
2-2	サビ部補修	既存厚6.2突合合板の上 厚2.0長尺シート貼	ビニールクロス張替	照明器具取替		洗面化粧台 取替 洗濯パン取替	既存厚6.2突合合板の上 厚2.0長尺シート貼			換気扇 (パイプファン) 新設 φ100用壁スリーブ	照明器具取替	給湯配管φ20用壁スリーブ		



アスベスト含有調査結果				
採取箇所	試料名	石綿の有無	石綿の種類	レベル
外部外壁塗装	アクリル系吹付タイル	有り 下地材に含有	クリソタイル	3
外部軒天ボード	厚6.0ケイ酸カルシウム板 V.P.塗	無		

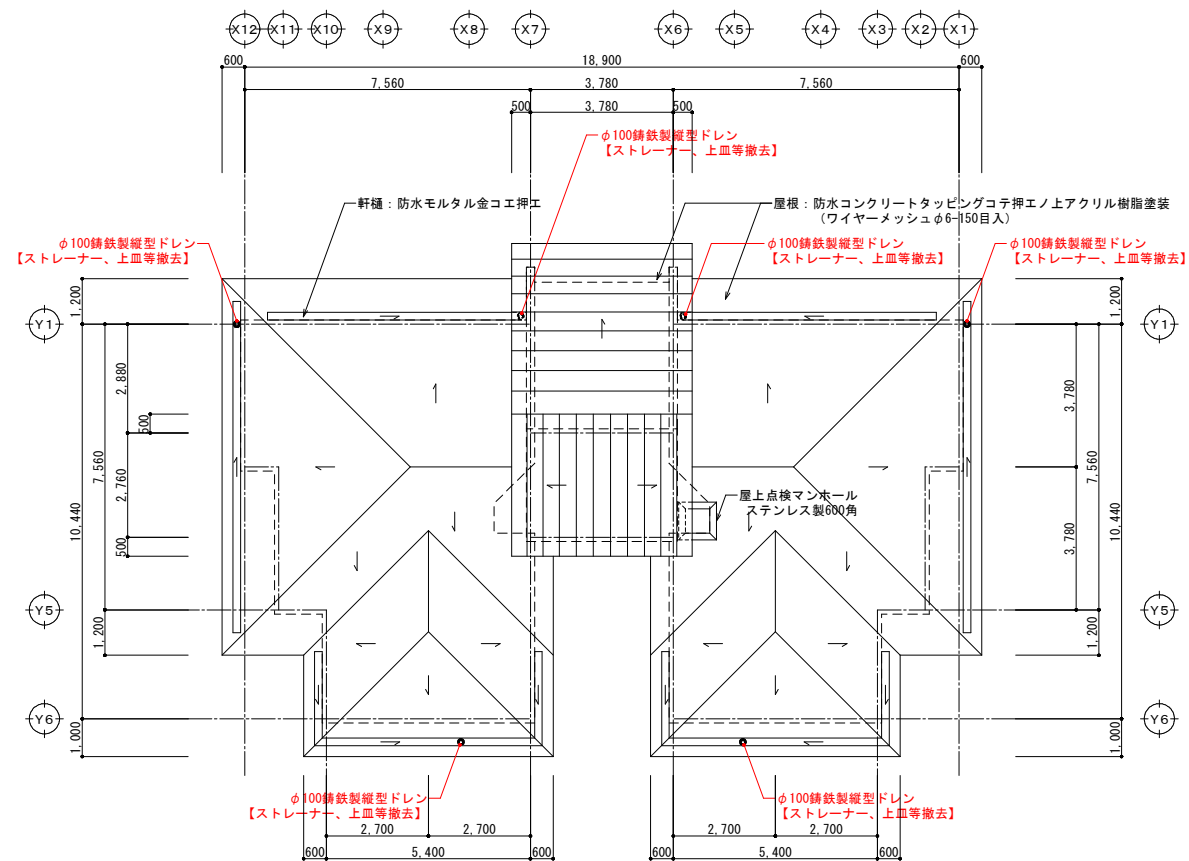
※アスベスト含有材料の除去に当たり、適切な養生・除去・保管・処分を行うこと  
 (公共建築改修工事標準仕様書9章環境配慮改修工事1部アスベスト含有材料の除去工事による)  
 ※建築基準法ほか労働安全衛生法、石綿障害予防規則、大気汚染防止法、建設リサイクル法、廃棄物処理法などの各法令を遵守すること

凡例

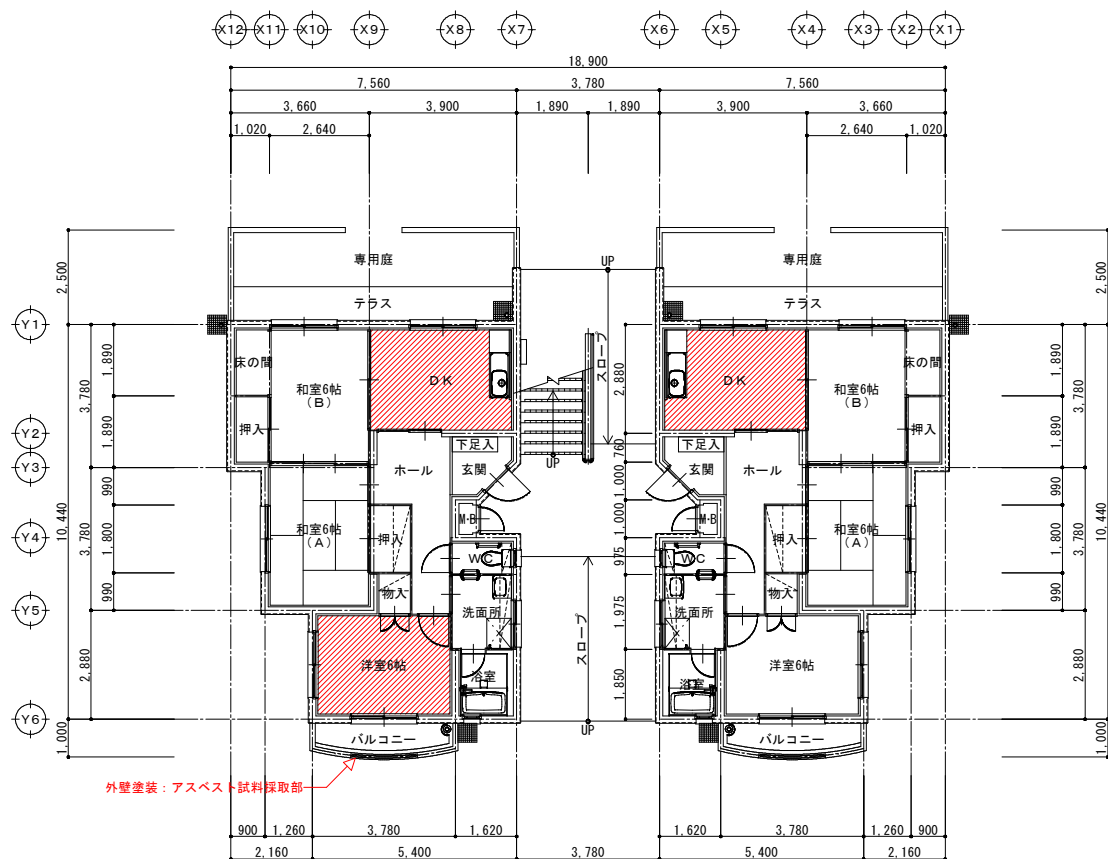


床仕上撤去部分を示す

- ・【1-1】洋室は、既存厚6.2突板合板(下地共)撤去
- ・【1-1】【1-2】【2-2】DKは、既存厚6.2突板合板(下地共)撤去
- ・【2-1】ホールは、既存厚6.2突板合板(下地共)撤去
- ・【2-2】和室6帖(B)は、既存厚55タタミのみ撤去



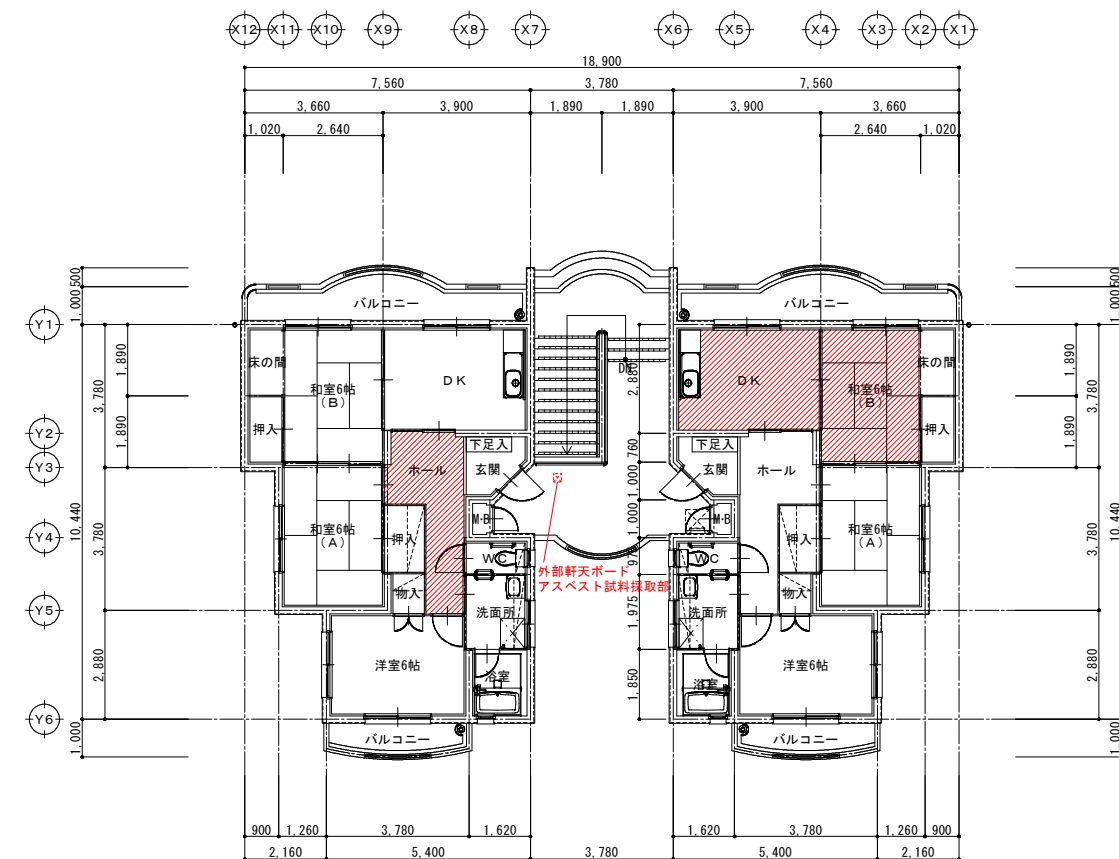
改修前 屋根伏図 S:1:100



【1-1】

【1-2】

改修前 1階平面図 S:1:100



【2-1】

【2-2】

改修前 2階平面図 S:1:100

改修前

凡例

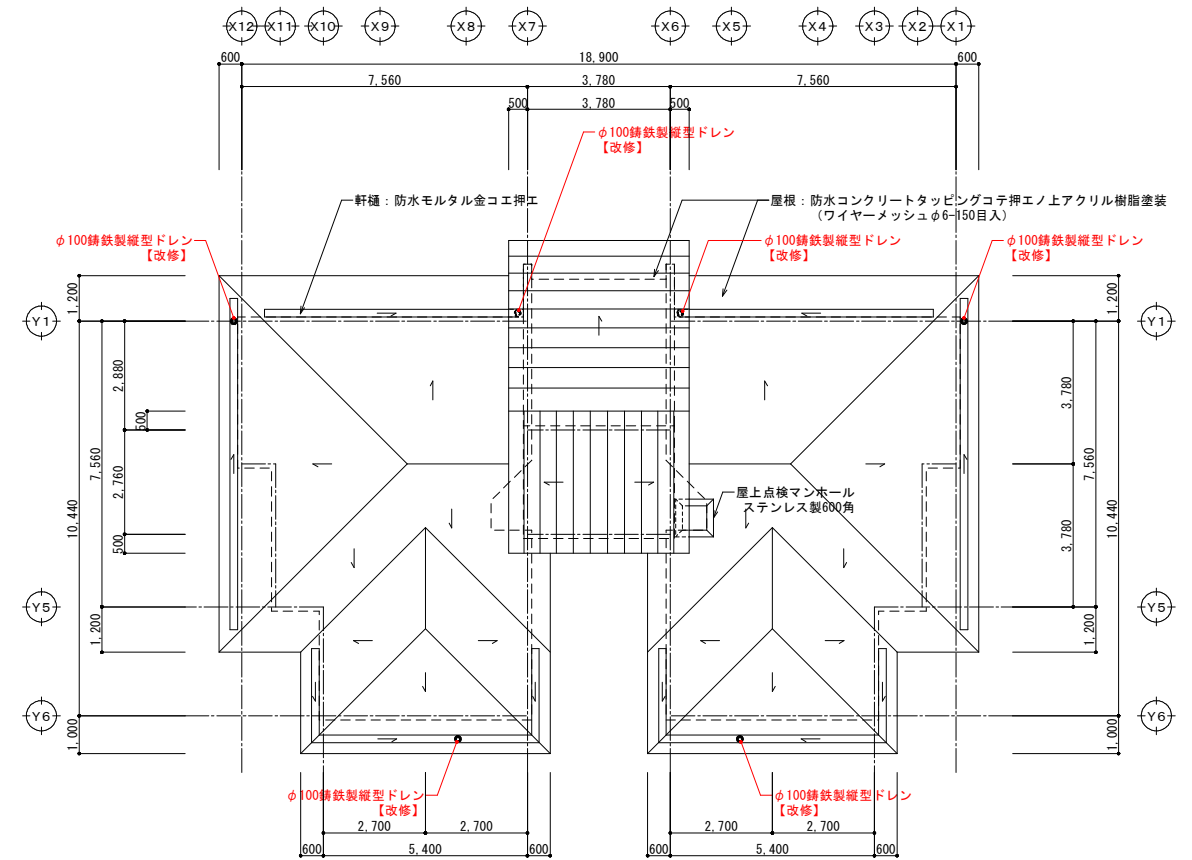


床仕上改修部分を示す

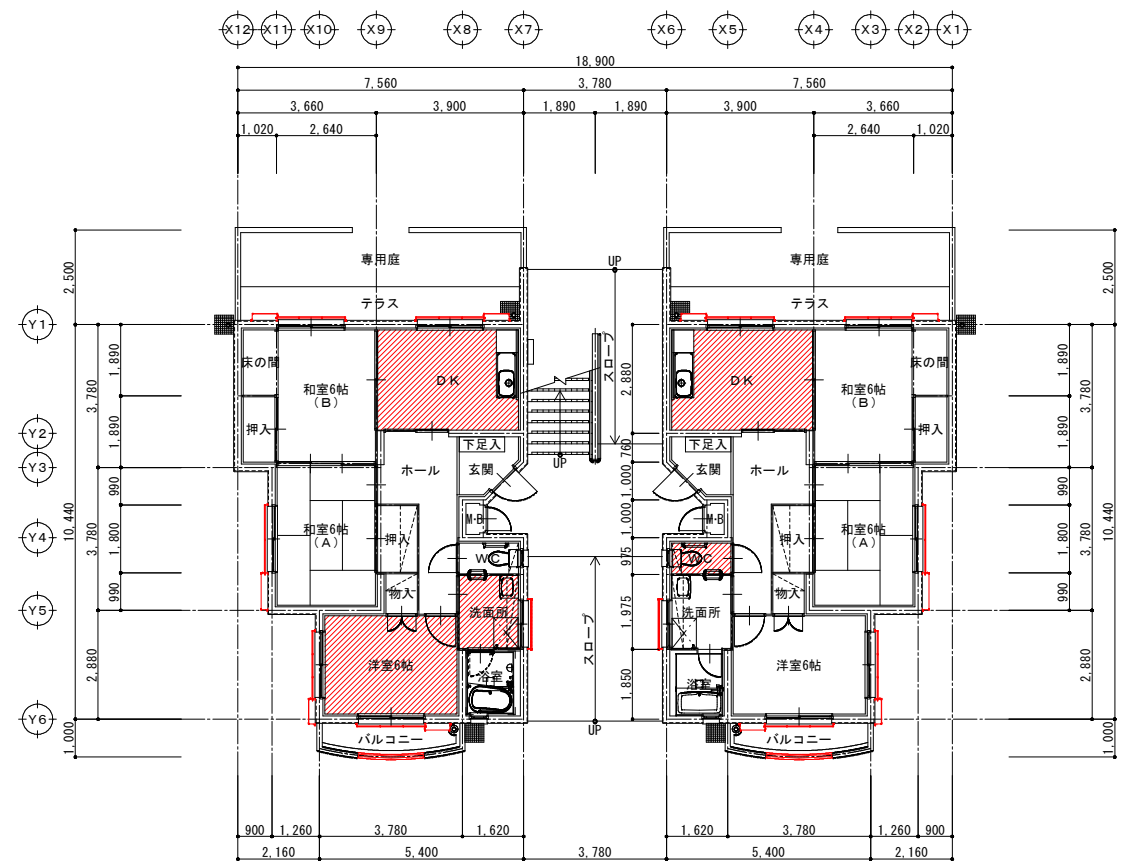
- ・【1-1】洋室は、木床組（根太：45×45@303、大引：90×90@900）の上厚12複合フローリング貼
- ・【1-1】【1-2】【2-2】DKは、木床組（根太：45×45@303、大引：90×90@900）の上厚12複合フローリング貼
- ・【1-1】【2-1】【2-2】洗面所は、既存厚6.2突板合板の上厚2.0長尺シート貼
- ・【1-2】【2-1】便所は、既存厚6.2突板合板の上厚2.0長尺シート貼
- ・【2-1】ホールは、木床組（根太：45×45@303、大引：90×90@900）の上厚12複合フローリング貼
- ・【2-2】和室6帖（B）は、既存フリーフロア下地の上、根太組（45×43@303）厚12複合フローリング貼

ドレン改修

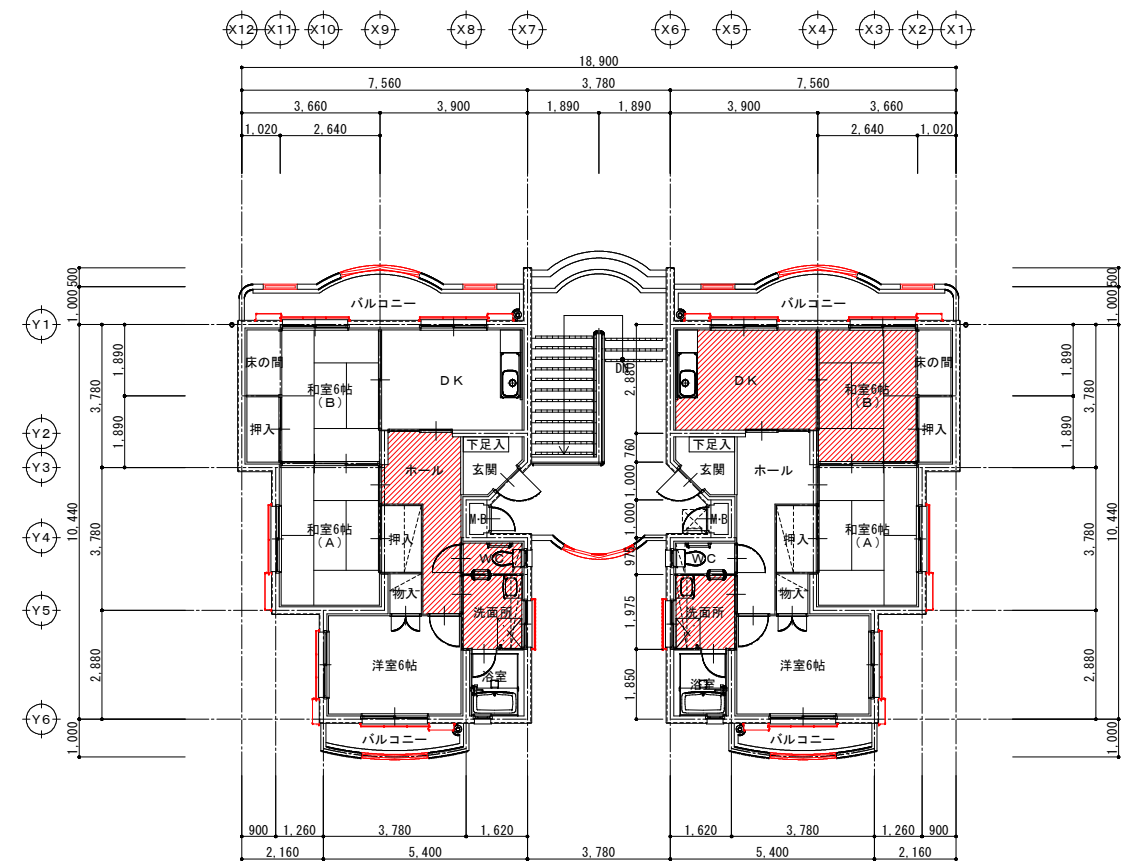
- ・φ100改修用縦型ルーフドレン（屋根）全6ヶ所
- ※バルコニー中間ドレンは、既存のままとする。



改修前 屋根伏図 S=1:100



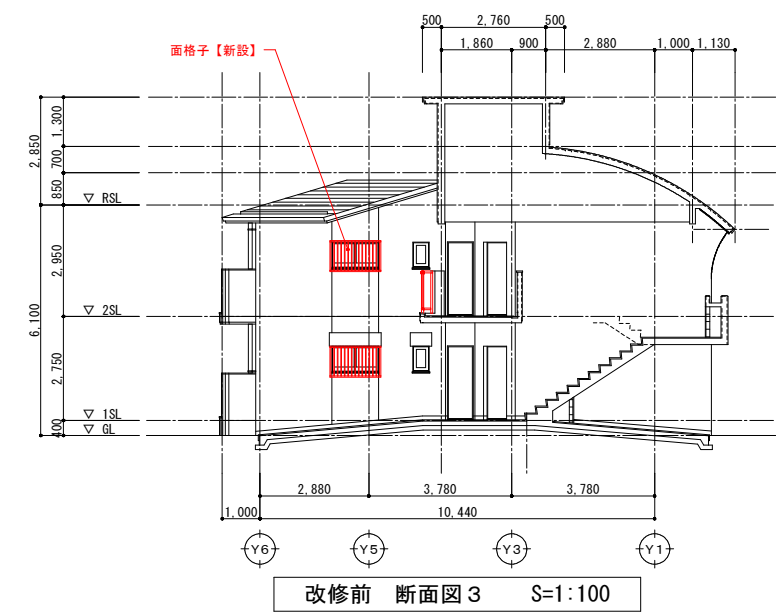
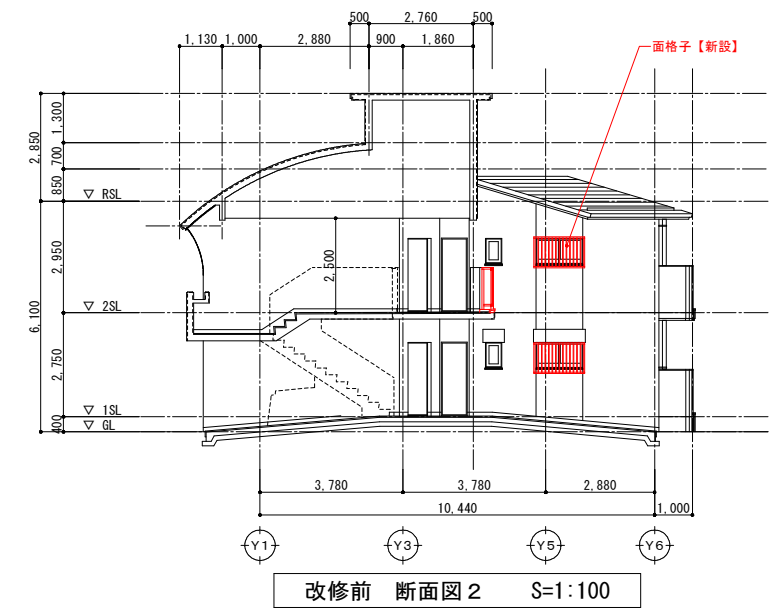
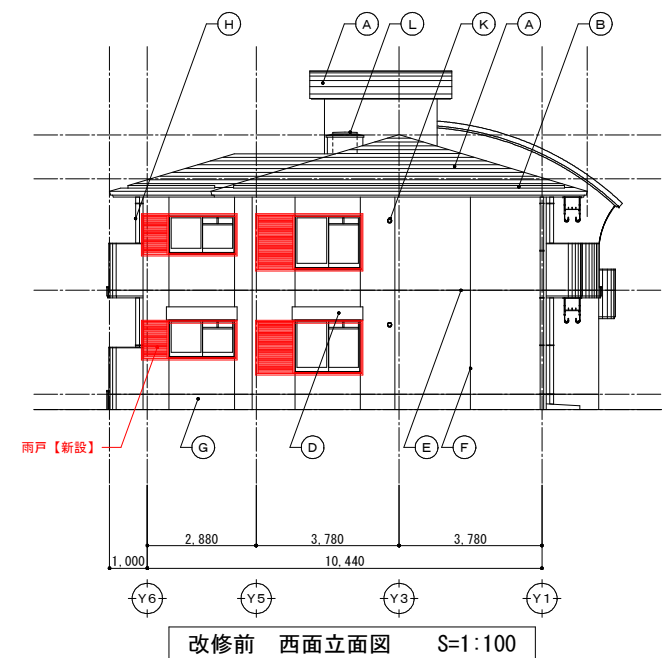
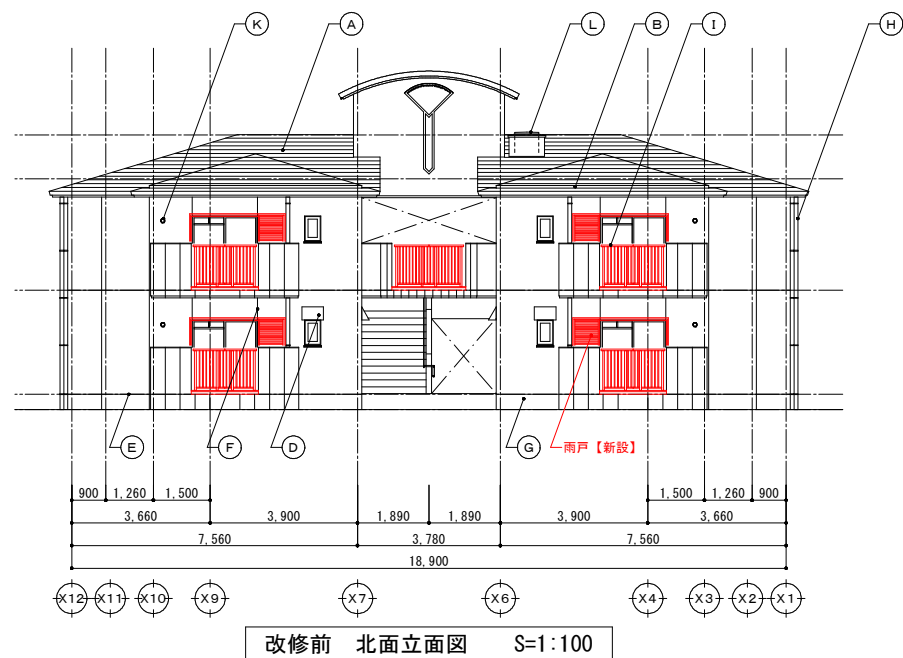
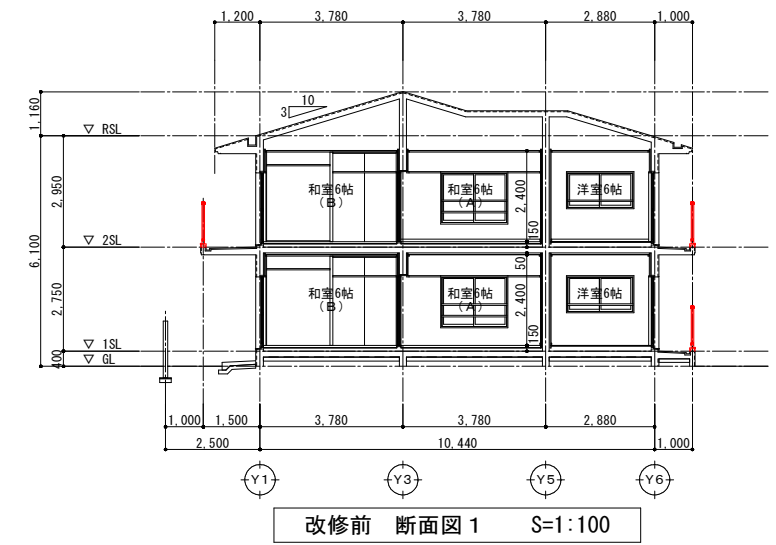
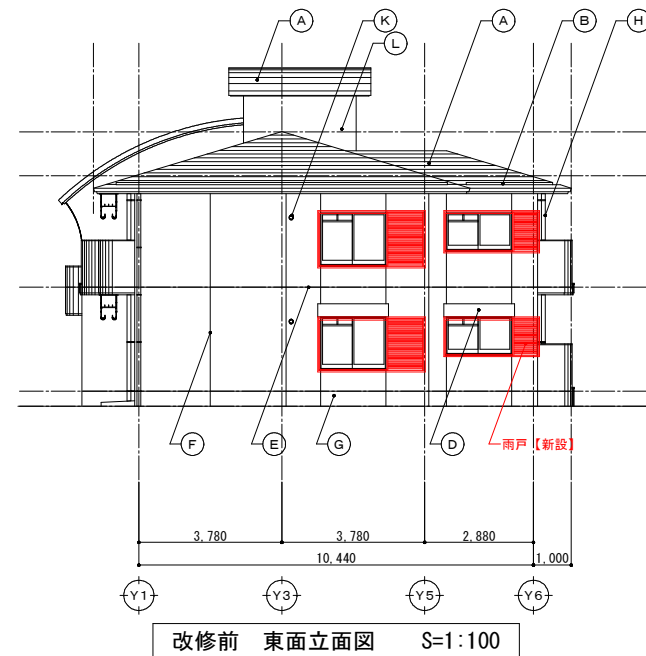
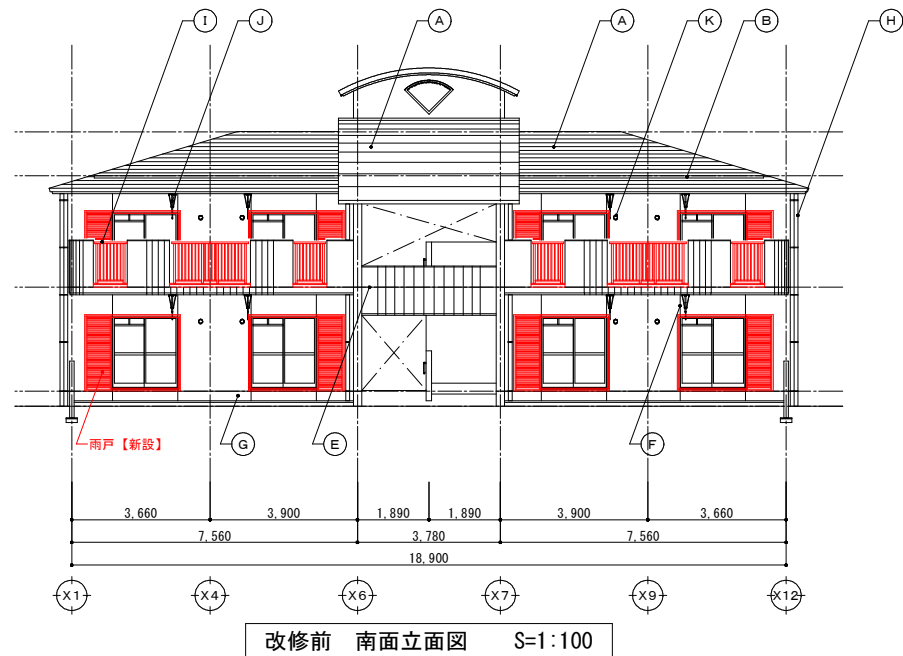
改修前 1階平面図 S=1:100



改修前 2階平面図 S=1:100

改修後

一級建築士事務所 鹿児島県知事登録 第1-5-18号 <b>永園設計株式会社</b> 管理建築士 一級建築士 第123948号 小原正信	管理技術者 主任技術者 製図 補助	設計年月日	工事名	町営住宅第3国頭団地 改修工事	図面番号 D-15
		R7.09	改修後 平面図・屋根伏図		
		縮尺 1:100 (A1) 1:200 (A3)	図面種類		



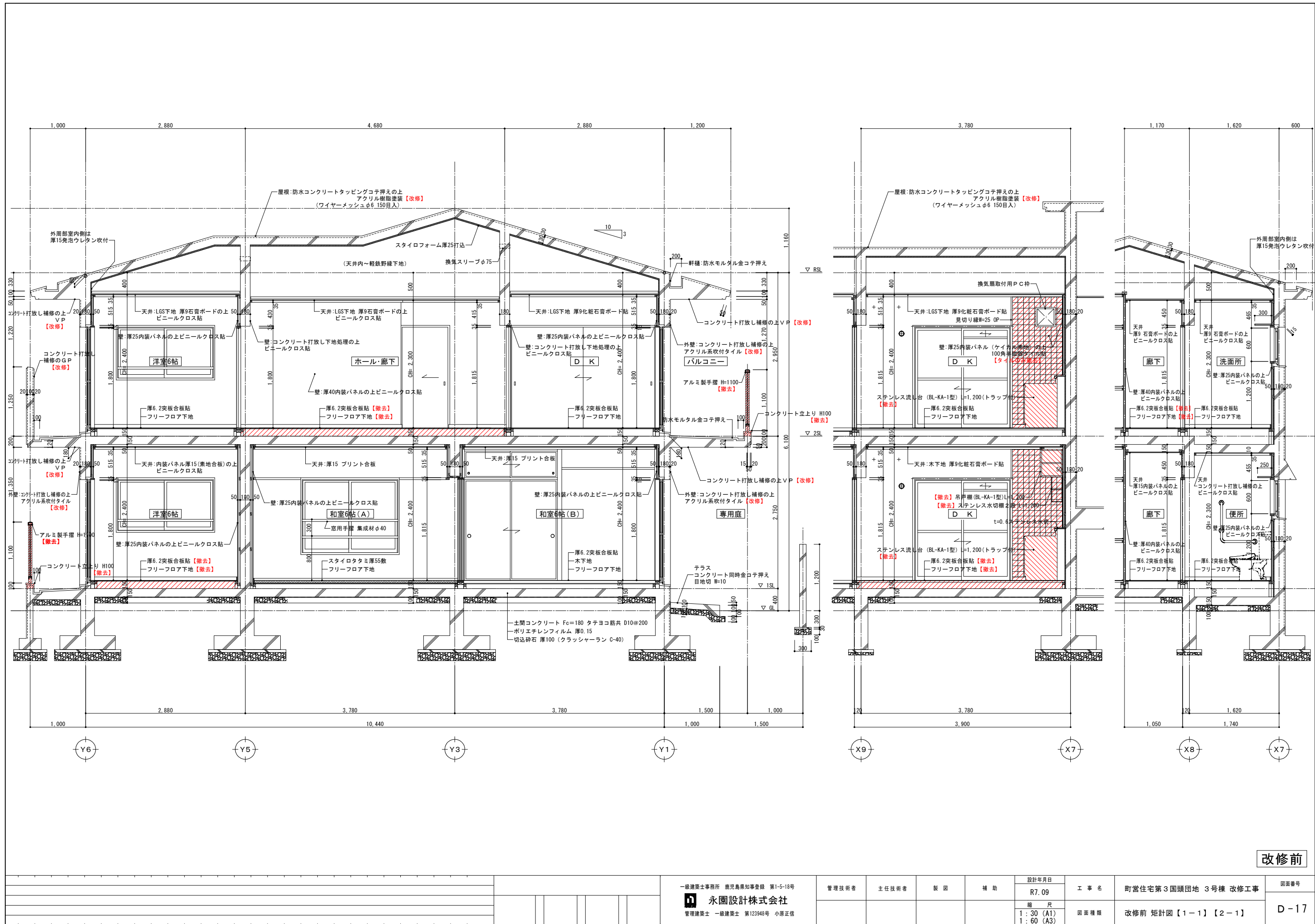
	改修前仕上表	改修後仕上表
(A)	屋根 : 防水コンクリートタッピングコテ押工ノ上アクリル樹脂塗装 (ワイヤメッシュφ6-150目入)	屋根 : 高圧水洗浄 (15MPa) カチオン系下地処理の上塗膜防水 (X-2 H)
(B)	軒樋 : 防水モルタル金コテ押工	軒樋 : 既存撤去 防水モルタル金コテ押工
(C)	外壁 : コンクリート打放シ補修ノ上アクリル系吹付タイル	外壁 : 高圧水洗浄 (15MPa) の上防水形複層塗材 E
(D)	窓庇 : コンクリート打放シ補修ノ上トップコート吹付	窓庇 : 高圧水洗浄 (15MPa) の上防水形複層塗材 E
(E)	打継目地 : W=20 ポリサルファイド系コーキング	打継目地 : 打替え ポリウレタン系シーリング材
(F)	化粧目地 : W=15	化粧目地 : 既存のまま
(G)	巾木 : コンクリート打放シ補修	巾木 : 高圧水洗浄 (15MPa) のみ
(H)	縦樋 : φ100 硬質塩ビVU管 (VP塗装) ステンレス摺り金物	縦樋 : ケレン再塗装 摺り金物 : 既存のまま
(I)	手摺 : アルミBL手摺ユニット	手摺 : 改装用BL認定アルミ手摺 (150型) H1100
(J)	物干金物 : アルミ製 自在型 (H=640)	物干金物 : 既存のまま
(K)	クーラー用スリーブφ75 カバー丸型プレート	クーラー用スリーブ : 既存のまま
(L)	屋上点検マンホール : ステンレス製 600角	屋上点検マンホール : 既存のまま

改修後

一級建築士事務所 鹿児島県知事登録 第1-5-16号  
**永園設計株式会社**  
 管理建築士 一級建築士 第123948号 小原正信

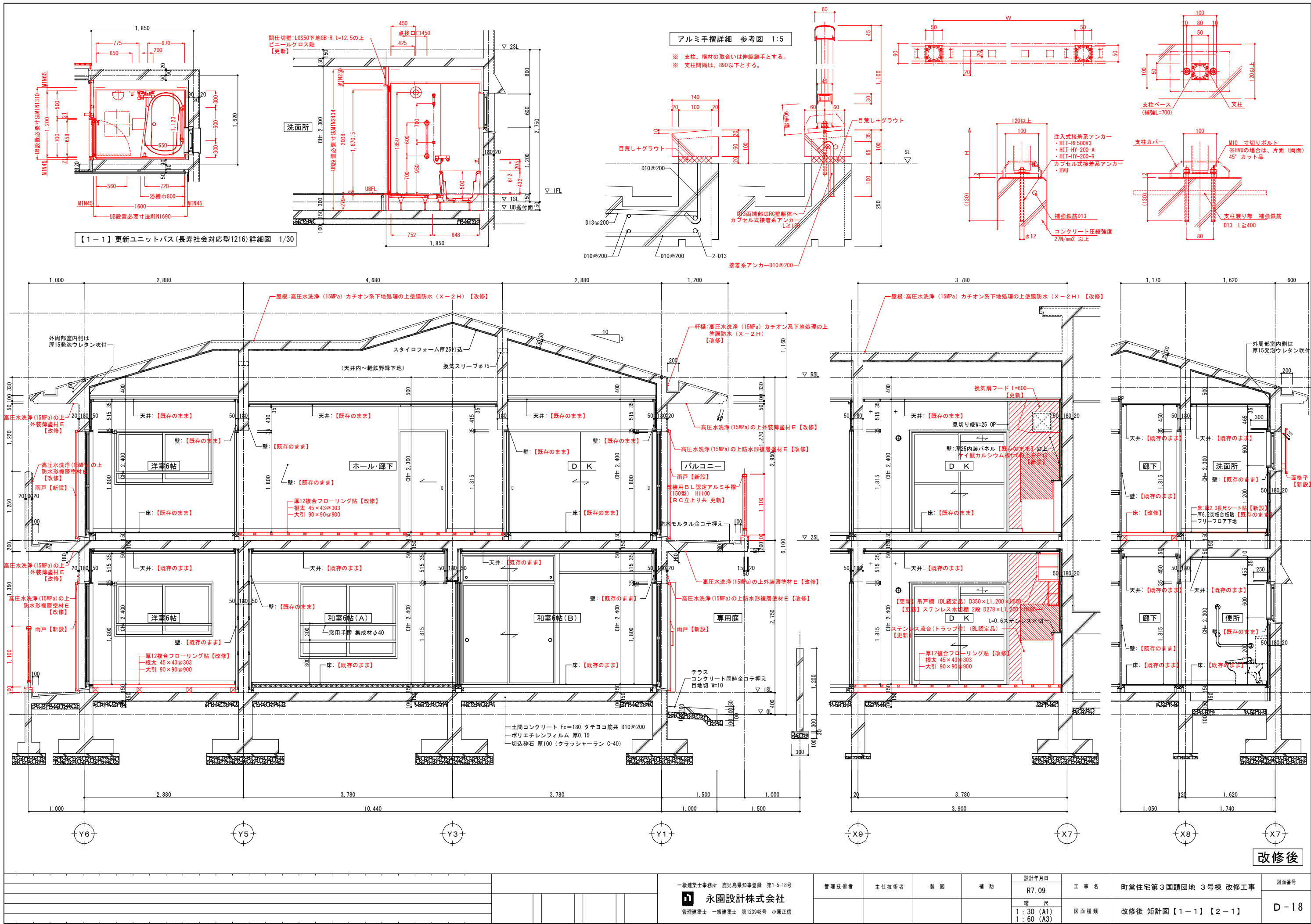
管理技術者 主任技術者 製図 補助

設計年月日	R7.09	工事名	町営住宅第3国頭団地 3号棟 改修工事	図面番号	D-16
縮尺	1:100 (A1) 1:200 (A3)	図面種類	改修後 立面図・断面図		

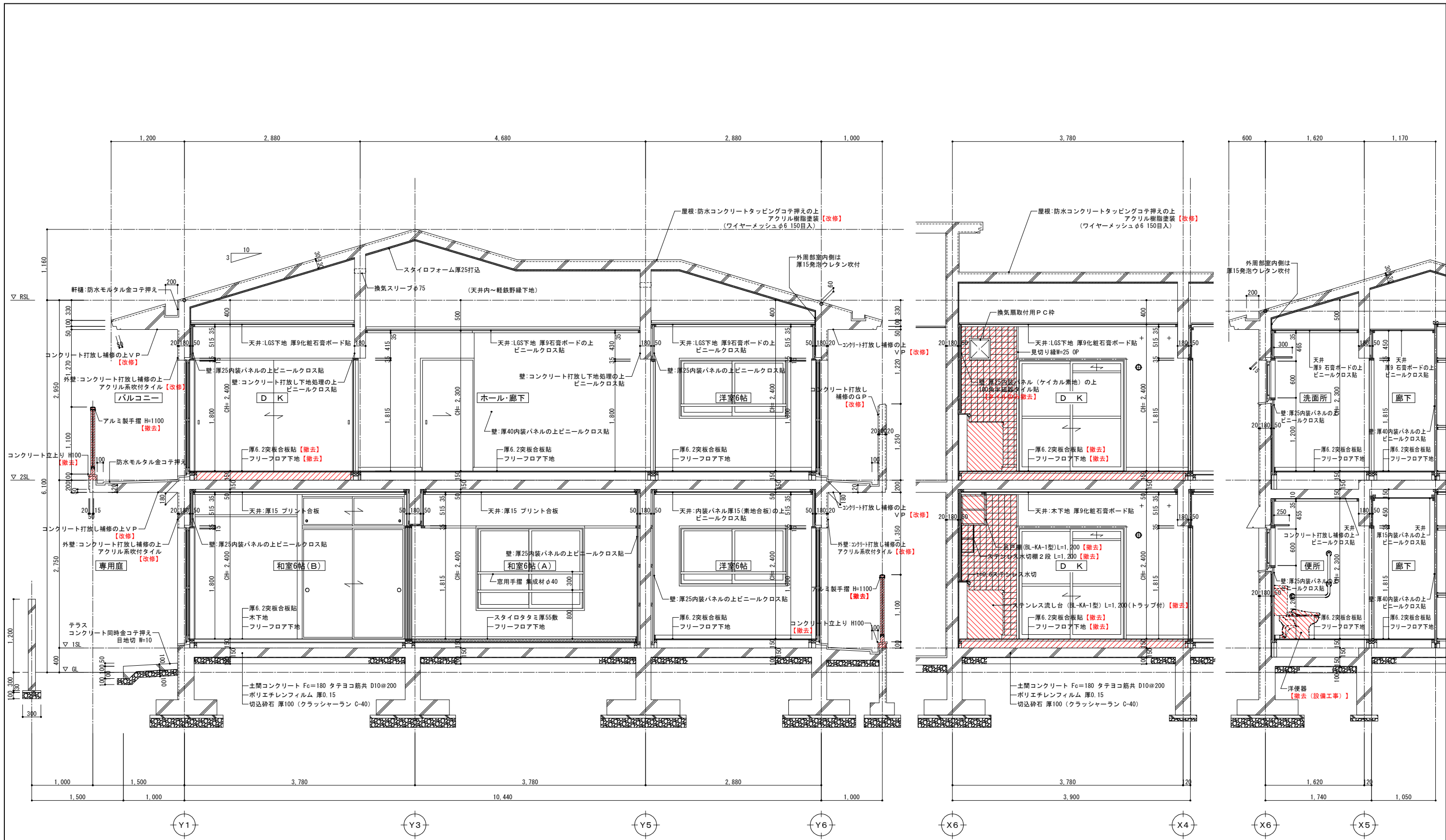


改修前

一級建築士事務所 鹿児島県知事登録 第1-5-18号 <b>永園設計株式会社</b> 管理建築士 一級建築士 第123948号 小原正信	管理技術者 主任技術者 製図 補助	設計年月日	R7.09	工事名	町営住宅第3国頭団地 3号棟 改修工事	図面番号	図面種類
		縮尺	1:30 (A1) 1:60 (A3)	図面種類	改修前 矩計図【1-1】【2-1】	D-17	

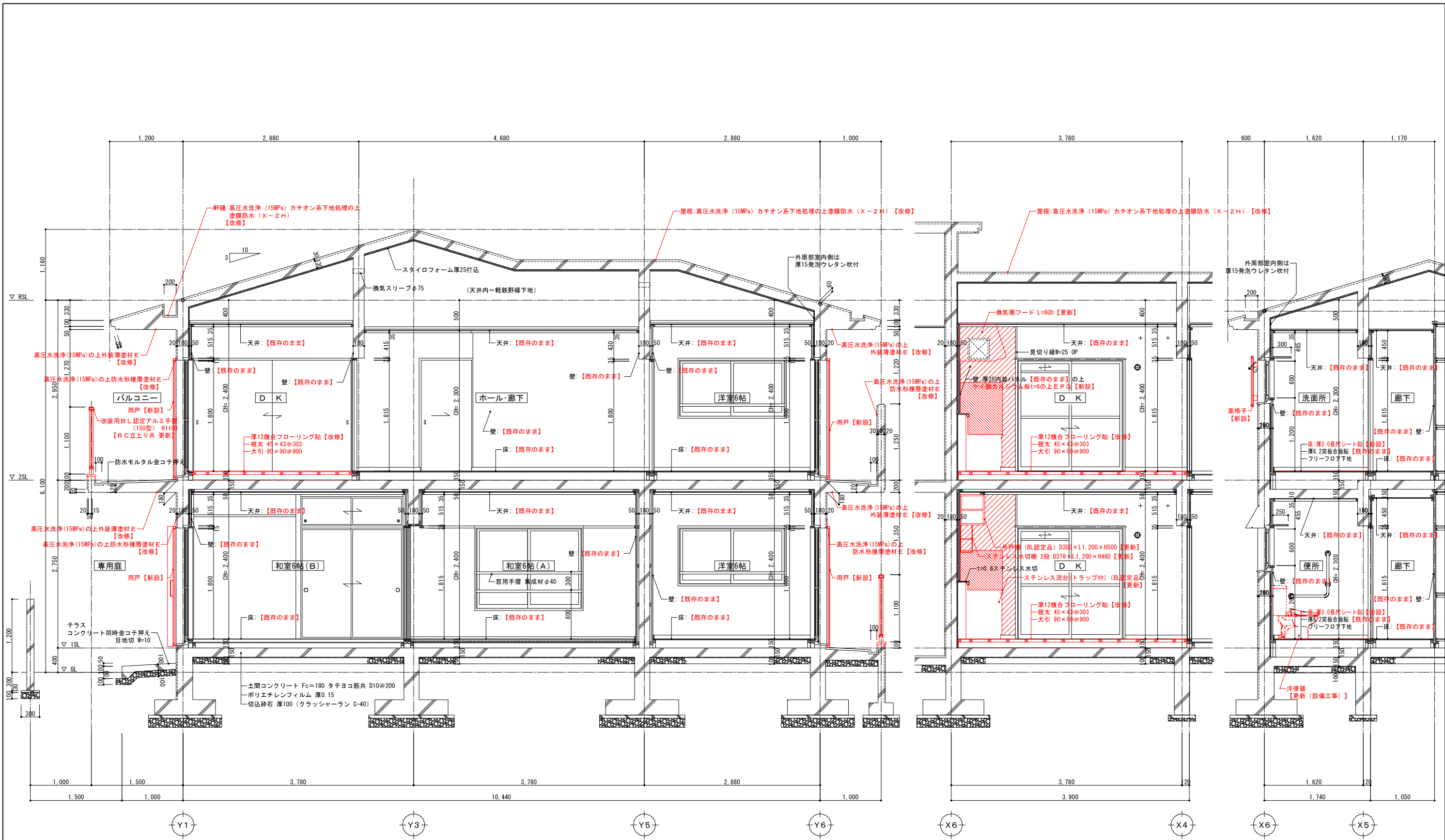


設計年月日	R7.09	工事名	町営住宅第3国頭団地 3号棟 改修工事	図面番号	図面番号
縮尺	1:30 (A1) 1:60 (A3)	図面種類	改修後 矩計図【1-1】【2-1】		D-18
管理技術者	主任技術者	製図	補助		
一級建築士事務所 鹿児島県知事登録 第1-5-18号 <b>永園設計株式会社</b> 管理建築士 一級建築士 第123948号 小原正信					



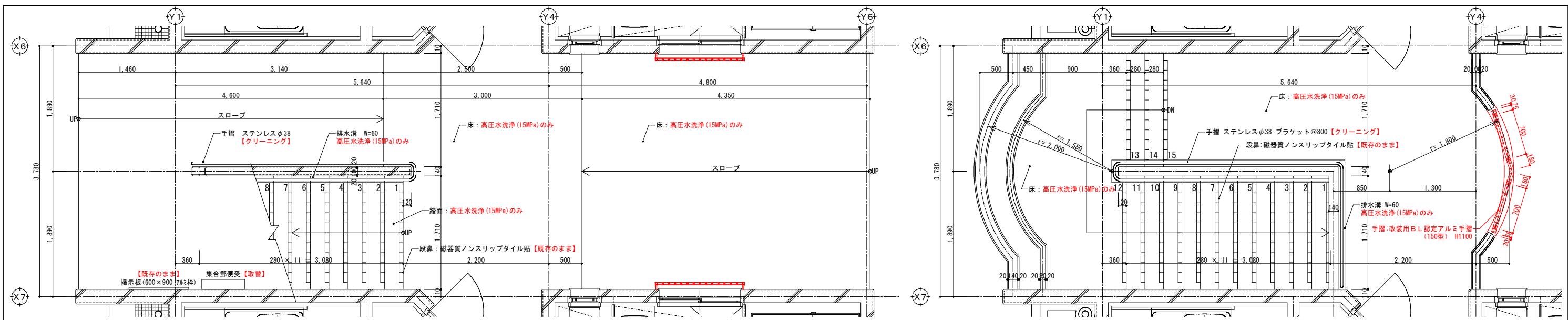
改修前

一級建築士事務所 鹿児島県知事登録 第1-5-18号 <b>永園設計株式会社</b> 管理建築士 一級建築士 第123948号 小原正信	管理技術者 主任技術者 製図 補助	設計年月日 R7.09 縮尺 1:30 (A1) 1:60 (A3)	工事名 町営住宅第3国頭団地 3号棟 改修工事 図面種類 改修前 矩計図【1-2】【2-2】	図面番号
				D-19



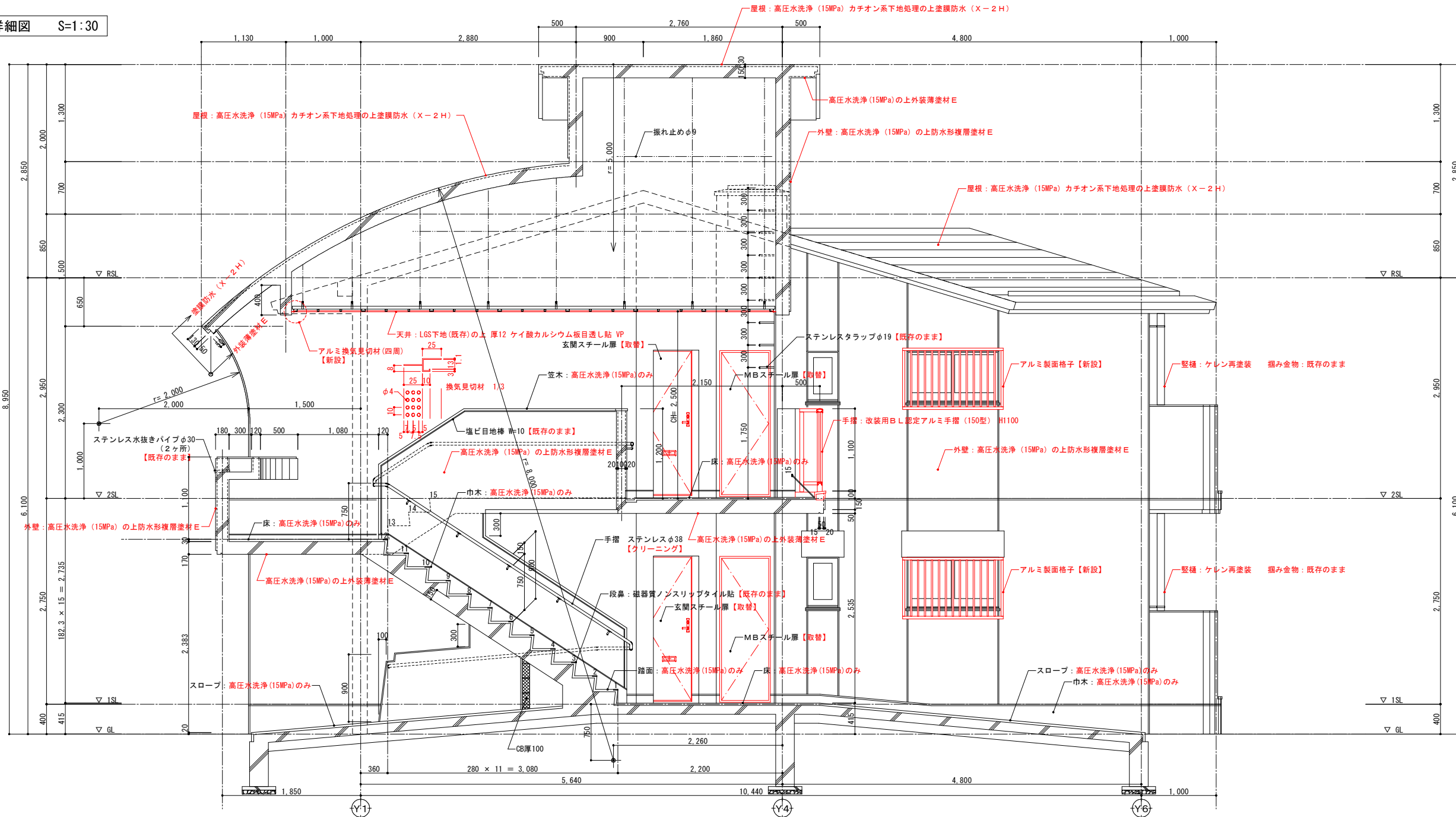
改修後

一級建築士事務所 鹿児島県知事登録 第1-5-18号 <b>永園設計株式会社</b> 管理建築士 一級建築士 第123948号 小原正信	管理技術者 主任技術者 製図 補助	設計年月日	R7.09	工事名 町営住宅第3国頭団地 3号棟 改修工事	図面番号 D-20	
		縮尺	1:30 (A1) 1:60 (A3)			図面種類 改修後 矩計図【1-2】【2-2】
		図面種類	改修後 矩計図【1-2】【2-2】			



1階平面詳細図 S=1:30

2階平面詳細図 S=1:30

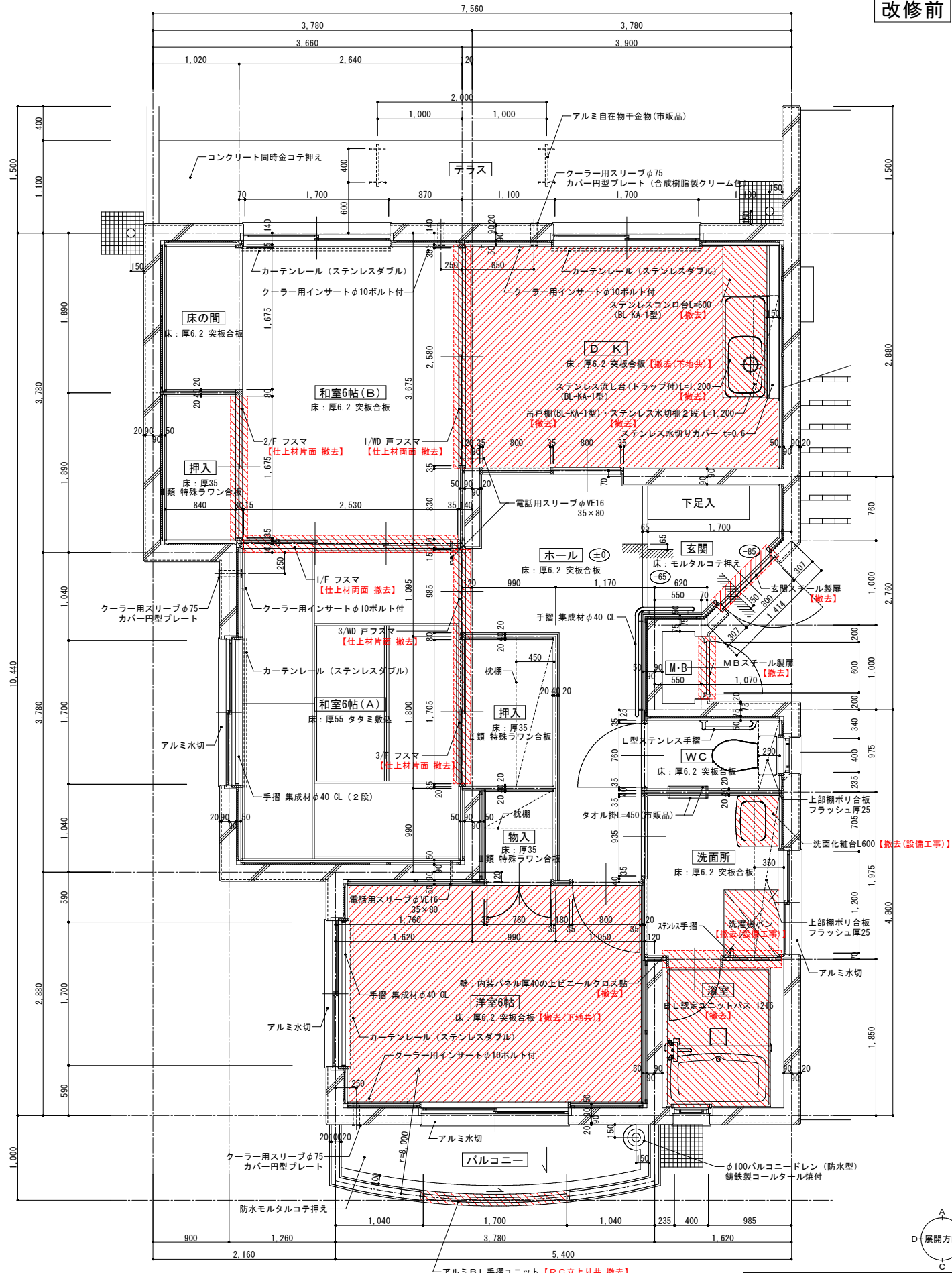


改修後

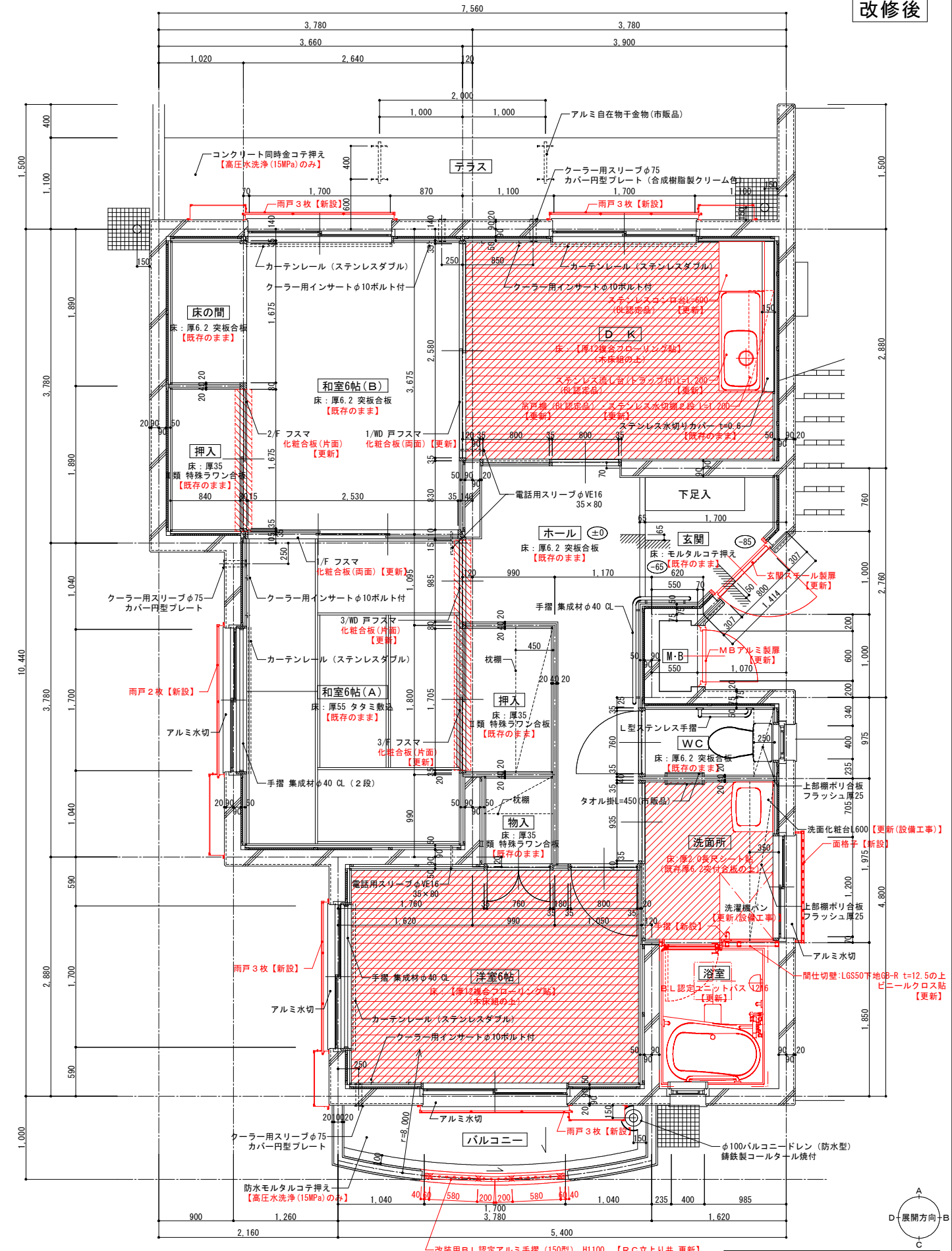
一級建築士事務所 鹿児島県知事登録 第1-5-18号 <b>永園設計株式会社</b> 管理建築士 一級建築士 第123948号 小原正信		管理技術者 主任技術者 製図 補助	設計年月日 R7.09 縮尺 1:30 (A1) 1:60 (A3)	工事名 町営住宅第3国頭団地 3号棟 改修工事 図面種類 改修後 階段詳細図	図面番号 D-21
--	--	----------------------------	--	---	--------------

改修前

改修後



改修前 平面詳細図【1-1】 1:30



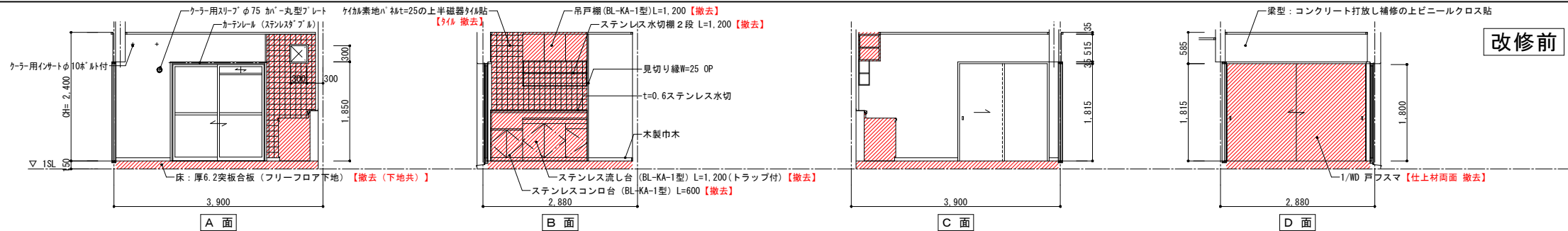
改修後 平面詳細図【1-1】 1:30

設計年月日 R7.09	工事名 町営住宅第3国頭団地 3号棟 改修工事	図面番号 D-22
縮尺 1:30 (A1) 1:60 (A3)	図面種類 改修前・後 平面詳細図【1-1】	

一級建築士事務所 鹿兒島県知事登録 第1-5-18号  
**永園設計株式会社**  
 管理建築士 一級建築士 第123948号 小原正信

管理技術者  
 主任技術者  
 製図  
 補助

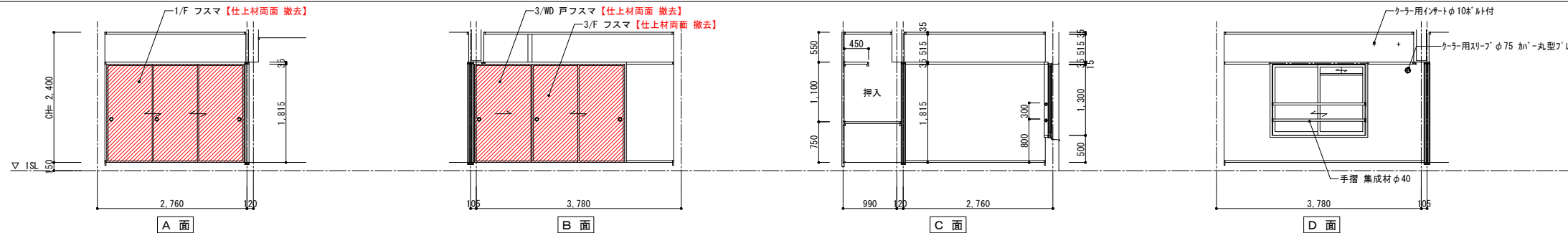
	D K
床	厚6.2 突板合板 (フリーフロア下地)
巾木	木製巾木 H=60
壁	コンクリート打放し補修の上ビニールクロス貼 厚25内装パネルの上ビニールクロス貼 厚25内装パネルの上半磁器タイル100角貼
天井	厚9.0化粧石膏ボード張 CH=2,400
備考	ステンレス流し台コンロ台付(L=1,800) 吊戸棚(BL-KA-1型)、ステンレス水切櫃(2段) ステンレス水切 t=0.6 換気扇プレキャスト枠



改修前

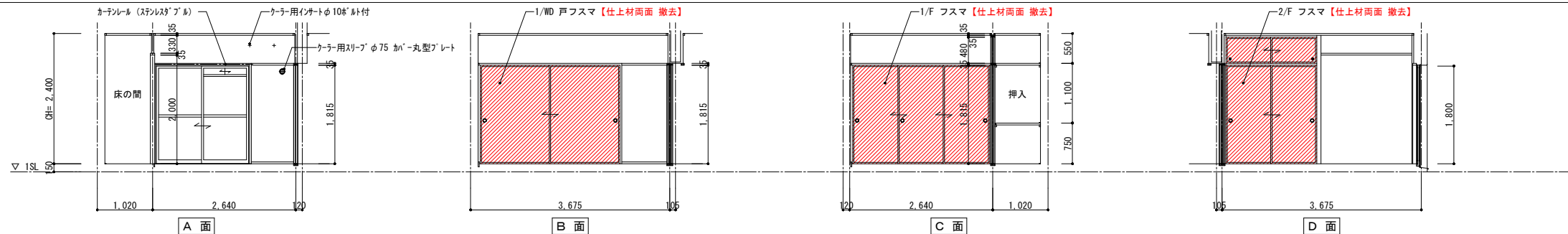
	和室6帖A
床	厚55タタミ敷込 (フリーフロア下地)
巾木	タタミ寄せ H=35
壁	厚25内装パネルの上ビニールクロス貼
天井	厚15プリント合板 CH=2,400 (木下地)
備考	窓用手摺 集成材φ40

	押入
床	厚35Ⅱ類 特殊ラワン合板
巾木	雑巾摺
壁	厚25Ⅱ類 特殊ラワン合板
天井	厚15Ⅱ類 特殊ラワン合板 CH=2,400 (木下地)
備考	中欄、枕欄



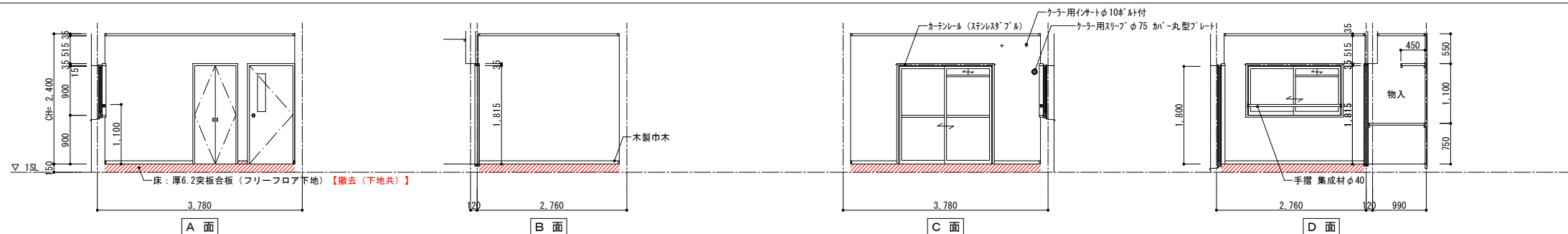
	和室6帖B
床	厚6.2 突板合板 (フリーフロア下地)
巾木	タタミ寄せ H=35
壁	厚25内装パネルの上ビニールクロス貼
天井	厚15プリント合板 CH=2,400 (木下地)
備考	窓用手摺 集成材φ40

	押入
床	厚35Ⅱ類 特殊ラワン合板
巾木	雑巾摺
壁	厚25Ⅱ類 特殊ラワン合板
天井	厚15Ⅱ類 特殊ラワン合板 CH=2,400 (木下地)
備考	中欄、天袋

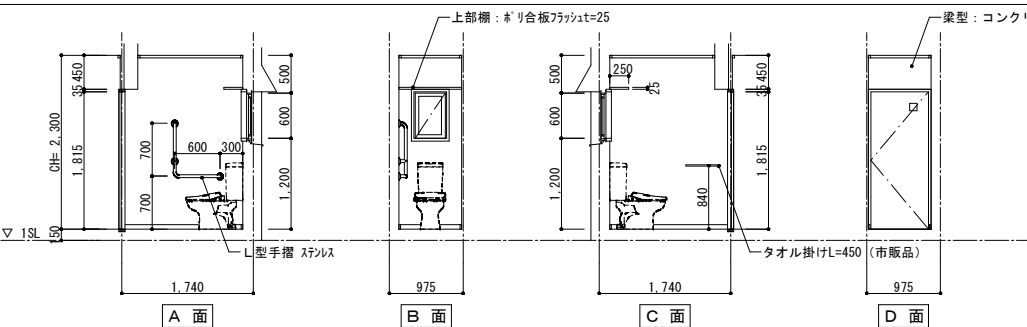


	洋室6帖
床	厚6.2 突板合板 (フリーフロア下地)
巾木	木製巾木 H=60
壁	厚25・40内装パネルの上ビニールクロス貼
天井	厚15内装ﾊﾞｰｷﾀの上ビ-ｷﾀ貼 CH=2,400 (木下地)
備考	窓用手摺 集成材φ40

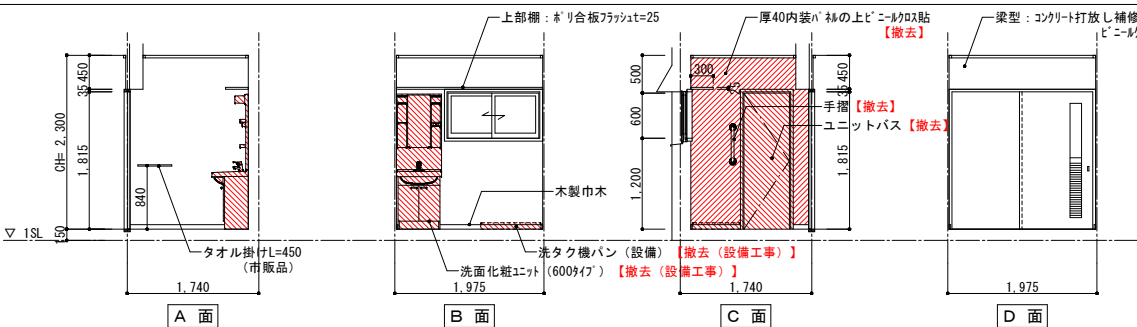
	物入
床	厚35Ⅱ類 特殊ラワン合板
巾木	雑巾摺
壁	厚25Ⅱ類 特殊ラワン合板
天井	厚15Ⅱ類 特殊ラワン合板 CH=2,400 (木下地)
備考	中欄、枕欄



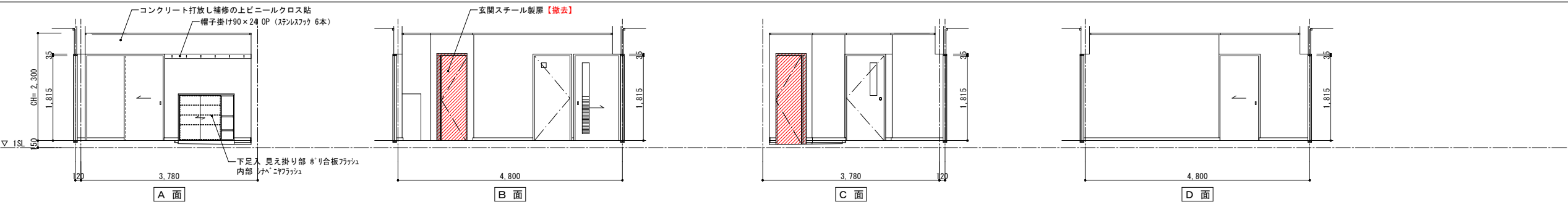
	便所
床	厚6.2 突板合板 (フリーフロア下地)
巾木	木製巾木 H=60
壁	コンクリート打放し補修の上ビニールクロス貼 厚25・40内装パネルの上ビニールクロス貼
天井	コンクリート打放し補修の上ビ-ｷﾀ貼 CH=2,300
備考	タオル掛(ステンレス) L=450 φ12.7 L型手摺、上部欄



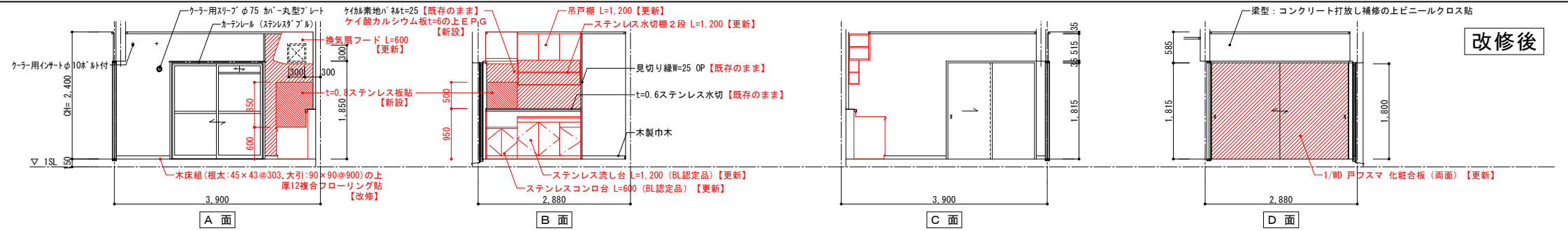
	洗面所
床	厚6.2 突板合板 (フリーフロア下地)
巾木	木製巾木 H=60
壁	コンクリート打放し補修の上ビニールクロス貼 厚25・40内装パネルの上ビニールクロス貼
天井	コンクリート打放し補修の上ビ-ｷﾀ貼 CH=2,300
備考	タオル掛(ステンレス) L=450 φ12.7 手摺、上部欄



	ホール・廊下
床	玄関:モルタルｺｰﾁｰ押え ﾎｰﾙ・廊下:厚6.2 突板合板 (ﾌﾘｰﾌﾛｱ下地)
巾木	玄関:ｷﾞﾘ合板押え ﾎｰﾙ・廊下:木製巾木 H=60
壁	コンクリート打放し補修の上ビニールクロス貼 厚25・40内装パネルの上ビニールクロス貼
天井	厚15内装ﾊﾞｰｷﾀの上ビ-ｷﾀ貼 CH=2,300
備考	扉板(ステンレスﾌｯｸ6本)、下足入

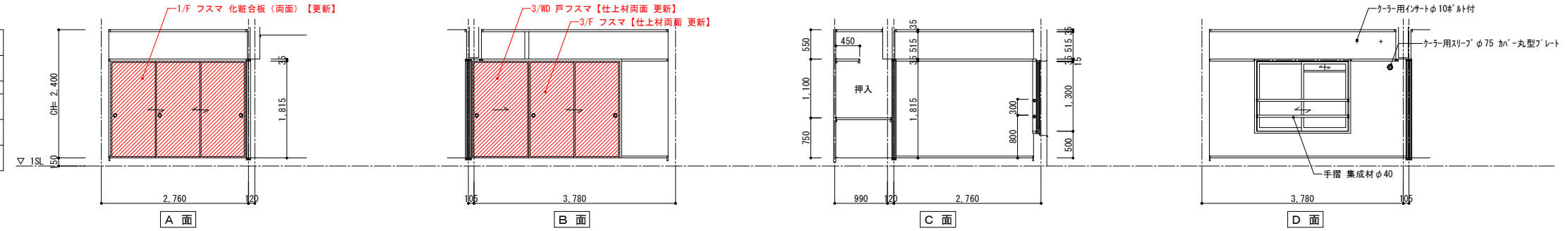


	D K
床	木床組(根太:45×43@303,大引:90×90@900)の上厚12複合フローリング貼
巾木	既存のまま
壁	既存のまま (流し前) ケイ酸カルシウム板t=25 既存のまま ケイ酸カルシウム板t=6の上EPG
天井	既存のまま
備考	ステンレス流し台(BL認定品)L=1,200 ステンレスコンロ台(BL認定品)L=600 吊戸棚(BL認定品)・ステンレス水切棚2段L=1,200 ステンレス水切【既存のまま】



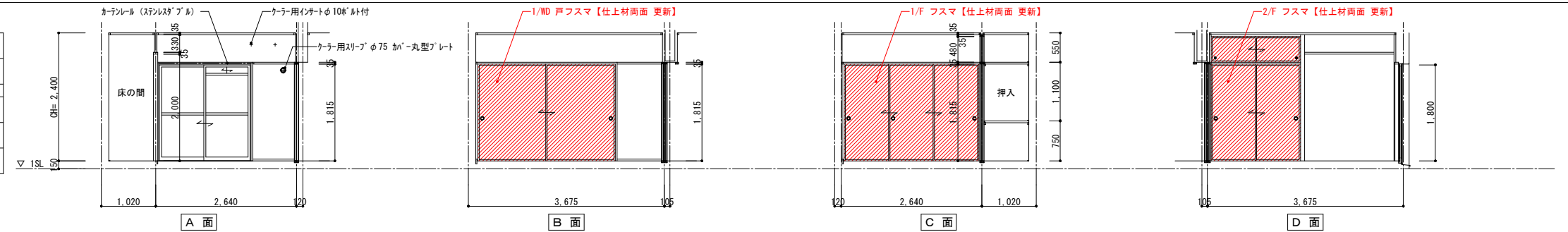
	和室6帖A
床	既存のまま
巾木	既存のまま
壁	既存のまま
天井	既存のまま
備考	既存のまま

	押入
床	既存のまま
巾木	既存のまま
壁	既存のまま
天井	既存のまま
備考	既存のまま



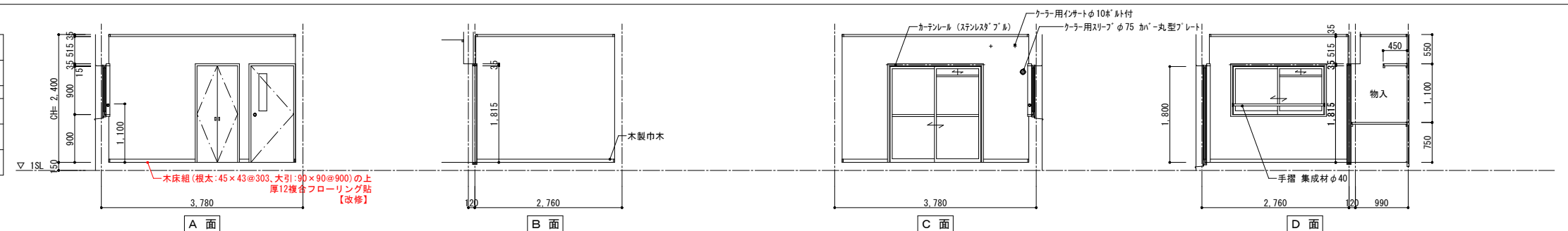
	和室6帖B
床	既存のまま
巾木	既存のまま
壁	既存のまま
天井	既存のまま
備考	既存のまま

	押入
床	既存のまま
巾木	既存のまま
壁	既存のまま
天井	既存のまま
備考	既存のまま

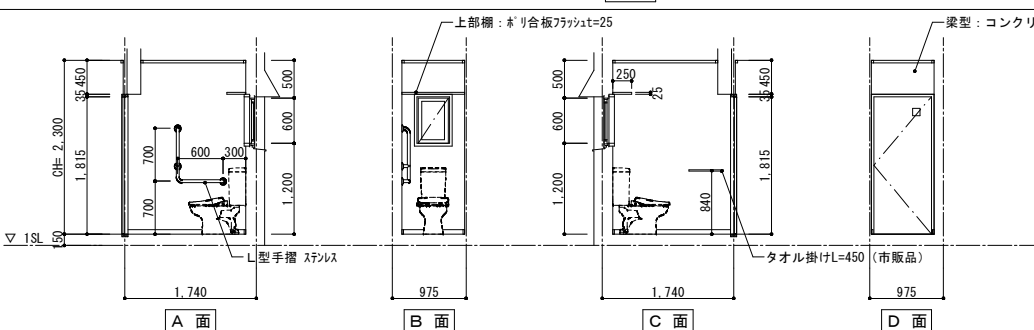


	洋室6帖
床	木床組(根太:45×43@303,大引:90×90@900)の上厚12複合フローリング貼
巾木	既存のまま
壁	既存のまま
天井	既存のまま
備考	既存のまま

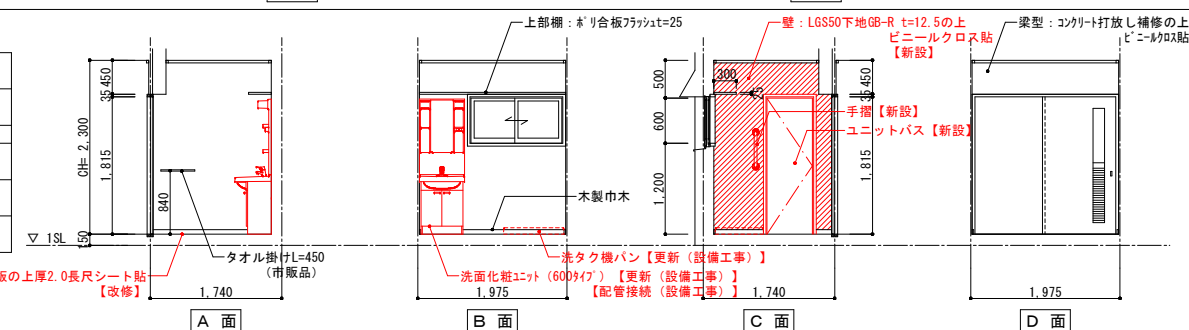
	物入
床	既存のまま
巾木	既存のまま
壁	既存のまま
天井	既存のまま
備考	既存のまま



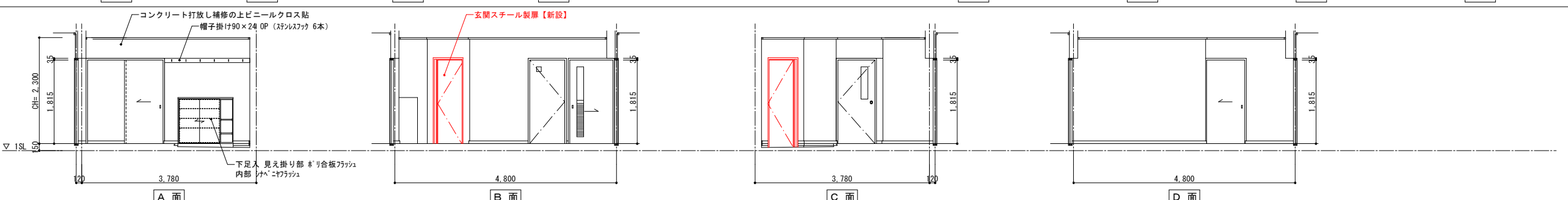
	便所
床	既存のまま
巾木	既存のまま
壁	既存のまま
天井	既存のまま
備考	既存のまま



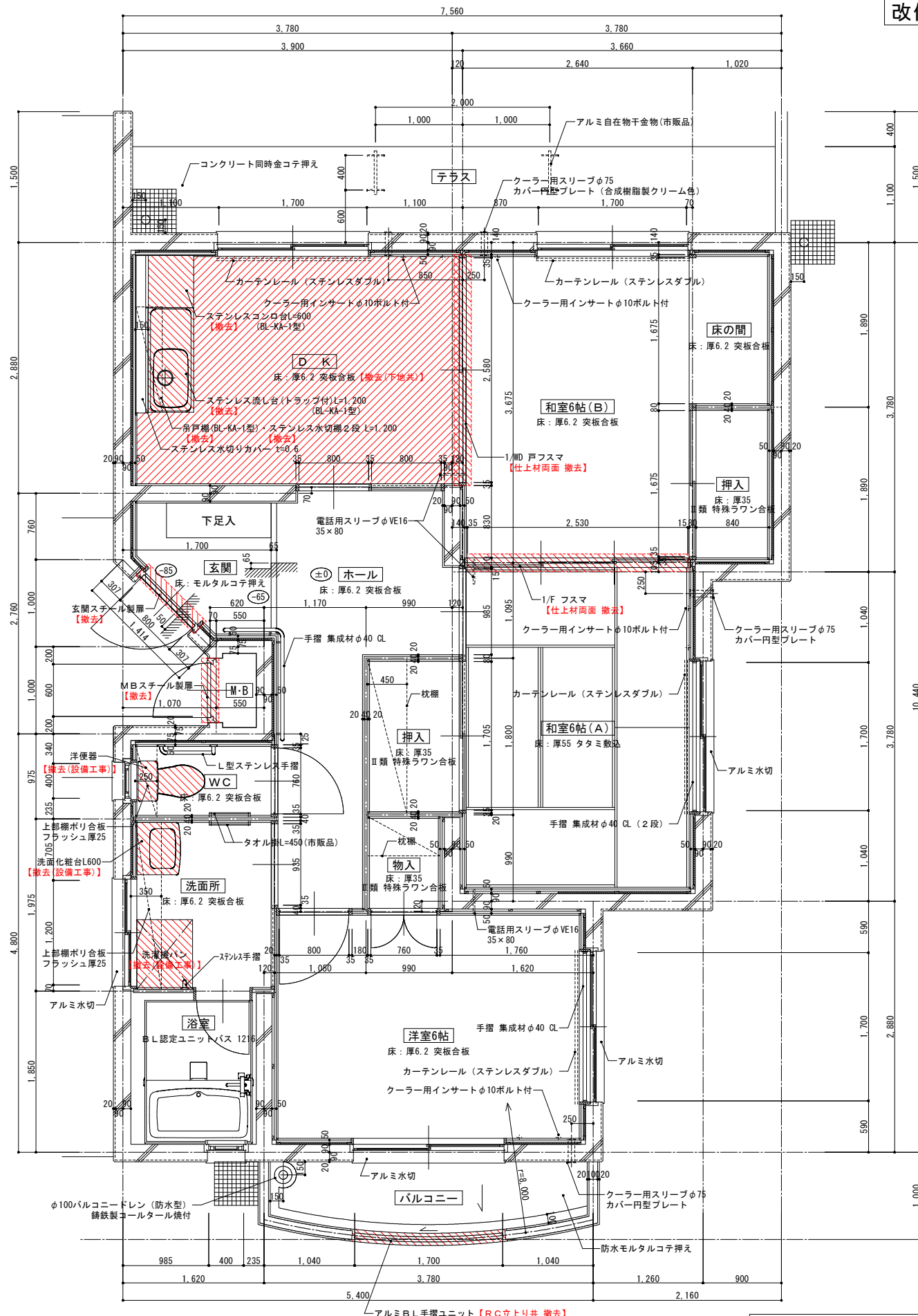
	洗面所
床	既存厚6.2突付合板の上厚2.0長尺シート貼
巾木	既存のまま
壁	既存のまま LGS50下地GB-R t=12.5の上ビニールクロス貼
天井	既存のまま
備考	既存のまま



	ホール・廊下
床	既存のまま
巾木	既存のまま
壁	既存のまま
天井	既存のまま
備考	既存のまま

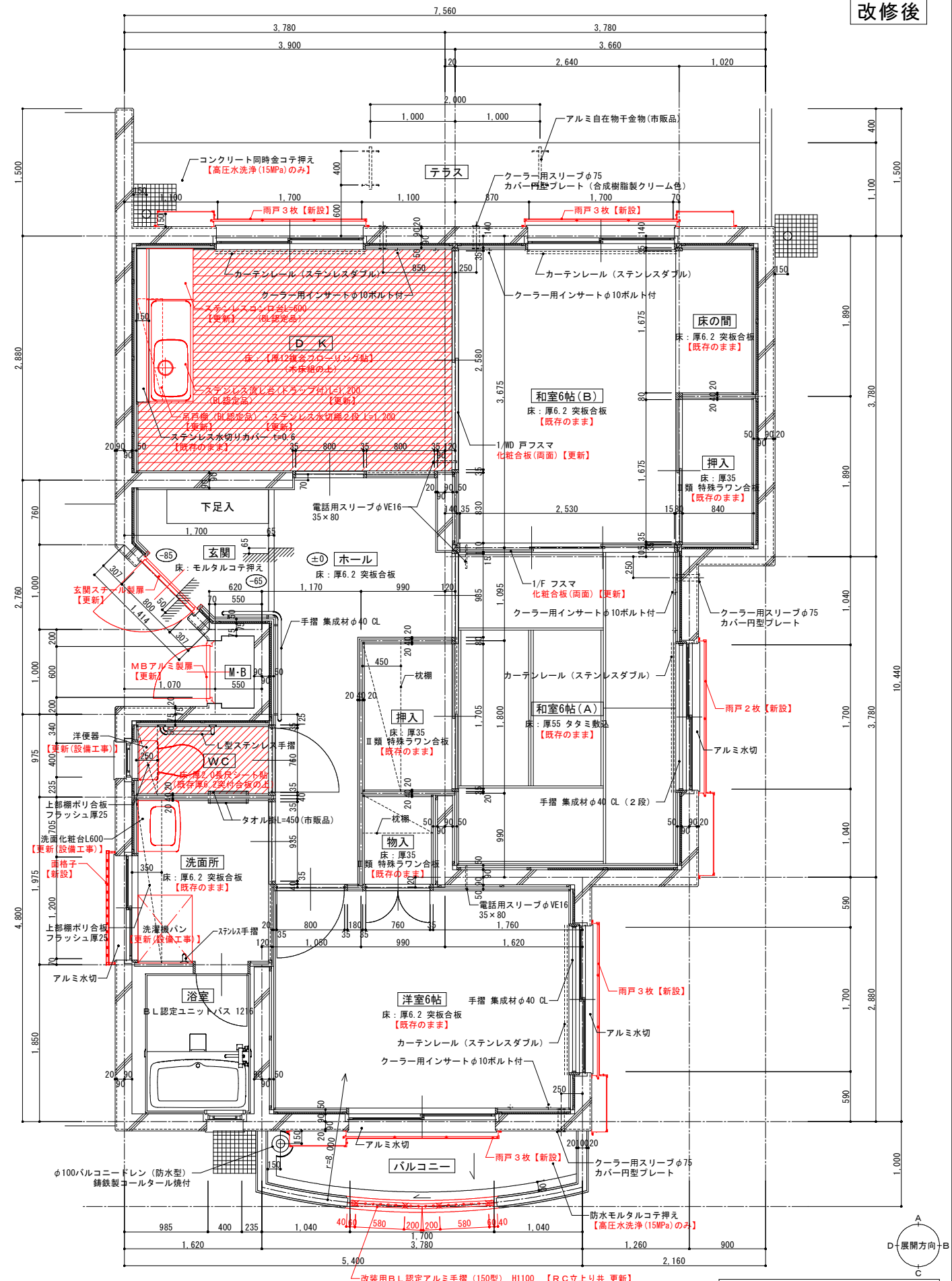


改修前



改修前 平面詳細図【1-2】 1:30

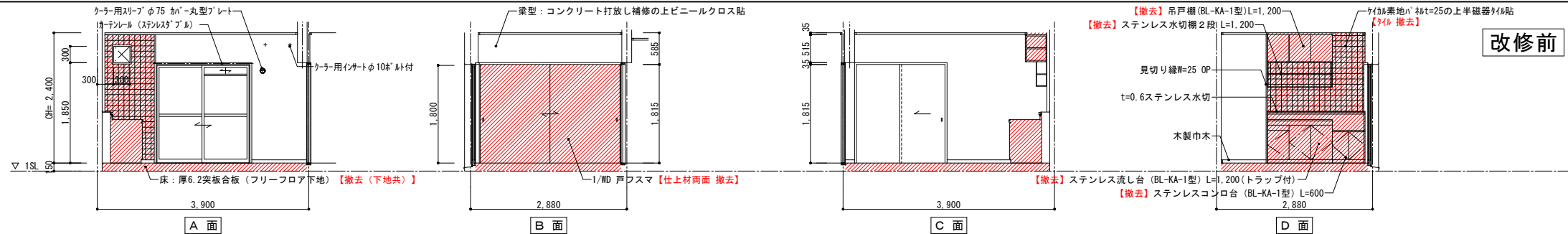
改修後



改修後 平面詳細図【1-2】 1:30

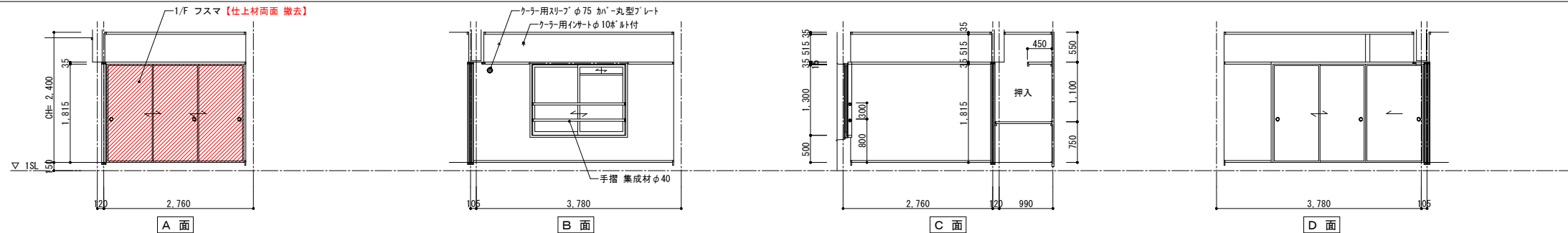
一級建築士事務所 鹿児島県知事登録 第1-5-18号	管理技術者	主任技術者	製図	補助	設計年月日 R7.09	工事名 町営住宅第3国頭団地 3号棟 改修工事	図面番号 D-25
永園設計株式会社					縮尺 1:30 (A1) 1:60 (A3)	図面種類 改修前・後 平面詳細図【1-2】	
管理建築士 一級建築士 第123948号 小原正信							

	D K
床	厚6.2 突板合板 (フリーフロア下地)
巾木	木製巾木 H=60
壁	コンクリート打放し補修の上ビニールクロス貼 厚25内装パネルの上ビニールクロス貼 厚25内装パネルの上半磁器タイル100角貼
天井	厚9.0化粧石膏ボード張 CH=2,400
備考	ステンレス流し台コンロ台付(L=1,800) 吊戸棚(BL-KA-1型)、ステンレス水切欄(2段) ステンレス水切 t=0.6 換気扇プレキャスト枠



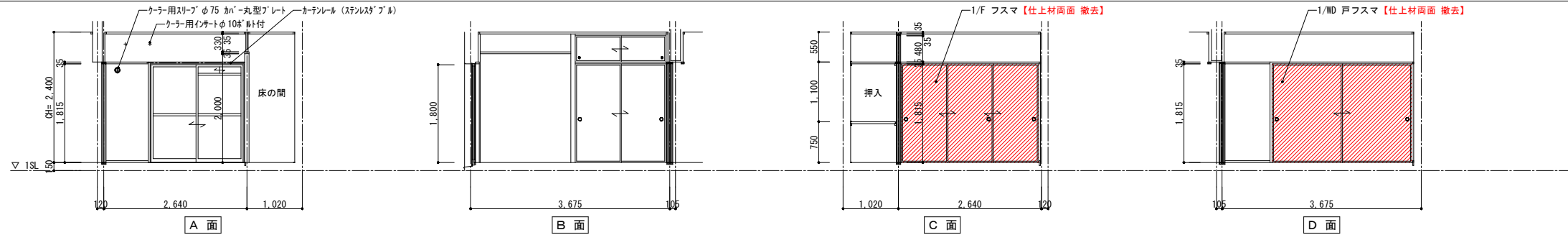
	和室6帖A
床	厚55タタミ敷込 (フリーフロア下地)
巾木	タタミ寄せ H=35
壁	厚25内装パネルの上ビニールクロス貼
天井	厚15プリント合板 CH=2,400 (木下地)
備考	窓用手摺 集成材φ40

	押入
床	厚35Ⅱ類 特殊ラワン合板
巾木	雑巾摺
壁	厚25Ⅱ類 特殊ラワン合板
天井	厚15Ⅱ類 特殊ラワン合板 CH=2,400 (木下地)
備考	中欄、枕欄



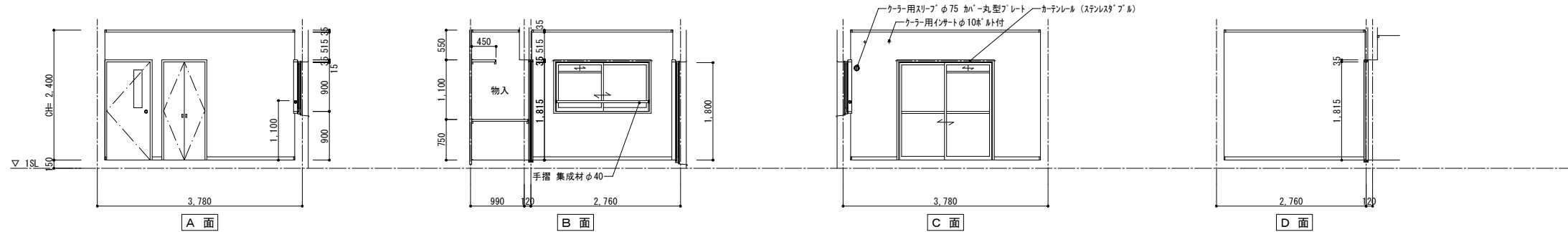
	和室6帖B
床	厚6.2 突板合板 (フリーフロア下地)
巾木	タタミ寄せ H=35
壁	厚25内装パネルの上ビニールクロス貼
天井	厚15プリント合板 CH=2,400 (木下地)
備考	窓用手摺 集成材φ40

	押入
床	厚35Ⅱ類 特殊ラワン合板
巾木	雑巾摺
壁	厚25Ⅱ類 特殊ラワン合板
天井	厚15Ⅱ類 特殊ラワン合板 CH=2,400 (木下地)
備考	中欄、天袋

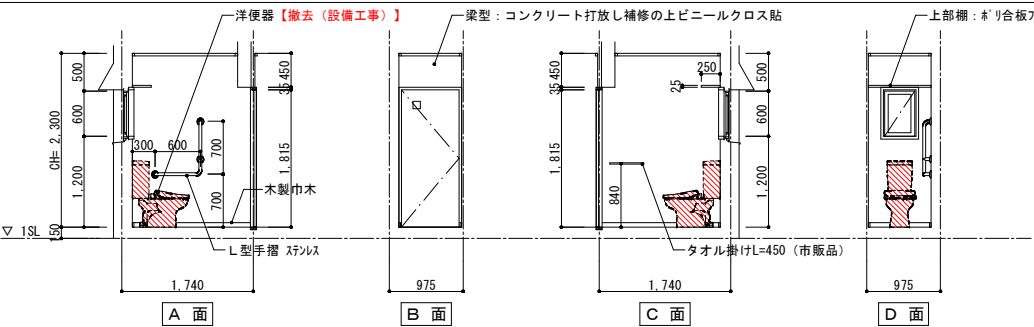


	洋室6帖
床	厚6.2 突板合板 (フリーフロア下地)
巾木	木製巾木 H=60
壁	厚25・40内装パネルの上ビニールクロス貼
天井	厚15内装パネルの上ビニールクロス貼 CH=2,400
備考	窓用手摺 集成材φ40

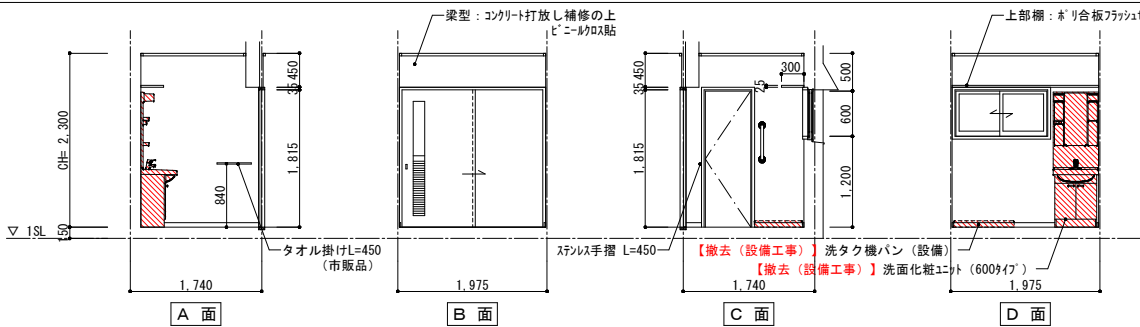
	物入
床	厚35Ⅱ類 特殊ラワン合板
巾木	雑巾摺
壁	厚25Ⅱ類 特殊ラワン合板
天井	厚15Ⅱ類 特殊ラワン合板 CH=2,400 (木下地)
備考	中欄、枕欄



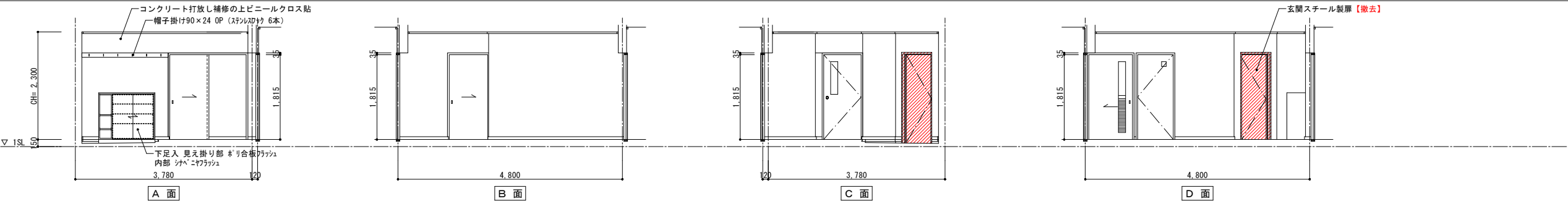
	便所
床	厚6.2 突板合板 (フリーフロア下地)
巾木	木製巾木 H=60
壁	コンクリート打放し補修の上ビニールクロス貼 厚25・40内装パネルの上ビニールクロス貼
天井	コンクリート打放し補修の上ビニールクロス貼 CH=2,300
備考	タオル掛(ステンレス) L=450 φ12.7 L型手摺、上部欄



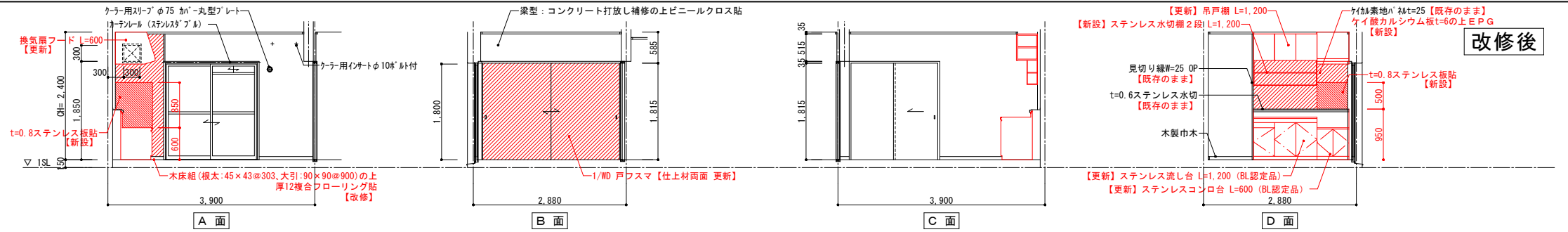
	洗面所
床	厚6.2 突板合板 (フリーフロア下地)
巾木	木製巾木 H=60
壁	コンクリート打放し補修の上ビニールクロス貼 厚25・40内装パネルの上ビニールクロス貼
天井	コンクリート打放し補修の上ビニールクロス貼 CH=2,300
備考	タオル掛(ステンレス) L=450 φ12.7 手摺、上部欄



	ホール・廊下
床	玄関：モルタルコテ押え ホール・廊下：厚6.2 突板合板 (フリーフロア下地)
巾木	玄関：モルタルコテ押え ホール・廊下：木製巾木 H=60
壁	コンクリート打放し補修の上ビニールクロス貼 厚25・40内装パネルの上ビニールクロス貼
天井	厚15内装パネルの上ビニールクロス貼 CH=2,300
備考	扉板(ステンレス)φ6本、下足入

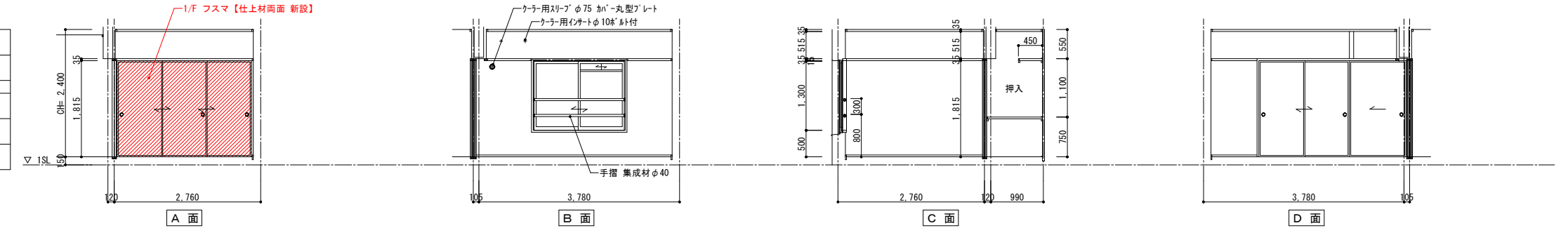


	D K
床	木床組(根太:45×43@303,大引:90×90@900)の上厚12複合フローリング貼
巾木	既存のまま
壁	既存のまま (流し前) ケイ酸カルシウム板t=25 既存のまま ケイ酸カルシウム板t=6の上E P G
天井	既存のまま
備考	ステンレス流し台(BL認定品)L=1,200 ステンレスコンロ台(BL認定品)L=600 吊戸棚(BL認定品)・ステンレス水切棚2段L=1,200 ステンレス水切【既存のまま】



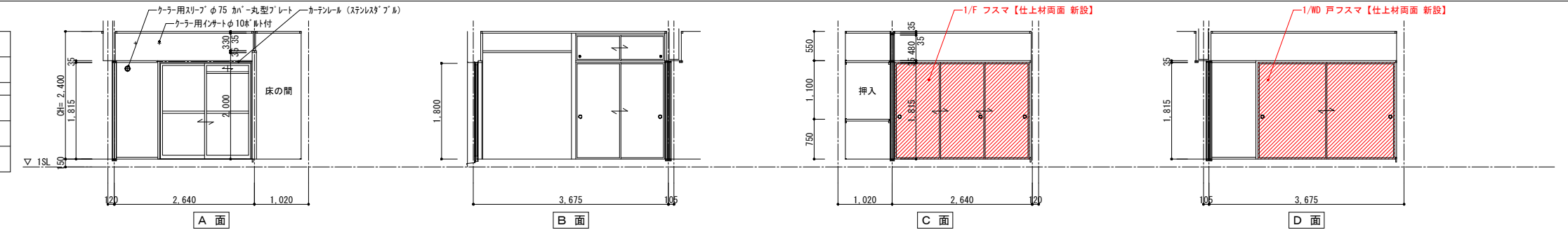
	和室6帖A
床	既存のまま
巾木	既存のまま
壁	既存のまま
天井	既存のまま
備考	既存のまま

	押入
床	既存のまま
巾木	既存のまま
壁	既存のまま
天井	既存のまま
備考	既存のまま



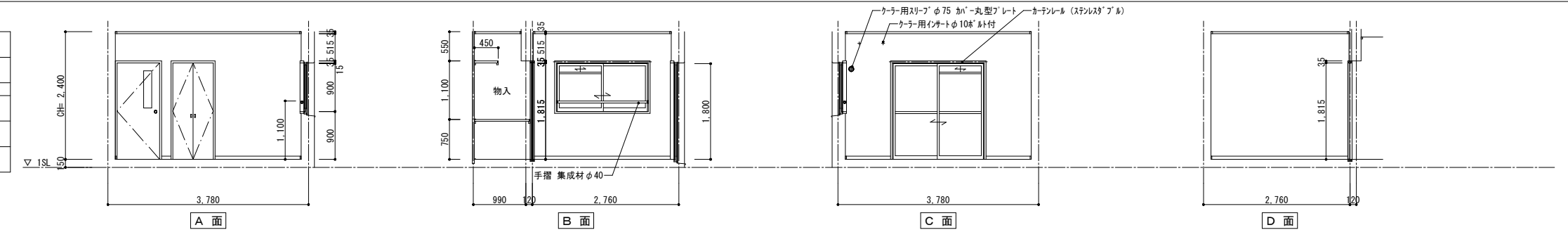
	和室6帖B
床	既存のまま
巾木	既存のまま
壁	既存のまま
天井	既存のまま
備考	既存のまま

	押入
床	既存のまま
巾木	既存のまま
壁	既存のまま
天井	既存のまま
備考	既存のまま

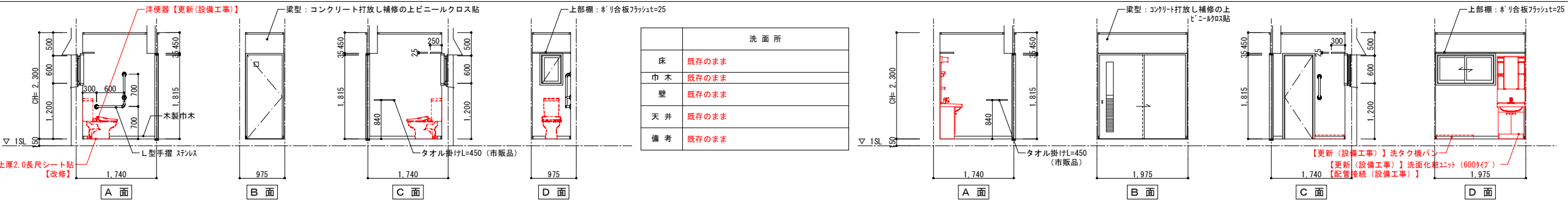


	洋室6帖
床	既存のまま
巾木	既存のまま
壁	既存のまま
天井	既存のまま
備考	既存のまま

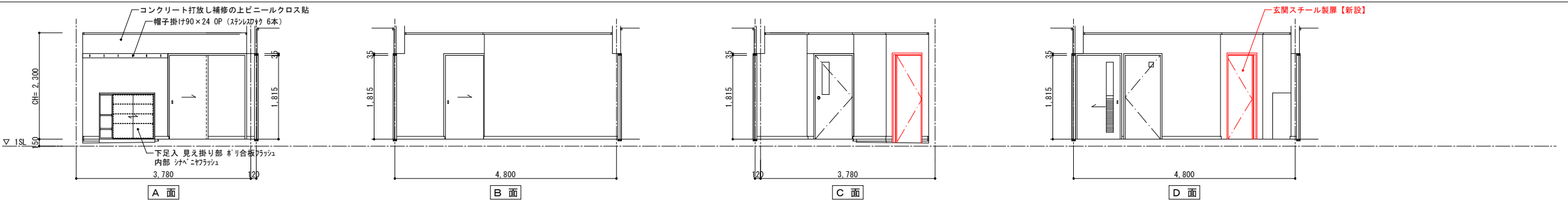
	物入
床	既存のまま
巾木	既存のまま
壁	既存のまま
天井	既存のまま
備考	既存のまま



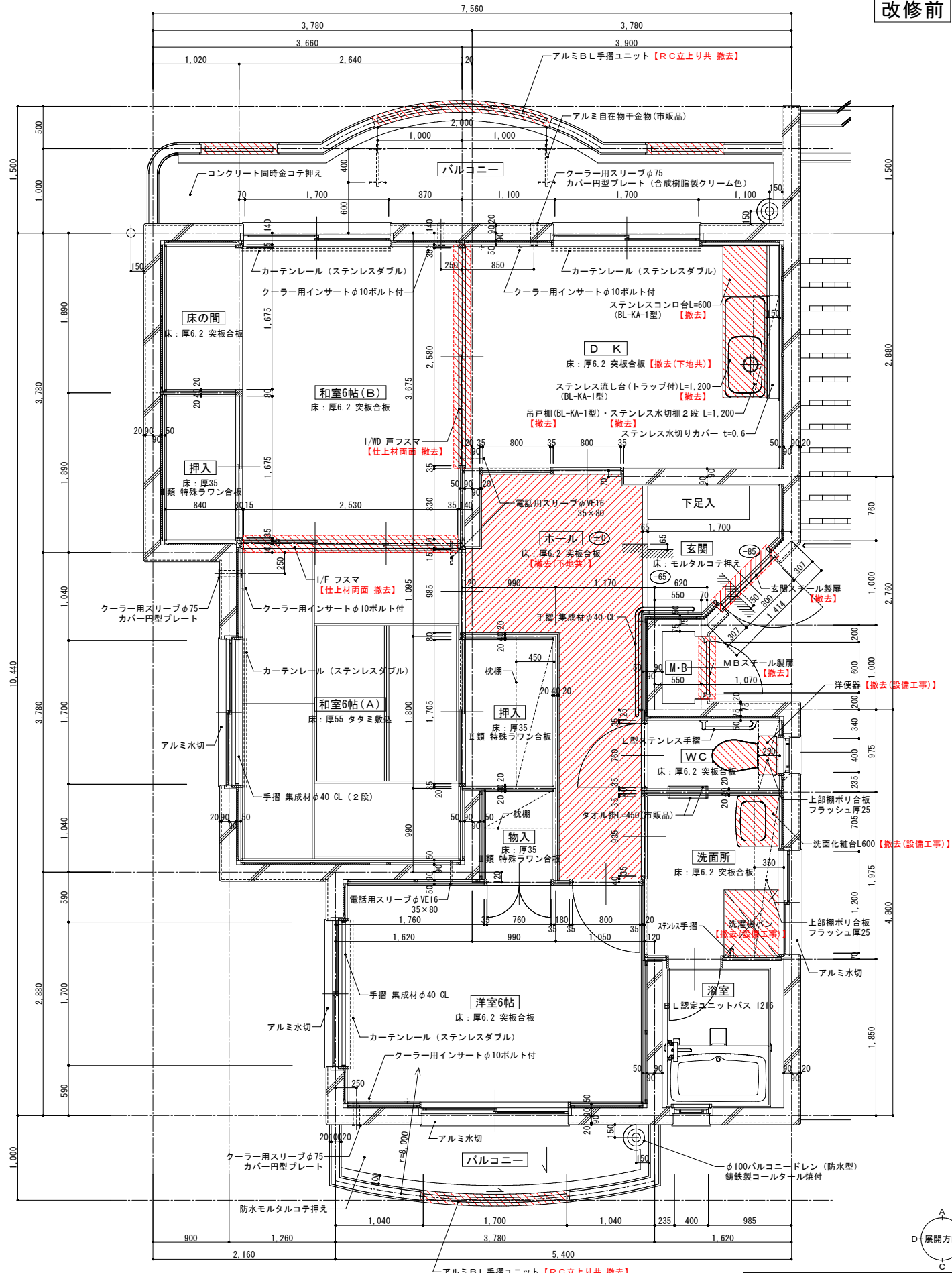
	便所
床	既存厚6.2突合せ板の上厚2.0長尺シート貼
巾木	既存のまま
壁	既存のまま
天井	既存のまま
備考	既存のまま



	ホール・廊下
床	既存のまま
巾木	既存のまま
壁	既存のまま
天井	既存のまま
備考	既存のまま

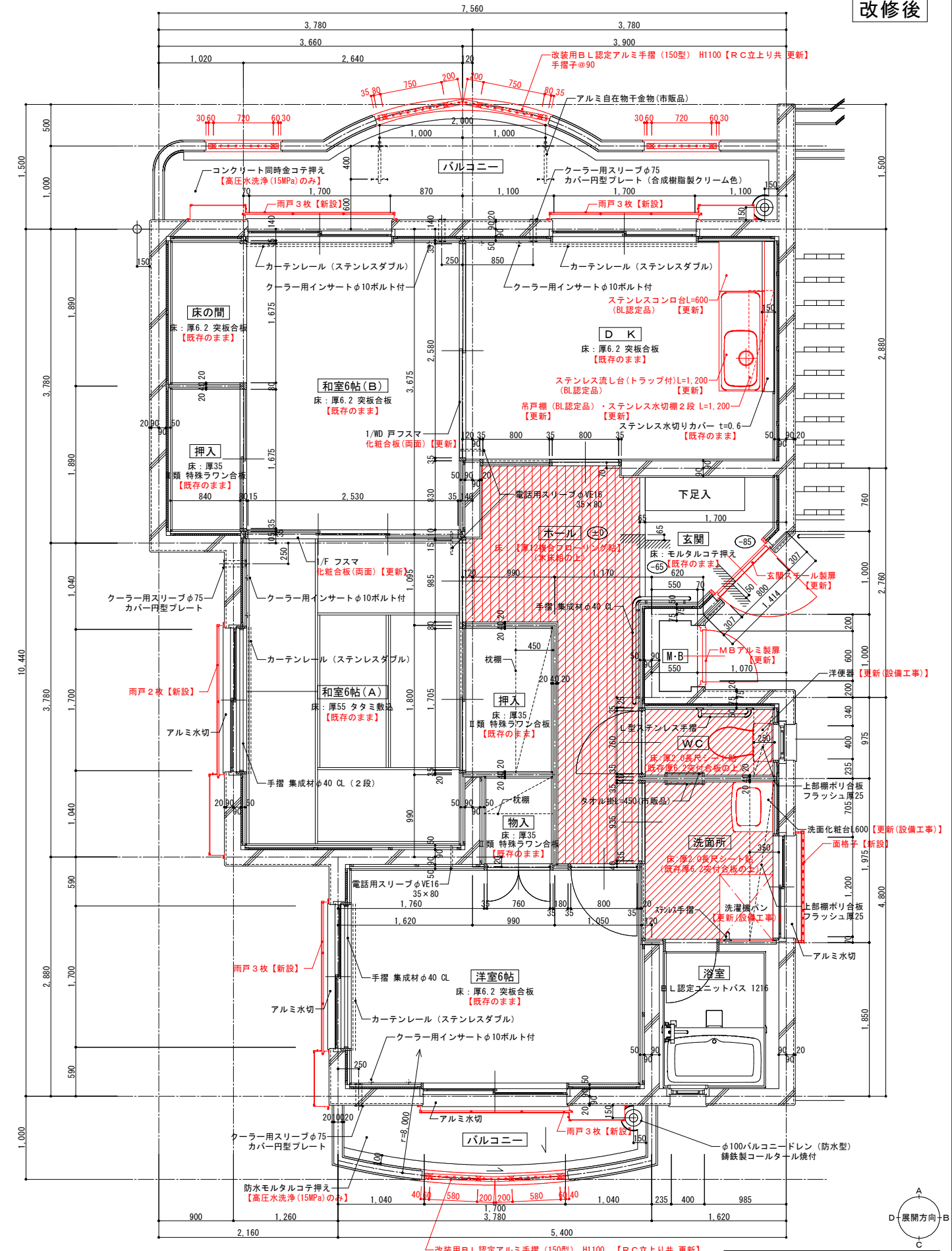


改修前



改修前 平面詳細図【2-1】 1:30

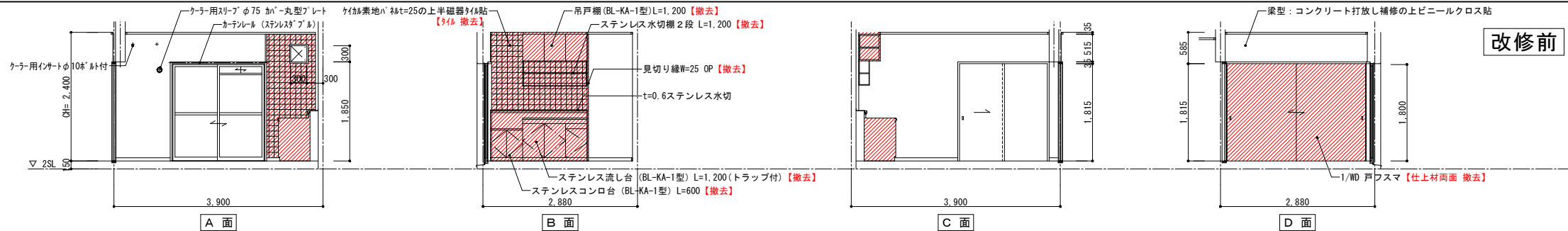
改修後



改修後 平面詳細図【2-1】 1:30

設計年月日	R7.09	工事名	町営住宅第3国頭団地 3号棟 改修工事	図面番号	D-28
設計者	永園設計株式会社	図面種類	改修前・後 平面詳細図【2-1】		
管理建築士	一級建築士 第123948号 小原正徳				

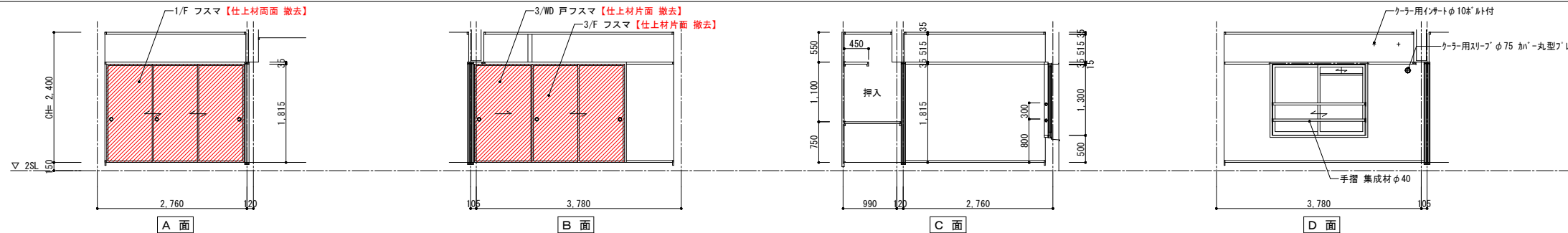
	D K
床	厚6.2 突板合板 (フリーフロア下地)
巾木	木製巾木 H=60
壁	コンクリート打放し補修の上ビニールクロス貼 厚25内装パネルの上ビニールクロス貼 厚25内装パネルの上半磁器タイル100角貼
天井	厚9.0化粧石膏ボード張 CH=2,400
備考	ステンレス流し台コンロ台付(L=1,800) 吊戸棚(BL-KA-1型)、ステンレス水切欄(2段) ステンレス水切 t=0.6 換気扇プレキャスト枠



改修前

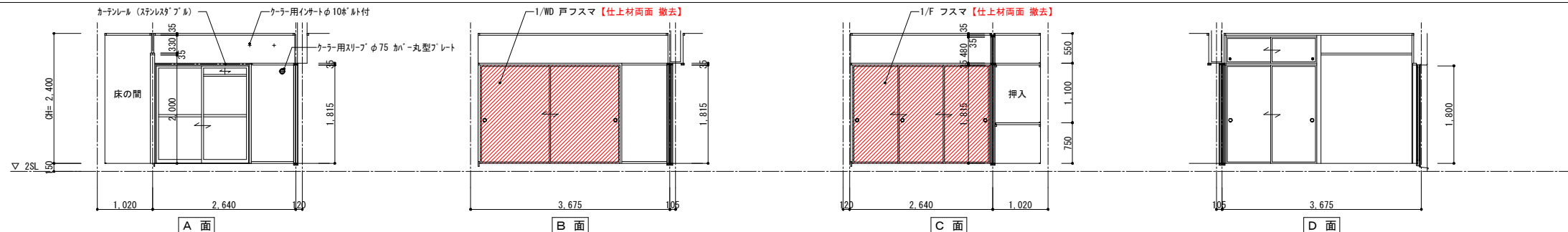
	和室6帖A
床	厚55タタミ敷込 (フリーフロア下地)
巾木	タタミ寄せ H=35
壁	厚25内装パネルの上ビニールクロス貼
天井	厚15プリント合板 CH=2,400 (木下地)
備考	窓用手摺 集成材φ40

	押入
床	厚35Ⅱ類 特殊ラワン合板
巾木	雑巾摺
壁	厚25Ⅱ類 特殊ラワン合板
天井	厚15Ⅱ類 特殊ラワン合板 CH=2,400 (木下地)
備考	中欄、枕欄



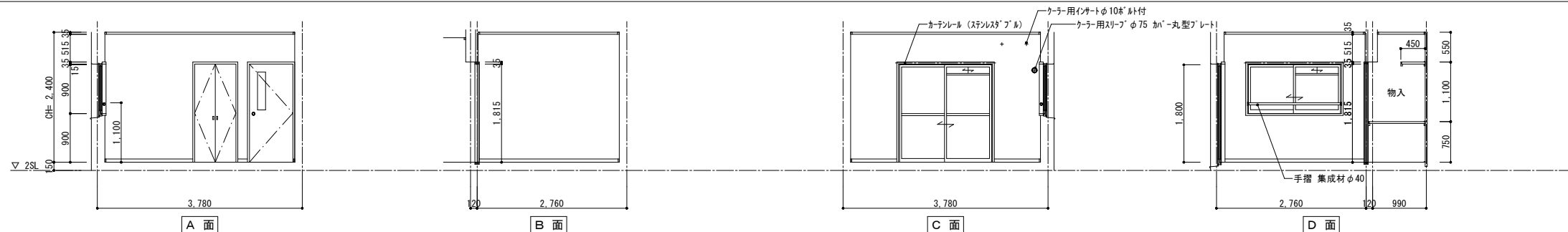
	和室6帖B
床	厚6.2 突板合板 (フリーフロア下地)
巾木	タタミ寄せ H=35
壁	厚25内装パネルの上ビニールクロス貼
天井	厚15プリント合板 CH=2,400 (木下地)
備考	窓用手摺 集成材φ40

	押入
床	厚35Ⅱ類 特殊ラワン合板
巾木	雑巾摺
壁	厚25Ⅱ類 特殊ラワン合板
天井	厚15Ⅱ類 特殊ラワン合板 CH=2,400 (木下地)
備考	中欄、天袋

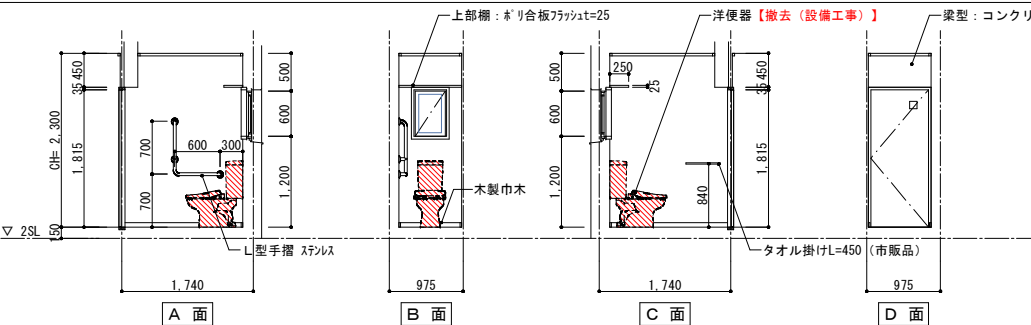


	洋室6帖
床	厚6.2 突板合板 (フリーフロア下地)
巾木	木製巾木 H=60
壁	厚25・40内装パネルの上ビニールクロス貼
天井	厚15内装ﾊﾞｰｷﾀの上ビ-ﾙｸﾞ貼貼 CH=2,400 (木下地)
備考	窓用手摺 集成材φ40

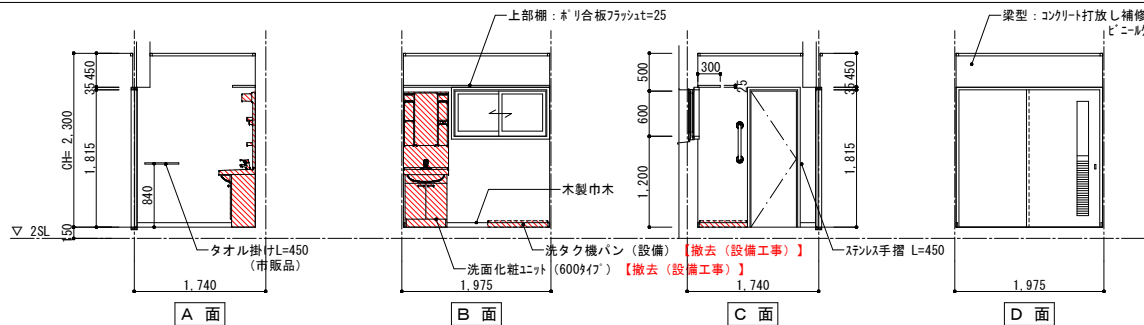
	物入
床	厚35Ⅱ類 特殊ラワン合板
巾木	雑巾摺
壁	厚25Ⅱ類 特殊ラワン合板
天井	厚15Ⅱ類 特殊ラワン合板 CH=2,400 (木下地)
備考	中欄、枕欄



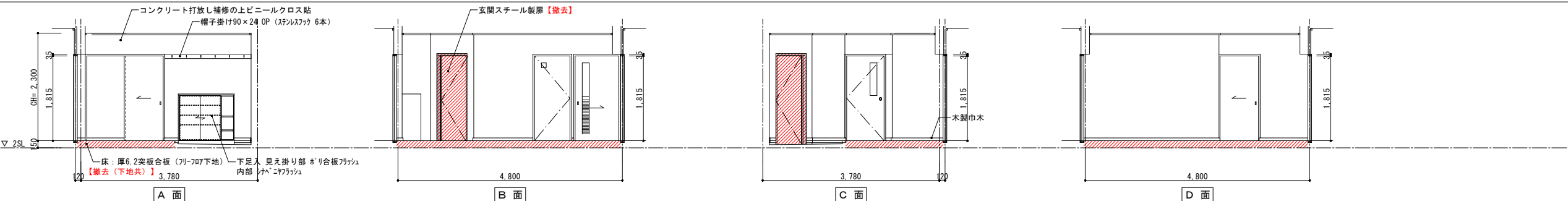
	便所
床	厚6.2 突板合板 (フリーフロア下地)
巾木	木製巾木 H=60
壁	コンクリート打放し補修の上ビニールクロス貼 厚25・40内装パネルの上ビニールクロス貼
天井	LGS下地石膏ボードt=9の上ビ-ﾙｸﾞ貼貼 CH=2,300
備考	タオル掛(ステンレス) L=450 φ12.7 L型手摺、上部欄



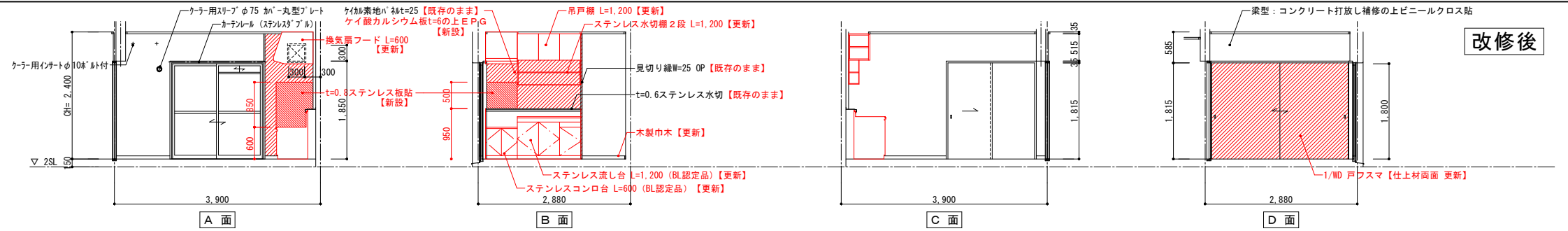
	洗面所
床	厚6.2 突板合板 (フリーフロア下地)
巾木	木製巾木 H=60
壁	コンクリート打放し補修の上ビニールクロス貼 厚25・40内装パネルの上ビニールクロス貼
天井	LGS下地石膏ボードt=9の上ビ-ﾙｸﾞ貼貼 CH=2,300
備考	タオル掛(ステンレス) L=450 φ12.7 手摺、上部欄



	ホール・廊下
床	玄関: モルタルコテ押え ﾎｰﾙ・廊下: 厚6.2 突板合板 (ﾌﾘｰﾌﾛｱ下地)
巾木	玄関: ｷﾞﾘ合板押え ｷﾞﾘ合板 (ﾌﾘｰﾌﾛｱ下地) ﾎｰﾙ・廊下: 木製巾木 H=60
壁	コンクリート打放し補修の上ビニールクロス貼 厚25・40内装パネルの上ビニールクロス貼
天井	厚15内装ﾊﾞｰｷﾀの上ビ-ﾙｸﾞ貼貼 CH=2,300
備考	扉板(ステンレスﾌｯｸ6本)、下足入

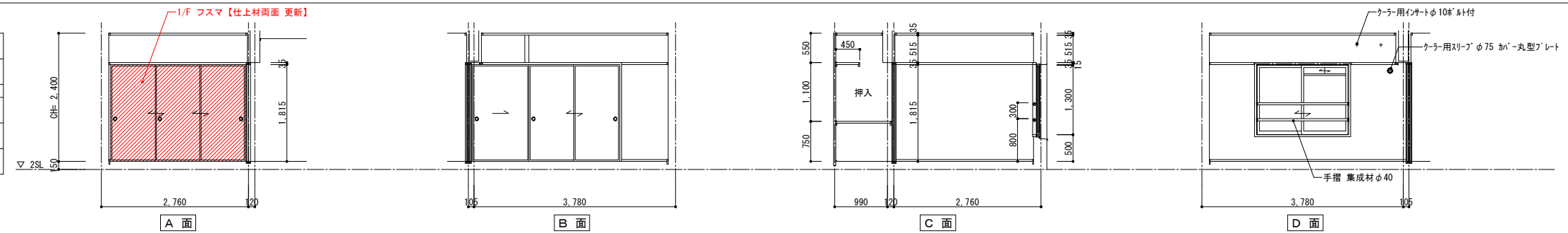


	D K
床	既存のまま
巾木	既存のまま
壁	既存のまま (流し前) ケイ酸カルシウム板t=25 既存のまま ケイ酸カルシウム板t=6の上EPG
天井	既存のまま
備考	ステンレス流し台 (BL認定品)L=1,200 ステンレスコンロ台 (BL認定品)L=600 吊戸棚 (BL認定品) ステンレス水切棚 2段L=1,200 ステンレス水切【既存のまま】



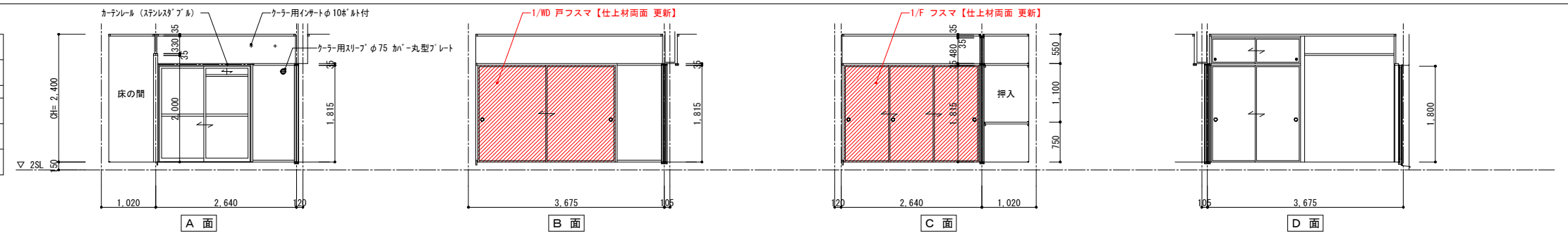
	和室6帖A
床	既存のまま
巾木	既存のまま
壁	既存のまま
天井	既存のまま
備考	既存のまま

	押入
床	既存のまま
巾木	既存のまま
壁	既存のまま
天井	既存のまま
備考	既存のまま



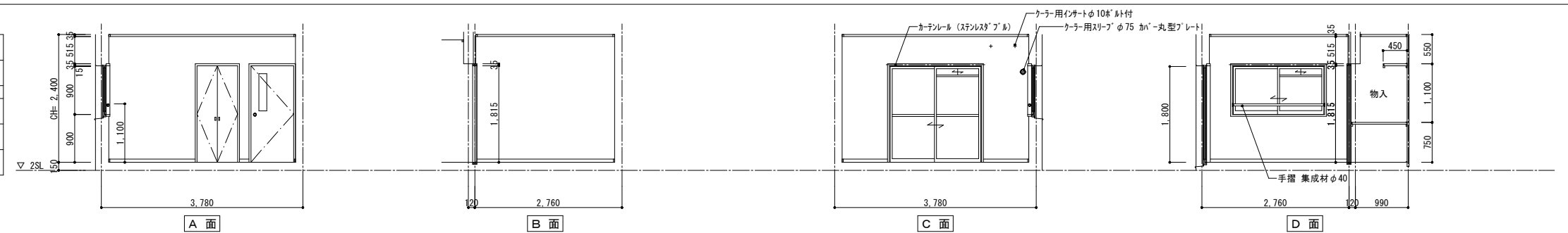
	和室6帖B
床	既存のまま
巾木	既存のまま
壁	既存のまま
天井	既存のまま
備考	既存のまま

	押入
床	既存のまま
巾木	既存のまま
壁	既存のまま
天井	既存のまま
備考	既存のまま

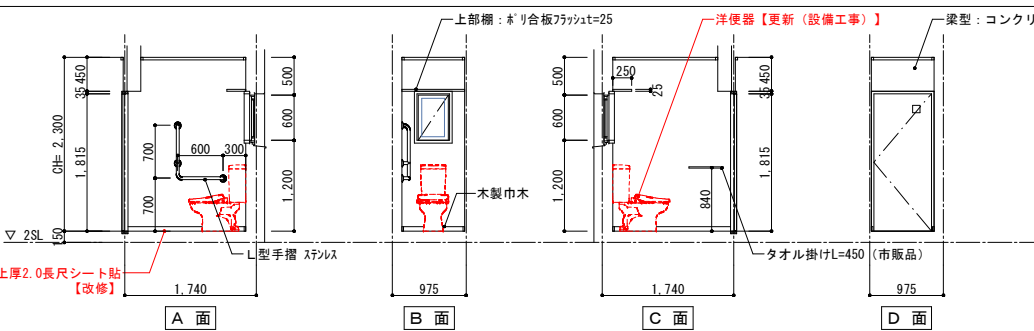


	洋室6帖
床	既存のまま
巾木	既存のまま
壁	既存のまま
天井	既存のまま
備考	既存のまま

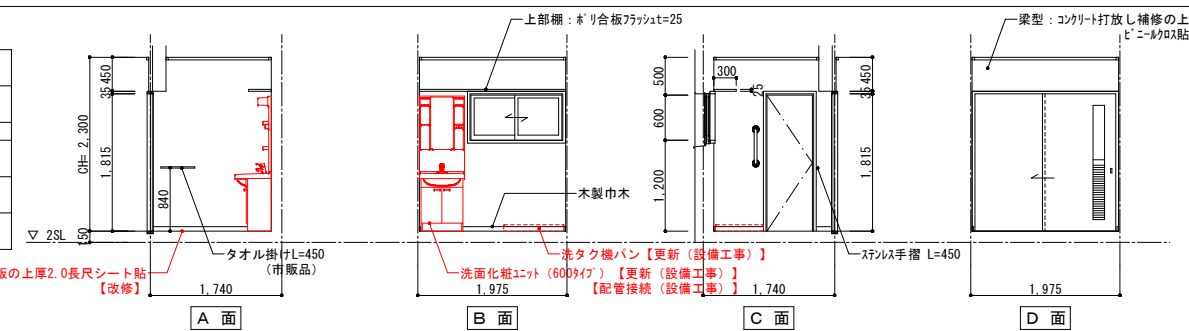
	物入
床	既存のまま
巾木	既存のまま
壁	既存のまま
天井	既存のまま
備考	既存のまま



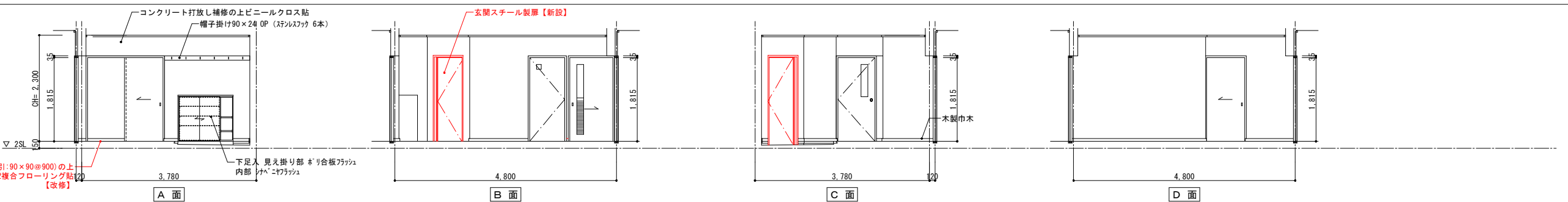
	便所
床	既存厚6.2突合板の上厚2.0長尺シート貼
巾木	既存のまま
壁	既存のまま
天井	既存のまま
備考	既存のまま



	洗面所
床	既存厚6.2突合板の上厚2.0長尺シート貼
巾木	既存のまま
壁	既存のまま
天井	既存のまま
備考	既存のまま

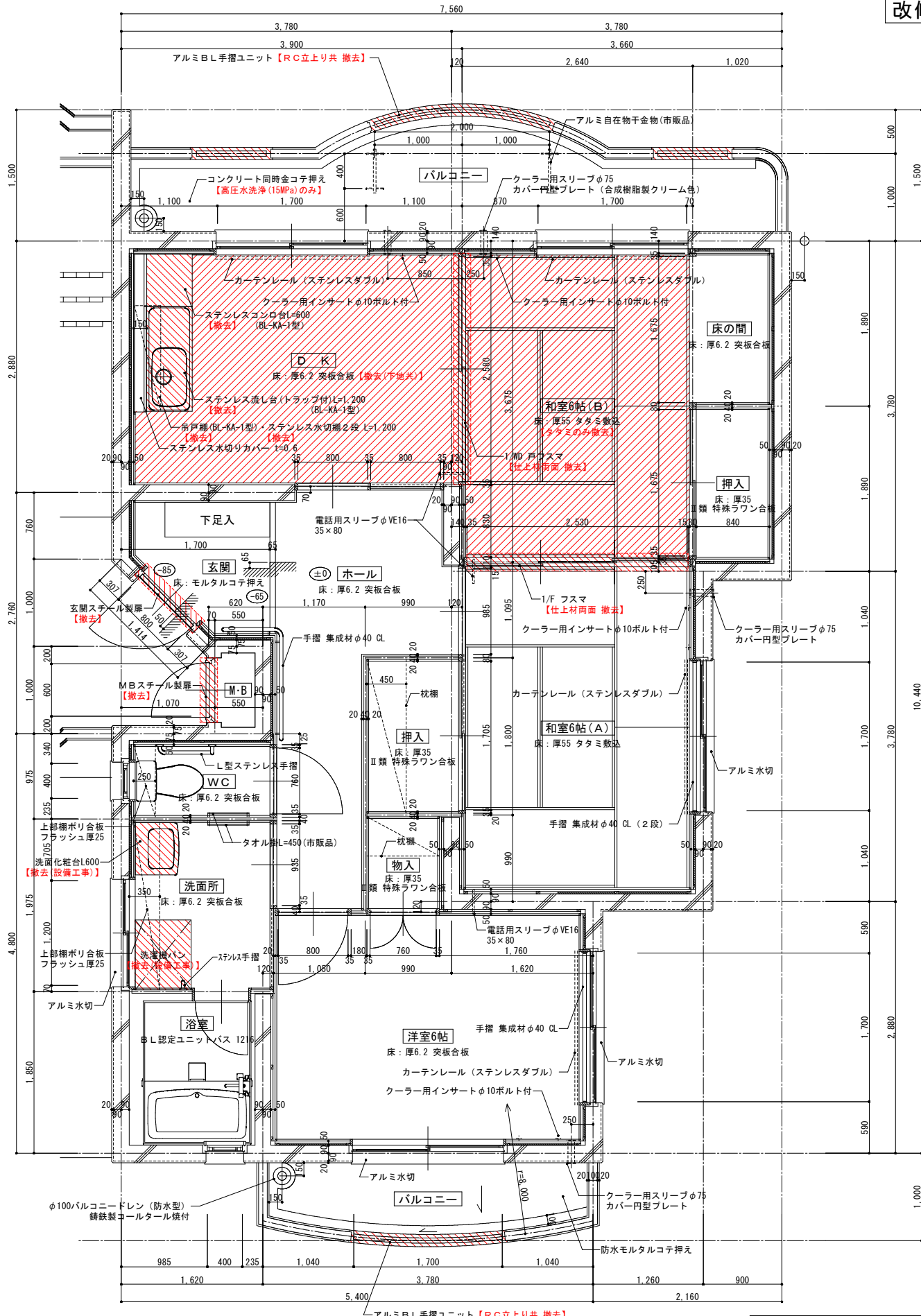


	ホール・廊下
床	木床組(根太:45×43@303,大引:90×90@900)の上厚12複合フローリング貼
巾木	既存のまま
壁	既存のまま
天井	既存のまま
備考	既存のまま

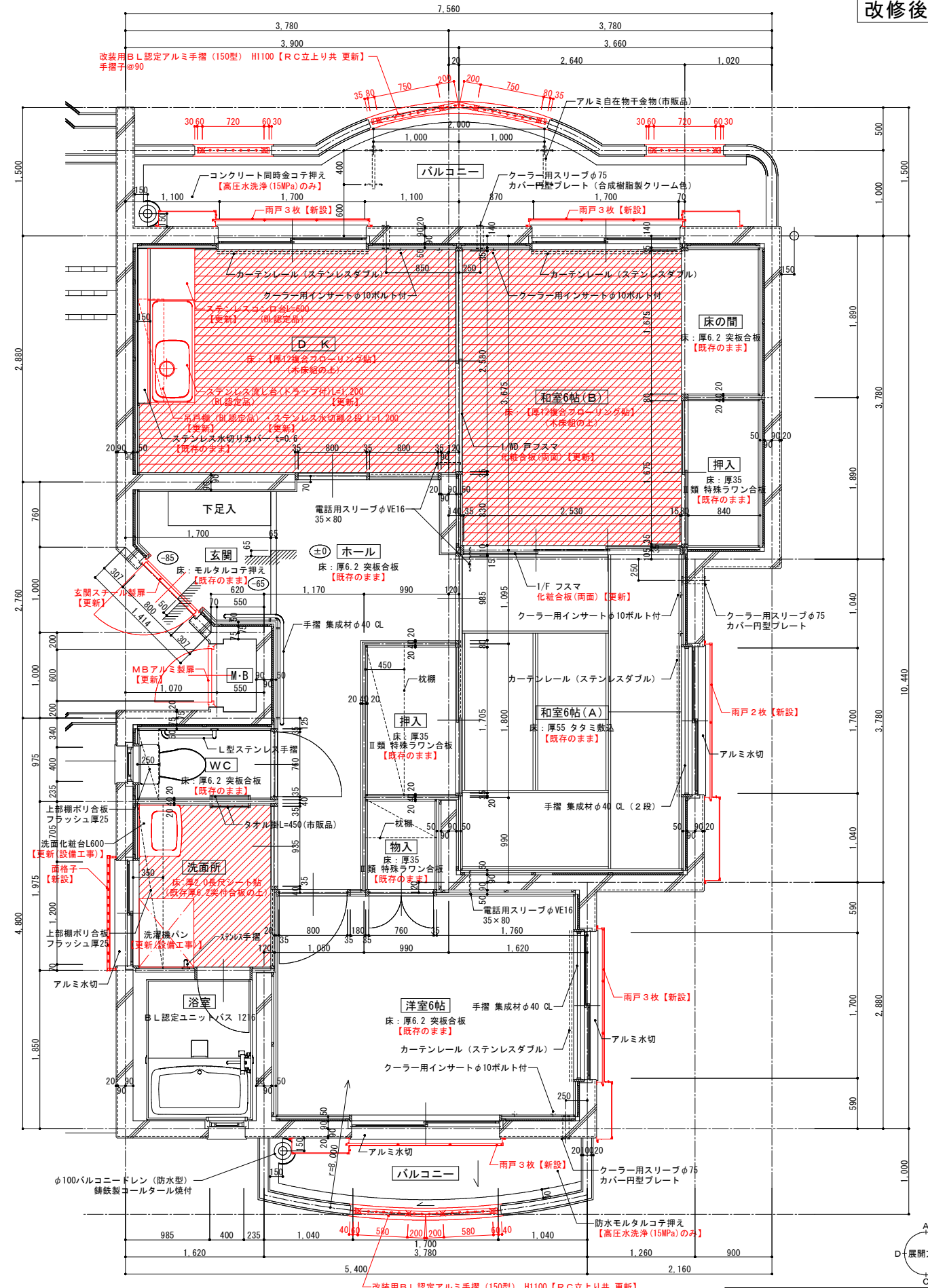


改修前

改修後



改修前 平面詳細図【2-2】 1:30

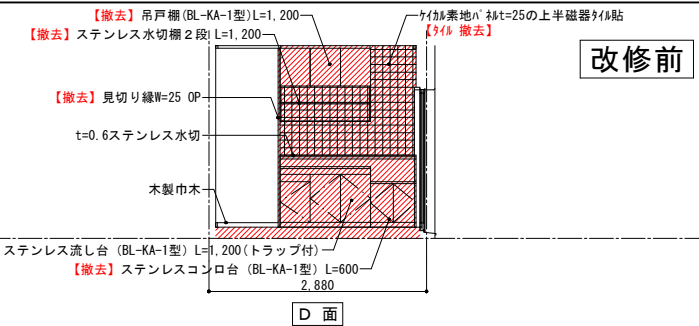
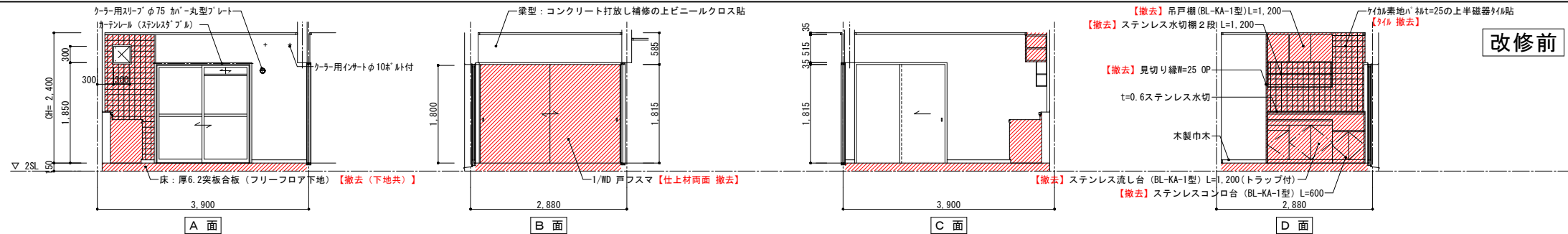


改修後 平面詳細図【2-2】 1:30

設計年月日	R7.09	工事名	町営住宅第3国頭団地 3号棟 改修工事	図面番号	図面種類
縮尺	1:30 (A1) 1:60 (A3)	図面種類	改修前・後 平面詳細図【2-2】	図面番号	D-31
管理技術者	主任技術者	製図	補助	設計者	監理者
永園設計株式会社	鹿野 昭彦	佐藤 隆	佐藤 隆	佐藤 隆	佐藤 隆

一級建築士事務所 鹿野昭彦事務所 第1-5-18号  
**永園設計株式会社**  
 管理建築士 一級建築士 第123948号 小原正信

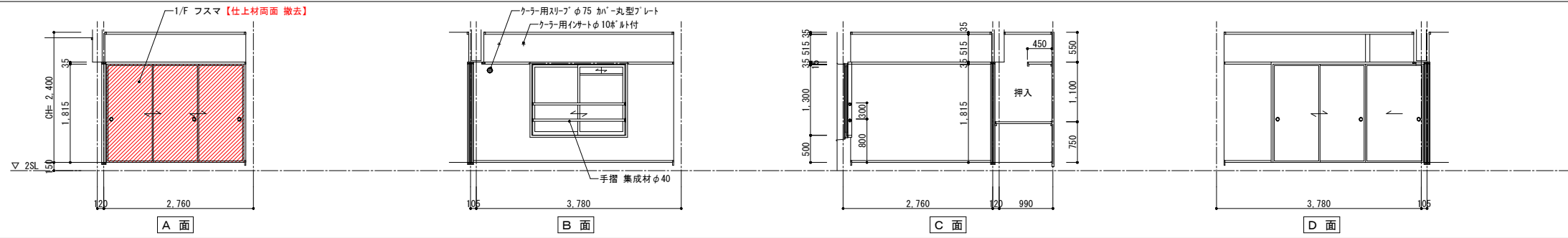
	D K
床	厚6.2 突板合板 (フリーフロア下地)
巾木	木製巾木 H=60
壁	コンクリート打放し補修の上ビニールクロス貼 厚25内装パネルの上ビニールクロス貼 厚25内装パネルの上半磁器タイル100角貼
天井	厚9.0化粧石膏ボード張 CH=2,400
備考	ステンレス流し台コンロ台付(L=1,800) 吊戸棚(BL-KA-1型)、ステンレス水切櫃(2段) ステンレス水切 t=0.6 換気扇プレキャスト枠



改修前

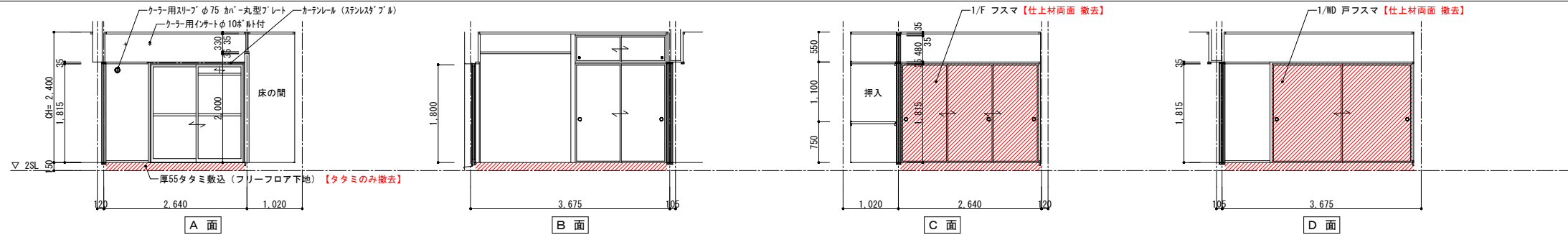
	和室6帖A
床	厚55タタミ敷込 (フリーフロア下地)
巾木	タタミ寄せ H=35
壁	厚25内装パネルの上ビニールクロス貼
天井	厚15プリント合板 CH=2,400 (木下地)
備考	窓用手摺 集成材φ40

	押入
床	厚35Ⅱ類 特殊ラワン合板
巾木	雑巾摺
壁	厚25Ⅱ類 特殊ラワン合板
天井	厚15Ⅱ類 特殊ラワン合板 CH=2,400 (木下地)
備考	中欄、枕欄



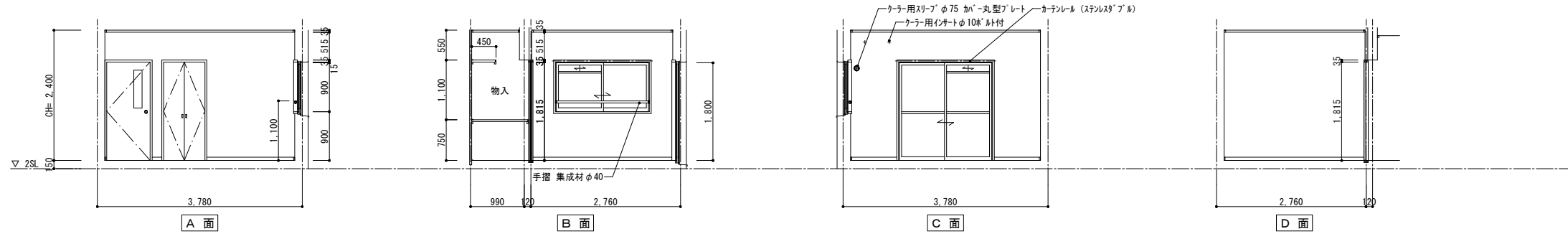
	和室6帖B
床	厚55タタミ敷込 (フリーフロア下地) 床の間: 厚6.2 突板合板 (フリーフロア下地)
巾木	タタミ寄せ H=35
壁	厚25内装パネルの上ビニールクロス貼
天井	厚15プリント合板 CH=2,400 (木下地)
備考	窓用手摺 集成材φ40

	押入
床	厚35Ⅱ類 特殊ラワン合板
巾木	雑巾摺
壁	厚25Ⅱ類 特殊ラワン合板
天井	厚15Ⅱ類 特殊ラワン合板 CH=2,400 (木下地)
備考	中欄、天袋

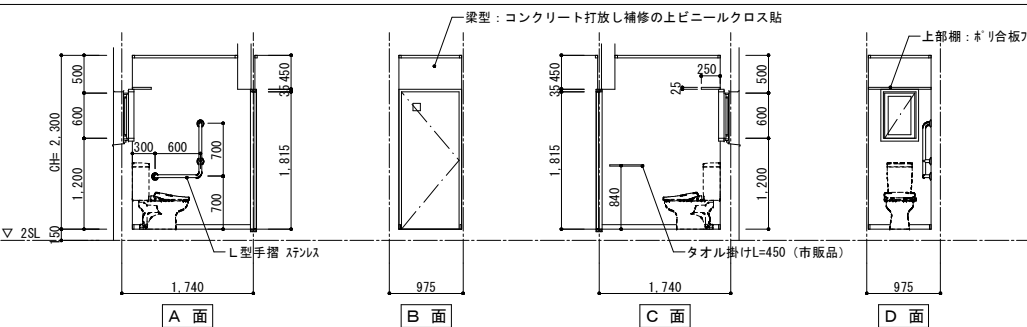


	洋室6帖
床	厚6.2 突板合板 (フリーフロア下地)
巾木	木製巾木 H=60
壁	厚25・40内装パネルの上ビニールクロス貼
天井	厚15内装パネルの上ビニールクロス貼 CH=2,400
備考	窓用手摺 集成材φ40

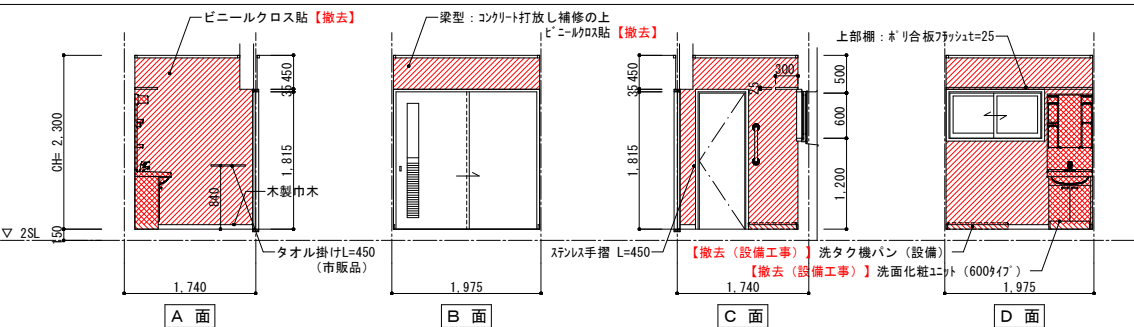
	物入
床	厚35Ⅱ類 特殊ラワン合板
巾木	雑巾摺
壁	厚25Ⅱ類 特殊ラワン合板
天井	厚15Ⅱ類 特殊ラワン合板 CH=2,400 (木下地)
備考	中欄、枕欄



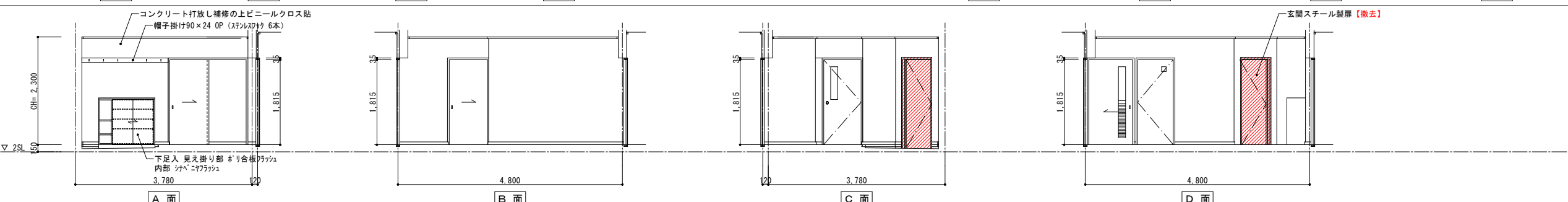
	便所
床	厚6.2 突板合板 (フリーフロア下地)
巾木	木製巾木 H=60
壁	コンクリート打放し補修の上ビニールクロス貼 厚25・40内装パネルの上ビニールクロス貼
天井	LGS下地石膏ボード t=9の上ビニールクロス貼 CH=2,300
備考	タオル掛(ステンレス) L=450 φ12.7 L型手摺、上部欄



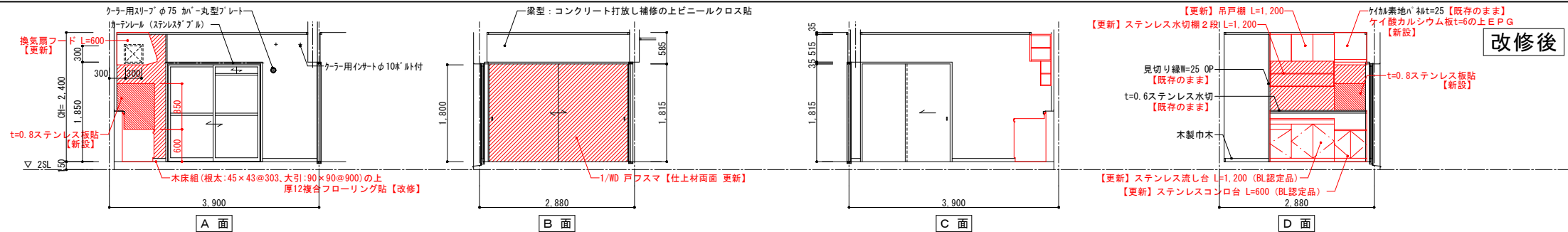
	洗面所
床	厚6.2 突板合板 (フリーフロア下地)
巾木	木製巾木 H=60
壁	コンクリート打放し補修の上ビニールクロス貼 厚25・40内装パネルの上ビニールクロス貼
天井	LGS下地石膏ボード t=9の上ビニールクロス貼 CH=2,300
備考	タオル掛(ステンレス) L=450 φ12.7 手摺、上部欄



	ホール・廊下
床	玄関: モルタルコテ押え ホール・廊下: 厚6.2 突板合板 (フリーフロア下地)
巾木	玄関: 木製巾木押え ホール・廊下: 木製巾木 H=60
壁	コンクリート打放し補修の上ビニールクロス貼 厚25・40内装パネルの上ビニールクロス貼
天井	厚15内装パネルの上ビニールクロス貼 CH=2,300
備考	扉板(ステンレスﾌｯｸ6本)、下足入

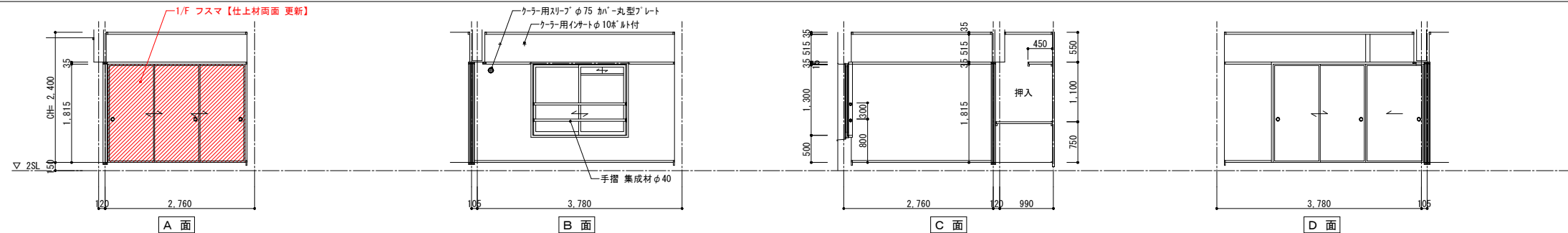


	D K
床	木床組(根太:45×43@303,大引:90×90@900)の上厚12複合フローリング貼
巾木	既存のまま
壁	既存のまま (流し前) ケイ酸カルシウム板t=25 既存のまま ケイ酸カルシウム板t=6の上EPG
天井	既存のまま
備考	ステンレス流し台(BL認定品)L=1,200 ステンレスコンロ台(BL認定品)L=600 吊戸棚(BL認定品)・ステンレス水切棚2段L=1,200 ステンレス水切【既存のまま】



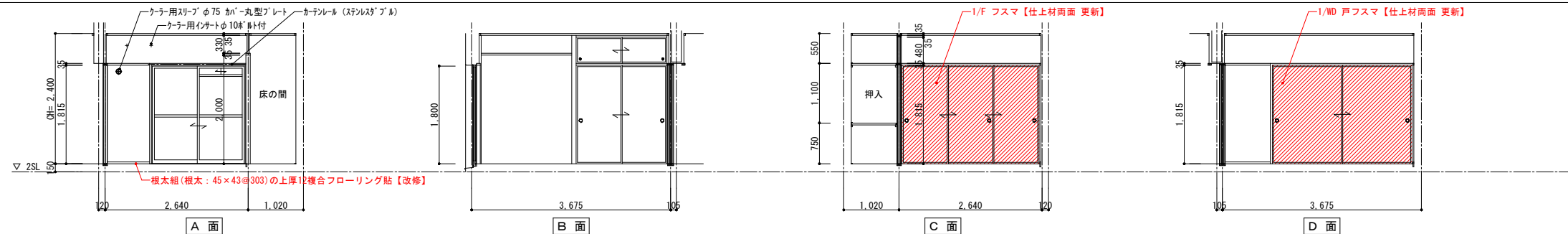
	和室6帖A
床	既存のまま
巾木	既存のまま
壁	既存のまま
天井	既存のまま
備考	既存のまま

	押入
床	既存のまま
巾木	既存のまま
壁	既存のまま
天井	既存のまま
備考	既存のまま



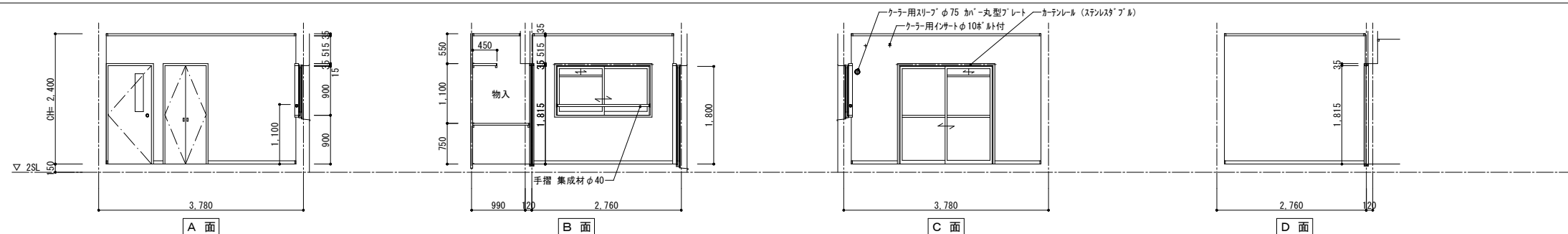
	和室6帖B
床	根太組(根太:45×43@303)の上厚12複合フローリング貼
巾木	既存のまま
壁	既存のまま
天井	既存のまま
備考	

	押入
床	既存のまま
巾木	既存のまま
壁	既存のまま
天井	既存のまま
備考	既存のまま

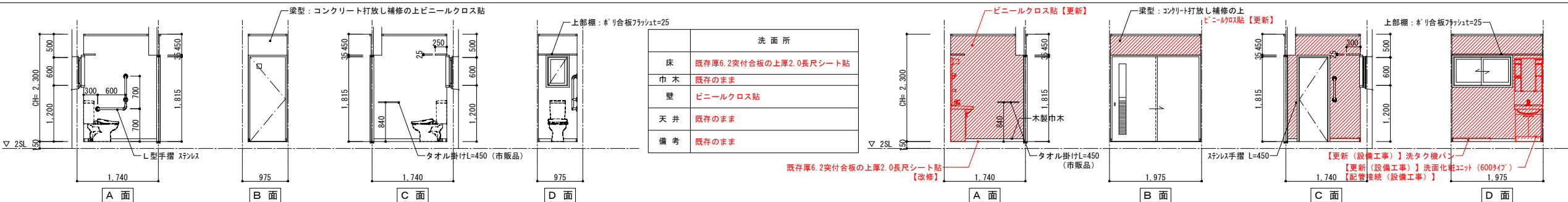


	洋室6帖
床	既存のまま
巾木	既存のまま
壁	既存のまま
天井	既存のまま
備考	既存のまま

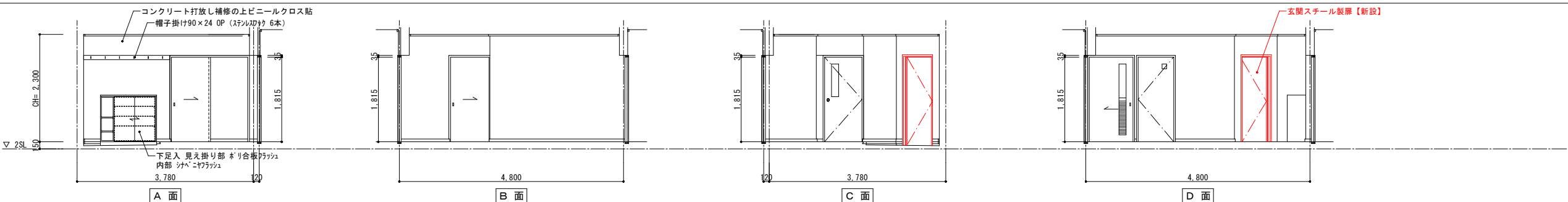
	物入
床	既存のまま
巾木	既存のまま
壁	既存のまま
天井	既存のまま
備考	既存のまま

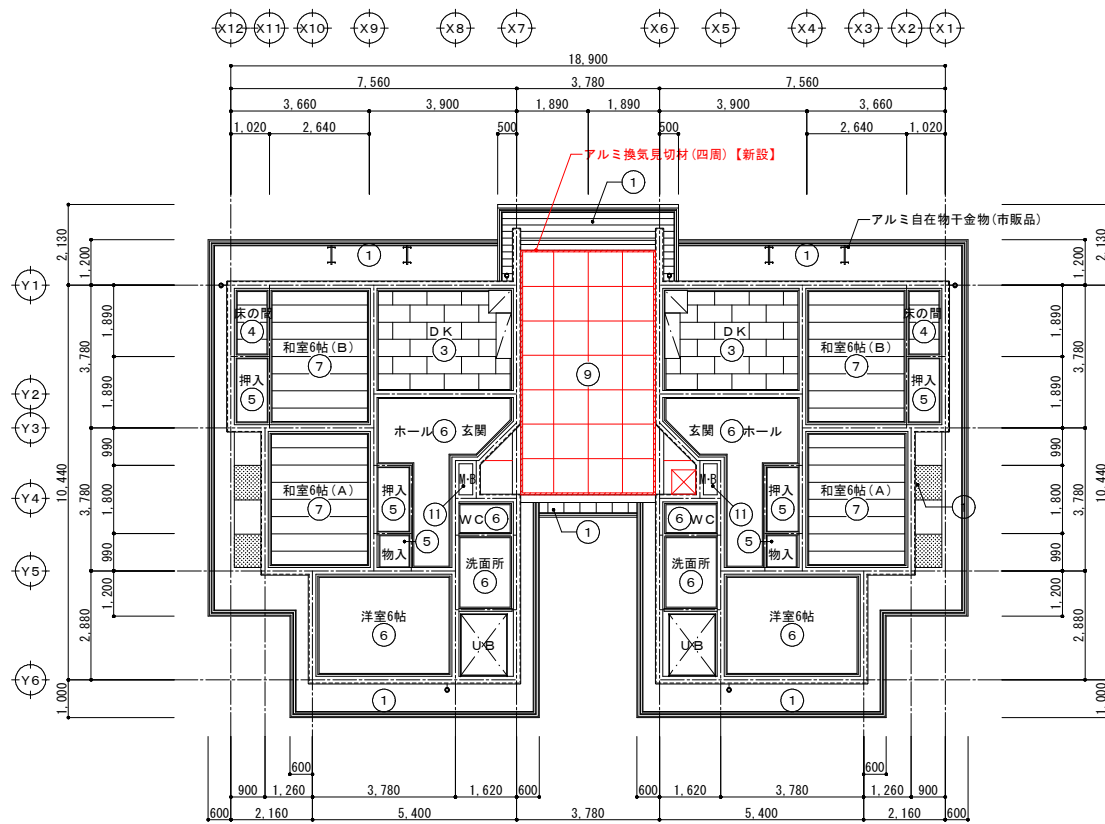


	便所
床	既存のまま
巾木	既存のまま
壁	既存のまま
天井	既存のまま
備考	既存のまま

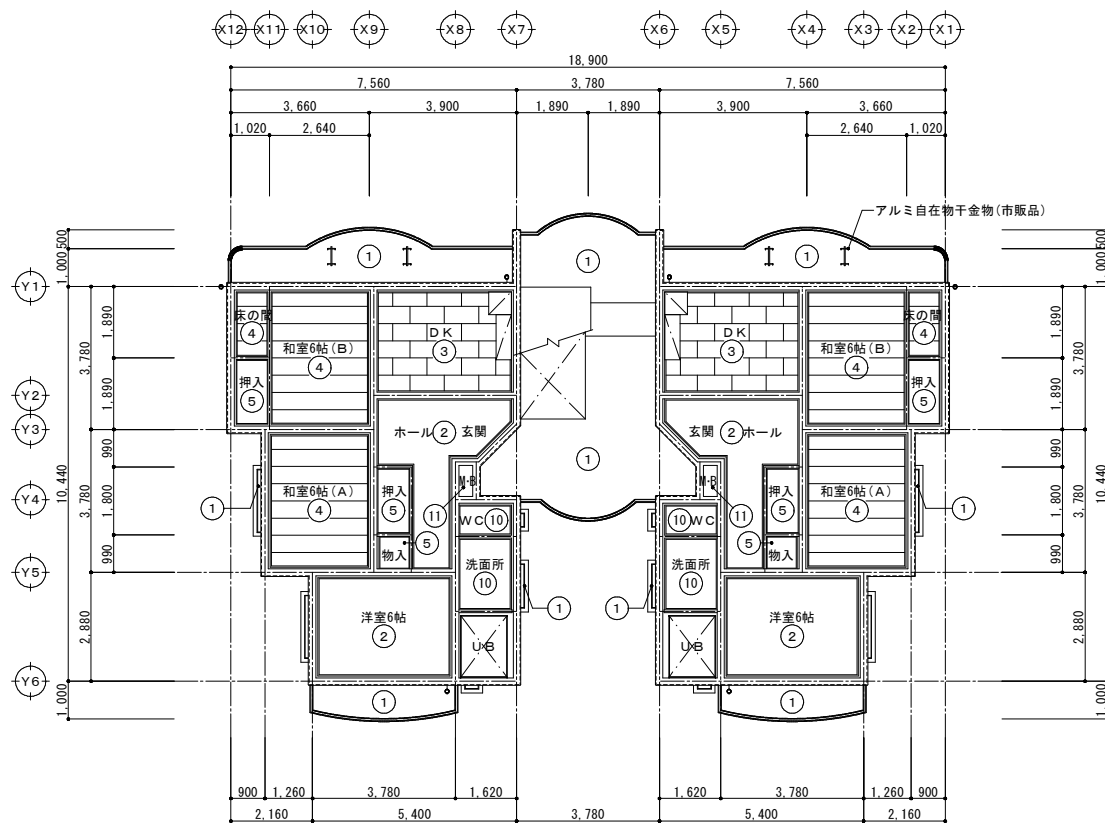


	ホール・廊下
床	既存のまま
巾木	既存のまま
壁	既存のまま
天井	既存のまま
備考	既存のまま



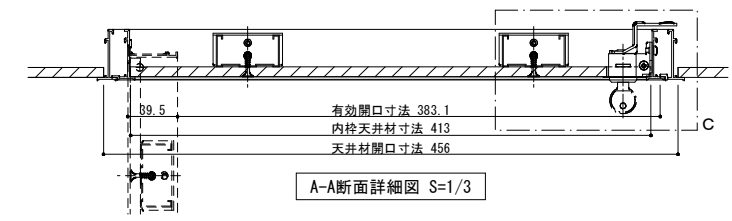
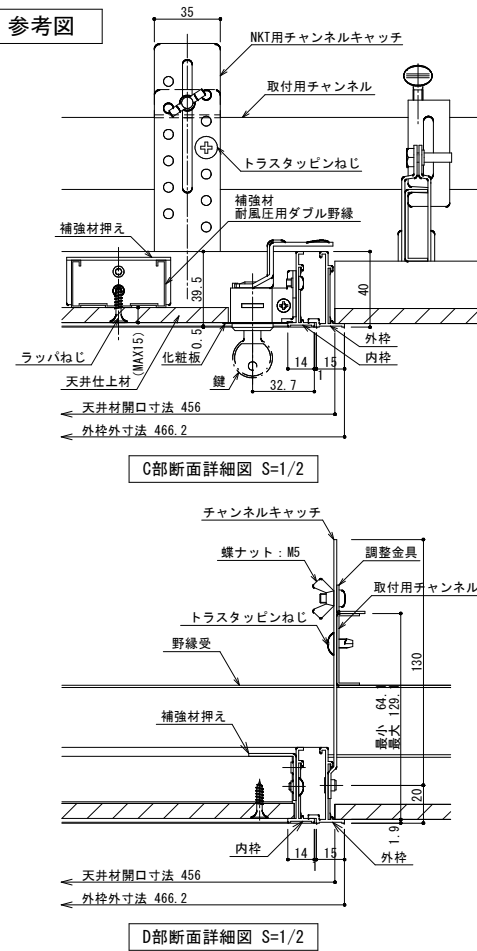


2階 改修後天井伏図 S=1:100

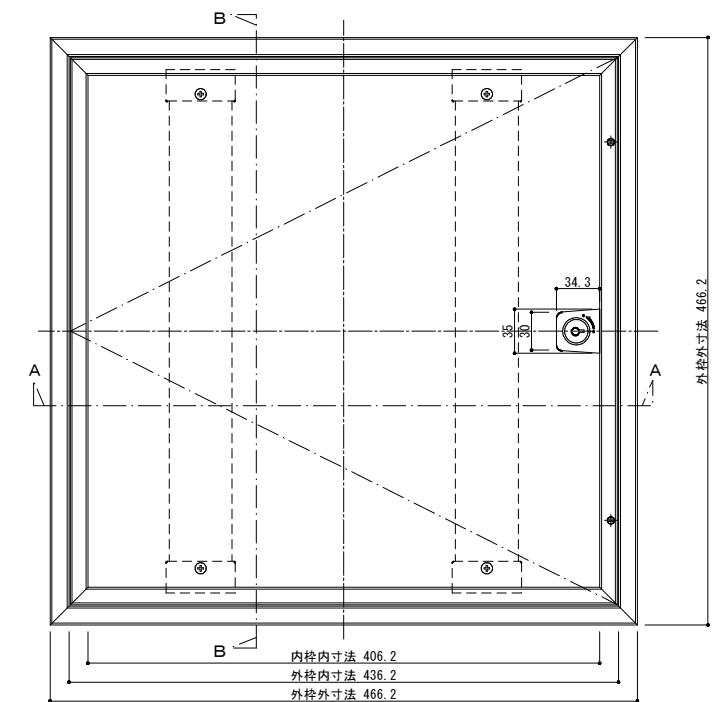


1階 改修後天井伏図 S=1:100

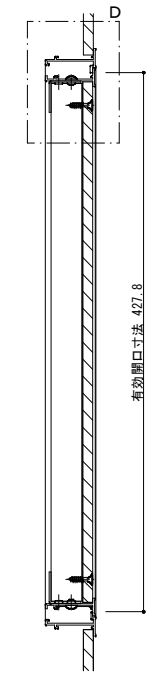
天井点検口 参考図



A-A断面詳細図 S=1/3



点検口見上げ図 S=1/3



B-B断面詳細図 S=1/3

	改修前仕上表	改修後仕上表
①	コンクリート打放し補修の上V.P塗装	高圧水洗浄 (15MPa) の上外装薄塗材E
②	内装パネル厚15 (素地合板) の上ビニールクロス貼	既存のまま
③	化粧石膏ボード厚9	既存のまま
④	プリント合板厚15	既存のまま
⑤	Ⅱ類 特殊ラワン合板厚15	既存のまま
⑥	石膏ボード厚9の上ビニールクロス貼	既存のまま
⑦	和風化粧石膏ボード厚9	既存のまま
⑧	ベニヤ厚2.7	既存のまま
⑨	ケイ酸カルシウム板厚6目透し貼 一部 有孔板V.P	LGS下地(既存)の上 厚12 ケイ酸カルシウム板目透し貼E.P
⑩	コンクリート打放し補修の上ビニールクロス貼	既存のまま
⑪	コンクリート打放し	既存のまま

☒ 天井点検口 450角 屋外用耐風型

改修後

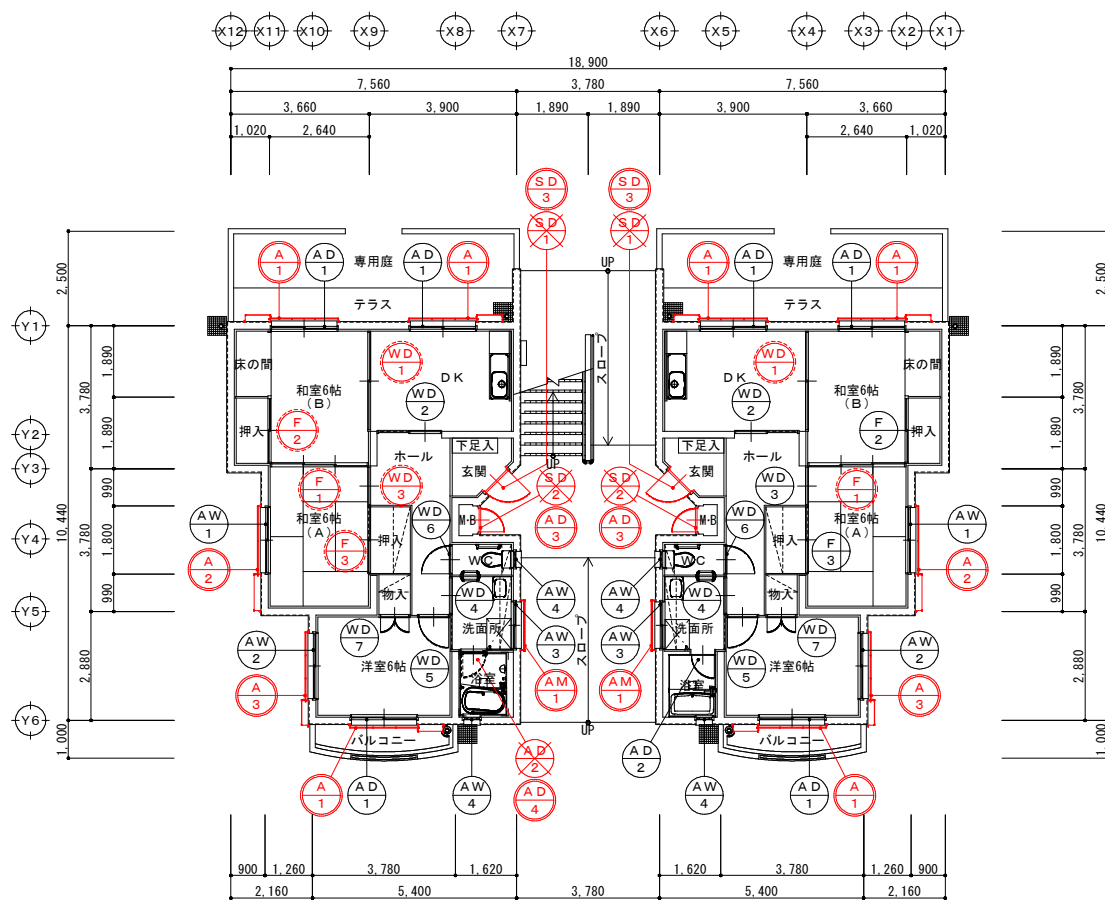
建具記号凡例

-  既存建具
-  撤去建具
-  改修建具
-  新設建具

防水工事

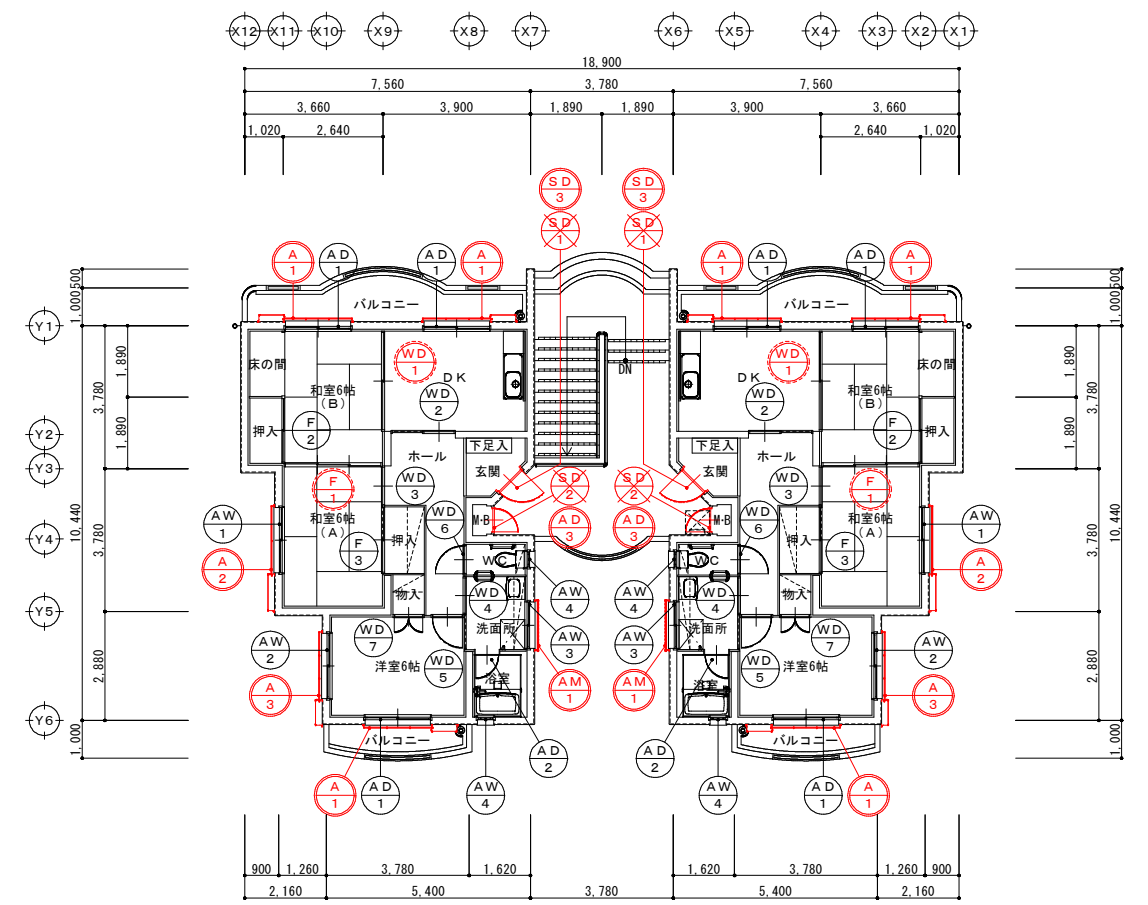
・外部サッシ廻りシーリング 【打ち替え】 シーリング：変成シリコン系（MS-2）10×10

※ 既存アルミサッシ ～ 日軽サッシ（BL品）



【1-1】 【1-2】

改修後 1階平面図 S=1:100



【2-1】 【2-2】

改修後 2階平面図 S=1:100

改修後

一級建築士事務所 鹿児島県知事登録 第1-5-18号 <b>永園設計株式会社</b> 管理建築士 一級建築士 第123948号 小原正信	管理技術者	主任技術者	製図	補助	設計年月日 R7.09	工事名 町営住宅第3国頭団地 改修工事	図面番号 D-35
					縮尺 1:100 (A1) 1:200 (A3)	図面種類 改修後 建具符号図	

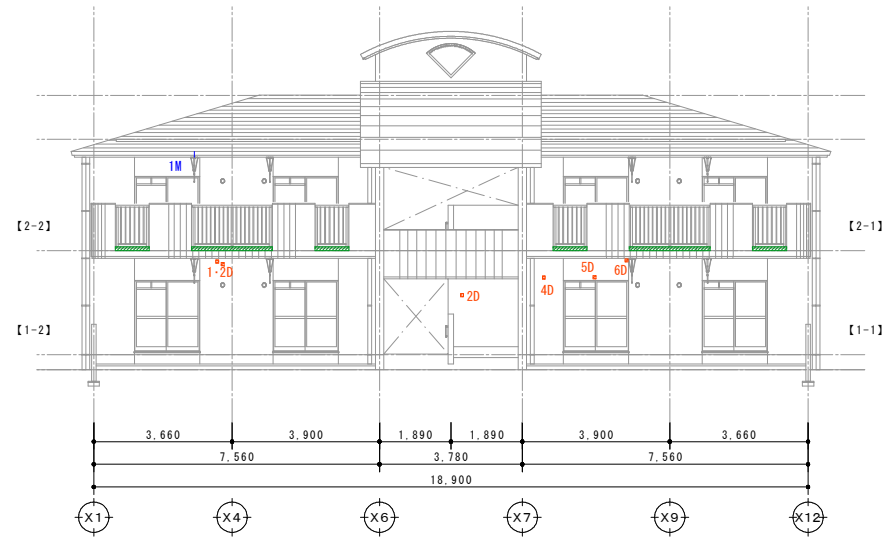


符号・場所	WD1 DK 【改修】 4ヶ所	WD2 DK 【既存のまま】 4ヶ所	WD3 和室6帖A 【既存のまま】 3ヶ所	WD3 和室6帖A 【改修】 1ヶ所	WD4 洗面所 【既存のまま】 4ヶ所	WD5 洋室6帖 【既存のまま】 4ヶ所	WD6 便所 【既存のまま】 4ヶ所
姿 図							
形 式	引違い戸襖 【厚2.7化粧合板 両面張替】	片引込みフラッシュ戸	片引込み戸襖	片引込み戸襖 【厚2.7化粧合板 片面張替】	片引込みフラッシュ戸	片開きフラッシュ戸	片開きフラッシュ戸
材質・見込	木製 見込: 36	木製 見込: 36	木製 見込: 36	木製 見込: 36	木製 見込: 36	木製 見込: 36	木製 見込: 36
仕 上	DK: 化粧合板 厚2.7 和室: 新鳥の子紙貼	ポリ合板	ホール: 化粧合板 厚2.7 和室: 新鳥の子紙貼	ホール: 化粧合板 厚2.7 和室: 新鳥の子紙貼	厚4型板ガラス	厚4型板ガラス	厚4型板ガラス
硝 子	ｽﾌﾟﾘﾝｸﾞ影込引手、和風引手、ナイロン平戸車	ｽﾌﾟﾘﾝｸﾞ影込引手、ナイロン平戸車	ｽﾌﾟﾘﾝｸﾞ影込引手、和風引手、ナイロン平戸車	ｽﾌﾟﾘﾝｸﾞ影込引手、和風引手、ナイロン平戸車	ｽﾌﾟﾘﾝｸﾞ影込引手、ナイロン平戸車 換気ガラリ付	SUS製丁番、戸当り、レバーハンドル	レバーハンドル付表乗錠、SUS製丁番、戸当り
金 物	ｽﾌﾟﾘﾝｸﾞ影込引手、和風引手、ナイロン平戸車	ｽﾌﾟﾘﾝｸﾞ影込引手、ナイロン平戸車	ｽﾌﾟﾘﾝｸﾞ影込引手、和風引手、ナイロン平戸車	ｽﾌﾟﾘﾝｸﾞ影込引手、和風引手、ナイロン平戸車	ｽﾌﾟﾘﾝｸﾞ影込引手、和風引手、ナイロン平戸車 換気ガラリ付	SUS製丁番、戸当り、レバーハンドル	レバーハンドル付表乗錠、SUS製丁番、戸当り
符号・場所	WD7 洋室物入 【既存のまま】 4ヶ所	F1 和室6帖A 【改修】 4ヶ所	F2 和室6帖B・押入 【既存のまま】 3ヶ所	F2 和室6帖B・押入 【改修】 1ヶ所	F3 和室6帖A・押入 【既存のまま】 3ヶ所	F3 和室6帖A・押入 【改修】 1ヶ所	
姿 図							
形 式	両開きフラッシュ戸	3枚引違い襖	天袋付引違い襖	天袋付引違い襖	引違い襖	引違い襖	
材質・見込	木製 見込: 30	木製 見込: 18	木製 見込: 18	木製 見込: 18	木製 見込: 18	木製 見込: 18	
仕 上	ポリ合板	新鳥の子紙貼	新鳥の子紙貼	新鳥の子紙貼	新鳥の子紙貼	新鳥の子紙貼	
硝 子							
金 物	把手、ローラーキャッチ、丁番	和風引手	和風引手	和風引手	和風引手	和風引手	
符号・場所							
姿 図							
形 式							
材質・見込							
仕 上							
硝 子							
金 物							
符号・場所							
姿 図							
形 式							
材質・見込							
仕 上							
硝 子							
金 物							

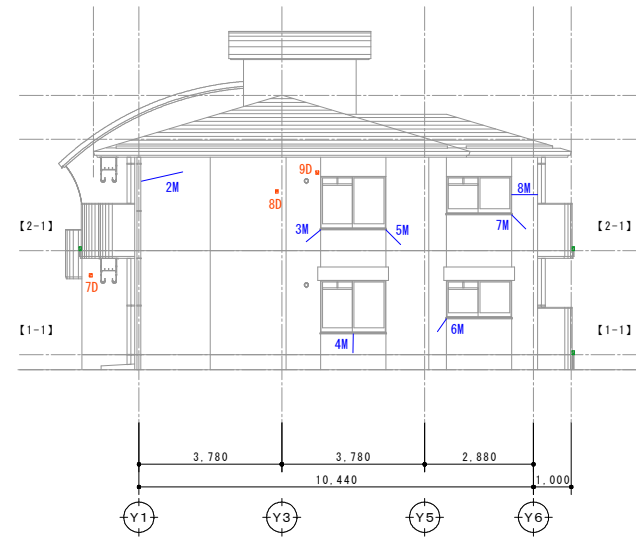
外壁・階段内壁（浮き部） 修繕工事		
現況	修繕イメージ	工事仕様
<p>外壁：モルタルの上吹付等</p> <p>モルタルが浮いてひび割れている</p> <p>構造体コンクリート</p>	<p>1. ピンニング孔の穿孔</p> <p>モルタル</p> <p>ドリル</p> <p>浮き</p>	<p>工事名称：アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法</p> <p>一般部：16本/m<sup>2</sup></p> <p>見上げ面及び指定部：25本/m<sup>2</sup></p> <p>狭幅部（笠木部）：5本/m 幅200mm程度</p>
	<p>2. アンカーピン固定用エポキシ樹脂注入</p> <p>注入器具</p> <p>エポキシ樹脂</p>	<p>工事内容：外壁モルタルの浮き部を、構造体コンクリートに全ネジ切りアンカーピンとエポキシ樹脂で固定し、かつ残存浮き部にエポキシ樹脂をほぼ全面に注入充填する。</p> <p>※現場の状況により、モルタル撤去後再度モルタル塗りもあり。</p>
	<p>3. ピンニング</p> <p>アンカーピン</p>	

外壁・階段内壁（ひび割れ部） 修繕工事		
現況	修繕イメージ	工事仕様
<p>外壁：コンクリート打放しの上吹付等</p> <p>外壁ひび割れ 0.2mm以上1.0mm以下</p>	<p>1. 自動式低圧エポキシ樹脂注入</p> <p>注入器具</p> <p>エポキシ樹脂注入</p>	<p>工事名称：自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</p> <p>工事内容：外壁のひび割れ部に、低・中粘度のエポキシ樹脂を注入器具により自動的に低圧で注入する。</p> <p>注入間隔は200～300mmとする。</p>

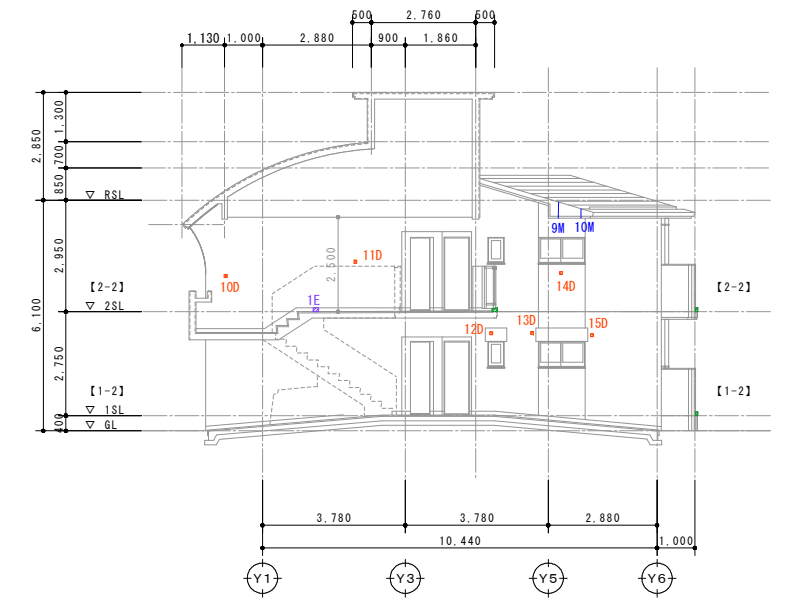
外壁・階段内壁及びあげ裏（爆裂・欠損部） 修繕工事			
現況	修繕イメージ	修繕イメージ（階段ササラ）	工事仕様
<p>外壁：コンクリート打放しの上吹付等</p> <p>鉄筋が錆びて、コンクリートが欠損している</p> <p>構造体コンクリート</p> <p>あげ裏：コンクリート打放しアクリルリシン吹付け</p> <p>鉄筋が錆びて、コンクリートが欠損している</p>	<p>1. コンクリート欠損部の撤去</p> <p>欠損部を撤去</p>	<p>1. 鉄筋錆び除去・防錆材塗布+下地処理</p> <p>鉄筋錆びを除去、錆止め塗装</p> <p>メンテペースト</p> <p>100</p>	<p>工事名称：ポリマーセメントモルタル充填工法</p> <p>工事内容：爆裂によるコンクリートの浮き上がり部分を撤去し、鉄筋の錆をスクレーパー等にて撤去。</p> <p>錆止め塗装を行う。</p> <p>撤去部分コンクリート面に適当な水湿しをし、メンテペーストを塗り込む。</p> <p>欠け部にポリマーセメントモルタルを充填する。</p> <p>但し、ポリマーセメントモルタルは1～3層に分け、各層の塗り厚さを7mm程度とする。</p> <p>※欠損部は錆落し、錆止め塗装の工程を省く。</p> <p>※階段ササラ部はステンレスアンカーピンを打ち、ステンレス線で繋いで補強する。</p> <p>（ピン打ち間隔、ステンレス線径等仕様は、採用工法の規定による。）</p>
	<p>2. 鉄筋錆び除去+下地処理</p> <p>鉄筋錆びを除去、錆止め塗装</p> <p>メンテペースト</p>	<p>2. ステンレスアンカーピン打+ステンレス線結束</p> <p>ステンレス線</p> <p>ステンレスアンカーピン</p>	
	<p>3. ポリマーセメント充填</p> <p>ポリマーセメントモルタル</p>	<p>3. ポリマーセメント充填</p> <p>ポリマーセメントモルタル</p>	



改修前 南面立面図 S=1:100



改修前 東面立面図 S=1:100



改修前 断面図2 S=1:100

外壁 ひび割れ補修\_M

番号	H x W	クラック部 単位m		備考
		RC	タイル	
1		0.15		
2		1.20		
3		0.50		
4		0.60		
5		0.60		
6		0.50		
7		0.60		
8		0.70		
9		0.40		
10		0.25		
11		0.20		
12		0.70		
本表計		6.40	H	

外壁 欠損部\_B

番号	H x W	欠損部 単位m		備考
		RC	タイル	
1	0.15	0.20	0.03	
2	0.20	0.20	0.04	
本表計		0.07	PKS	

外壁 爆裂部\_D

番号	H x W	爆裂部 単位m		備考
		RC	タイル	
1	0.07	0.07	0.005	
2	0.07	0.07	0.005	
3	0.07	0.07	0.005	
4	0.07	0.07	0.005	
5	0.07	0.07	0.005	
6	0.07	0.07	0.005	
7	0.07	0.07	0.005	
8	0.07	0.07	0.005	
9	0.07	0.07	0.005	
10	0.07	0.07	0.005	
11	0.07	0.07	0.005	
12	0.07	0.07	0.005	
13	0.07	0.07	0.005	
14	0.07	0.07	0.005	
15	0.07	0.07	0.005	
16	0.07	0.07	0.005	
17	0.07	0.07	0.005	
18	0.07	0.07	0.005	
19	0.07	0.07	0.005	
20	0.07	0.07	0.005	
本表計		0.175	PBL	

外壁 爆裂部\_D

番号	H x W	爆裂部 単位m		備考
		RC	タイル	
21	0.07	0.07	0.005	
22	0.07	0.07	0.005	
23	0.07	0.07	0.005	
24	0.07	0.07	0.005	
25	0.07	0.07	0.005	
26	0.07	0.07	0.005	
27	0.07	0.07	0.005	
28	0.07	0.07	0.005	
29	0.07	0.07	0.005	
30	0.07	0.07	0.005	
31	0.07	0.07	0.005	
32	0.07	0.07	0.005	
33	0.07	0.07	0.005	
34	0.07	0.07	0.005	
35	0.07	0.07	0.005	
本表計		0.175	PBL	

外壁 爆裂部\_A

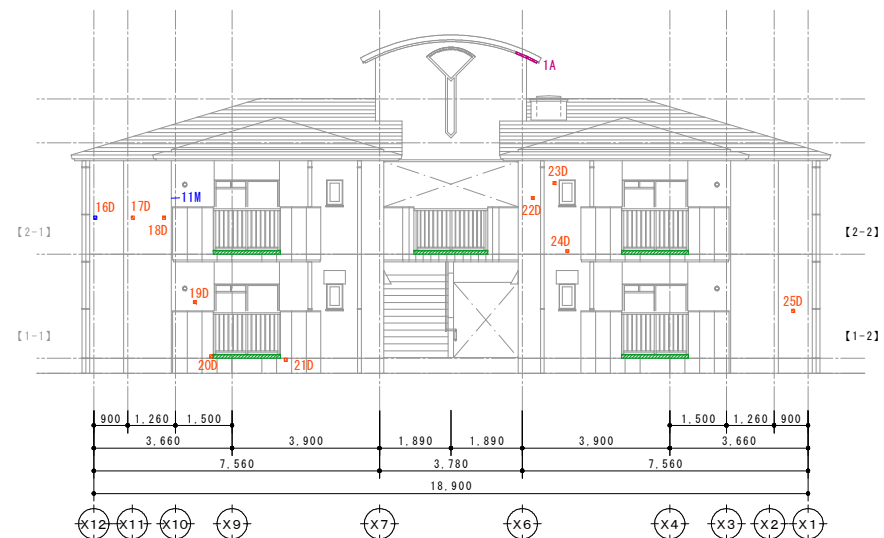
番号	H x W	爆裂部 単位m		備考
		RC	タイル	
1	0.05	0.60	0.03	
本表計		0.03	PBS	

工法別集計表

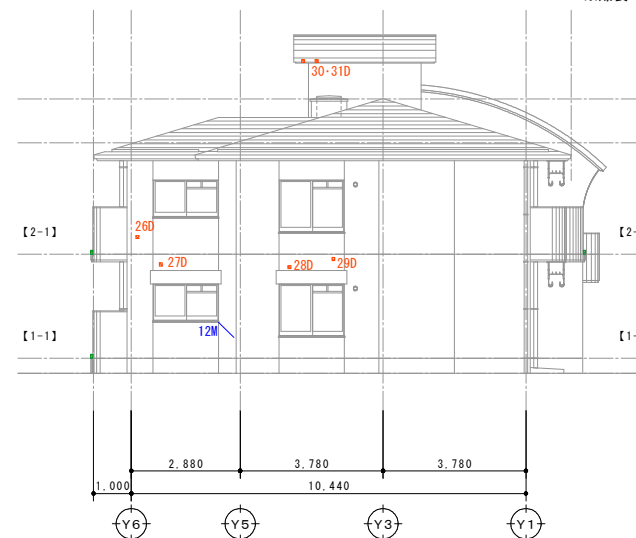
工法	ポリマーセメントモルタル充填 (爆裂・一般) PBS		ポリマーセメントモルタル充填 (欠損・一般) PKS	
	(m)	場所	(m)	場所
調査数量	-	外壁	-	外壁
設計数量	0.03	外壁	0.07	外壁
工法	ポリマーセメントモルタル充填 (爆裂・狭幅) PBL		ポリマーセメントモルタル充填 (欠損・狭幅) PKL	
調査数量	-	外壁	-	外壁
設計数量	0.175	外壁	-	外壁
工法	自動低圧エポキシ樹脂注入 (ひび割れ・見上) H/A		自動低圧エポキシ樹脂注入 (ひび割れ) H	
調査数量	-	0.2~1.0mm	-	0.2~1.0mm
設計数量	-	0.2~1.0mm	6.40	0.2~1.0mm

調査範囲: ひび割れ及び爆裂については、目視による全数調査。  
 モルタル浮きについては、外壁仕上が打放しであることを確認した。  
 設計数量: 設計数量は、調査数量より算出した目安の数値である。着工前に詳細な  
 外壁調査を行うこと。  
 既存仕上: 外壁塗装下地調整塗材にアスベストが含まれています。(調査結果より)  
 『建築物の改修・解体時における石綿含有建築用仕上塗材からの石綿粉  
 じん飛散防止処理技術指針』に基づき施工すること。  
 ※爆裂のみを対象とする

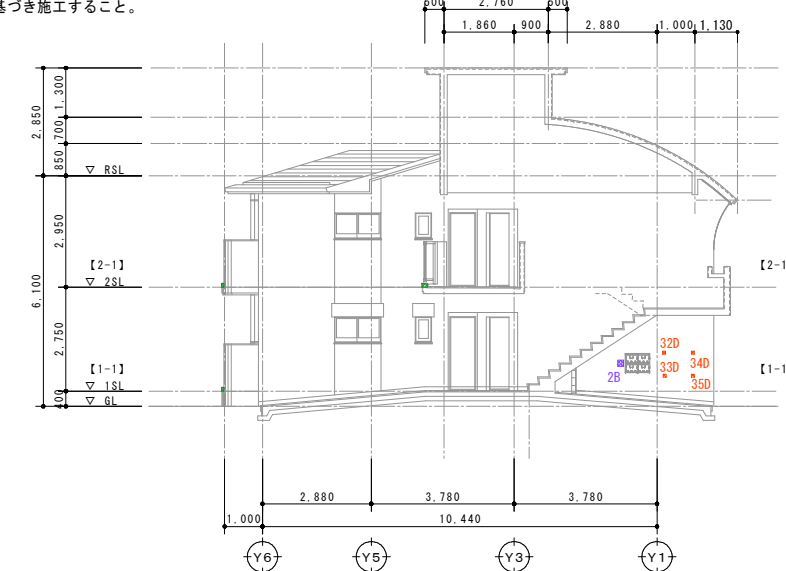
凡例				
番号記号	工法記号	工法	表示記号	
① ポリマーセメント	A	PBS	爆裂部改修(一般部)	■
	B	PKS	欠損部改修(一般部)	■
	C	PUS	浮き部改修	□
	D	PBL	爆裂部改修(狭幅部)	■
	E	PKL	欠損部改修(狭幅部)	■
	F	SKS	欠損部改修	■
△ 接着剤混入	G	SUS	浮き部改修	□
	H	BKS	欠損部改修	■
▽ 防水	I	BUS	浮き部改修	□
① アンカービギニング	J	A25	浮き部改修(指定部)	□
	K	A16	浮き部改修(一般部)	□
	L	A5	浮き部改修(狭幅部)	□
	M	H	ひび割れ部改修	—
① ポリマーセメント アンカーピン補強工法	N	PAP	欠損部改修	■
	展開図表示位置			△
① RC打ち直し	平面詳細図、短計図、部分詳細図 参照 (位置・数量)			■



改修前 北面立面図 S=1:100



改修前 西面立面図 S=1:100



改修前 断面図3 S=1:100

アルミ手摺支柱撤去 改修前 3号棟

工 法 別 集 計 表

工法	ポリマーセメントモルタル充填 (爆裂・狭幅) PBL		ポリマーセメントモルタル充填 (爆裂・一般) PBS	
	(m)	場所	(m)	場所
調査数量	-	見上	-	見上
設計数量	0.655	見上	0.189	見上

調査範囲：ひび割れ及び爆裂については、目視による全数調査。  
 モルタル浮きについては、外壁仕上が打放しであることを確認した。  
 設計数量：設計数量は、調査数量より算出した目安の数値である。着工前に詳細な外壁調査を行うこと。  
 既存仕上：外壁塗装下地調整塗材にアスベストが含まれています。(調査結果より)『建築物の改修・解体時における石綿含有建築用仕上塗材からの石綿粉じん飛散防止処理技術指針』に基づき施工すること。  
 ※爆裂のみを対象とする

凡 例

番号記号	工法記号	工 法	表示記号
① ポリマーセメント	A	PBS 爆裂部改修(一般部)	■
	B	PKS 欠損部改修(一般部)	■
	C	PUS 浮き部改修	■
	D	PBL 爆裂部改修(狭幅部)	■
	E	PKL 欠損部改修(狭幅部)	■
1(番号のみ)	M	H ヒビ割れ部改修	—

※軒裏の爆裂はほとんどがスプーサー設置部分である

見上合計(3号棟) 爆裂部\_D

番号	H x W	爆裂部 単位m <sup>2</sup>
部 位 別	RC	
R階		0.02
2階		0.340
1階		0.295
本表計		0.655 PBL

見上合計(3号棟) 爆裂部\_A

番号	H x W	爆裂部 単位m <sup>2</sup>
部 位 別	RC	
R階		0.144
2階		-
1階		0.045
本表計		0.189 PBS

見上 (R階) 爆裂部\_D

番号	H x W	爆裂部 単位m <sup>2</sup>
部 位 別	RC	タイル
1	0.07 0.07	0.005
2	0.07 0.07	0.005
3	0.07 0.07	0.005
4	0.07 0.07	0.005
本表計		0.02 PBL

見上 (R階) 爆裂部\_A

番号	H x W	爆裂部 単位m <sup>2</sup>
部 位 別	RC	タイル
1	-	0.144
本表計		0.144 PBS

見上 (2階) 爆裂部\_D

番号	H x W	爆裂部 単位m <sup>2</sup>
部 位 別	RC	タイル
1	0.07 0.07	0.005
2	0.07 0.07	0.005
3	0.07 0.07	0.005
4	0.07 0.07	0.005
5	0.07 0.07	0.005
6	0.07 0.07	0.005
7	0.07 0.07	0.005
8	0.07 0.07	0.005
9	0.07 0.07	0.005
10	0.07 0.07	0.005
11	0.07 0.07	0.005
12	0.07 0.07	0.005
13	0.07 0.07	0.005
14	0.07 0.07	0.005
15	0.07 0.07	0.005
16	0.07 0.07	0.005
17	0.07 0.07	0.005
18	0.07 0.07	0.005
19	0.07 0.07	0.005
20	0.07 0.07	0.005
本表計		0.340 PBL

見上 (2階) 爆裂部\_A

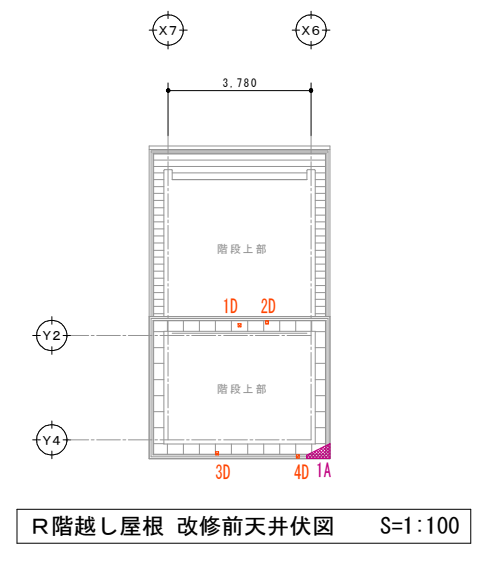
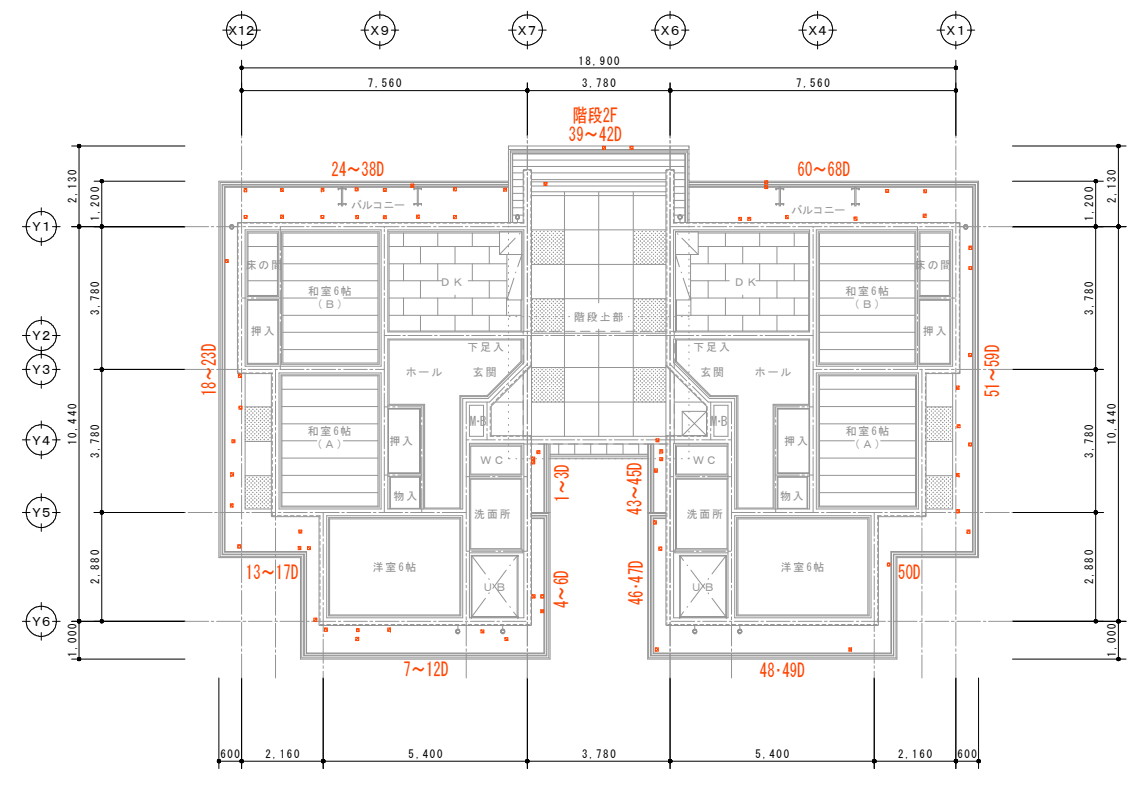
番号	H x W	爆裂部 単位m <sup>2</sup>
部 位 別	RC	タイル
1	0.07 0.07	0.005
2	0.07 0.07	0.005
3	0.07 0.07	0.005
4	0.07 0.07	0.005
5	0.07 0.07	0.005
6	0.07 0.07	0.005
7	0.07 0.07	0.005
8	0.07 0.07	0.005
9	0.07 0.07	0.005
10	0.07 0.07	0.005
11	0.07 0.07	0.005
12	0.07 0.07	0.005
13	0.07 0.07	0.005
14	0.07 0.07	0.005
15	0.07 0.07	0.005
16	0.07 0.07	0.005
17	0.07 0.07	0.005
18	0.07 0.07	0.005
19	0.07 0.07	0.005
20	0.07 0.07	0.005
本表計		0.045 PBS

見上 (1階) 爆裂部\_D

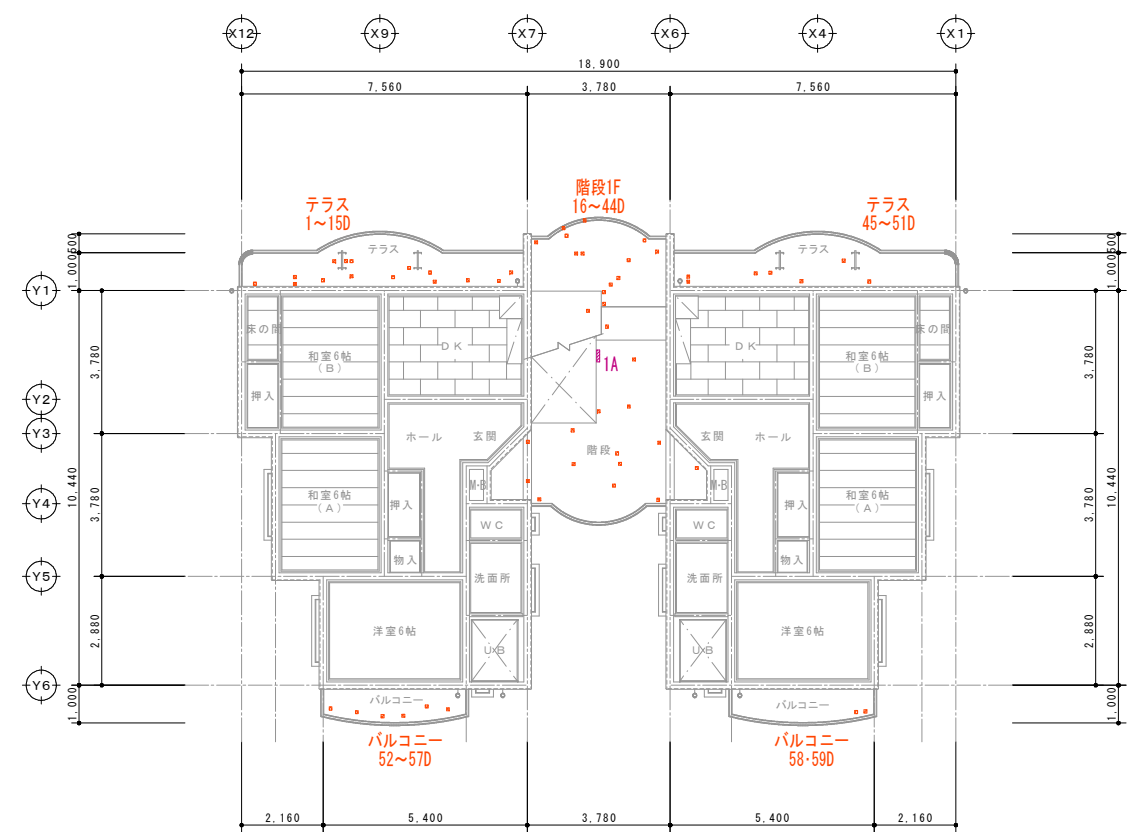
番号	H x W	爆裂部 単位m <sup>2</sup>
部 位 別	RC	タイル
1	0.07 0.07	0.005
2	0.07 0.07	0.005
3	0.07 0.07	0.005
4	0.07 0.07	0.005
5	0.07 0.07	0.005
6	0.07 0.07	0.005
7	0.07 0.07	0.005
8	0.07 0.07	0.005
9	0.07 0.07	0.005
10	0.07 0.07	0.005
11	0.07 0.07	0.005
12	0.07 0.07	0.005
13	0.07 0.07	0.005
14	0.07 0.07	0.005
15	0.07 0.07	0.005
16	0.07 0.07	0.005
17	0.07 0.07	0.005
18	0.07 0.07	0.005
19	0.07 0.07	0.005
20	0.07 0.07	0.005
本表計		0.295 PBL

見上 (1階) 爆裂部\_A

番号	H x W	爆裂部 単位m <sup>2</sup>
部 位 別	RC	タイル
1	0.15 0.30	0.045
本表計		0.045 PBS



【 2-1 】  
【 2-2 】  
2階 改修前天井伏図 S=1:100



【 1-1 】  
【 1-2 】  
1階 改修前天井伏図 S=1:100

改修前 3号棟

凡 例			
番号記号	工法記号	工 法	表示記号
① ポリマーセメント	A	PBS	爆裂部改修(一般部)
	B	PKS	欠損部改修(一般部)
	C	PUS	浮き部改修
	D	PBL	爆裂部改修(狭幅部)
	E	PKL	欠損部改修(狭幅部)
△ 接着剤混入	F	SKS	欠損部改修
	G	SUS	浮き部改修
▽ 防水	H	BKS	欠損部改修
	I	BUS	浮き部改修
① アンカーピンニング	J	A2S	浮き部改修(指定部)
	K	A16	浮き部改修(一般部)
	L	A5	浮き部改修(狭幅部)
①(番号のみ)	M	H	ひび割れ部改修
① ポリマーセメント アンカーピンニング	N	PAP	欠損部改修
	W		防水剤ケレン共
□			展開図表示位置

工 法 別 集 計 表

工法	ポリマーセメントモルタル充填 (爆裂・一般) PBS		ポリマーセメントモルタル充填 (爆裂・狭幅) PBLA	
	(m)	場所	(m)	場所
調査数量	0.00	屋根		見上
設計数量	0.06	屋根		見上
工法	ポリマーセメントモルタル充填 (爆裂・狭幅) PBL		ポリマーセメントモルタル充填 (欠損・一般) PKS	
	(m)	場所	(m)	場所
調査数量		外壁		屋根
設計数量		外壁		屋根
工法	アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入 (浮き部) A16		自動低圧エポキシ樹脂注入 (ひび割れ) H	
	(m)	場所	(m)	幅
調査数量		屋根		0.2~1.0mm
設計数量		屋根		0.2~1.0mm

調査範囲： ひび割れ及び爆裂については、目視による全数調査。  
 モルタル浮きについては、外壁仕上が打放しであることを確認した。  
 設計数量： 設計数量は、調査数量より算出した目安の数値である。着工前に詳細な  
 外壁調査を行うこと。  
 既存仕上： 外壁塗装下地調整塗材にアスベストが含まれています。(調査結果より)  
 『建築物の改修・解体時における石綿含有建築用仕上塗材からの石綿粉  
 じん飛散防止処理技術指針』に基づき施工すること。  
 ※爆裂のみを対象とする

屋根 爆裂部\_A

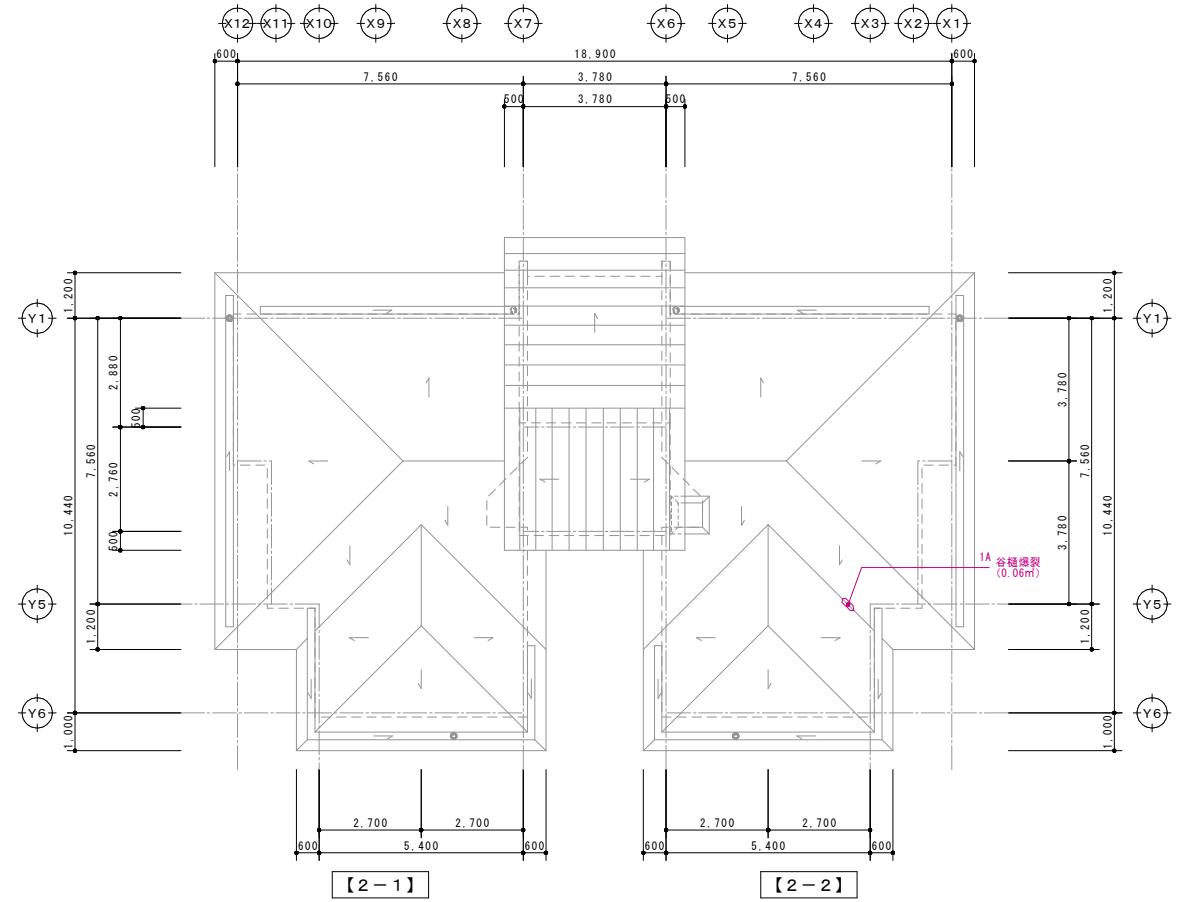
番号	H x W		欠損部 単位m <sup>2</sup>	備 考
	部 位 別	RC		
1	-	-	0.06	
本 表 計			0.06	PBS

屋根 欠損部\_B

番号	H x W		欠損部 単位m <sup>2</sup>	備 考
	部 位 別	RC		
本 表 計				PKS

屋根 浮き部\_K

番号	H x W		欠損部 単位m <sup>2</sup>	備 考
	部 位 別	RC		
本 表 計				A16



改修前 屋根伏図 S=1:100

改修前 3号棟

# — 公営住宅第3国頭団地 3号棟 改修工事 —

図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺
D-01	表紙・図面リスト	-	D-26	改修前・後 平面詳細図【1-2】	1/30	E-01	電気設備特記仕様書	-	M-201	機械設備特記仕様書	-
D-02	建築改修工事特記仕様書-1	-	D-27	改修前 展開図【1-2】	1/50	E-02	改修後 1階 2階電気設備平面図	1/100	M-202	配置図, 凡例表, 衛生器具表, 特記事項	1/100
D-03	建築改修工事特記仕様書-2	-	D-28	改修後 展開図【1-2】	1/50	E-03	改修前 1階 2階電気設備平面図	1/100	M-203	改修後 設備平面図	1/100
D-04	建築改修工事特記仕様書-3	-	D-29	改修前・後 平面詳細図【2-1】	1/30				M-204	改修前 設備平面図	1/100
D-05	建築改修工事特記仕様書-4	-	D-30	改修前 展開図【2-1】	1/50				M-205	改修前・後 1階平面詳細図(衛生設備)	1/50
D-06	建築改修工事特記仕様書-5	-	D-31	改修後 展開図【2-1】	1/50				M-206	改修前・後 1階平面詳細図(衛生設備)	1/50
D-07	建築改修工事特記仕様書-6	-	D-32	改修前・後 平面詳細図【2-2】	1/30				M-207	改修前・後 2階平面詳細図(衛生設備)	1/50
D-08	建築改修工事特記仕様書-7	-	D-33	改修前 展開図【2-2】	1/50				M-208	改修前・後 2階平面詳細図(衛生設備)	1/50
D-09	建築改修工事特記仕様書-8	-	D-34	改修後 展開図【2-2】	1/50				M-209	換気機器表・詳細図	1/50
D-10	建築改修工事特記仕様書-9	-	D-35	改修後 天井伏図	1/100				M-210	改修前・後 1階平面詳細図(換気設備)	1/50
D-11	設計概要, 附近見取図, 配置図	1/100	D-36	改修後 建具符号図	1/100				M-211	改修前・後 1階平面詳細図(換気設備)	1/50
D-12	仕上表, 内部改修一覧表	-	D-37	改修後 建具表-1	1/50				M-212	改修前・後 2階平面詳細図(換気設備)	1/50
D-13	敷地・建物 求積図・求積表	1/100, 1/200	D-38	改修後 建具表-2	1/50				M-213	改修前・後 2階平面詳細図(換気設備)	1/50
D-14	改修前 平面図・屋根伏図	1/100	D-39	外壁改修仕様書	-						
D-15	改修後 平面図・屋根伏図	1/100	D-40	外壁等調査図(立面図)	1/100						
D-16	改修後 立面図	1/100	D-41	外壁等調査図(揚裏図)	1/100						
D-17	改修後 断面図	1/100	D-42	外壁等調査図(屋根伏図)	1/100						
D-18	改修前 矩計図【1-1】【2-1】	1/30									
D-19	改修後 矩計図【1-1】【2-1】	1/30									
D-20	改修前 矩計図【1-2】【2-2】	1/30									
D-21	改修後 矩計図【1-2】【2-2】	1/30									
D-22	改修後 階段詳細図	1/30									
D-23	改修前・後 平面詳細図【1-1】	1/30									
D-24	改修前 展開図【1-1】	1/50									
D-25	改修後 展開図【1-1】	1/50									



管種区分一覧表

名称	記号	管種	保温・防露仕様	使用区分
給水管	— — —	保温材付架橋ポリエチレン管 PE	樹脂カバー	屋外架空、屋内露出 屋内一般
給湯管	— — —	保温材付架橋ポリエチレン管 PE	"	屋外架空、屋内露出 屋内一般
排水管	— — — — —	硬質ポリ塩化ビニル管 VP	-	屋外架空、屋内一般
通気管	- - - - -	硬質ポリ塩化ビニル管 VP	-	屋外架空、屋内一般
ガス管	— G —	内外面硬質ポリ塩化ビニルライニング鋼管 SGP-VD	-	屋外架空、屋内一般

機器仕様一覧表

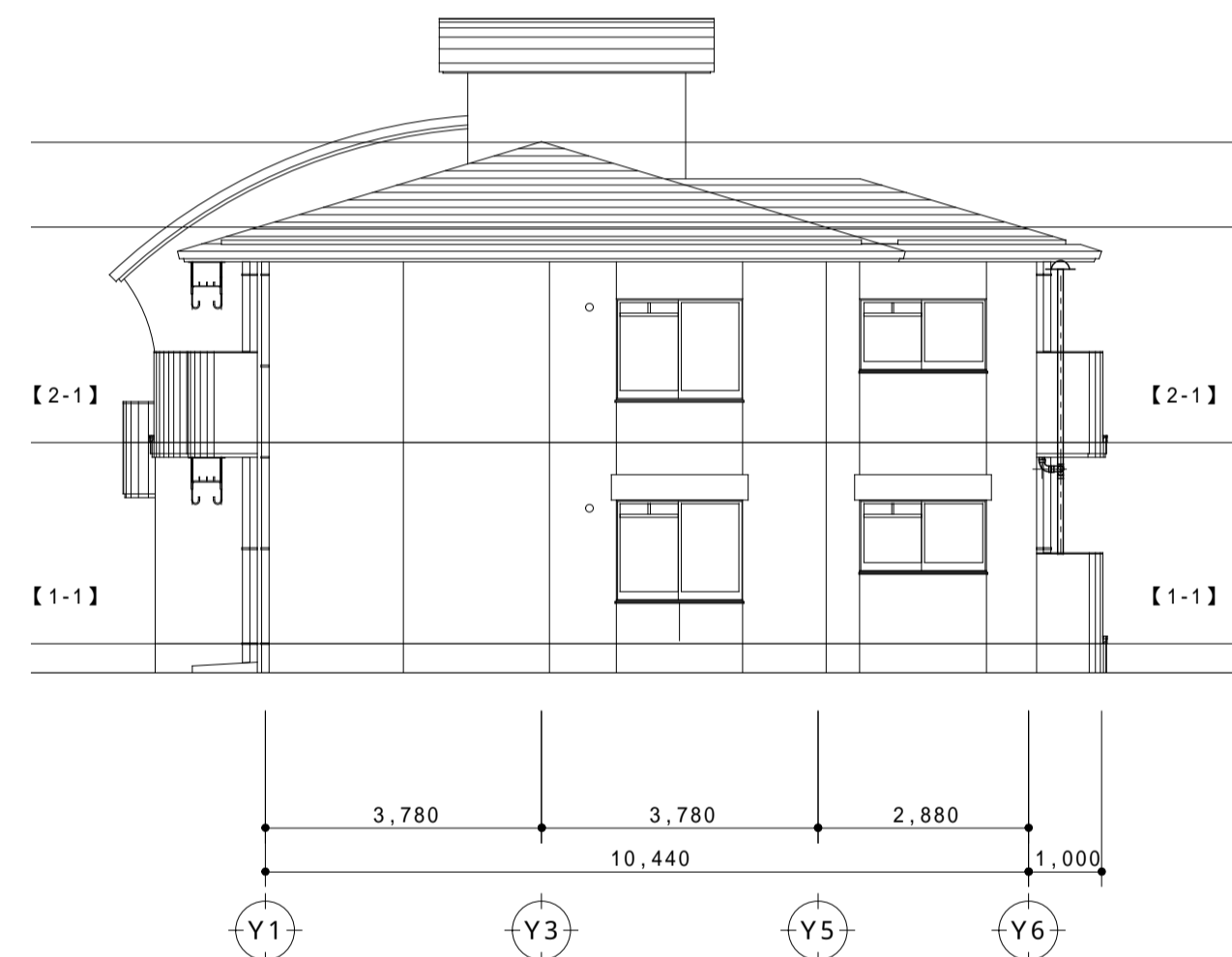
記号	品名	仕様	電気特性			組数	
			V	kW	種別		
WHC 1	ガス給湯器	形式：潜熱改修型 標準能力号数：16号 給湯ガス消費量：29.4kW 参考寸法：690×464×240 付属品：リモコン、逆止弁付きボール止水栓 20A、接続フレキ	1	100	0.08	-	4

衛生器具一覧表

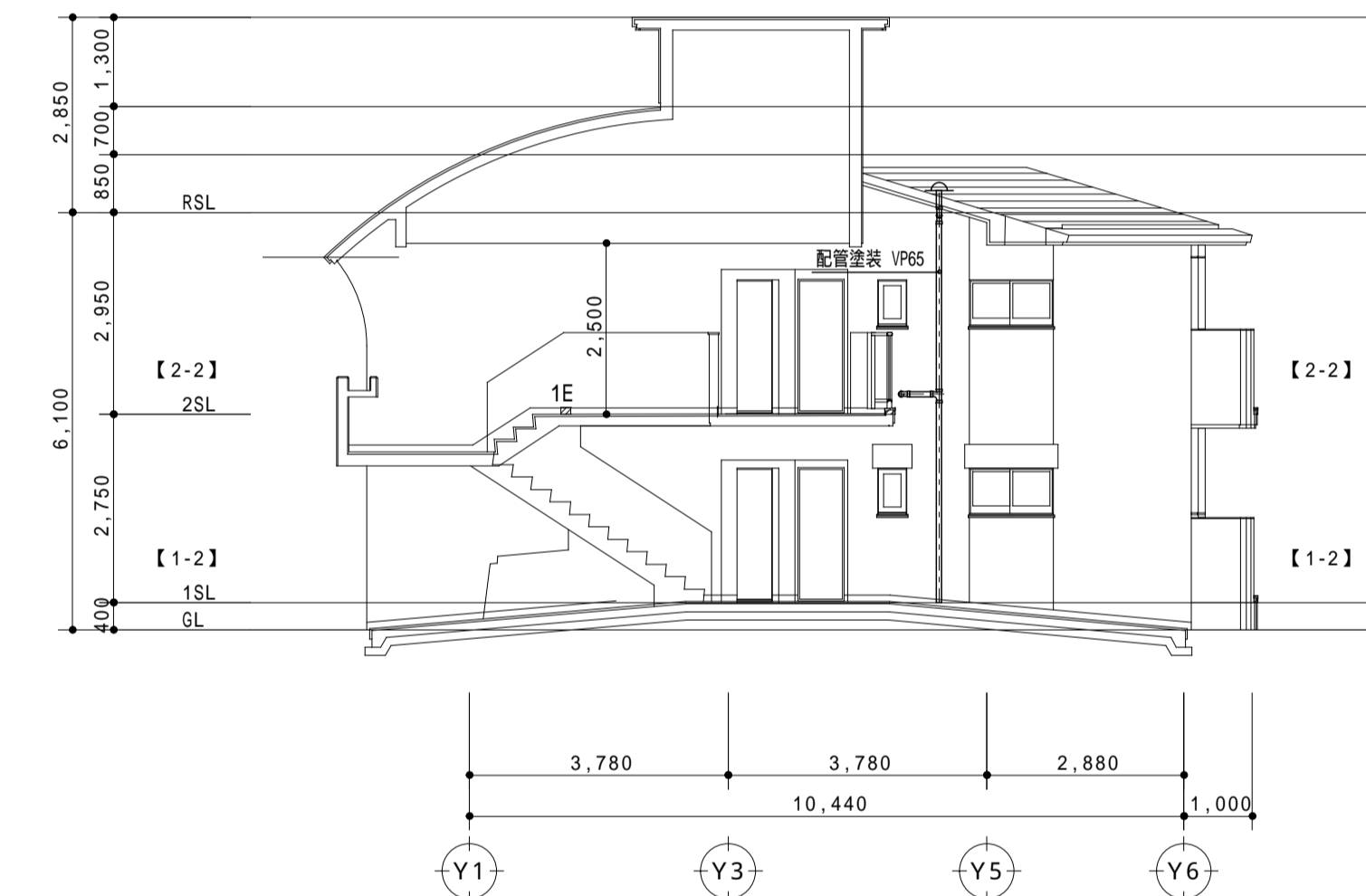
名称	参考型番	1号棟				合計数量	備考	
		3号棟 1-1	3号棟 1-2	3号棟 2-1	3号棟 2-2			
洋風大便器	CS325BPR+SH334BA+TC300HSC1	YBC-Z30PH+DT-Z350PH+CF-37AT				1	2	床給水、壁排水
混合水栓(洗面)	TL430R	1	1	1	1	4	シングルレバー、台付き	
混合水栓(流し)	TK431RA	1	1	1	1	4	シングルレバー、台付き	
洗濯水栓	TIW11GR	1	1	1	1	4	緊急止水弁付	
洗濯パン	PIWP640N2II+PJ2009NII	1	1	1	1	4	排水トラップ	
洗面化粧台		(1)	(1)	(1)	(1)	(4)	建築工事	
流し台		(1)	(1)	(1)	(1)	(4)	建築工事	



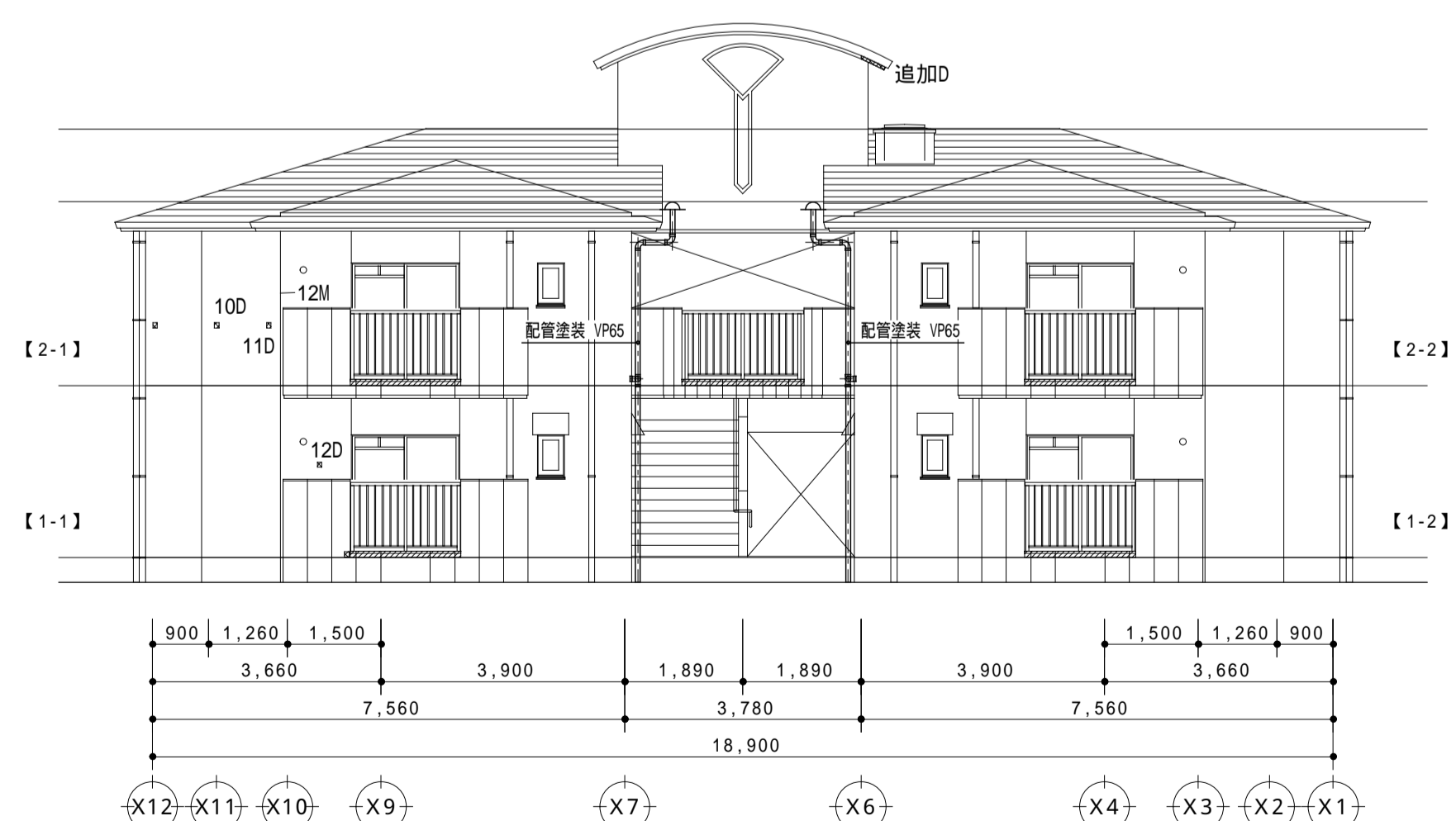
改修前 南面立面図 S=1:100



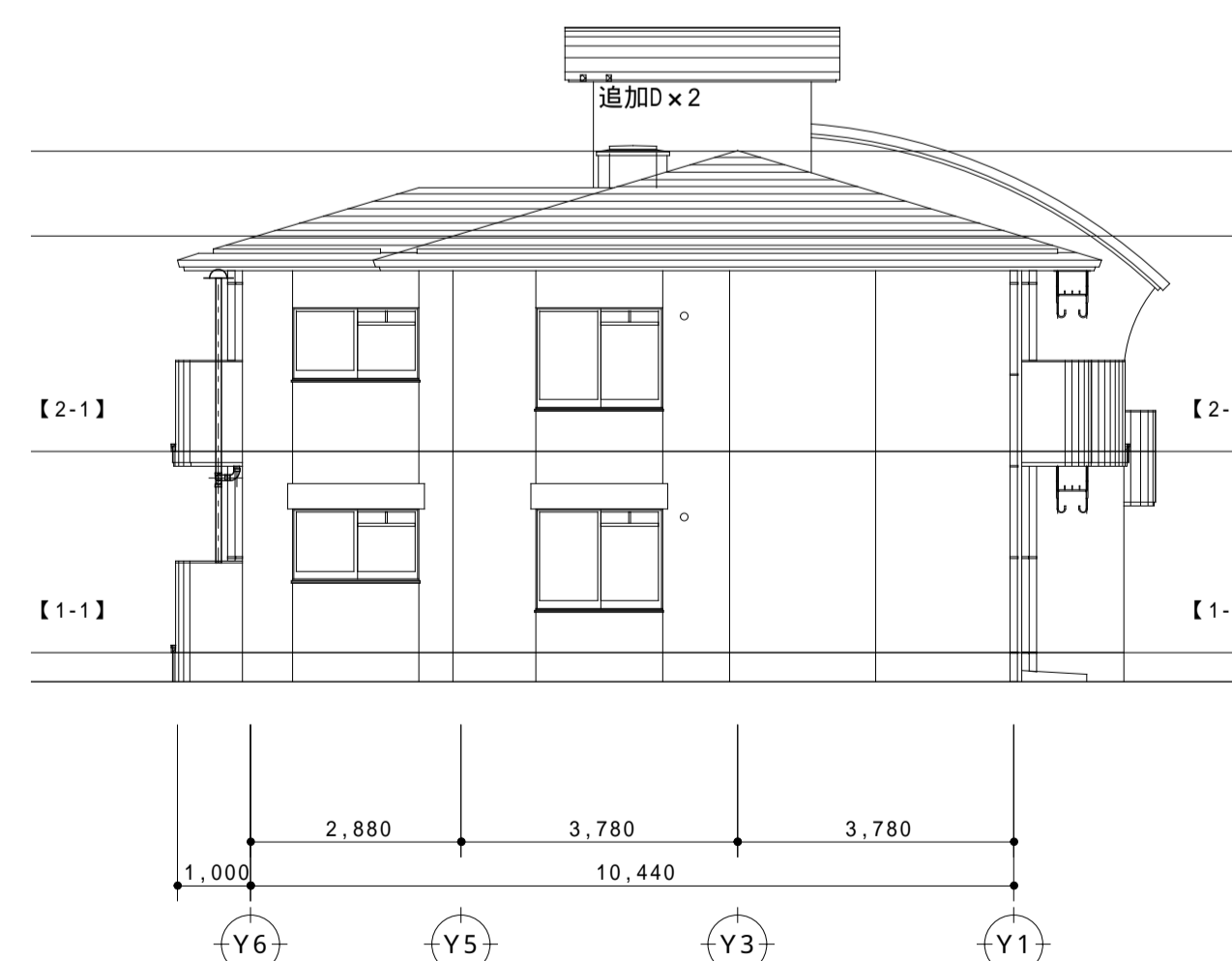
改修前 東面立面図 S=1:100



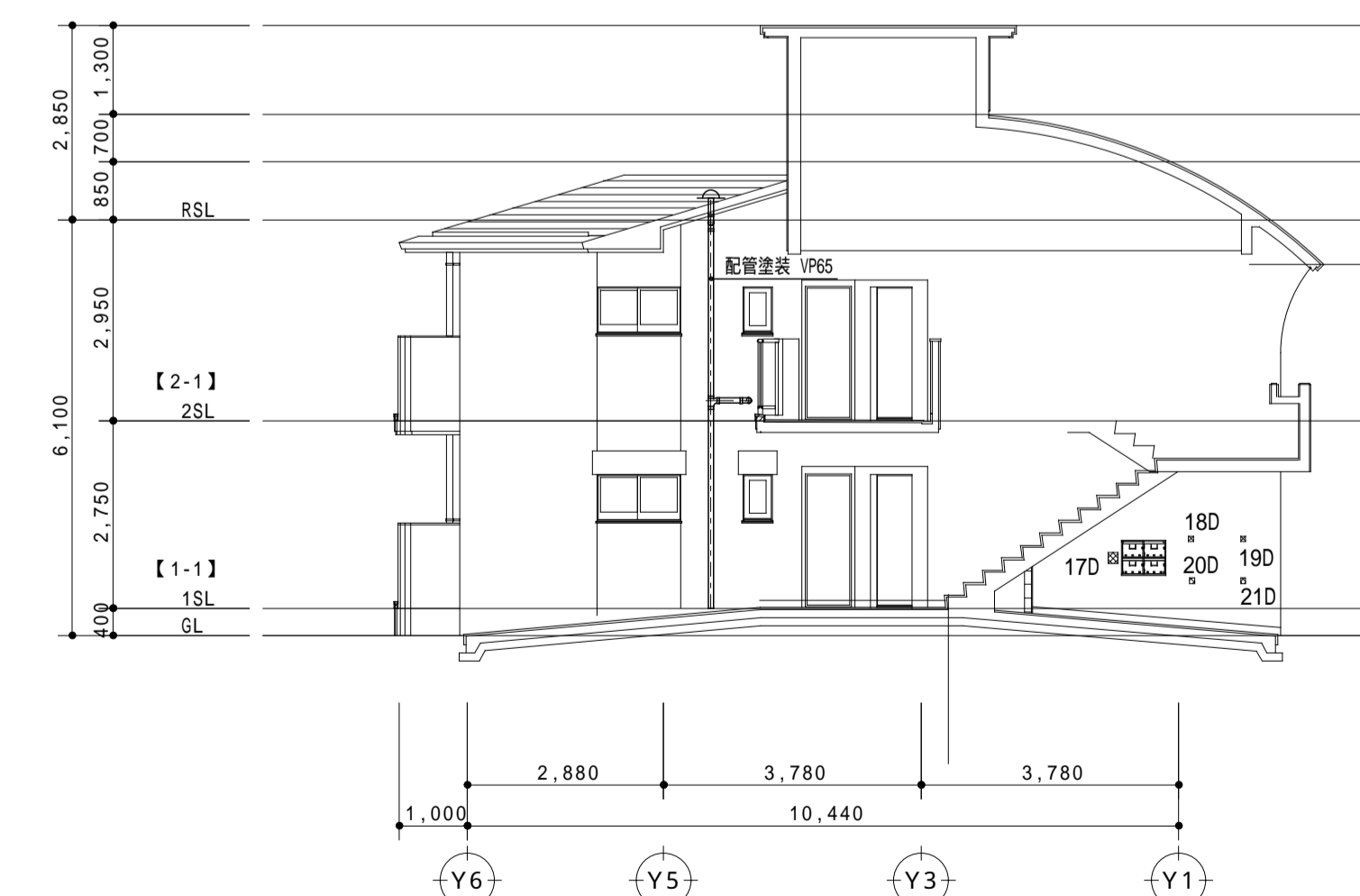
改修前 断面図2 S=1:100



改修前 北面立面図 S=1:100



改修前 西面立面図 S=1:100



改修前 断面図3 S=1:100

一級建築士事務所 鹿児島県知事登録 第1-5-18号

永園設計株式会社

管理建築士 一級建築士 第123948号 小原正信

管理技術者

主任技術者

製図

補助

設計年月日

工事名

縮尺

1:100 (A1)

1:200 (A3)

図面種類

公営住宅第3団地3号棟 改修工事

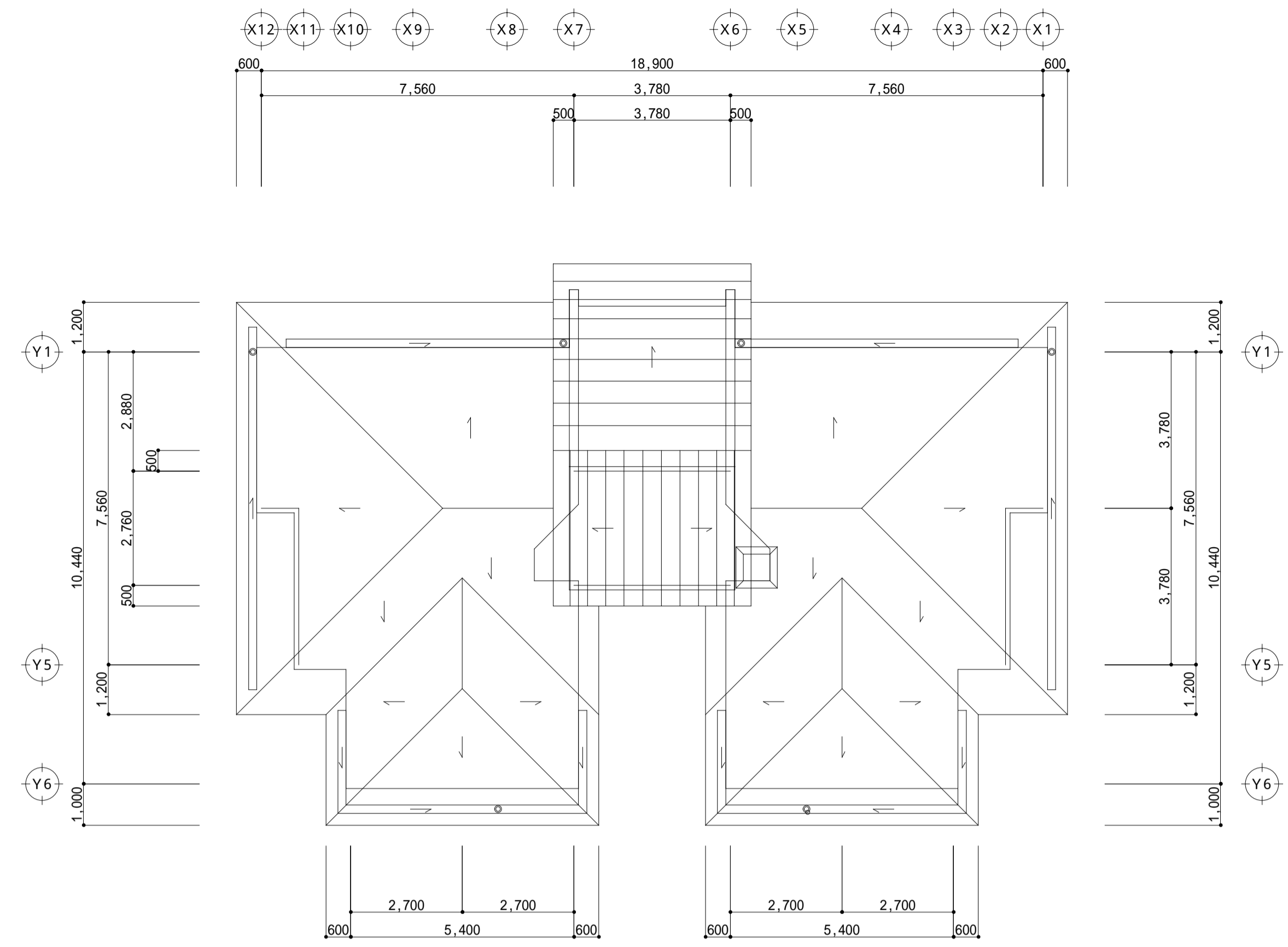
機器仕様一覧表・衛生器具一覧表・立面図

(撤去)

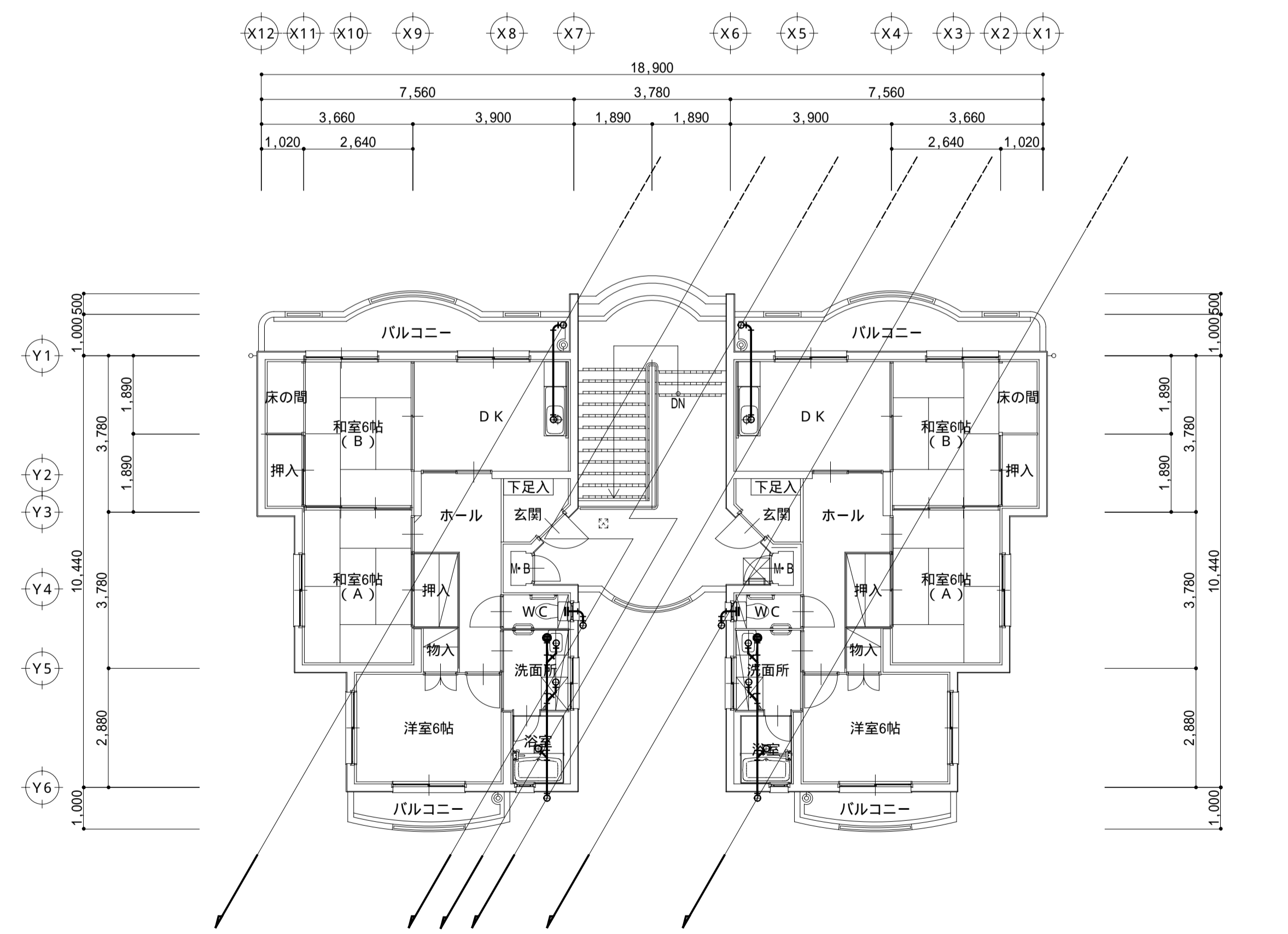
図面番号

M-202



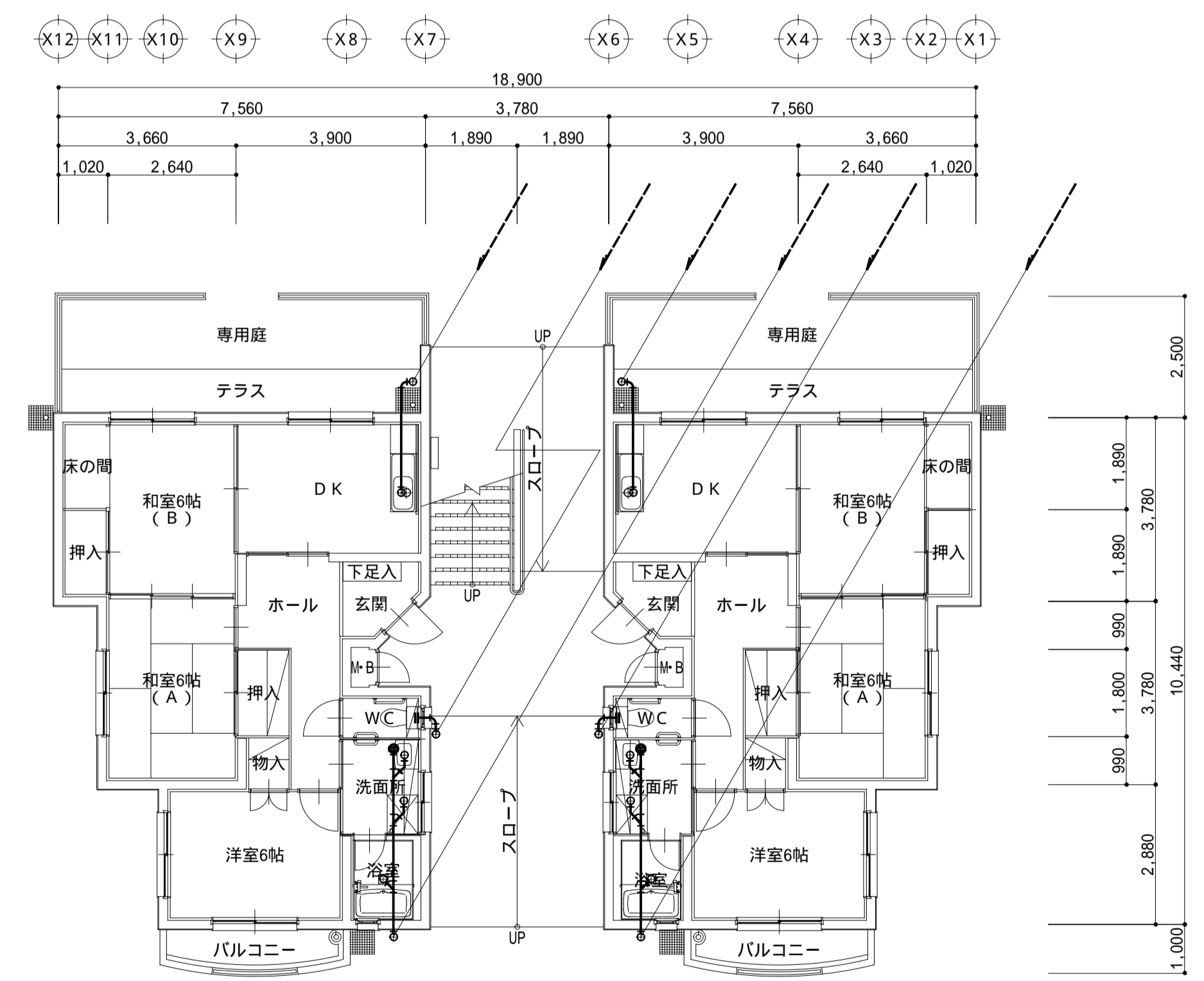


改修前 屋根伏図 S=1:100



改修前 2階平面図 S=1:100

改修前



改修前 1階平面図 S=1:100

【1-1】

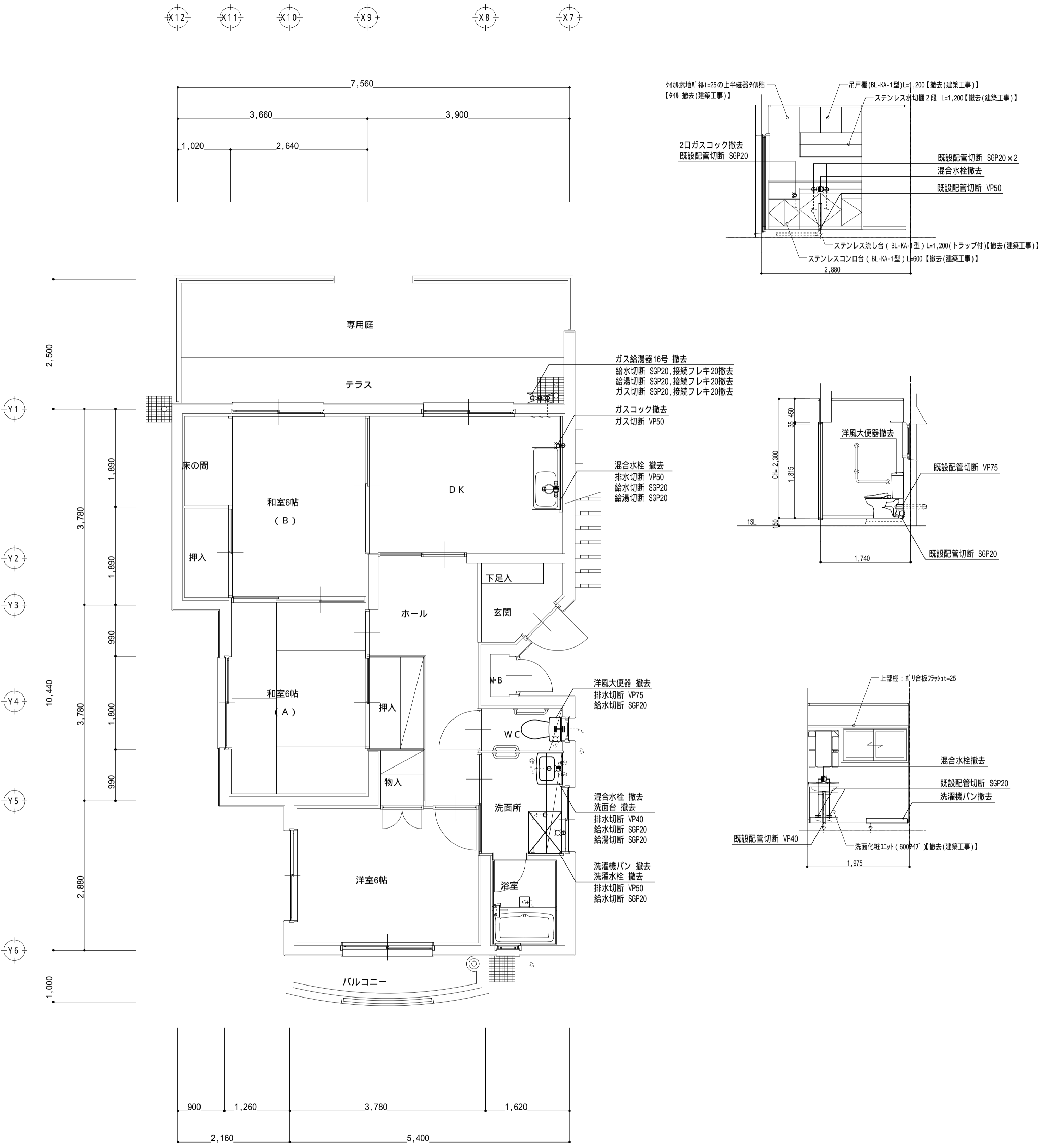
【1-2】

【2-1】

【2-2】

一級建築士事務所 鹿児島県知事登録 第1-5-18号 <b>永園設計株式会社</b> 管理建築士 一級建築士 第123948号 小原正信	管理技術者 主任技術者 製図 補助	設計年月日	工事名 公営住宅第3国頭団地 3号棟 改修工事	図面番号 M-204
		縮尺 1:100 (A1) 1:200 (A3)		

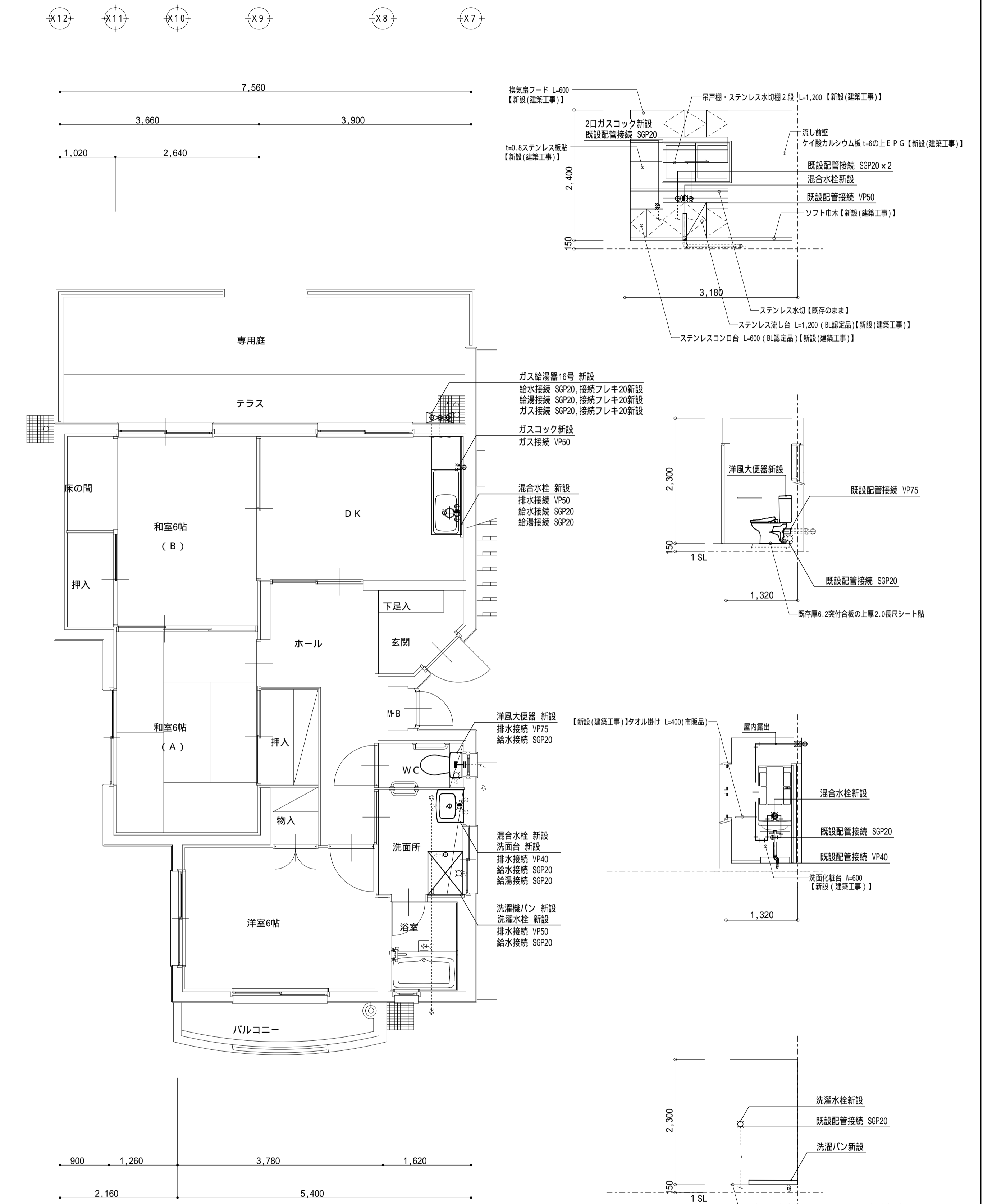
3号棟1-1 (撤去)



平面詳細図 1-1 (撤去・給排水設備) S=1/50

図中 — は、撤去 (配管・器具類) を示す。  
 図中 - - - は、既設 (配管・器具類) を示す。

3号棟1-1 (改修後)

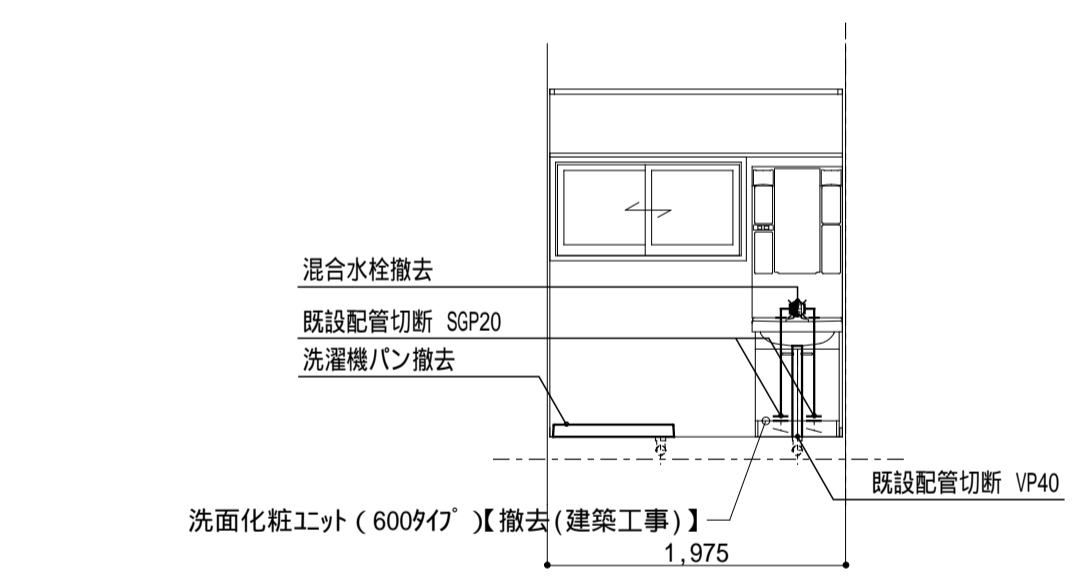
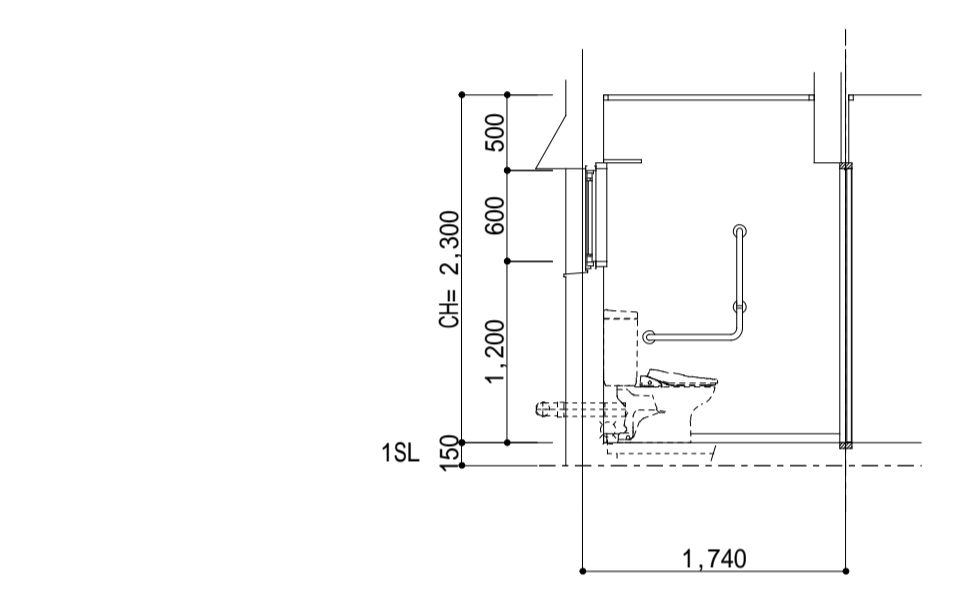
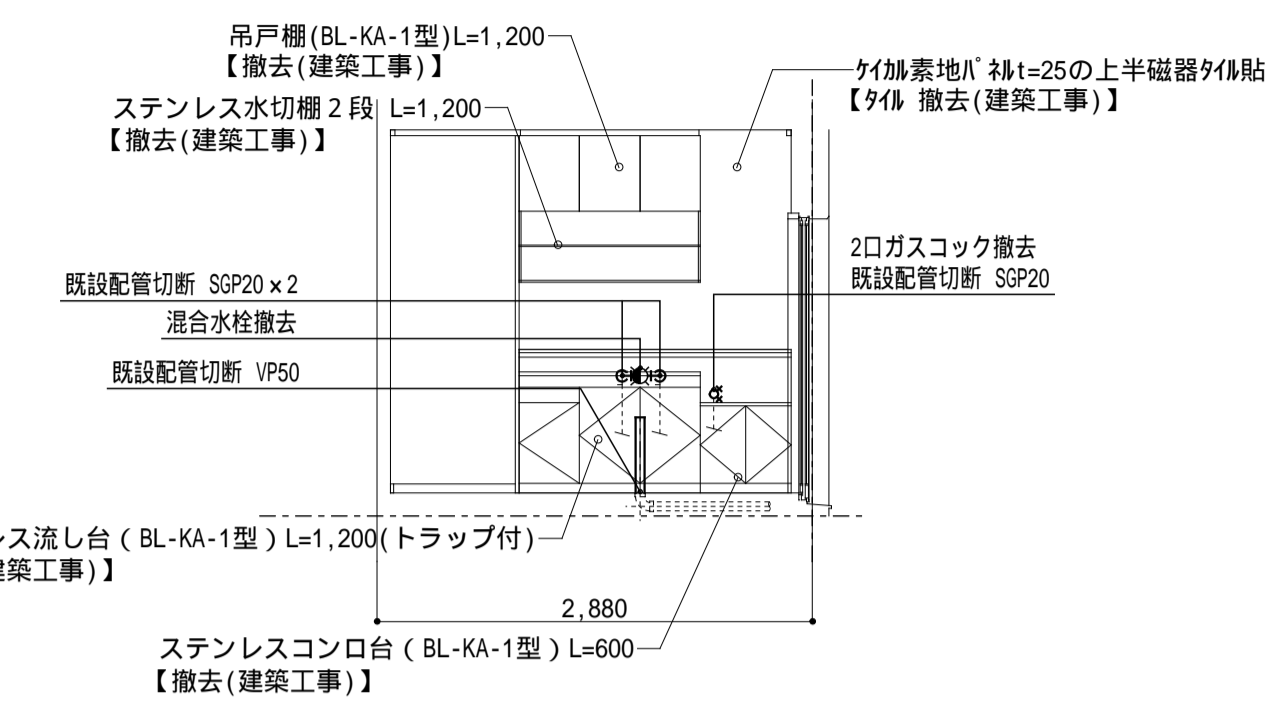
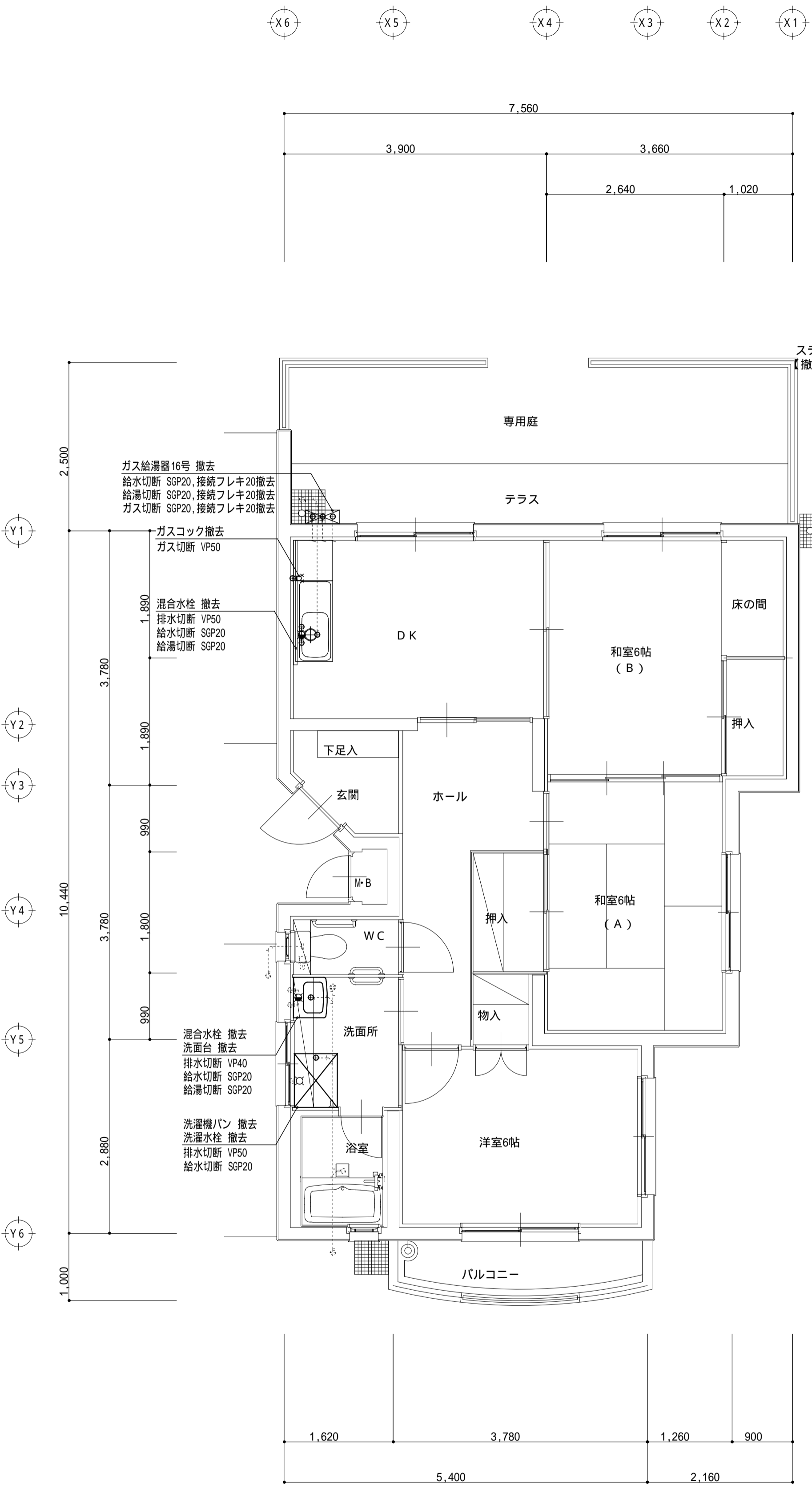


平面詳細図 1-1 (改修後・給排水設備) S=1/50

図中 — は、新設 (配管・器具類) を示す。  
 図中 - - - は、既設 (配管・器具類) を示す。

設計年月日	工事名	図面番号
縮尺	公営住宅第3国頭団地 3号棟 改修工事	M-205
1:50 (A1)	図面種類	3号棟1-1 平面詳細図 (給排水設備)
1:100 (A3)		
一級建築士事務所 鹿児島県知事登録 第1-5-18号	管理技術者	主任技術者
永園設計株式会社	製図	補助
管理建築士 一級建築士 第123948号 小原正信		

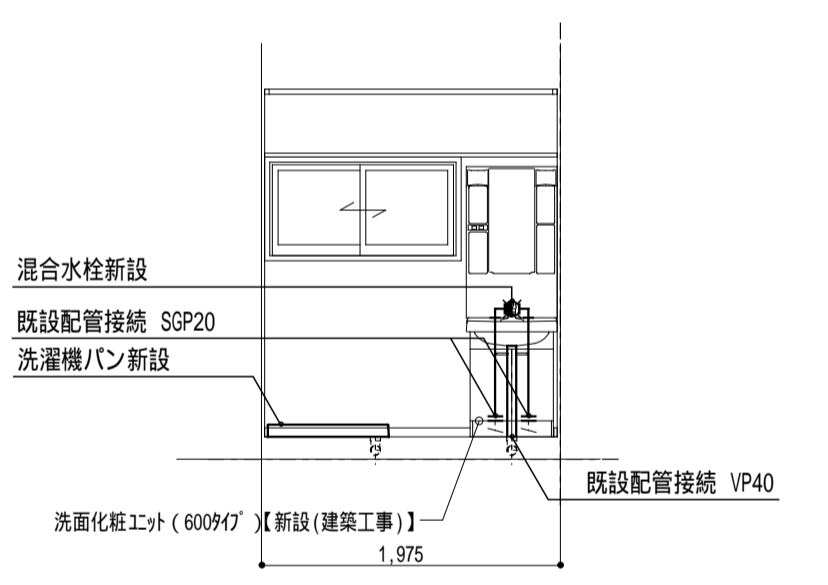
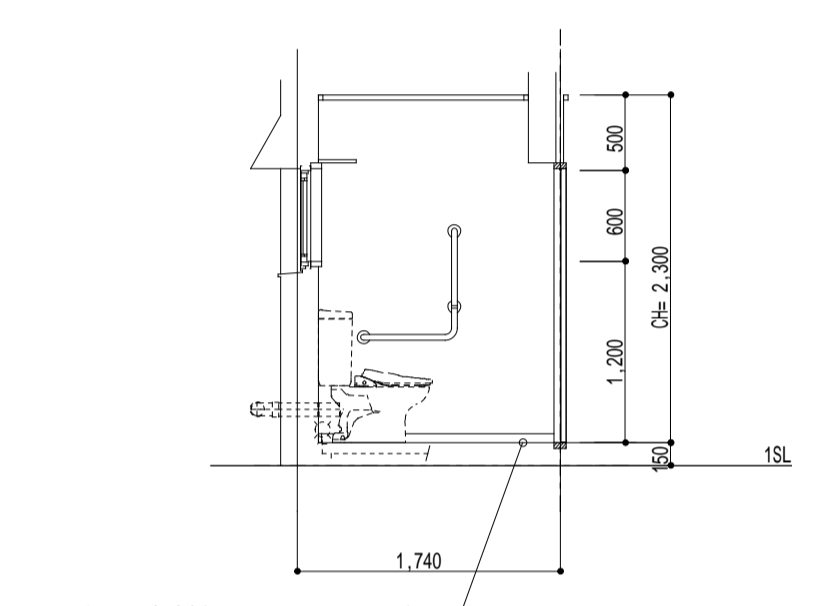
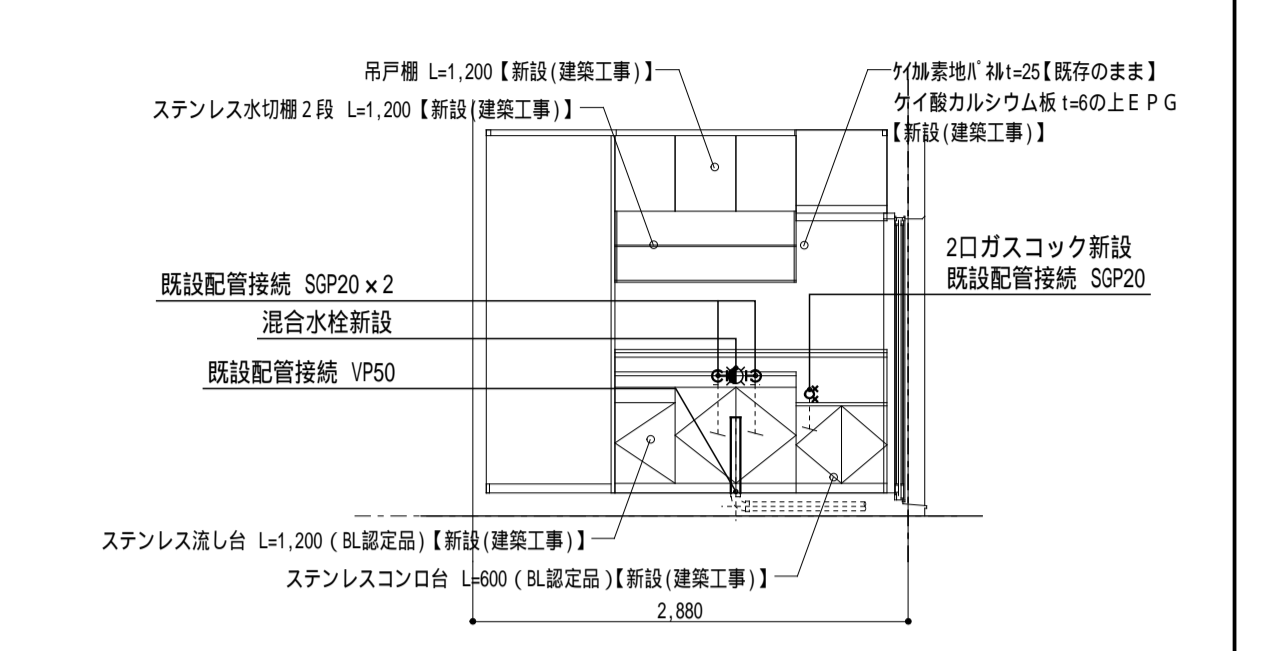
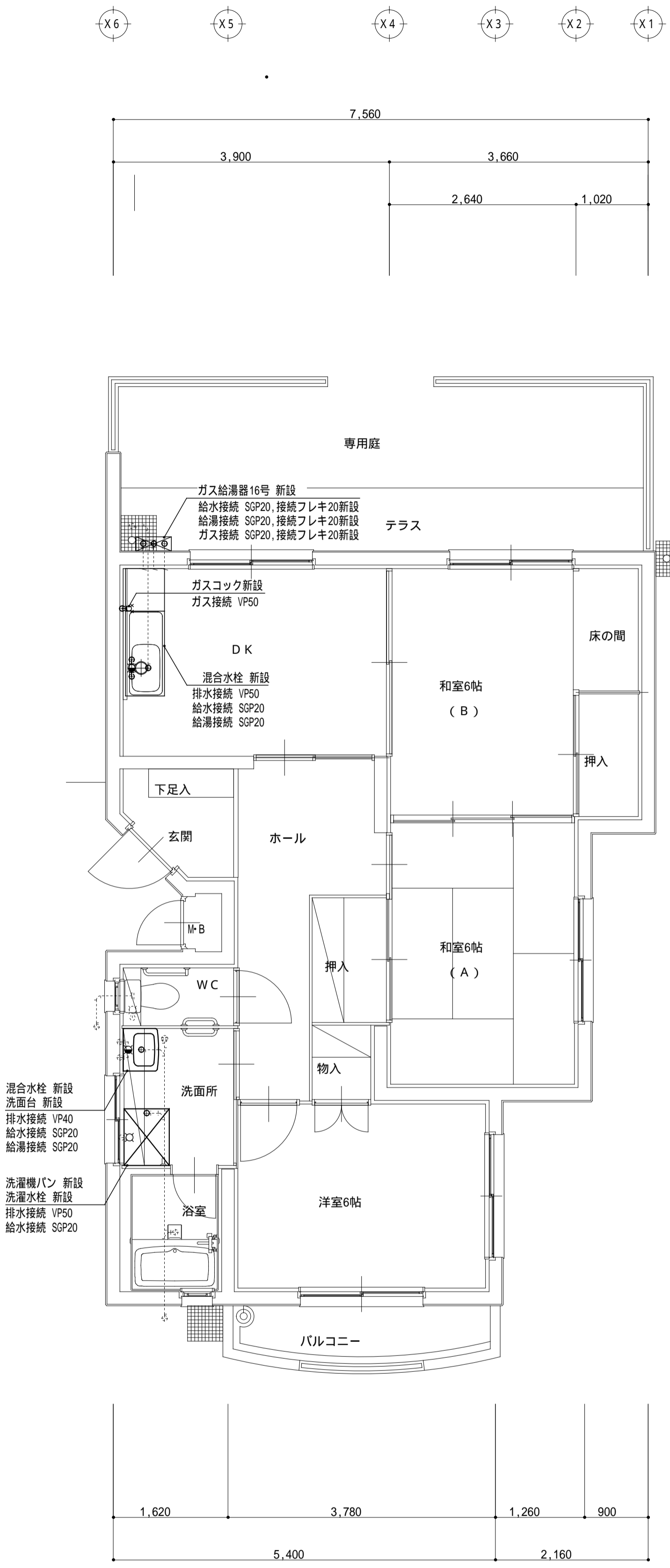
3号棟1-2 (撤去)



平面詳細図 1-2 (撤去・給排水設備) S=1/50

図中 — は、撤去 (配管・器具類) を示す。  
 図中 - - - は、既設 (配管・器具類) を示す。

3号棟1-2 (改修後)



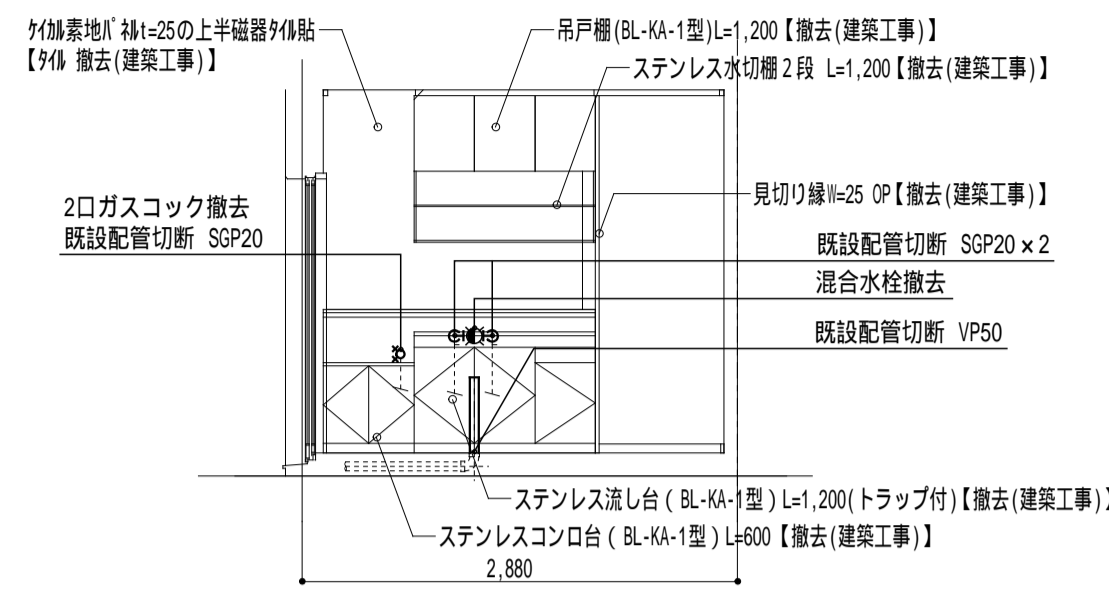
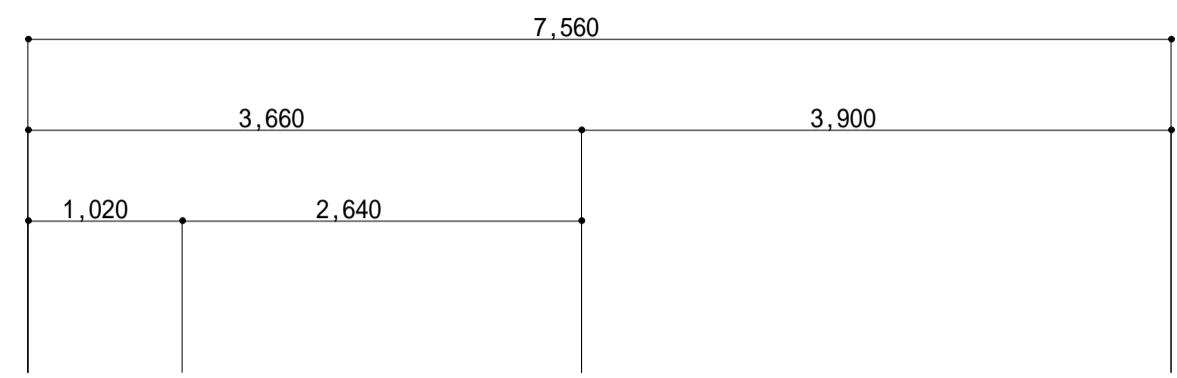
平面詳細図 1-2 (改修後・給排水設備) S=1/50

図中 — は、新設 (配管・器具類) を示す。  
 図中 - - - は、既設 (配管・器具類) を示す。

設計年月日	工事名	図面番号
縮尺	公営住宅第3国頭団地 3号棟 改修工事	図面種類
1:50 (A1)	3号棟1-2 平面詳細図 (給排水設備)	M-206
1:100 (A3)		
一級建築士事務所 鹿児島県知事登録 第1-5-18号	管理技術者	主任技術者
永園設計株式会社	製図	補助
管理建築士 一級建築士 第123948号 小原正信		

1号棟2-1 (撤去)

X12 X11 X10 X9 X8 X7



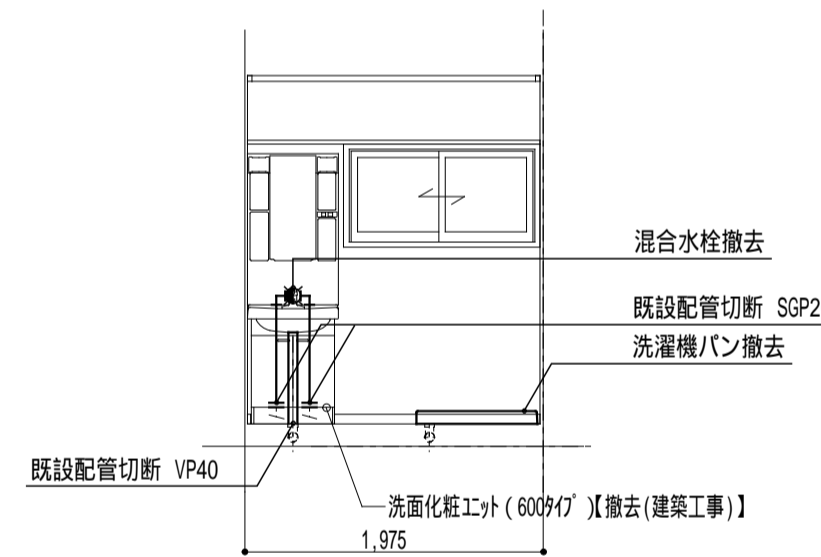
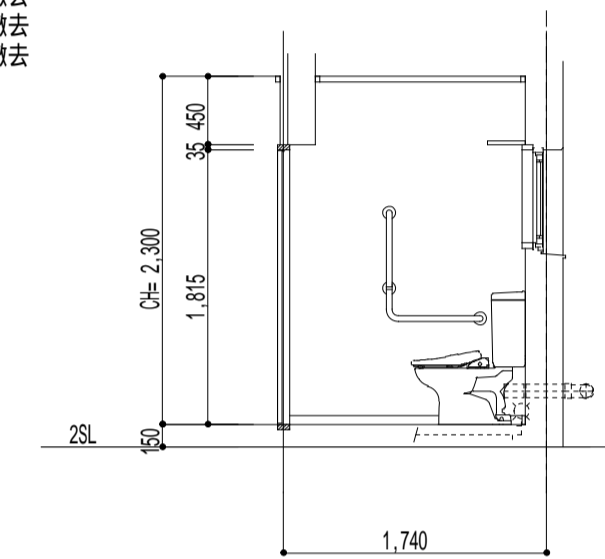
ガス給湯器16号 撤去  
 給水切断 SGP20, 接続フレキ20撤去  
 給湯切断 SGP20, 接続フレキ20撤去  
 ガス切断 SGP20, 接続フレキ20撤去

ガスコンロ撤去  
 ガス切断 VP50

混合水栓 撤去  
 排水切断 VP50  
 給水切断 SGP20  
 給湯切断 SGP20

混合水栓 撤去  
 洗面台 撤去  
 排水切断 VP40  
 給水切断 SGP20  
 給湯切断 SGP20

洗濯機/パン 撤去  
 洗濯機/パン 撤去  
 排水切断 VP50  
 給水切断 SGP20

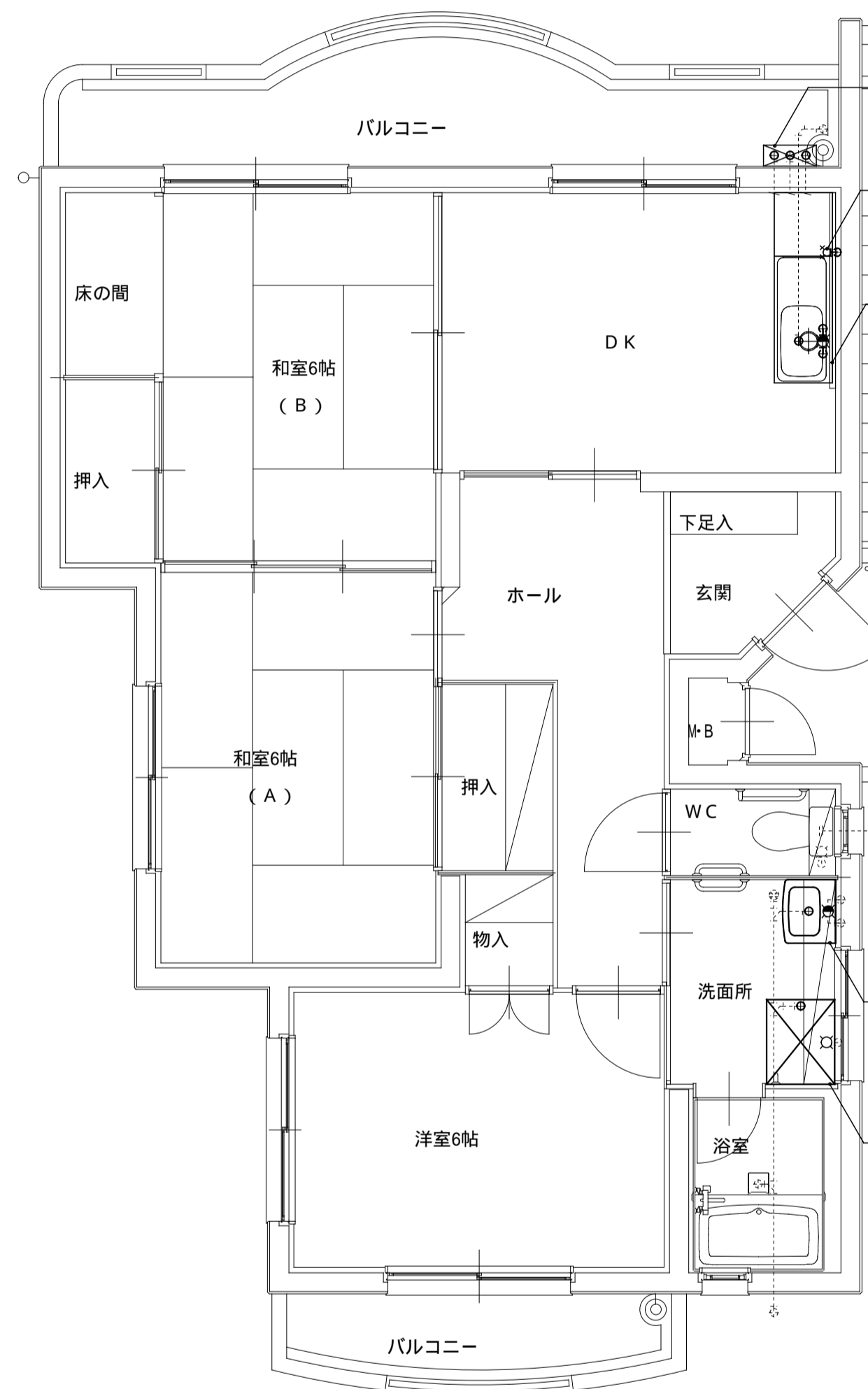
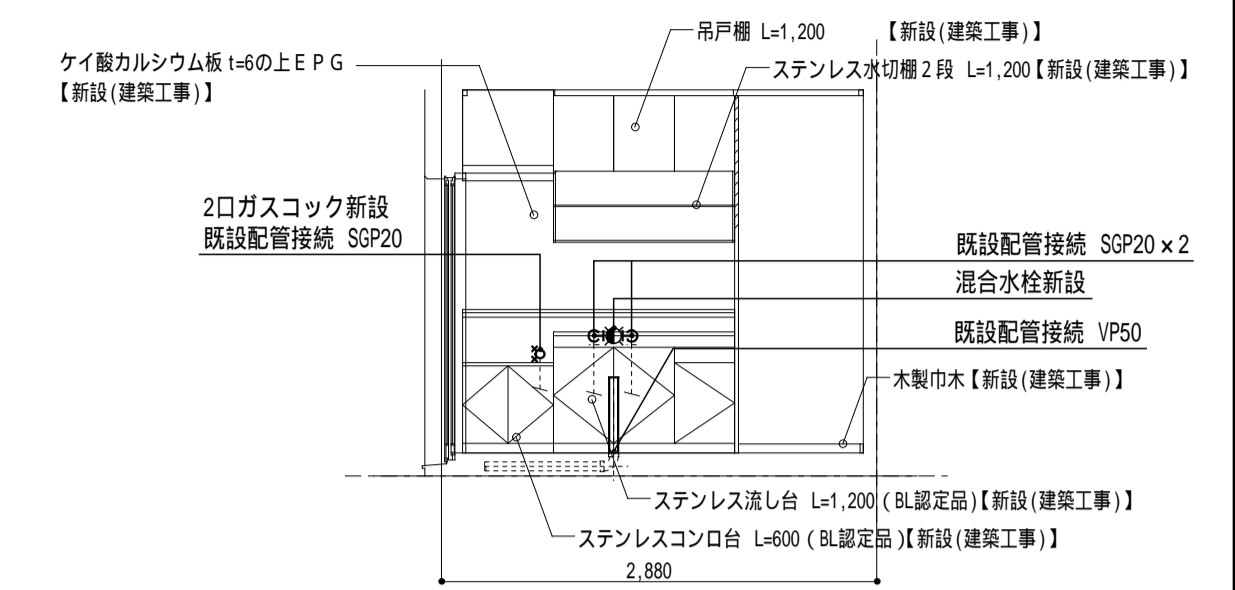
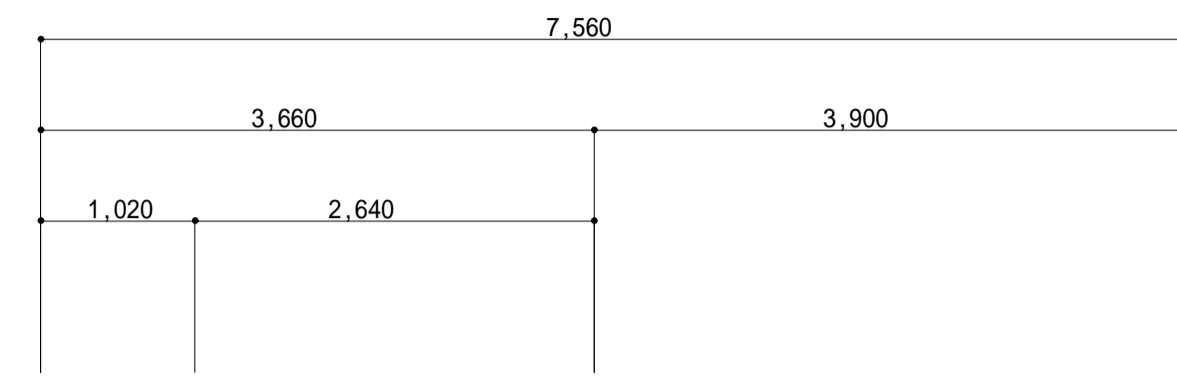


平面詳細図 2-1 (撤去・給排水設備) S=1/50

図中 — は、撤去(配管・器具類)を示す。  
 図中 --- は、既設(配管・器具類)を示す。

3号棟2-1 (改修後)

X12 X11 X10 X9 X8 X7



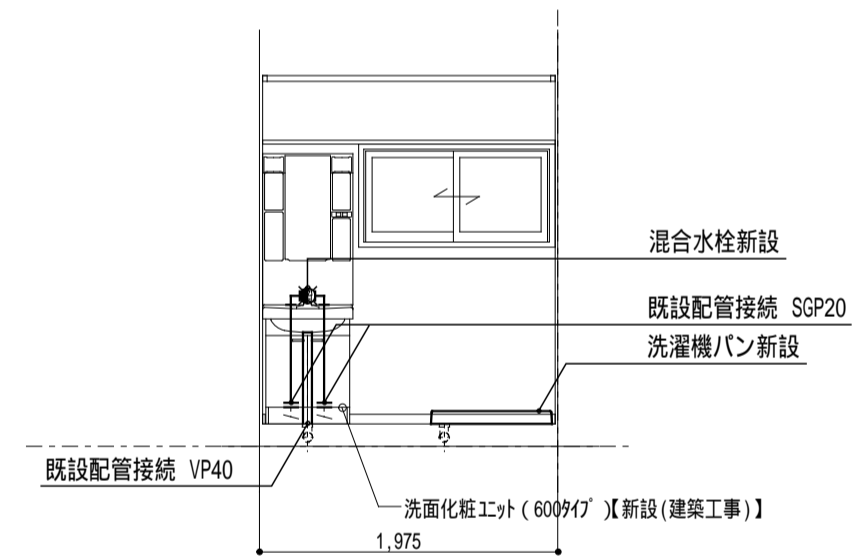
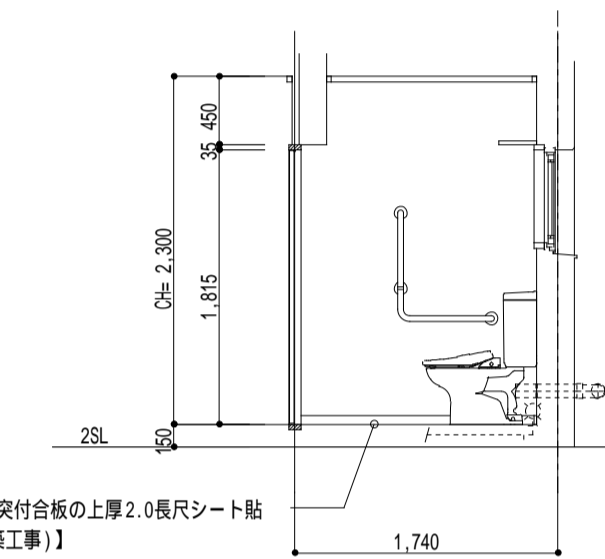
ガス給湯器16号 新設  
 給水接続 SGP20, 接続フレキ20新設  
 給湯接続 SGP20, 接続フレキ20新設  
 ガス接続 SGP20, 接続フレキ20新設

ガスコンロ新設  
 ガス切断 VP50

混合水栓 新設  
 排水接続 VP50  
 給水接続 SGP20  
 給湯接続 SGP20

混合水栓 新設  
 洗面台 新設  
 排水接続 VP40  
 給水接続 SGP20  
 給湯接続 SGP20

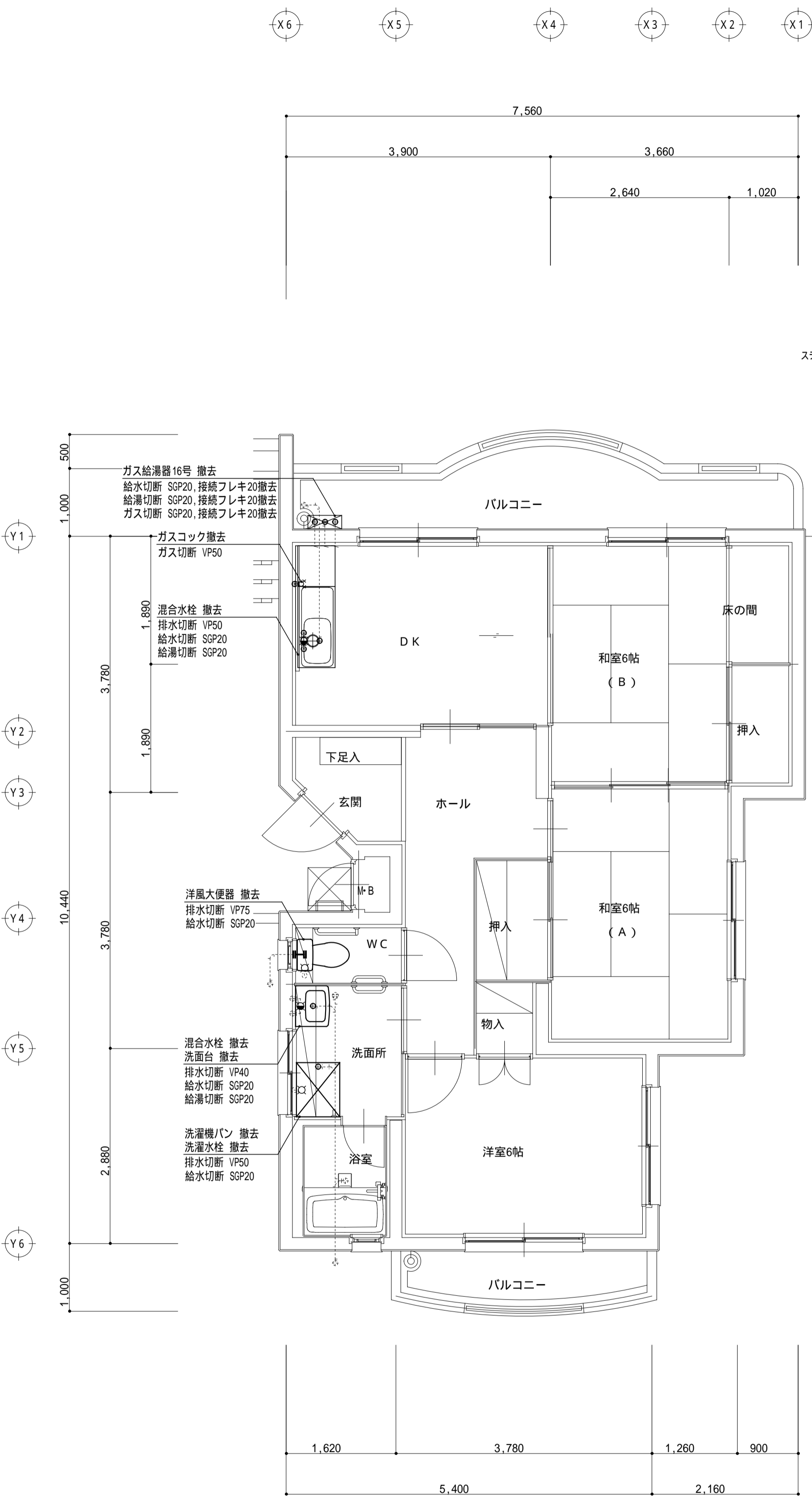
洗濯機/パン 新設  
 洗濯機/パン 新設  
 排水接続 VP50  
 給水接続 SGP20



平面詳細図 2-1 (改修後・給排水設備) S=1/50

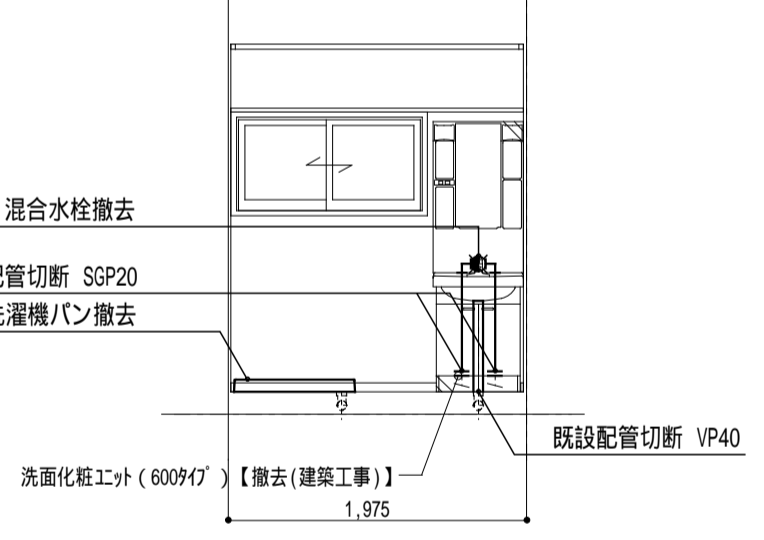
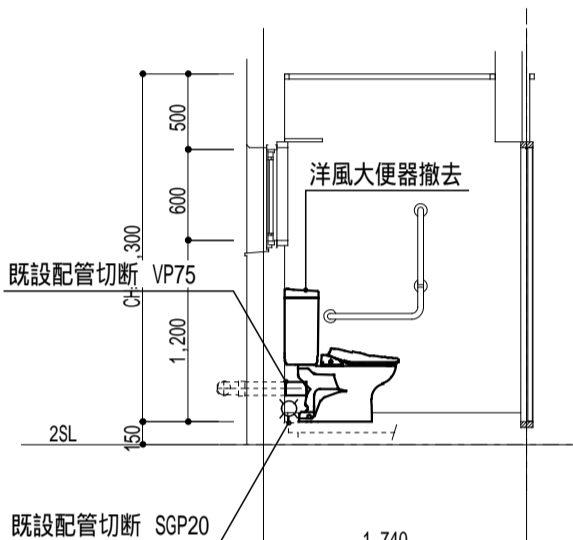
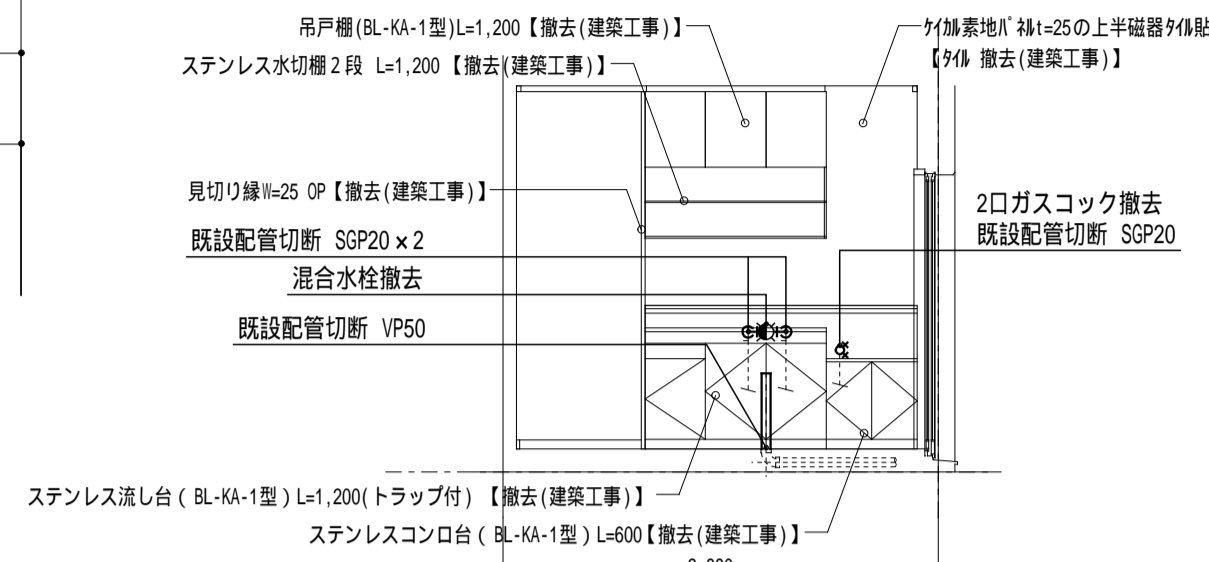
図中 — は、新設(配管・器具類)を示す。  
 図中 --- は、既設(配管・器具類)を示す。

3号棟2-2 (撤去)

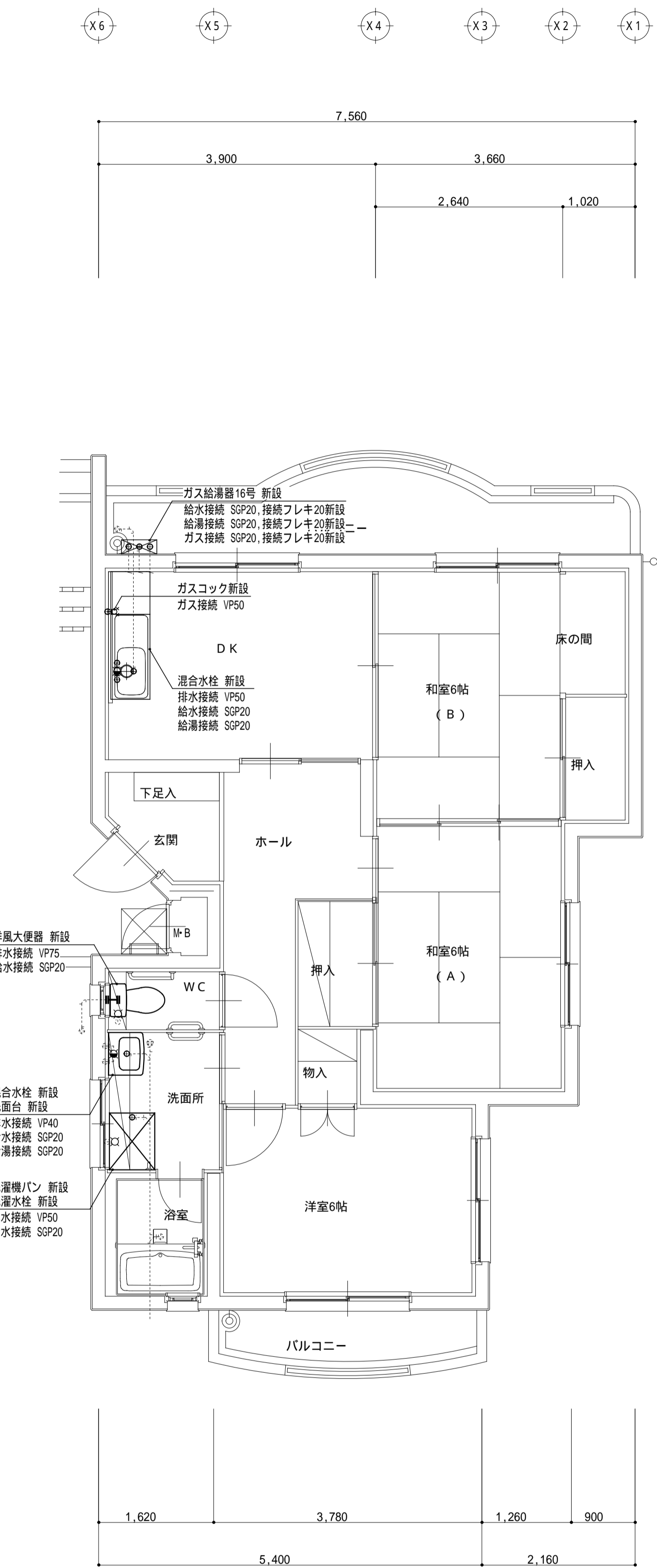


平面詳細図 2-2 (撤去・給排水設備) S=1/50

図中 — は、撤去 (配管・器具類) を示す。  
 図中 - - - は、既設 (配管・器具類) を示す。

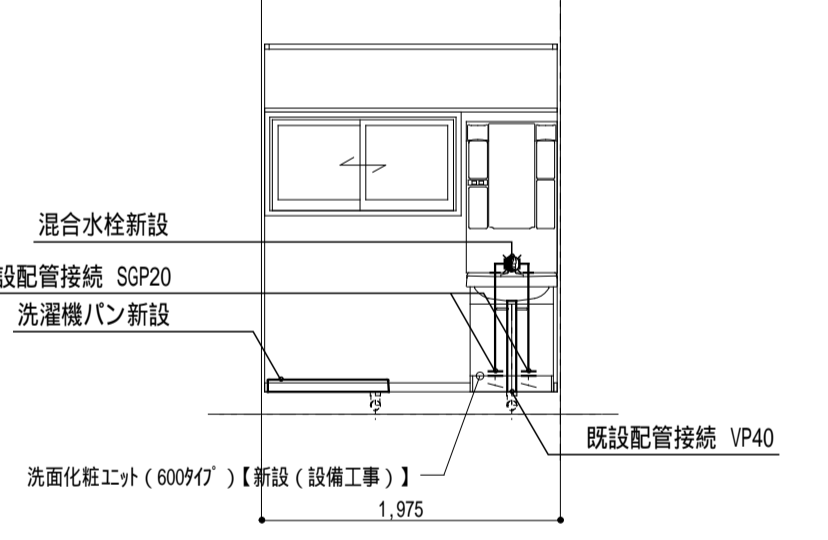
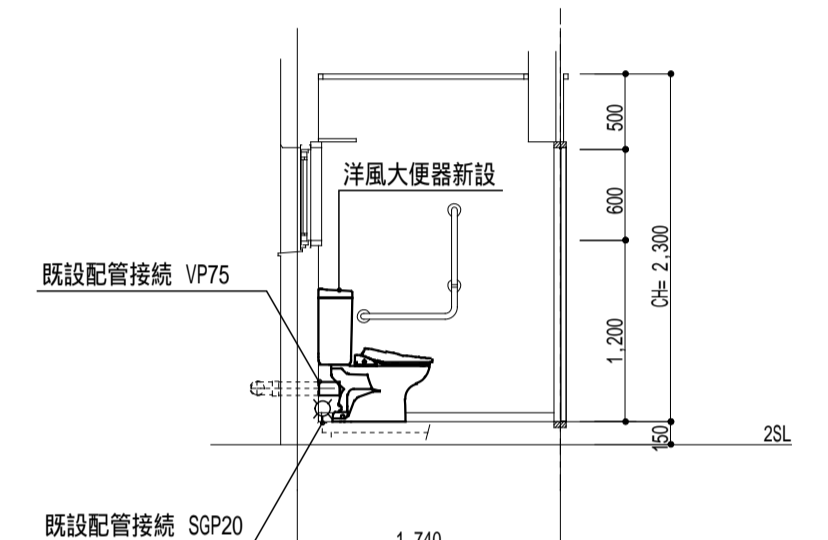
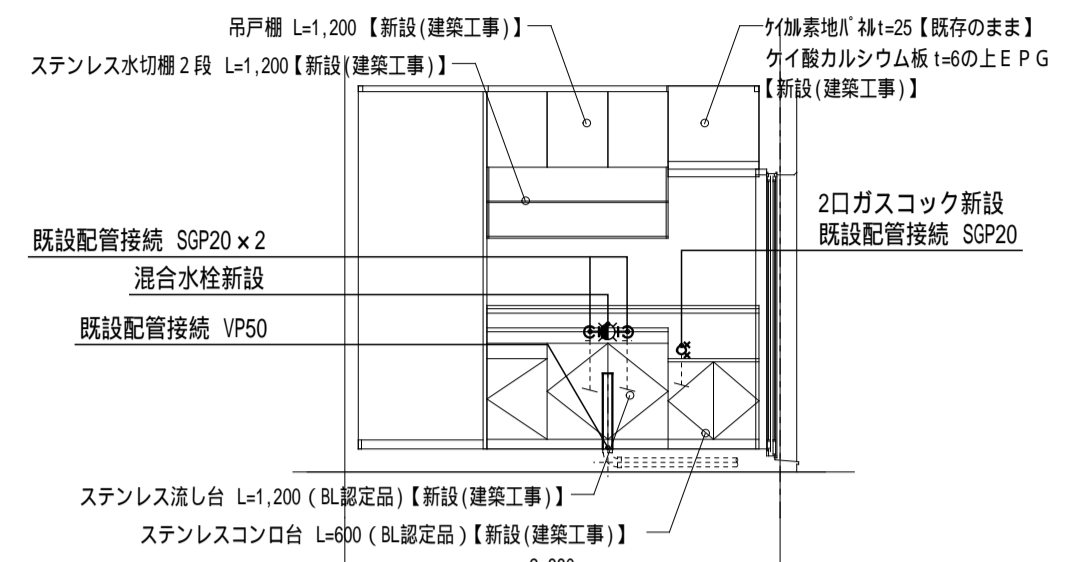


3号棟2-2 (改修後)



平面詳細図 2-2 (改修後・給排水設備) S=1/50

図中 — は、新設 (配管・器具類) を示す。  
 図中 - - - は、既設 (配管・器具類) を示す。



一級建築士事務所 鹿児島県知事登録 第1-5-18号	管理技術者	主任技術者	製図	補助	設計年月日	工事名	図面番号
永園設計株式会社					縮尺	公営住宅第3国頭団地 3号棟 改修工事	M-208
管理建築士 一級建築士 第123948号 小原正信					1:50 (A1) 1:100 (A3)	3号棟2-2 平面詳細図 (給排水設備)	

管種使用区分表

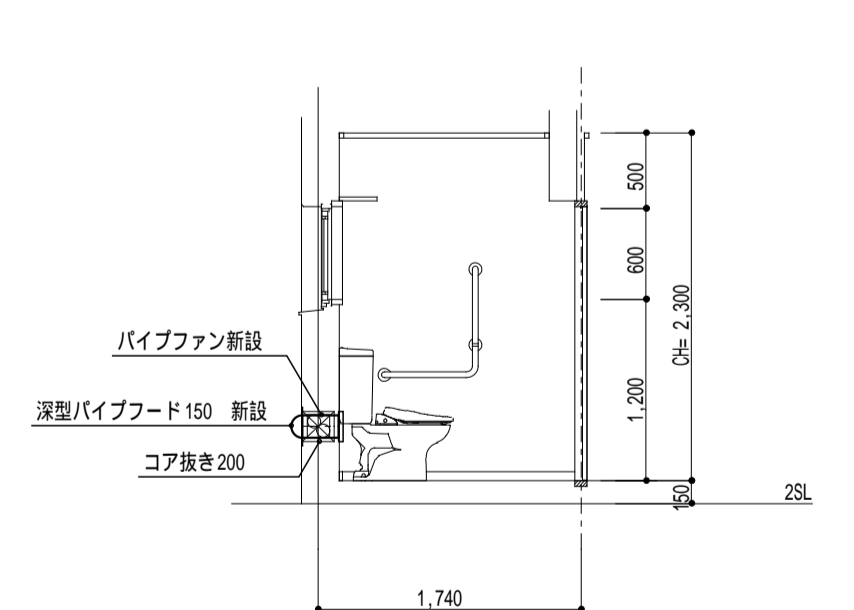
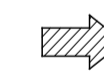
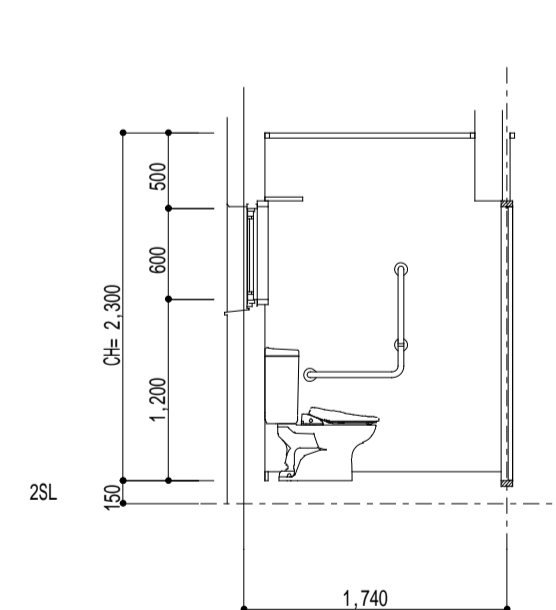
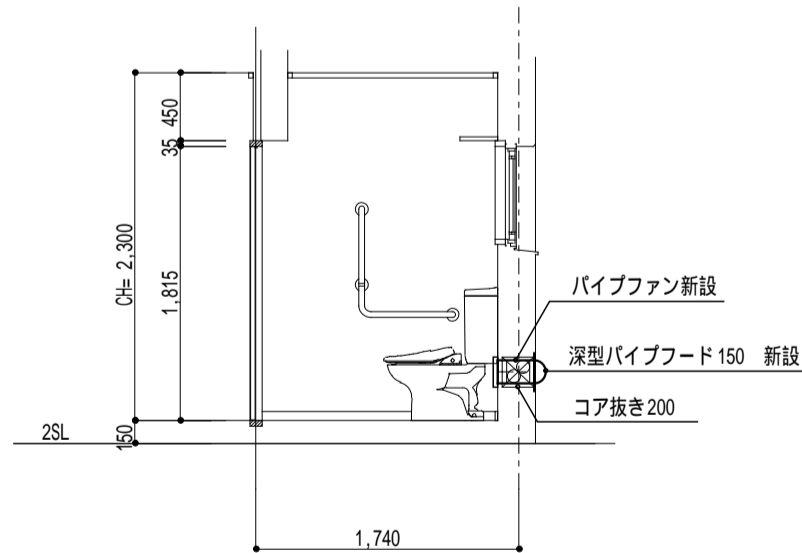
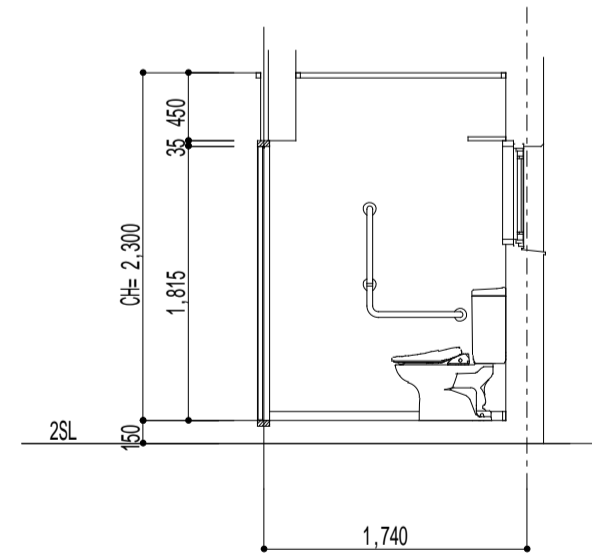
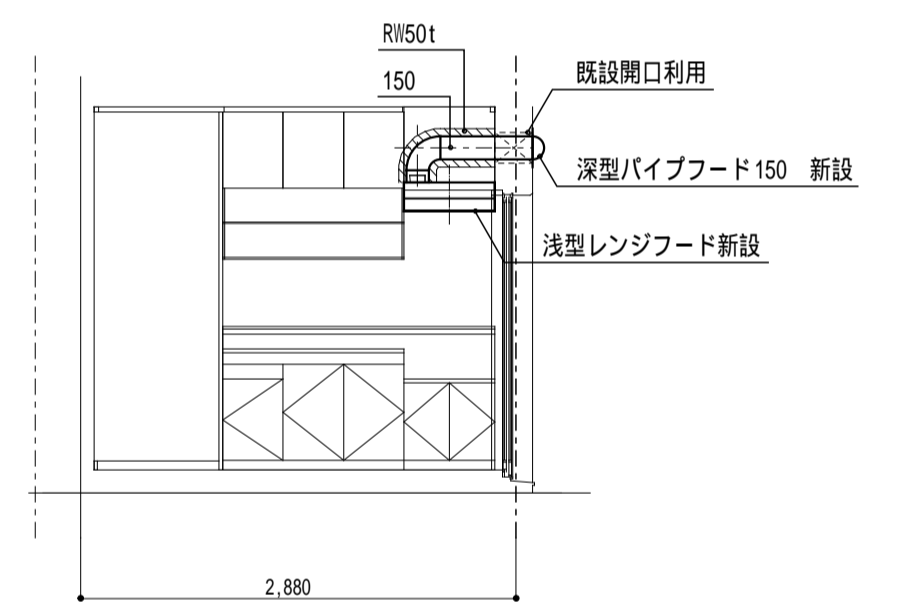
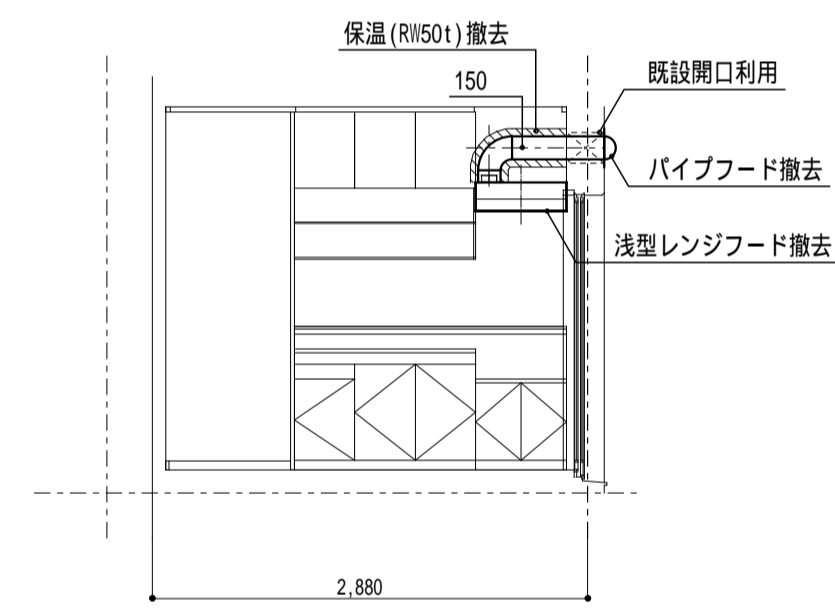
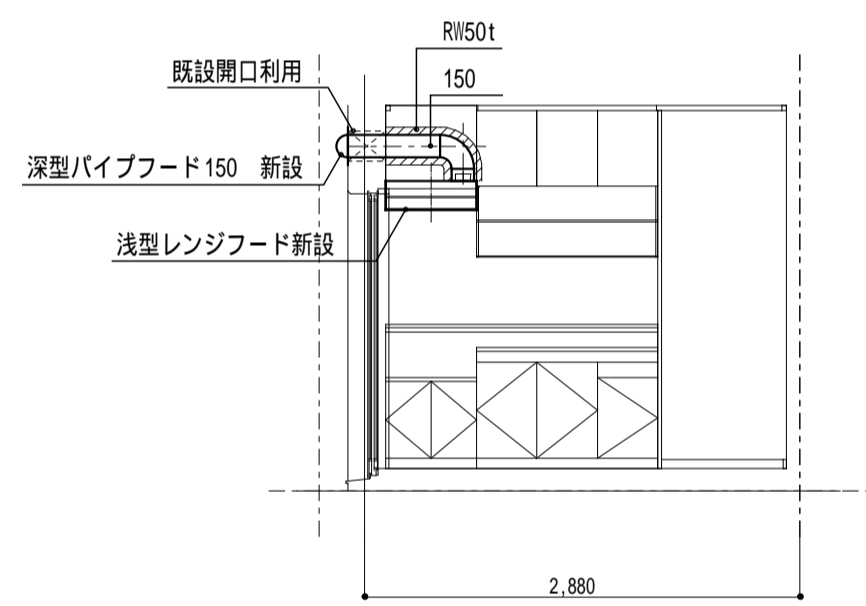
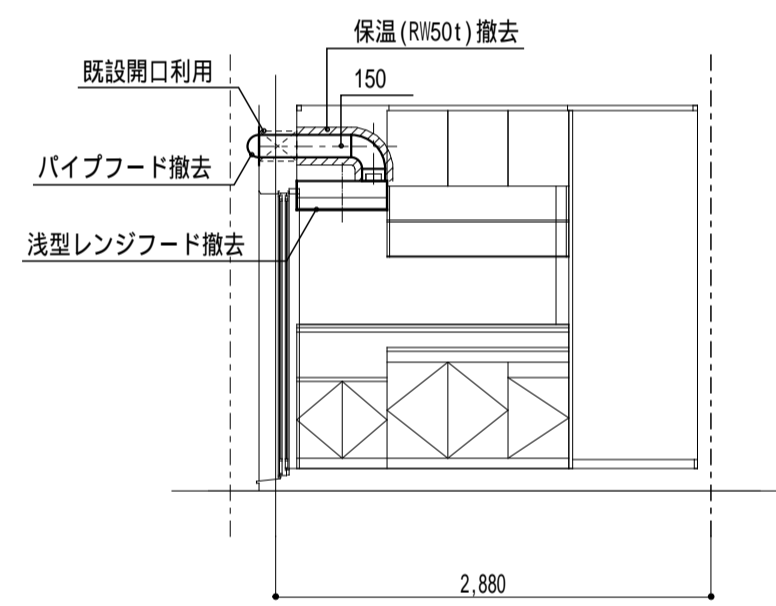
名称	記号	管種
換気管	—	スパイラルダクト 機器接続部：鉄フレキ

防露・保温仕様

名称	屋内隠蔽
換気管	RW50t (レンジフード系統)

機器仕様一覧表

機器番号	室名称	室名称	台数 (台)	機器風量 (m <sup>3</sup> /h)	機外静圧 (Pa)	電源 ( )	電圧 (V)	消費電力 (w)	備考
FE-1	3号棟 台所	レンジフードファン ・浅形・標準タイプ ・シャッター付	4	400	50	1	100	125	ステンレス製深型パイプフード 150 (指定色塗装)
FE-2	3号棟 便所	パイプファン ・樹脂製 ・角格子形	4	50	20	1	100	10	ステンレス製深型パイプフード 150 (指定色塗装)



詳細図 (撤去) S=1/50

詳細図 (新設) S=1/50

詳細図 (撤去) S=1/50

詳細図 (新設) S=1/50

一級建築士事務所 鹿児島県知事登録 第1-5-18号  
**永園設計株式会社**  
 管理建築士 一級建築士 第123948号 小原正信

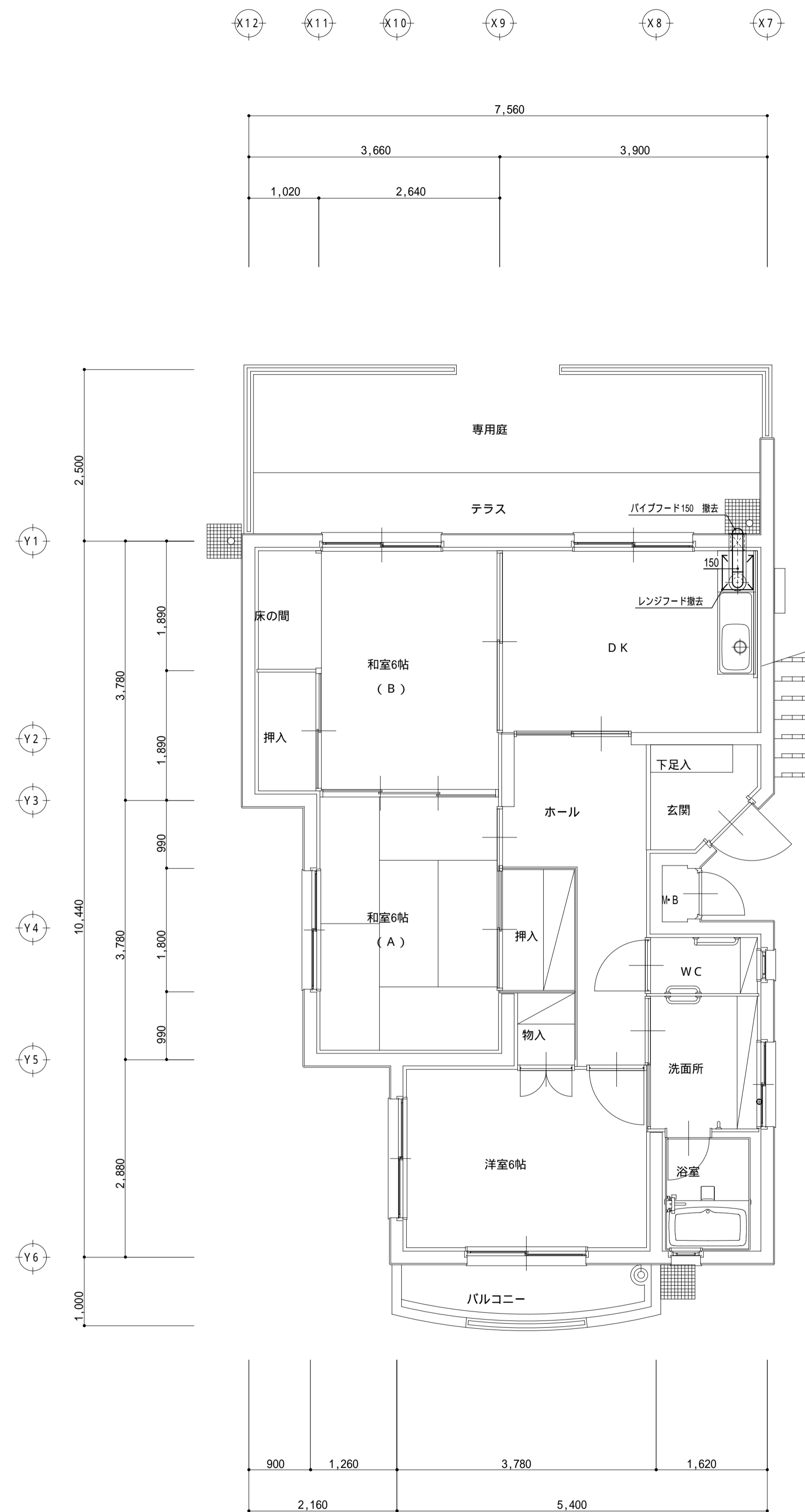
管理技術者 主任技術者 製図 補助

設計年月日  
 縮尺  
 1:50 (A1)  
 1:100 (A3)

工事名 公営住宅第3国頭団地 3号棟 改修工事  
 図面種類 換気設備機器仕様一覧表・詳細図

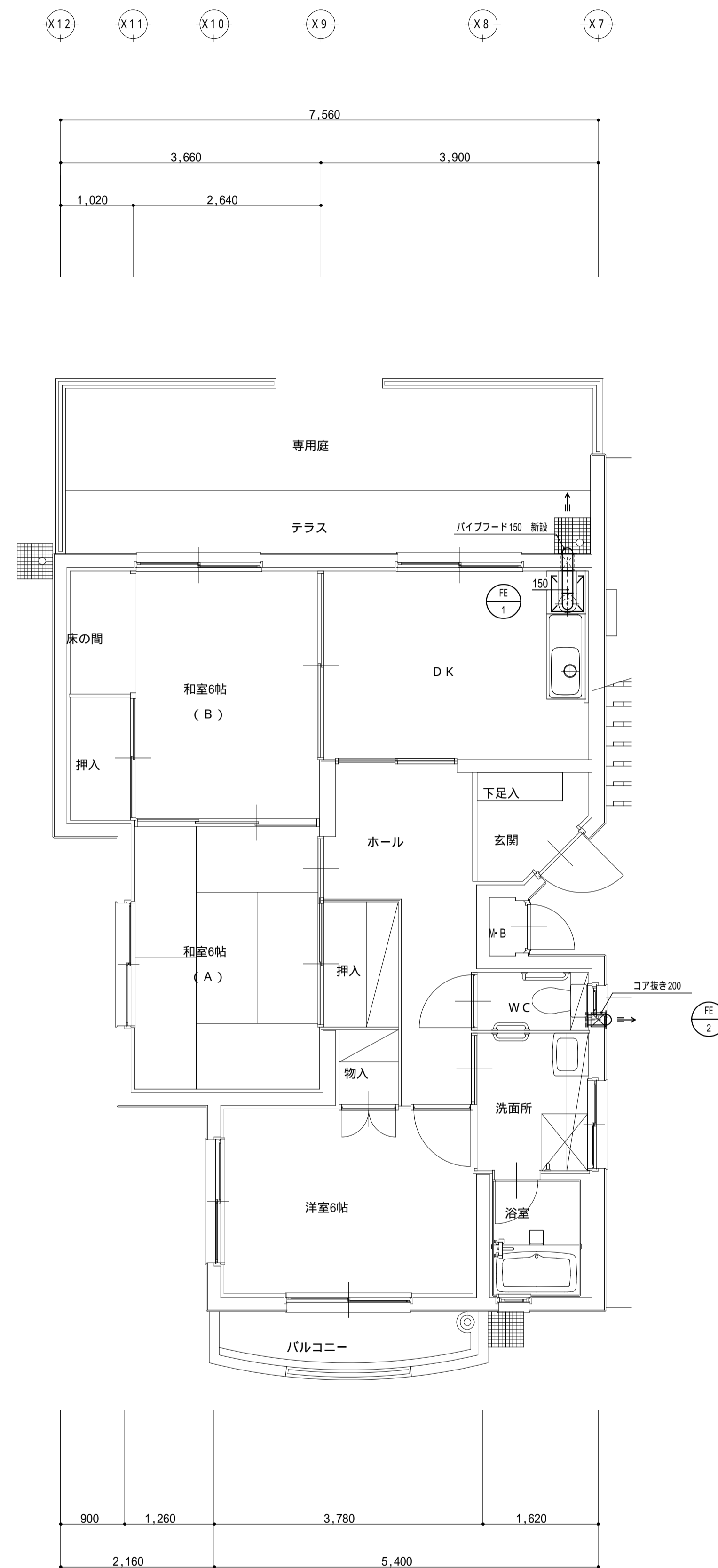
図面番号  
**M-209**

3号棟1-1 (撤去)




平面詳細図 1-1 (撤去・換気設備) S=1/50

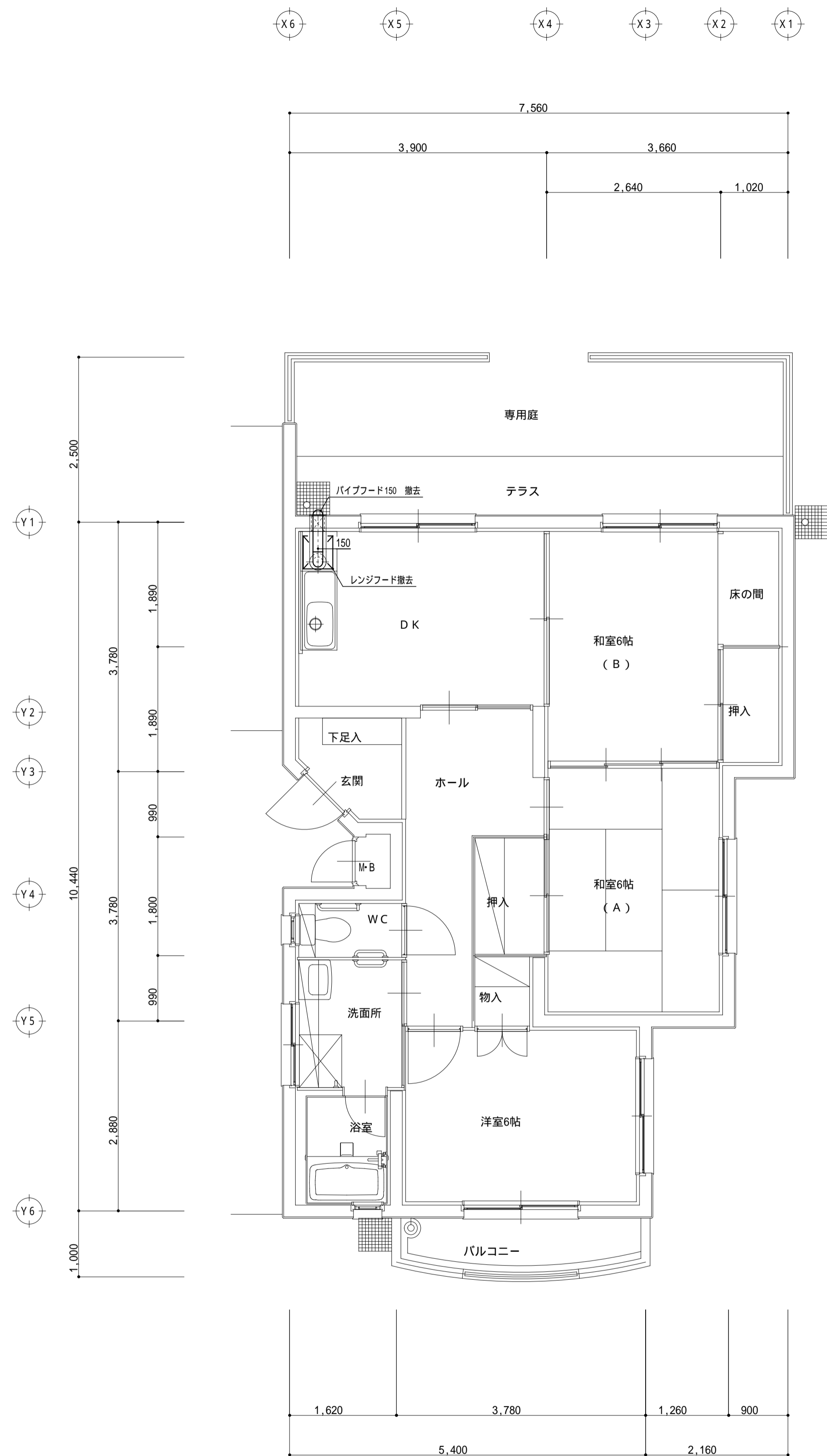
3号棟1-1 (改修後)



平面詳細図 1-1 (改修後・換気設備) S=1/50

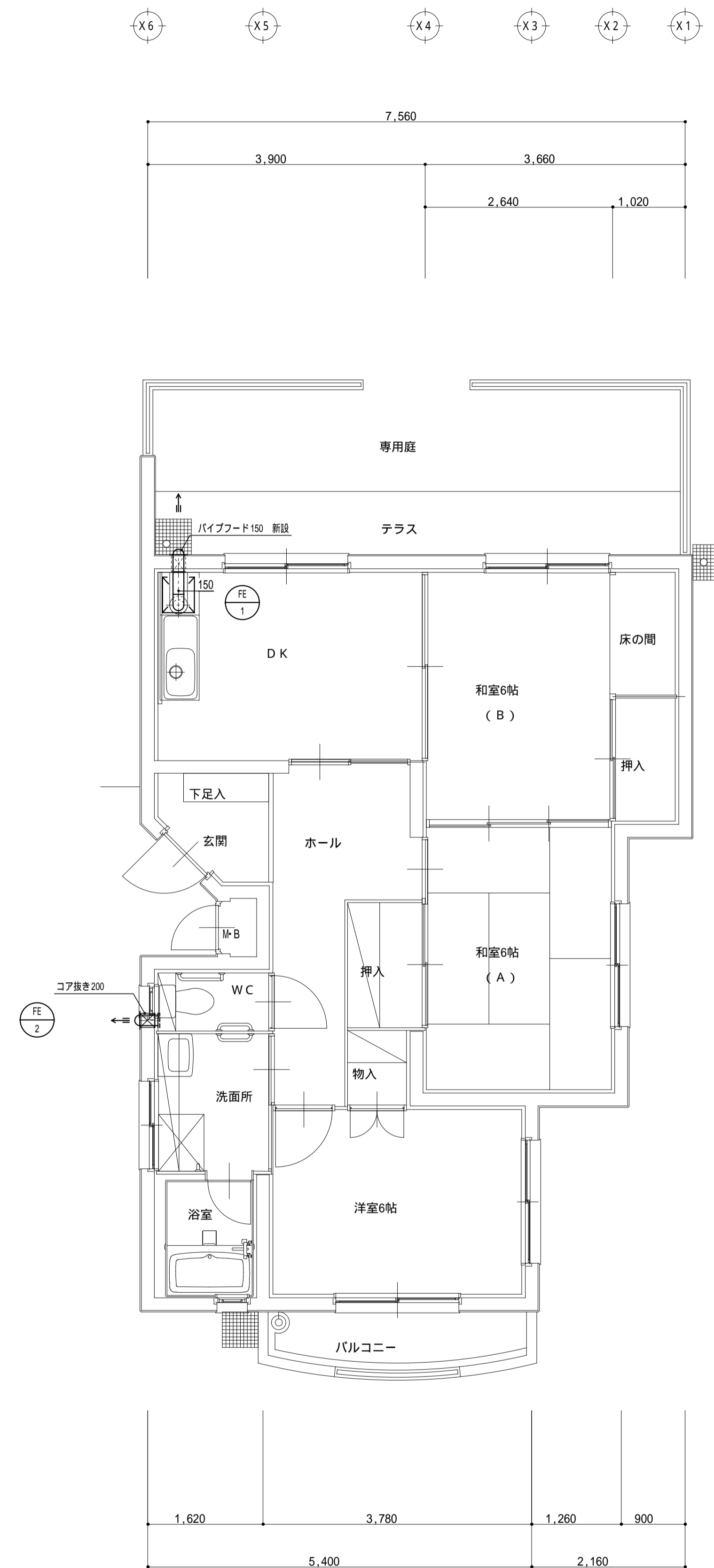
 永園設計株式会社 管理建築士 一級建築士 第123948号 小原正信	設計年月日 縮尺 1:50 (A1) 1:100 (A3)	工事名 図面種類	図面番号 M-210	
	管理技術者 主任技術者 製図 補助	公営住宅第3国頭団地 3号棟 改修工事 3号棟1-1 平面詳細図 (換気設備)		
	一級建築士事務所 鹿児島県知事登録 第1-5-18号 管理建築士 一級建築士 第123948号 小原正信			

3号棟1-2 (撤去)




平面詳細図 1-2 (撤去・換気設備) S=1/50

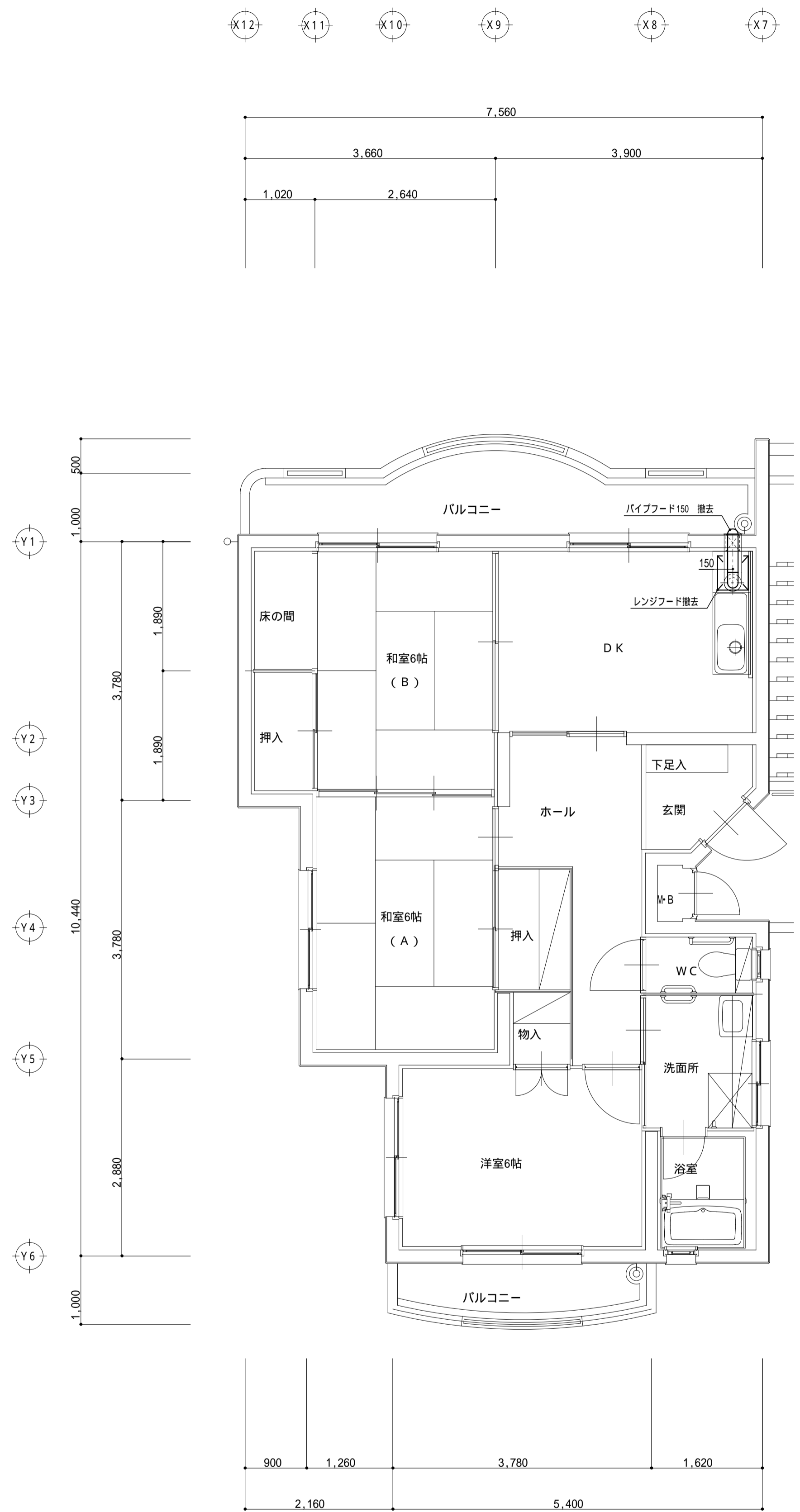
3号棟1-2 (改修後)



平面詳細図 1-2 (改修後・換気設備) S=1/50

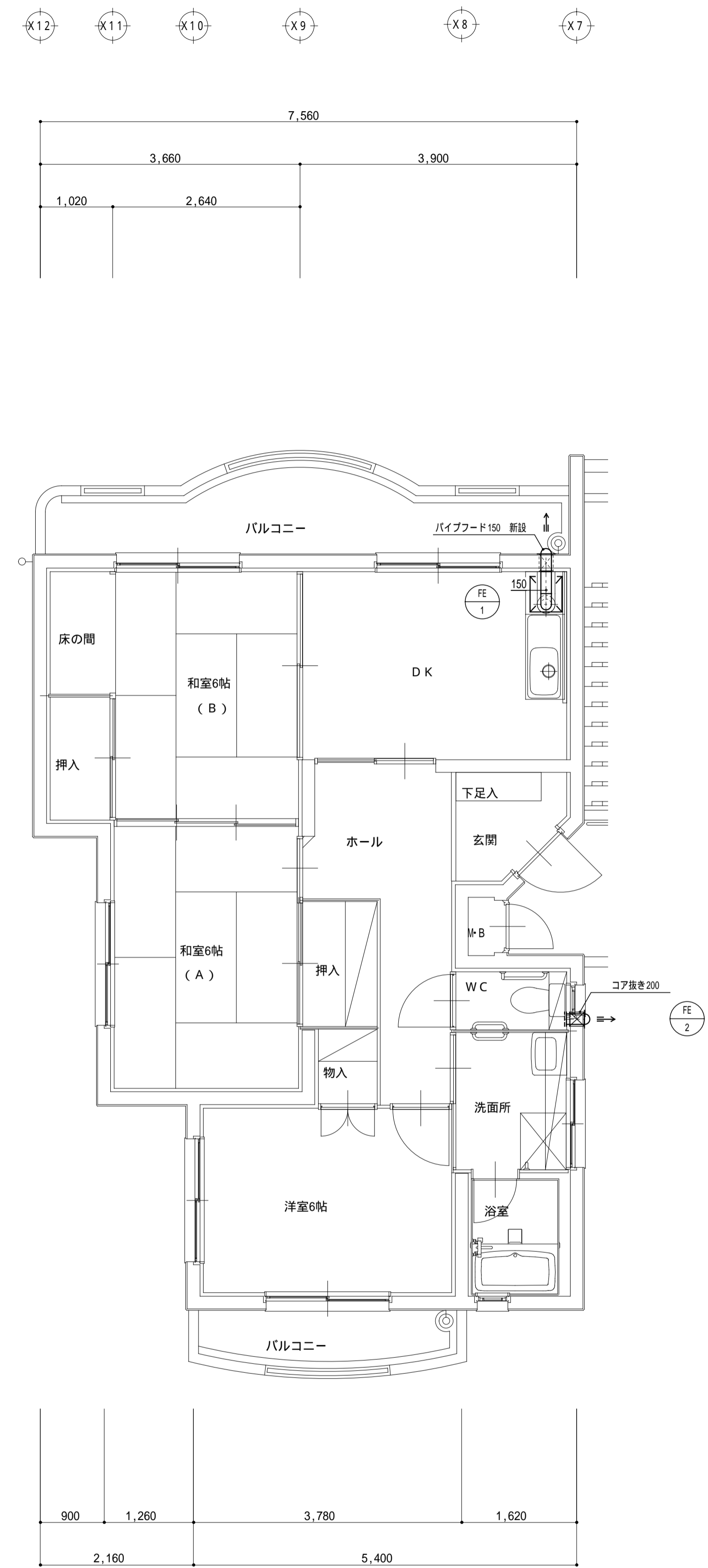
 永園設計株式会社 管理建築士 一級建築士 第123948号 小原正信	設計年月日 竣工 1: 50 (A1) 1: 100 (A3)	工事名 公営住宅第3国頭団地 3号棟 改修工事	図面番号 M-211	
	管理技術者 主任技術者 製図 補助	図面種類 3号棟1-2 平面詳細図 (換気設備)		
	図面番号 M-211			

3号棟2-1 (撤去)



平面詳細図 2-1 (撤去・換気設備) S=1/50

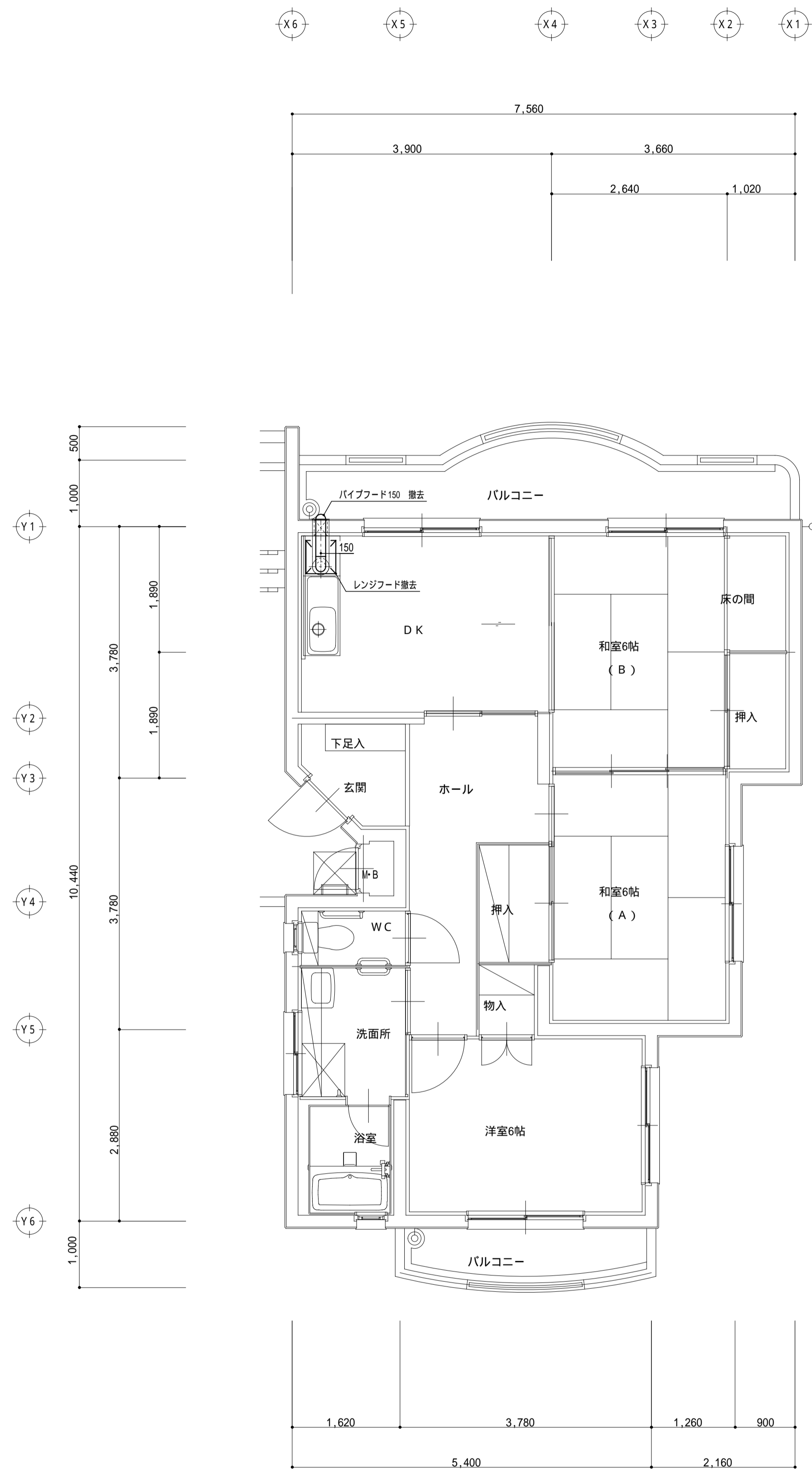
3号棟2-1 (改修後)



平面詳細図 2-1 (改修後・換気設備) S=1/50

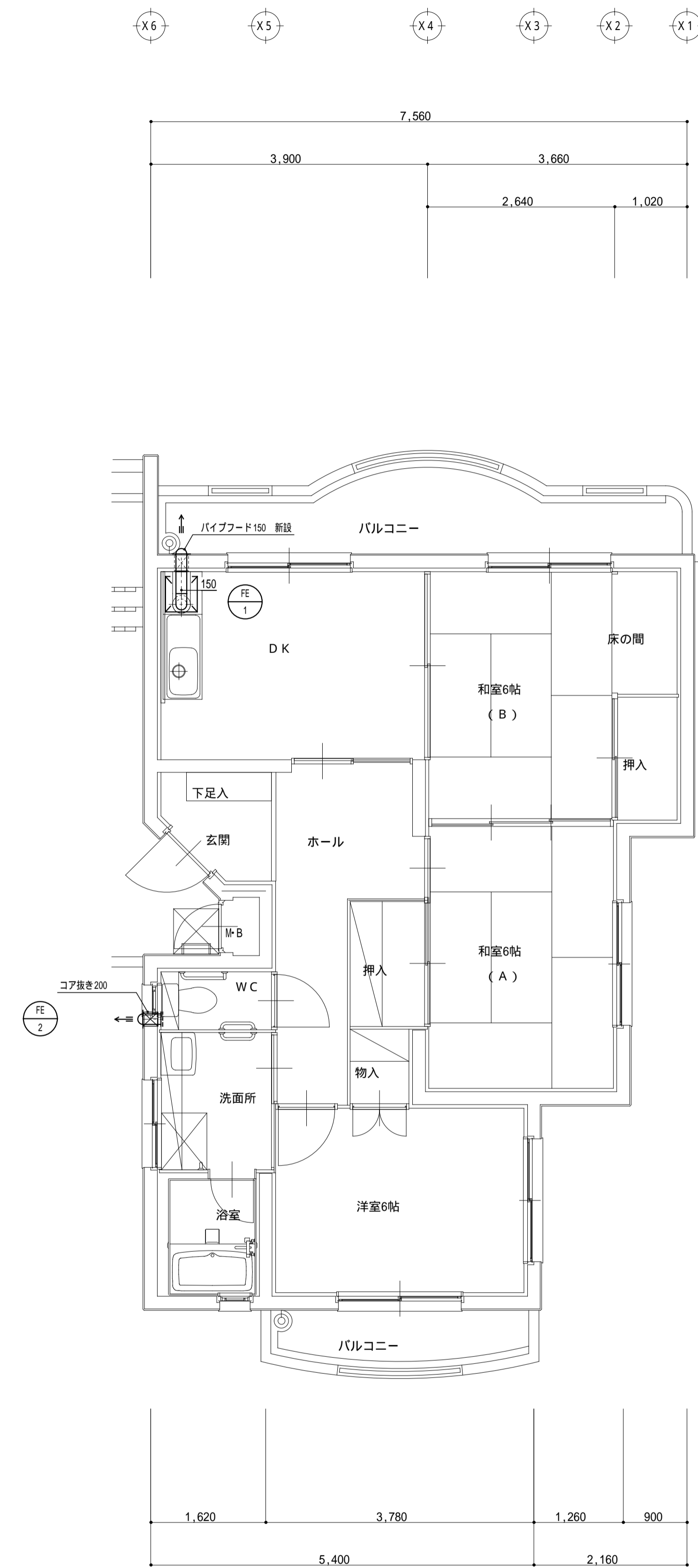
<p>永園設計株式会社 管理建築士 一級建築士 第123948号 小原正信</p>	一級建築士事務所 鹿児島県知事登録 第1-5-18号 管理技術者	主任技術者	製図	補助	設計年月日 縮尺 1:50 (A1) 1:100 (A3)	工事名 図面種類	公営住宅第3国頭団地 3号棟 改修工事 3号棟2-1 平面詳細図 (換気設備)	図面番号 M-212

3号棟2-2 (撤去)



平面詳細図 2-2 (撤去・換気設備) S=1/50

3号棟2-2 (改修後)



平面詳細図 2-2 (改修後・換気設備) S=1/50

一級建築士事務所 鹿児島県知事登録 第1-5-18号  
**永園設計株式会社**  
 管理建築士 一級建築士 第123948号 小原正信

管理技術者 主任技術者 製図 補助

設計年月日  
 縮尺  
 1:50 (A1)  
 1:100 (A3)

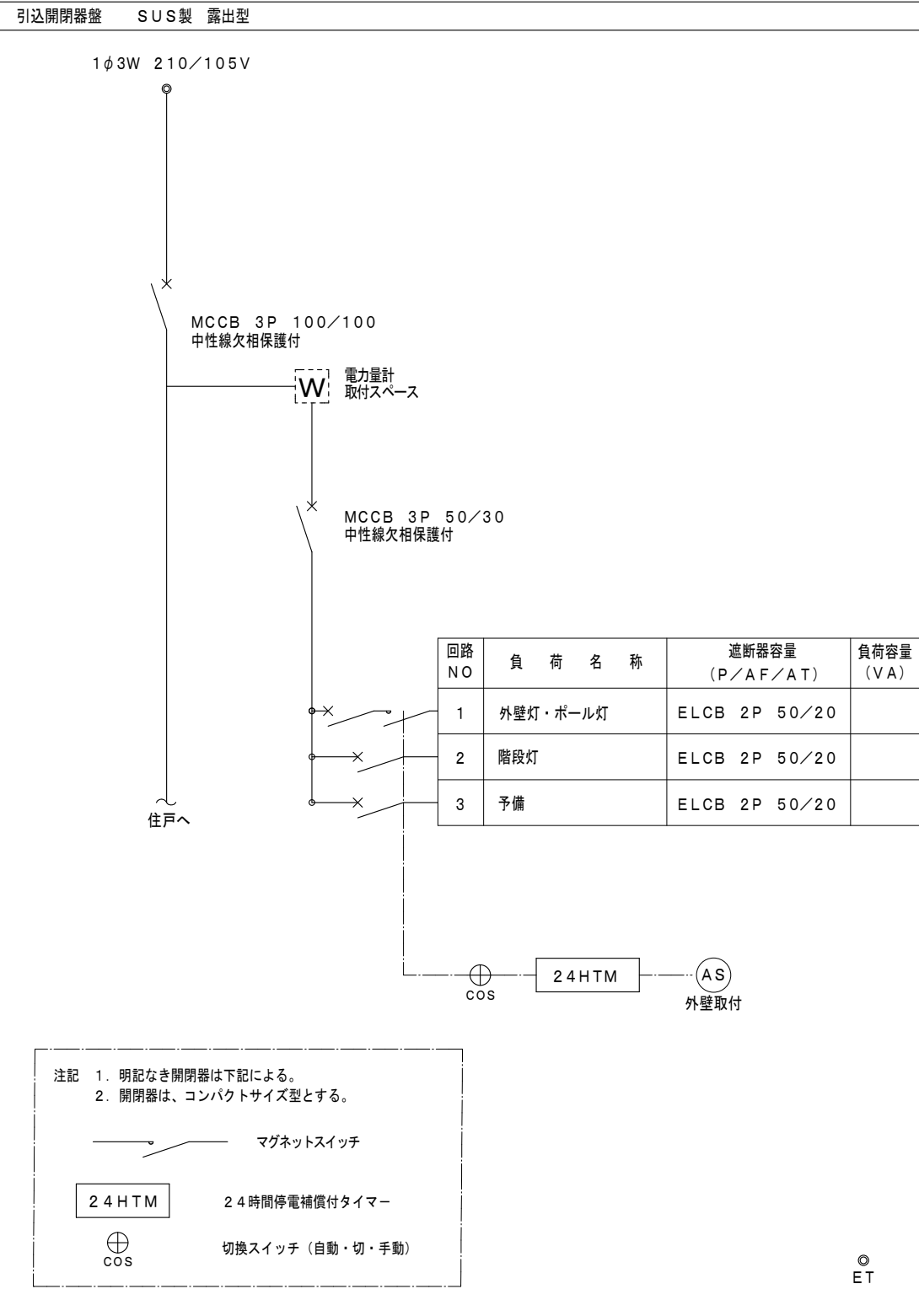
工事名 公営住宅第3国頭団地 3号棟 改修工事  
 図面種類 3号棟2-2 平面詳細図 (換気設備)

図面番号 M-213

# — 公営住宅第3国頭団地 3号棟 改修工事 —

図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺
D-01	表紙・図面リスト	—	D-26	改修前・後 平面詳細図【1-2】	1/30	E-01	電気設備特記仕様書	—	M-01	機械設備特記仕様書	—
D-02	建築改修工事特記仕様書-1	—	D-27	改修前 展開図【1-2】	1/50	E-02	引込開閉器盤 結線図	—	M-02	配置図, 凡例表, 衛生器具表, 特記事項	1/100
D-03	建築改修工事特記仕様書-2	—	D-28	改修後 展開図【1-2】	1/50	E-03	改修後 1階 2階電気設備平面図	1/100	M-03	改修後 設備平面図	1/100
D-04	建築改修工事特記仕様書-3	—	D-29	改修前・後 平面詳細図【2-1】	1/30	E-04	改修前 1階 2階電気設備平面図	1/100	M-04	改修前 設備平面図	1/100
D-05	建築改修工事特記仕様書-4	—	D-30	改修前 展開図【2-1】	1/50				M-05	改修前・後 1階平面詳細図(給排水設備)	1/50
D-06	建築改修工事特記仕様書-5	—	D-31	改修後 展開図【2-1】	1/50				M-06	改修前・後 1階平面詳細図(給排水設備)	1/50
D-07	建築改修工事特記仕様書-6	—	D-32	改修前・後 平面詳細図【2-2】	1/30				M-07	改修前・後 2階平面詳細図(給排水設備)	1/50
D-08	建築改修工事特記仕様書-7	—	D-33	改修前 展開図【2-2】	1/50				M-08	改修前・後 2階平面詳細図(給排水設備)	1/50
D-09	建築改修工事特記仕様書-8	—	D-34	改修後 展開図【2-2】	1/50				M-09	換気機器表・詳細図	1/50
D-10	建築改修工事特記仕様書-9	—	D-35	改修後 天井伏図	1/100				M-10	改修前 1階平面詳細図(換気設備)	1/50
D-11	設計概要, 附近見取図, 配置図	1/100	D-36	改修後 建具符号図	1/100				M-11	改修前 1階平面詳細図(換気設備)	1/50
D-12	仕上表, 内部改修一覧表	—	D-37	改修後 建具表-1	1/50				M-12	改修前 2階平面詳細図(換気設備)	1/50
D-13	敷地・建物 求積図・求積表	1/100, 1/200	D-38	改修後 建具表-2	1/50				M-13	改修前 2階平面詳細図(換気設備)	1/50
D-14	改修前 平面図・屋根伏図	1/100	D-39	外壁改修仕様書	—						
D-15	改修後 平面図・屋根伏図	1/100	D-40	外壁等調査図(立面図)	1/100						
D-16	改修後 立面図	1/100	D-41	外壁等調査図(揚裏図)	1/100						
D-17	改修後 断面図	1/100	D-42	外壁等調査図(屋根伏図)	1/100						
D-18	改修前 矩計図【1-1】【2-1】	1/30									
D-19	改修後 矩計図【1-1】【2-1】	1/30									
D-20	改修前 矩計図【1-2】【2-2】	1/30									
D-21	改修後 矩計図【1-2】【2-2】	1/30									
D-22	改修後 階段詳細図	1/30									
D-23	改修前・後 平面詳細図【1-1】	1/30									
D-24	改修前 展開図【1-1】	1/50									
D-25	改修後 展開図【1-1】	1/50									

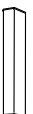




【3号棟】

				一級建築士事務所 鹿児島県知事登録 第1-5-18号	管理技術者	主任技術者	製 図	補 助	設計年月日	工 事 名	町営住宅第3国頭団地 3号棟 改修工事	図面番号
				永園設計株式会社					縮 尺	図面種類	引込開閉器盤 結線図	E-02
				管理建築士 一級建築士 第123948号 小原正信					1:100 (A1) 1:200 (A3)			

照明器具姿図

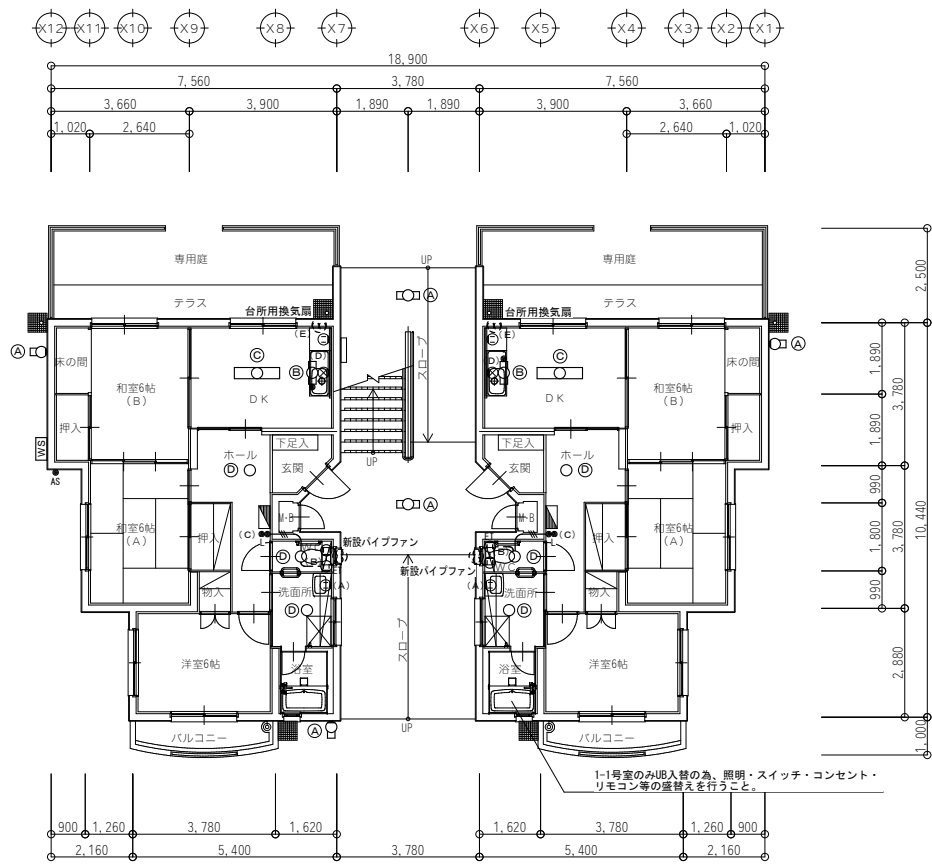
A LEDウォールライト 20形 防湿・防雨型	B LEDキッチンライト 20形	C LEDベースライト 40形2灯用相当	D LEDシーリングライト 100型1灯用相当
公共施設型番：LBF3MP/RP-2-13    一般タイプ、定格出力型、電圧100~242V 5000K、Ra83、光源寿命40000時間（劣化維持率85%） 本体：ステンレス、カバー：ポリカーボネート（乳白） 天井取付型・壁面取付型、保護等級：IP23	昼白色（5000K）、Ra83 器具光束1100lm、消費電力12W、電圧100V 拡張タイプ、スイッチ付 カバー：プラスチック（乳白）	昼白色（5000K）、Ra83 器具光束4000lm、消費電力25W、電圧100V ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白）	昼白色（5000K）、Ra83 器具光束865lm、消費電力7.9、電圧100V カバー：プラスチック（ホワイト） 送り用端子台付

凡例 特記無きものは下記による。

図記号	名称・仕様
	住宅用分電盤（既設）
[WS]	引込開閉器盤
	照明器具 姿図参照
	照明器具 姿図参照
	照明器具 姿図参照
	照明器具 姿図参照
●	埋込タンブラスイッチ 大角適用 1P15A×1
●L	埋込タンブラスイッチ 大角適用 1P15A×1、確認表示灯付
●AS	自動点滅器 埋込型 AC100V3A
○	埋込コンセント 1P15A×2 大角適用 露出スイッチボックス（A型）取付
—	ケーブル 保護管
—	EM-EF1.6-2C (MM:A)
—	EM-IE1.6×3 (既設配管)
---	露出配管配線
---	隠ぺい配管

(A) 洗面所：新設洗面化粧台用電源は既設コンセントを再利用  
 (B) 便所：既設コンセントを埋込コンセント2P15A 2ET メタルモールボックス(A型)に取替え  
 (C) 便所：既設照明スイッチを撤去し、換気扇スイッチとともに新設（仕様は上記凡例参照）  
 (D) 台所：既設ボックスから新設流し元灯に電源接続  
 (E) 台所：新設レンジフード用電源は既設電源を再利用

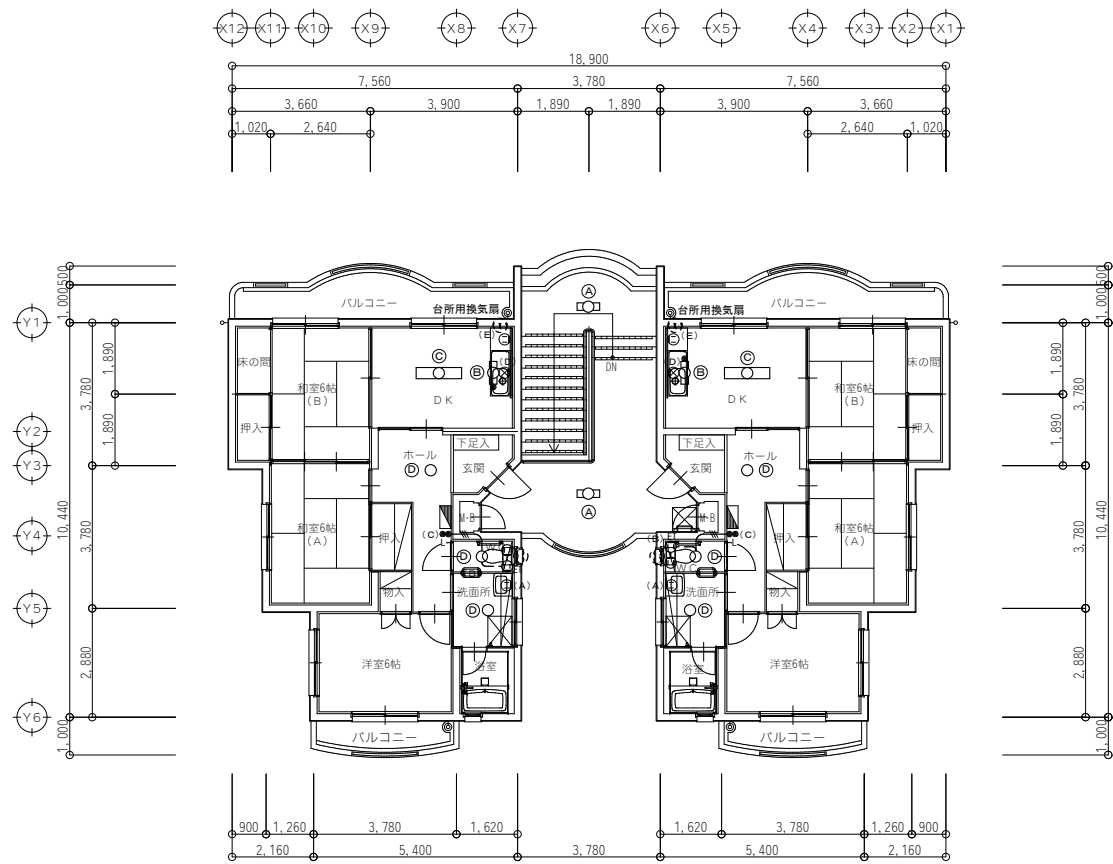
・住戸によって器具の位置が異なる為、既設を十分に調査し、支障なき様注意して施工の事。  
 ・薄線は既設を示す。



【1-1】

【1-2】

3号棟1階 改修後平面図 1:100



【2-1】

【2-2】

3号棟2階 改修後平面図 1:100

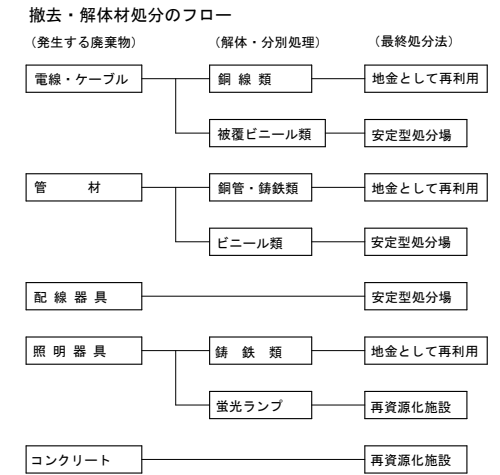
【3号棟】

一級建築士事務所 鹿児島県知事登録 第1-5-18号 <b>永園設計株式会社</b> 管理建築士 一級建築士 第123948号 小原正徳	管理技術者 主任技術者 製図 補助	設計年月日	工事名 町営住宅第3区頭団地 3号棟 改修工事	図面種類 改修後 1階2階電気設備平面図	図面番号 E-03
		縮尺 1:100 (A1) 1:200 (A3)			

凡例表 以下は全て撤去とする

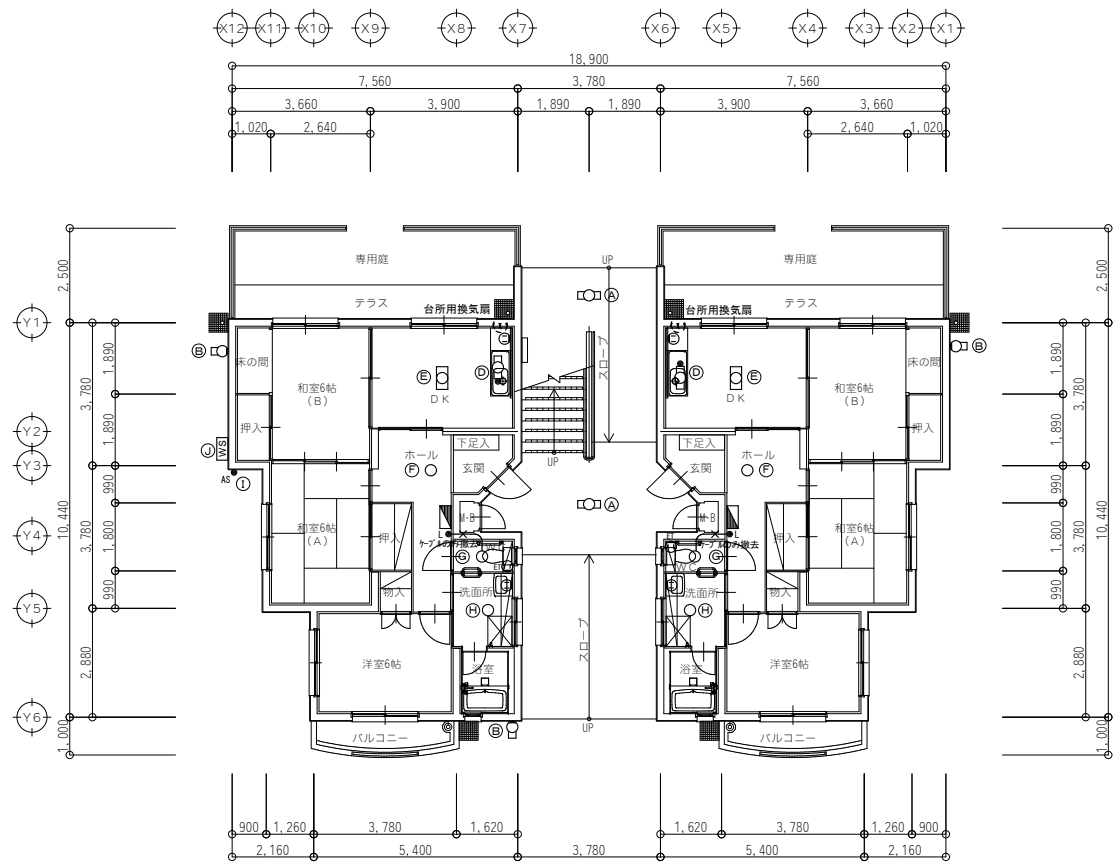
記号	仕様
Ⓐ	シーリングライト FL20W×1 防水型
Ⓑ	ウォールライト FL10W×1 防水型
Ⓒ	シーリングライト FL60W×1 防水型
Ⓓ	キッチンライト FL15W×1
Ⓔ	シーリングライト FL20W×4
Ⓕ	シーリングライト FCL30W×1
Ⓖ	シーリングライト IL40W×1
Ⓗ	シーリングライト IL60W×1
Ⓘ	自動点滅器 埋込型 AC100V 3A
Ⓙ	引込開閉器盤

凡例 特記無きものは下記による。	
図記号	名称・仕様
	住宅用分電盤
[WS]	引込開閉器盤
	照明器具
	照明器具
	照明器具
	照明器具
●L	埋込タンブラスイッチ 大角適用 1P15A×1、確認表示灯付
●AS	自動点滅器 埋込型 AC100V3A
⓪	埋込コンセント



※ 産業廃棄物処理については、適正処理し、マニフェストを提出のこと。  
 ※ 照明器具・変圧器はPCBの有無を調査の上、有る場合は監督員と協議して、指定場所に保管すること。  
 ※ バッテリーはメーカーに引き渡して処理を依頼すること。  
 ※ 今回解体工事に伴い発生する配管・配線その他機器類は上記フローに準じ、適切に撤去・処分すること。  
 ※ 処分を行う前に監督員に確認を行い処分を行うこと。

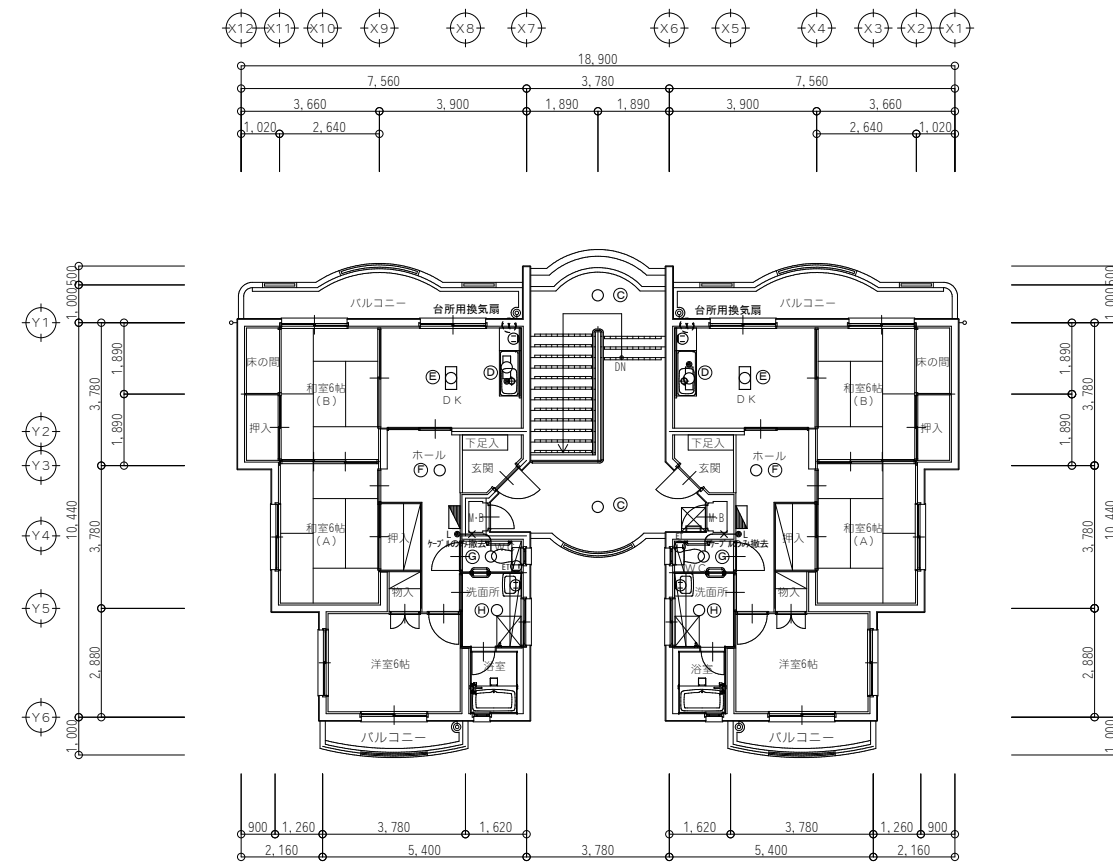
図面に明記無くとも不要な配管・配線・機器類は撤去・処分を行うこと。  
 現状の配線等を十分調査し監督員と協議し施工のこと。



【1-1】

【1-2】

3号棟1階 改修前平面図 1:100



【2-1】

【2-2】

3号棟2階 改修前平面図 1:100

【3号棟】

一級建築士事務所 鹿児島県知事登録 第1-5-18号 <b>永園設計株式会社</b> 管理建築士 一級建築士 第123948号 小原正徳	管理技術者 主任技術者 製図 補助	設計年月日 工 事 名 町営住宅第3団地 3号棟 改修工事	図面種類 改修前 1階2階電気設備平面図	図面番号
				E-04
				縮 尺 1:100 (A1) 1:200 (A3)